

2004(平成16)年度

# 講義内容

国文科 英文科 放射線科  
専攻科(放射線技術科学専攻)  
仏教科

# 講 義 內 容

## 目 次

### 国文科・英文科・放射線科

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	25
3	外国語科目	87
4	保健体育科目	125
II	専門教育科目	
1	国文	161
2	英文	221
3	放射線科	281
III	他学部履修科目	325
IV	「日本語」・「日本事情」科目	379
V	教職課程・資格講座科目	393
	専攻科(放射線技術科学専攻)	411
	仏教科(夜間開講)	
I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	429
2	教養教育科目	435
3	外国語科目	465
4	保健体育科目	475
II	専門教育科目	485
III	他学部履修科目	507
IV	仏教学部開設科目	529

国文科・英文科・放射線科	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
	専門教育科目	国文科
		英文科
		放射線科
		他学部履修科目
	資格講座	「日本語」
		「日本事情」
専攻科	放射線技術科学専攻	
	仏教科	
(夜間開講)	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
	専門教育	専門教育
		仏教学部開設
	他学部履修	他学部開設
		他学部履修



**国文科・英文科・放射線科**



# I 全学共通科目



# 1. 宗教教育科目





## 1. 宗教教育科目

仏教と人間 (短国)	〈奥野光賢〉	.....	11
仏教と人間 (短国)	〈木村誠司〉	.....	12
仏教と人間 (短英)	〈石井公成〉	.....	12
仏教と人間 (短英)	〈袴谷憲昭〉	.....	12
仏教と人間 [再クラス]	〈池田魯参〉	.....	13
仏教と人間 [再クラス]	〈福田孝雄〉	.....	13
仏教と人間 [再クラス]	〈吉津宜英〉	.....	14
仏教と人間 [再クラス]	〈晴山俊英〉	.....	14
文化と宗教 (短国・短英)	〈長谷部八朗〉	.....	15
社会と宗教 (短国・短英)	〈池上良正〉	.....	15
自然と宗教 (短国・短英)	〈小川順敬〉	.....	16
坐 禅 (短国・短英)	〈佐藤秀孝・熊本英人〉	.....	17



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	おくのみつよし 奥野光賢	短国1必	4

講義のねらい

本学（駒澤大学・駒澤短期大学）は、仏教の教義、中でも曹洞宗の教えを建学の理念とする私立大学である。したがって、この講座が開講されている意義をまずしっかりと認識してもらいたい。講義は、仏教の基本的教義と歴史の解説を中心とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、下記に指定する教科書によって進める。教科書に入る前に、宗教学上における仏教の位置など基本的事項について概説する。

（前期）

- （1～2）信教の自由について
- （3～4）宗教の分類
- （5～6）さまざまな宗教
- （7～9）仏教の誕生—釈尊の伝記
- （10～12）釈尊の説いた道—四諦・八正道
- （13）前期のまとめ

（後期）

- （14～15）戒・定・慧と律
- （16～17）仏教の流れ—原始仏教・部派仏教・大乘仏教
- （18～19）小乗仏教と大乘仏教
- （20～21）大乘仏教の教え—六波羅蜜
- （22～23）四摂法・四無量心について
- （24～25）曹洞宗の歴史と教えについて
- （26）後期のまとめ

履修上の留意点

受講者の人数の関係上、授業は講義形式で進める。但し、一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。授業においてくわしく触れることになるが、この授業はけっして宗教として「仏教」の信仰を勧める授業ではない。その点くれぐれも誤解のないようにして欲しい。なお、授業中の私語、携帯電話の受信等は厳禁とする。指示を守れない人は退出させるので、あらかじめ留意して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。試験は教科書・参考書等の持ち込みを不可とする。なお、年間出席数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教 科 書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）定価1,400円（税別）を教科書とする。その他、プリントを配布する。

参 考 書 等

授業中に適宜指示する。

そ の 他

受講者の人数の関係上、授業は講義方式で進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	木村誠司	短国1必	4

講義のねらい

「仏教とは何か」について様々な角度から考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、インド・中国・日本の仏教教理史を概観し、重要な教理については、詳しく考察する。そこで得た知識を生かし、種々の仏典に直に触れ、仏教への理解を深める。後期は、日本仏教から一冊を選び、講読する。

成績評価の方法

試験あるいはレポートによって行う。

教科書

本年度は、富永仲基の『出定後語』を予定しているが、希望があれば協議の上、他のテキストに変更することもある。必要な文献は、適宜コピーして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	石井公成	短英1必	4

講義のねらい

釈尊に始まる仏教の基本的な立場、インド・中国・朝鮮・日本などの仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について十分な理解を得、宗教に関する様々な問題について自分で調べ、また考えることができるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

原始仏教の基本的な立場を明らかにしたうえで、仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について講義する。その際は、受容と変容の過程に注意し、仏教以外の宗教との違いやまた呪術的な習俗とのかかわりなどにも注意する。

履修上の留意点

一人一人に頻繁に質問を行うほか、問題によっては討論を行うこともあるため、進んで取り組む態度が必要である。

成績評価の方法

数回、小試験をおこない、その点数によって評価するが、授業中、質問その他で積極的に授業に参加していた者については、そうした面も考慮する。

教科書

使用しない。コピーを配布する。

参考書等

平川彰著『インド・中国・日本 仏教通史』（春秋社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	袴谷憲昭	短英1必	4

講義のねらい

下記の教科書により、仏教と人間の問題について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

①自己と他者、②信仰と言葉、③北西インド、④マガダの地、⑤北伝の地域、⑥南伝の地域、⑦インドの古代、⑧開祖の伝記、⑨三蔵の成立、⑩発展の時代、⑪宗教の定義、⑫業と輪廻と、⑬解脱と成仏、⑭苦行と布施、⑮無我と五蘊、⑯縁起の思想、⑰四諦の教義、⑱有為と無為、⑲一音演說法、⑳小乗と大乘、㉑空性と唯識、㉒顕教と密教

履修上の留意点

授業では必要に応じて資料を配布するが、資料の再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験によって評価する。

教科書

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	いけ だ ろ さん 池 田 魯 参	短国・短英	4

講義のねらい

一年間の講義を通じて、世界の諸宗教と比較して仏教にはどのような特色があるのか考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では、世界の代表的な諸宗教が成立する歴史的文化的背景を明らかにし諸宗教の特質を意義づけ、その上で仏教成立の史的意義を明らかにし、釈尊（ブツダ）の人間観はどういうものであったのか考えてみたい。

後期では、釈尊滅後の教団史的展開の諸問題を、インド・チベットを始め中国・朝鮮・日本などの東アジア諸地域における仏教の伝播と変容の歴史的意義を明らかにし、仏教信仰に生きた人々の人生観はどういうものであったのか、具体的に考えてみたい。

履修上の留意点

日頃から宗教の問題に関心を持って、宗教に関して見識のある教養人を目指して学んで欲しい。虚心に見聞し自分の頭で考える習慣を身につけて欲しい。

成績評価の方法

夏休みの課題レポートと学年末試験（論文形式）を中心に評価する。

教科書

適宜、講義資料をコピーして、課題毎に参考書等を紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	ふく だ たか お 福 田 孝 雄	短国・短英	4

講義のねらい

無数に存在する世界の諸宗教の中で、仏教とは一体どういう宗教であり、その特徴、特質は何であり、いかなる可能性をもっているのか。それらを学んでいく上でまず、一般的宗教現象を一通り学び、宗教の共通の要素や性格を知っておくことも必要であるから、宗教学的基礎を学ぶことから始め、最終的に、仏教の基本的特色や特質を概観していくことにしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

宗教学的の基礎的な構造としての宗教現象、宗教経験、宗教儀礼などを概説し、最終的に仏教思想の基本構造、仏教々団、經典の組織などについて学んでいくことにする。

成績評価の方法

出席点及びレポートなどにより総合的に評価する。

参考書等

講義の進行に従って、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間〔再クラス〕	よし づ よし ひで 吉 津 宜 英	短国・短英	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めたのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。質問は大歓迎です。講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間〔再クラス〕	はれ やま しゆん えい 晴 山 俊 英	短国・短英	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

積尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参考書等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	長谷部 八 朗 <small>はまべ はち ろう</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会と宗教	池 上 良 正 <small>いけ がみ よし まさ</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 と 宗 教	お <small>がわ</small> 小 <small>とし</small> 川 <small>ゆき</small> 順 敬	短国・短英選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりの諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

原則として教科書は用いません。

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐 (前期)(後期) 禅	佐藤 秀孝・熊本 英人 <small>さとう しゅうこう くまもと えいじん</small>	短国・短英選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円



## 2. 教 養 教 育 科 目



## 2. 教養教育科目

### (1) 人文分野 (短国・短英)

文 学	〔外国文学「アメリカ文学」〕	〈田 中 保〉	.....	25
歴 史 学	〔日 本 近 世 史〕	〈小 高 昭 一〉	.....	25
芸 術 学 (1)	〔日 本 美 術〕	〈北 野 良 枝〉	.....	26
芸 術 学 (2)	〔西 洋 美 術〕	〈矢 野 陽 子〉	.....	26
芸 術 学 (3)	〔音 楽〕	〈赤 羽 由 規 子〉	.....	27
哲 学	〔近代の人間観と世界観〕	〈麻 生 享 志〉	.....	27
論 理 学	〔科学方法論と現代論理学〕	〈山 口 祐 弘〉	.....	28
論 理 学	〔知 の 技 法〕	〈箭 野 浩 司〉	.....	29
論 理 学	〔知 の 技 法〕	〈伊 古 田 理 理〉	.....	30
科 学 史	〔近代科学の成立と展開〕	〈小 宮 山 隆 隆〉	.....	30
倫 理 学 (1)	〔人 間 観 〕	〈古 田 知 章 章〉	.....	31
倫 理 学 (2)	〔応 用 倫 理 学 〕	〈黒 崎 剛 剛〉	.....	32
倫 理 学 (3)	〔価 値 観 〕	〈滝 沢 正 之 之〉	.....	32
倫 理 学 (4)	〔応 用 倫 理 学 〕	〈箭 野 浩 司 司〉	.....	33
倫 理 学 (5)	〔制 度 と モ ラ ル 〕	〈滝 口 清 栄 栄〉	.....	33
倫 理 学 (6)	〔東 洋 倫 理 学 〕	〈末 木 恭 彦 彦〉	.....	34
宗 教 学 (1)	〔比 較 宗 教 文 化 〕	〈池 上 良 正 正〉	.....	34
宗 教 学 (2)	〔聖 と 俗 〕	〈田 中 か の 子 子〉	.....	35
宗 教 学 (3)	〔思 想 と 儀 礼 〕	〈小 川 順 敬 敬〉	.....	35
宗 教 学 (4)	〔組 織 と 運 動 〕	〈洗 建 建 建〉	.....	36
人 文 地 理 学 (1)	〔風 土 と 文 化 〕	〈竹 林 和 彦 彦〉	.....	36
人 文 地 理 学 (2)	〔風 土 と 文 化 〕	〈高 橋 健 太 郎 郎〉	.....	37
人 文 地 理 学 (3)	〔空 間 と 行 動 〕	〈山 口 太 郎 郎〉	.....	38
人 文 地 理 学 (4)	〔空 間 と 行 動 〕	〈伊 藤 修 一 一〉	.....	39
教 育 の 思 想		〈北 村 三 子 子〉	.....	39
教 育 と 社 会		〈北 村 三 子 子〉	.....	40
発 達 と 学 習 の 心 理 学		〈大 浜 幾 久 子 子〉	.....	40
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習		〈大 浜 幾 久 子 子〉	.....	41

(2) 社会分野 (短国・短英)

社会学〔現代文化を考える〕	〈呉 炳 三〉	……………	41
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内 康 慈〉	……………	42
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈鈴木 一 馨〉	……………	42
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈長谷川 日出世〉	……………	43
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—	〈藤 本 茂〉	……………	44
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈富 崎 隆〉	……………	45
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	〈橋 本 泰 明〉	……………	46
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大 石 雄 爾〉	……………	47
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳 堀 素雅子〉	……………	48
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野 中 弘 敏〉	………	49

(3) 自然分野 (短国・短英)

生物学〔生態と進化〕	〈清水善和〉	50
地球科学〔地球環境の現在・過去・未来〕	〈山縣毅〉	52
自然環境論〔生命と環境〕	〈持丸真里〉	53
自然環境論〔環境と保全〕－夏季集中－	〈山縣毅〉	54
自然誌〔現代の自然像〕	〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣毅〉	55
数学(1)〔微積分学入門〕	〈小沢誠〉	56
数学(2)〔線型代数学入門〕	〈小沢誠〉	56
数学(3)〔現代数学入門〕	〈福田賢一〉	57
情報数学〔情報と論理〕	〈上原隆平〉	57
物理学〔光と物質〕	〈篠原正雄〉	58
化学〔衣食住の化学〕	〈持丸真里〉	59
宇宙科学〔星と銀河〕	〈篠原正雄〉	59
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)〔コンピュータの実際〕	〈小沢誠〉	60
コンピュータ基礎(2)(7)〔コンピュータの実際〕	〈山本博信〉	61
コンピュータ基礎(3)(8)〔コンピュータの実際〕	〈小川健次郎〉	62
コンピュータ基礎(5)〔コンピュータの実際〕	〈澤口隆〉	63
コンピュータ基礎(10)(23)(24)〔コンピュータの実際〕	〈上原隆平〉	64
コンピュータ基礎(11)(15)〔コンピュータの実際〕	－夏季集中－ 〈元木光雄〉	65
コンピュータ基礎(12)〔コンピュータの実際〕	－夏季集中－ 〈小沢誠〉	66
コンピュータ基礎(13)(17)〔コンピュータの実際〕	－夏季集中－ 〈山本博信〉	67
コンピュータ基礎(14)(18)〔コンピュータの実際〕	－夏季集中－ 〈長坂浩史〉	68
コンピュータ基礎(19)(21)〔コンピュータの実際〕	－夏季集中－ 〈澤口隆〉	69
コンピュータ基礎(16)(20)(22)〔コンピュータの実際〕	－夏季集中－ 〈小川健次郎〉	70
コンピュータ応用(1)(2)〔コンピュータの原理〕	〈上原隆平〉	71
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	〈遠藤萬里〉	71
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	〈高橋良博〉	72
心理学〔心を科学する〕－夏季集中－	〈堀内正彦〉	72



(4) 総合分野 (短国・短英)

総合Ⅰ(1) [仏教と自然]	〈四津谷 孝道〉	73
総合Ⅰ(2) [仏教と社会]	〈熊本 英人〉	73
総合Ⅱ	〈 休 講 〉	
総合Ⅲ(1) [人権と社会問題]	〈ピアス, D. M.〉	74
総合Ⅲ(2) [欧米の教育と日本の教育]	〈岡崎 寿一郎〉	75
総合Ⅲ(3) [中国語圏文化の諸相]	〈岩崎 皇〉	76
総合Ⅳ(1) [現代アメリカ事情]	〈林 明人〉	76
総合Ⅳ(2) [米国シアトルNPOの経営研究]	〈西村 祐子〉	76
総合Ⅳ(3) [ポスト・モダンの世界]	〈丸 小 哲雄〉	77
総合Ⅴ	〈 休 講 〉	
総合Ⅵ(1) [民族とは何か]	〈大野 祐二〉	78
総合Ⅵ(2) [イスラム]	〈吉田 京子〉	78
総合Ⅵ(3) [フェミニズム・ジェンダー]	〈早川 紀代〉	79
総合Ⅶ(1) [トラブルと法的解決]	〈藤本 茂・他〉	80
総合Ⅶ(2) [都市論]	〈早川 純貴・他〉	81
総合Ⅷ	〈 休 講 〉	

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文学〔外国文学〔アメリカ文学〕〕	田中保 <small>たなか たもつ</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

アメリカ文学の歴史は極めて浅い。アメリカ文学の主潮を辿りながら、主要な作家とその代表作品を取り上げ講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は講義形式でアメリカ文学を概観し、受講者各自で興味ある作家を主要作家一覧表から1人選び、その作家の作品を1編選んで読み、その作家紹介と作品の内容・主題についてレポートを提出してもらう。

後期は受講者各自が主要作家一覧表から関心をもつ作家を1人選び、その作家の作品を読むグループを編成して、グループ発表形式で授業を行います。

履修上の留意点

教養教育科目ですので、作品はすべて翻訳本で読んでもらいますが、アメリカ文学にいささかでも関心のある学生の受講を希望します。

成績評価の方法

レポート・発表・出席等を総合的に評価する。

教科書

教科書は用いません。

参考書等

参考となる書籍については、適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学〔日本近世史〕	小高昭一 <small>おたか しょういち</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

織田信長から徳川十五代将軍慶喜までの約三百年、日本近世史のおおまかな流れを一年間でたどる。近世に成立した物事は、近代を経て現代にも影響を与えたものが多い。その始点を省みて、現代を生きる我々の知恵となるものを探れないだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を通して読み、江戸時代の流れを捉える。教科書には細かい事項も記述されているが、全体としての流れ、重要な問題を押さえることを主眼とするので、高校までの日本史の勉強とは違う。

成績評価の方法

前期までの授業のまとめとしてレポートを課す。また、定期試験の論述試験での成績で評価する。

教科書

深谷克己著『江戸時代』（岩波ジュニア新書）『日本の歴史6』（岩波書店）2000年3月刊。

参考書等

授業の際、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学(1)〔日本美術〕	きたのよしえ 北野良枝	短国・短英選	4

**講義のねらい** 室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を解説するにあたっては、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

**講義の内容・授業スケジュール**

(前期) 室町から桃山時代の絵画  
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識  
 (3) ~ (7) 室町時代の水墨画 (8) ~ (10) 阿弥派、土佐派、狩野派  
 (11) ~ (12) 狩野永徳と桃山画壇  
 (後期) 江戸時代の絵画  
 (13) 江戸時代の狩野派 (14) ~ (17) 琳派  
 (18) ~ (19) 浮世絵 (20) 南蘋派  
 (21) 文人画 (22) 秋田蘭画と司馬江漢  
 (23) 伊藤若冲と曾我蕭白 (24) 江戸から明治へ

**履修上の留意点** ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

**成績評価の方法** 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学(2)〔西洋美術〕	やのようこ 矢野陽子	短国・短英選	4

**講義のねらい** ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀までの美術、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの美術を対象とします。まず美術作品に表現された内容を理解し、その表現様式の特徴を考えながら、美術の主要な流れを把握することを目的とします。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

**講義の内容・授業スケジュール**

(前期) 15・16世紀の美術  
 イタリア初期ルネサンス／15世紀の北方美術／イタリア盛期ルネサンス／北方ルネサンス／マニエリスム  
 (後期) 17・18世紀の美術  
 バロック美術（イタリア、ネーデルラント、スペイン、フランス）／ロココ美術／新古典主義美術

**履修上の留意点** 初回にガイダンスを行うので必ず出席してください。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席することが望まれます。

**成績評価の方法** 夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価します。

**教科書** 高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社）1,900円

**参考書等** 参考文献は授業中適宜紹介します。

**その他** 授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (3) [音楽]	あかばゆきこ 赤羽由規子	短国・短英選	4

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

(後期) 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』(公論社) 2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 [近代の人間観と世界観]	あきおたかし 麻生享志	短国・短英選	4

講義のねらい

どういものが真理だろうか、認識はどのようになっているのだろうか、存在とは何であろうか。このような問いが、哲学の立てる問いです。普通、「哲学」という言葉は、経営哲学とか、趣味における哲学などと使われますが、それは、人生論とか、自分独自のこだわりや目標のようなものでしょう。しかしそのような哲学は、学問的でもないし、哲学との内容的なつながりもありません。そういったものではなく、本当の「哲学」、本物の哲学を、現代の視点から案内したいと考えています。講義では、いろいろな哲学関係の議論の中で、おもしろさを伝えられるようなものを選び、わかりやすく説明します。また、哲学の議論は、人間の諸問題とつながっています。ですから、過去に行われた議論を紹介するだけでなく、講義を聞く諸君一人一人が、自分の問題として考えられるようになるために、私自身の考え方や批判も示します。

講義の内容・授業スケジュール

主な話題として、プラグマティズム・分析哲学・経験論と合理論・ドイツ観念論・生の哲学などを考えています。また、西洋近現代にきちんと限定するようなことにはせず、古代や東洋思想にも言及する予定です。

履修上の留意点

学問の場として、自分で考える態度を持つように努めることが決定的に重要。そのためには、自分で読んだり、調べたり、書いたりしなければならない、と考えています。その具体的なやり方は、講義において、場合に応じて説明します。

成績評価の方法

前期・後期試験・レポート(5月連休明け提出)を中心とし、平常点(出席)を加味して成績を評価します。

教科書

『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

参考書は、その都度、講義の中で丁寧に紹介します。積極的に、自分で選択し、精力的に読書する姿勢を期待しています。

その他

多少は指名して対話するかもしれませんが、基本的には講義。主体的な質問は大いに歓迎です。初日はガイダンスとし、定時から五分間、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。(ガイダンスが済んだら、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。)

この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論 理 学 〔科学方法論と現代論理学〕	やま くら まさ ひろ 山 口 祐 弘	短国・短英選	4

講義のねらい

伝統的論理学から現代の記号論理学に至るヨーロッパの論理思想の発展を、弁証法論理や東洋の思惟様式にも眼を向けつつ広い視野において学び、人間の思考の働きを理解するとともに、正しく考える態度を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

【前期】

1. 論理学とは何か
2. 思考の原理
3. 同一性と同一律
4. 関係の思想
5. 対立と矛盾
6. 矛盾の概念
7. 判断論
8. 無限判断
9. 二律背反
10. 弁証論
11. 無限性の思想
12. 論理思想の比較

【後期】

1. 記号論理学の基本思想
2. 真理関数
3. 標準形
4. 公理体系
5. 定理の演繹
6. 同
7. 同
8. 体系の条件
9. 述語論理学
10. 無矛盾性、完全性、決定問題
11. 伝統的論理学との対応
12. 三段論法の基礎付け

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

テストによる。

教 科 書

『論理学概論』（岩波書店）

参 考 書 等

『ドイツ概念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論 理 学 〔知の技法〕	矢野 浩司 <small>の ひる し</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのスキルアップを目的とします。日本の教育制度はこの四つの能力を育成しませんが、民主主義社会の一員として、ビジネスパーソンとして、国際社会の一員として、これからの時代を生きてゆくためには武器となるスキルです。(ただし、この授業は伝える内容は育成しません。内容は自分で育成してください。この授業が育成するのはメッセージを伝達する形式に関わる部分のみです)

初めての参加者は、人に何かを伝えようとする前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるかもしれませんが、それを乗り越えることも目的の一つとします。

講義の内容・授業スケジュール

まずディベートから始めて、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのどれか、あるいはすべてに挑戦してもらいます。オプションとして、司会術、情報分析、ビジネス戦略、ユーザー・クレーム、ビジネス・マナーを検討します。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とします。参加人数を減らすために、四回休んだら単位は出ません。単位のいない人の参加は歓迎します。この授業は今年で三年目となり、すでに単位を取っているのにスキルアップのために参加し続けている人がいます。そんな熱心な人たちのために今年は、有段者の黒帯、あるいはトーナメントの勝利者に与えられるトロフィーに相当するものを認定する制度をつくりたいと思います。それについてもプレゼン・バトルで決定しますので、アイデアを練っておいてください。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度などで評価します。

教科書

プリントを配布します。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	いこた まさる 伊古田 理	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほか、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでもに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔近代科学の成立と展開〕	こみやま たかし 小宮山 隆	短国・短英選	4

講義のねらい

科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。

そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教科書

八杉龍一『図解・科学の歴史』（東京教学社）

参考書等

講義の際に、その都度紹介する。

その他

通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等もちいて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (1) [人間観]	<small>ふる</small> 古 <small>た</small> 田 <small>とも</small> 知 <small>あき</small> 章	短国・短英選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―

〔後期〕新しい時代の人間観

1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
2. 自己の内面性と他者の問題
3. 人格 ―ロックを手がかりに―
4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参 考 書 等

講義の際にその都度紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(2)〔応用倫理学〕	黒崎剛 <small>くろさき つよし</small>	短国・短英選	4

**講義のねらい** 「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

**講義の内容・授業スケジュール**

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

**履修上の留意点** 課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

**成績評価の方法** 受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

**教科書** 教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(3)〔価値観〕	滝沢正之 <small>たきざわ まさゆき</small>	短国・短英選	4

**講義のねらい**

倫理学の主要な潮流を概説する。  
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、道徳的な善悪というものはそれほど自明ではない。  
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。たとえば、人は殺してはいけなく、とよく言うが、世の中には死刑もあるし戦争もある。  
また、少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。それが悪いことではない、と思われていたのだ。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。  
このように、道徳的な善悪の本性ととは、実のところ、よくわからないものなのだ。  
そこで、道徳についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

**講義の内容・授業スケジュール** 倫理学の主要な潮流を互いに対決させつつ紹介する。具体的には、カントの義務論、功利主義、ニーチェの道徳批判、徳論の四つとなる予定。

**成績評価の方法** 基本的に中間試験および期末試験により評価する。

**教科書** 久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

**参考書等** 講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(4)〔応用倫理学〕	矢野 浩 司	短国・短英選	4

講義のねらい

例えば、自動車でスーパーマーケットに行き、パックされた牛肉を買って、ポリエチレン製の袋に入れてもらって、家に持って帰って食べる場合、人はさまざまな選択を行っています。多くの人々は選択を行っているという意識を持っていません。それはシステムや文明によるマインドコントロールを受けている状態であり、考えて行動する力を奪われている状態であるとも言えます。この授業の目的は、そのような問題の存在に気づき、自分にインストールされた行動様式の外にいったん出ることによって、考えること、意見を持つこと、判断を下すことをシミュレートすることです。応用倫理学とは、論理の応用ではなく、問題に参加することで生き方を模索する学問です。

講義の内容・授業スケジュール

毎回異なる問題を扱います：安楽死、遺伝子操作、劣化ウラン弾、地雷、パレスチナ問題、アメリカとイラク、代理母、中絶、女性器切除、AIDS、18トリソミー、IT 犯罪、IT 汚染、天皇制、南京虐殺、教科書問題、自衛隊、自動車、食料、難民、刑務所、死刑、売買春、おたく、わいせつ、引きこもり、化粧、ファッション、美容整形、殺人、地域通貨、資本主義、徴兵制、温暖化、煙草、アイドル、アメリカ映画、内部告発、メディア倫理、ビジネス倫理など。

履修上の留意点

本年度は、授業終了後に希望者のみでグループ・ディスカッションを行います。この部分に関しては単位は出ませんが、意見を深めたい者、ディスカッション能力を高めたい者は参加してください。参加希望者がいない場合は行いません。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクションペーパーとディスカッション能力で評価します。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(5)〔制度とモラル〕	滝口 清 栄	短国・短英選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐり、そのあとも検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（10月上旬を予定）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(6)〔東洋倫理〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	短国・短英選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の間で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知ること、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ること、我々の未来の生き方を開くことにもなる。この様な重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む—ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理—環境問題にいかに対処してゆくかという問題を取り上げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、この様な問題意識に基いて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に取められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	短国・短英選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①「宗教」概念の成立とその意義。②人類史と宗教。③現代社会に生きる「宗教」。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学(2)〔聖と俗〕	田中かの子	短国・短英選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいっているからにはほかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされるとき、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. プロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立てよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

田中かの子著『比較宗教学―「いのち」の探求―』（北樹出版）2004年

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学(3)〔思想と儀礼〕	小川順敬	短国・短英選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと云うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学(4)〔組織と運動〕	あらい 洗 けん 建	短国・短英選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生じる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生じるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実即して考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なるものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学(1)〔風土と文化〕	たけ ばやし かず ひこ 竹 林 和 彦	短国・短英選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学のアプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1. ガイダンス                | 10. 文化景観          |
| 2. 人文地理学の学問的性格          | 11. 文化伝播          |
| 3. 人文地理学の基本概念           | 12. 東南アジアの風土と文化   |
| 4. 人文地理学の思考対象とその方法      | 13. 東アジアの風土と文化    |
| 5. 人文地理学と地誌学            | 14. 市場の風景         |
| 6. 地理学にとって文化とは何か？       | 15. 都市での居住（都市の文化） |
| 7. 地域とは（地域の概念）          | 16. 都市と農村         |
| 8. 文化地域                 | 17. まとめ           |
| 9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～ |                   |

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでもよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学(2)〔風土と文化〕	たか はし けん たろう 高 橋 健太郎	短国・短英選	4

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活、または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。具体的には、講義内容として以下の項目を予定している。◇人文地理学の位置づけ、◇文化伝播、◇文化生態、◇文化景観、◇文化変容、◇大衆文化、◇基層文化、◇居住、◇観光開発、◇地図、◇地名、◇空間認知、◇地域イメージ。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に、教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容（30％）と定期試験の結果（70％）で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学(3)[空間と行動]	やまぐち たろう 山 口 太 郎	短国・短英選	4

講義のねらい

都市を歩くことによって都市を体験し、都市への批判的なまなごしを養うことを目的とする。本講義は、受講生の都市でのフィールドワークに対し、地理学的な切り口を提示していく。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなごしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
- I 東京の自然史
  - II 東京の歴史社会地理  
江戸から東京へ、モダニズム・大衆文化、高度経済成長、都市論ブーム、バブルの時代、郊外居住、都心回帰
  - III 先達による都市観察・記述  
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、泉麻人、石井實、奥田道大、ライフヒストリー
- (後期)
- IV 都市の中の差異  
都市計画、時間地理学、認知地図
  - V 都市民の憂鬱  
選好地図、まなごしの権力性、都市と故郷、都市の集団の風景
  - VI 商品としての都市  
場所のイメージ、ディズニーランド化、創られた伝統、住民参加のまちづくり

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教 科 書

前期に以下のテキストを使用する。  
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

参 考 書 等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。  
エドワード、レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）  
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）  
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）

そ の 他

講義は受講生のまち歩きを楽しくし、批判的なまなごしを身につけるための一助の場と位置付けたい。そのため、この1年間自発的にまち歩きをして欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学(4)[空間と行動]	伊藤 修一	短国・短英選	4

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動しています。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくありません。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されていることは明らかです。ここでの目的は、次のような講義を通じて、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することです。前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説します。後期には、都市の形成や変化に不可欠な人口動態と移動の傾向を把握し、都市に関する既存の実証研究を紹介し、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきの理解をねらいます。

講義の内容・授業スケジュール

[前期]イントロダクション (1)、地図 (2)、都市の分布と立地 (3~7)、地域の結びつき (8・9)、都市の内部構造 (10)  
 [後期]人口変動と分布・人口移動 (1・2)、都市の居住構造の形成過程とその変化-郊外化・再都市化 (3~8)、都市と余暇活動 (9)、都市空間における知覚と認知 (10)

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがありますので、高校数学や統計学などの知識を持つているとより理解が深まるでしょう。

成績評価の方法

原則として学年末の試験結果から評価しますが、出席状況も考慮する予定です。

教科書

講義では資料を随時配布します。

参考書等

坂本英夫・浜谷正人編 (1985)『最近の地理学』大明堂  
 富田和暁・藤井 正編 (2001)『図説 大都市圏』古今書院  
 なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましいです。

その他

プロジェクターを用いて講義を行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	北村 三子	短国・短英1選	2

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したもののうち、代表的なものを取り上げて検討します。  
 ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、近代では周辺のだった教育思想や実践を検討します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによって評価します。

教科書

教場で指示。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	きたむらみつこ 北村三子	短国・短英1選	2

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代学校システムの特質……近代学校システムの成立とその特徴について論じます。
- ②近代学校システムを越えて……教育に関する具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価します。

参考書等

教場で指示

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはまきくこ 大浜幾久子	短国・短英1選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはまきくこ 大 浜 幾久子	短国・短英1選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省)  
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 [現代文化を考える]	お びよん さん 呉 炳 三	短国・短英選	4

講義のねらい

社会学は個人、集団、社会などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- (2)経済のグローバルイゼーションにともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- (3)社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー(社会的な性)」の問題を考える。
- (4)若者文化(ユース・カルチャー)が現代において果たす役割とは?など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のよように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

前・後期末に筆記試験を行う。詳細は開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』(学文社) 2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康 慈 <small>しんぎょうち こうじ</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1)統計学の概要 (2)度数分布表とヒストグラム (3)基本統計量  
(4)確率の定義 (5)場合の数 (6)和事象・積事象の確率  
(7)演習 (8)確率変数と確率分布 (9)平均・分散と期待値  
(10)確率変数と標準化 (11)正規分布表問題 (12)演習 (13)まとめ  
(後期) (14)母集団と標本 (15)点推定と区間推定  
(16・17)正規母集団の区間推定 (18)仮説検定  
(19・20)正規母集団の検定 (21)推定・検定の応用 (22)演習  
(23)散布図と相関係数 (24)回帰分析 (25)回帰分析の応用  
(26)まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

適時指定します。

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	鈴木 一 馨 <small>すずき いっけい</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」というものを、さまざまな方向から検討して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期にまず「文化」とそれを研究する「文化人類学」、また文化の共通性を帯びる「民族」について基礎的な知識を得た上で、コスモロジーとはどのようなものかを学ぶ。この基礎に立って、後期には、コスモロジーの具体的事例として「風水」の文化現象としてのあり方と、それが人類にとってどのような意味を持つのかを学んでいくことにする。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 第1部、「文化人類学」の基礎的知識  
(1~3)「文化」と「文化人類学」 (4~5)「民族」とはなにか  
第2部、民族とコスモロジー  
(6~7)「コスモロジー」とはなにか (8~12)さまざまなコスモロジー  
(後期) 第3部、「風水」のコスモロジーとひとびと  
(13~20)風水をつくる要素 (21~24)風水と人間社会

履修上の留意点

学生諸君が授業中の質問に答えたり、レポート提出などで見せる積極的な姿勢、そして社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をきちんとしないといけない。

成績評価の方法

出欠状況・期末試験・小テスト・受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門(増補改訂版)』(中公新書560) 800円  
国立歴史民俗博物館編『異界談義』(角川書店) 1,400円  
鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界』(講談社選書メチエ244) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	短国・短英選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教 科 書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参 考 書 等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法〔法と権利〕 (夏季集中)	ふじもと しげる 藤本 茂	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義は、法についての基礎的事項の学習や新聞などによる身近な法的問題の解説を通して、以下のことを学んでもらうことを目的としている。

- ・高校までの学習法とは違う、法学の学び方にふれてもらう。
- ・法学や法を学ぶうえで必要な基礎知識を身につけてもらう。
- ・我々と法との関わりを現代的問題を手がかりに学んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール

できるだけ具体的な問題・事例にふれながら、法に触れて感じてもらうことにつとめたいと思う。教科書を順次説明するという形式はとらない。もっぱら、プリントを配布するなどして授業を進める。

出席することが重要になる。

講義スケジュールについては、

- ・法的思考を形成する基本的な諸概念
- ・現代法にいたる法の発展（西欧近代法の形成をふくむ）の概観
- ・近現代法の原理の概観。特に憲法の諸原理
- ・基本的人権
- ・現代社会問題に対する法的視角からの検討 などなど

なお、これは予定であり、講義開始時にあらためて伝える。また受講者の反応に応じて、変更することがある。

履修上の留意点

講義中、質問は歓迎。私語はNO、携帯電話はOFF、内職はNO、用なく席を立つのはNOなど、授業でのマナー厳守のこと。

成績評価の方法

記述式試験。また、出席を重視する。レポート等を実施することもある。これらを総合して評価する。

教科書

伊藤正巳・加藤一郎編『新版現代法学入門』（有斐閣双書）。学習の道しるべとして大いに活用してもらいたい。また、講義で言及できない部分を教科書の記述に委ねることがある。そうした場合は口頭、板書で触れなかったことがらでも試験の範囲となりうると考えて欲しい。

参考書等

参考書として、たとえば、道垣内正人『自分で考えるちょっと違った法学入門』（有斐閣）、渡辺洋三『法とは何か』（岩波新書）。その他授業で、読んでほしい文献を紹介する。

その他

六法は、毎回使わないが、持参して授業に臨んでほしい。  
授業日程

前半						後半					
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
8月2日	月	○	○	○	○	8月20日	金				
8月3日	火	○	○	○	○	8月23日	月				
8月4日	水	○	○	○	○	8月24日	火				
8月5日	木	○	○	○	○	8月25日	水				
8月6日	金	○	○	○	○	8月26日	木				
8月9日	月	○	○	○	○	8月27日	金				

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 〔政治システムと政治参加〕	とみ さき たかし 富 崎 隆	短国・短英選	4

講義のねらい

「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがある。米同時多発テロを境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったとする論者は多い。しかし、世界政治の方向性がはっきりとしている訳ではない。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報が、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通している。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起こる事件の本当の意味は理解できない。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となる。政治学を学ぶ基本的な意義もここにある。

本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との連関を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための上台を提供したい。講義は、大きく「マクロ政治学」、「ミクロ政治学」、「国際政治学」3部に分かれる。講義全体として、特に現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとしていきたい。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化が現代政治と政治学にどのように影響を与えるかについても検討していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ政治学－国家と自由民主主義体制の枠組み－
  - 1. 政治・権力・国家の意味
  - 2. 望ましい「国家」のあり方（1）；国家の仕事の範囲
  - 3. 望ましい「国家」のあり方（2）；国家の運営方法
  - 4. 自由民主主義体制の意味
  - 5. 民主化と体制変動
  - 6. 自由民主主義体制の比較枠組み
- II ミクロ政治学－自由民主主義体制の作動メカニズム－
  - 1. 政党と政党制
  - 2. 有権者の投票行動と選挙
  - 3. 官僚制と議会
  - 4. 利益集団とマスメディア
  - 5. 中央地方関係
- III 国際政治学
  - 1. 国際政治の意味
  - 2. 国際政治の主要理論潮流
  - 3. 日本の外交政策
  - 4. 冷戦後の世界政治展開をみる新視点

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価する。

教科書

青木・大谷・中郎編『国家のゆくえ－21世紀世界の座標軸－』（芦書房）2001年

参考書等

適時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 〔現代経済理解へのガイド〕	はし 橋 もと 本 ひろ 泰 あき 明	短国・短英選	4

講義のねらい

経済学的なものの見方、考え方を修得することを目標とする。より具体的には、前期では、日本経済の現状を念頭におきつつ、一国の国民の所得や労働環境の決まり方を理論的に把握し、後期では、消費者と生産者の経済的行動が、ものの価格の決定にどう作用するのかを理解することを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：日本経済の概観 経済循環 国民所得 消費・貯蓄 国民所得の決定要因の分析 物価  
為替変動と国民所得  
後期：需要と供給 無差別曲線 所得の制約 需要量の決定 生産曲線 費用曲線 限界費用  
曲線 利潤最大化 供給量の決定 市場による価格決定 余剰概念 市場の効率性

履修上の留意点

さまざまな経済政策の背後にある理論の基礎を理解することが目標であるので、かなりの出席率を確保し、しかも授業中に脳細胞を働かせて思考し、論理展開を十分理解することが大切である。いったん考え方をマスターしてしまえば、かなりの応用が利き、試験のための丸暗記は不要になるであろう。

成績評価の方法

前期と後期の二回の筆記テストおよび授業中に課せられる小レポートによる。なお再試験は実施しない。

教 科 書

小野編著『現代経済学の基礎』（学文社）3,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	短国・短英選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホップスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても時折とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しません。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）  
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）  
城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）  
大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）



科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	柳 堀 素雅子 <small>やなぎ ぼり すがこ</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

死の問題をさまざまな視点から考えていく。病気による死、殺人による死、事故による死、戦争による死、自殺死など死の原因はさまざまである。いずれにしても「人間の死」には変わらないが、死んでいく本人、そして遺族をはじめとする周囲の人々に与える影響は異なってくる。

現在のところ「デス・エデュケーション」あるいは「死生学」という形で、これらを総合的に取り扱っている文献はほとんど見あたらないが、講義の中ではこれらの死を総合的に取り扱う予定である。あらゆる分野、多くのパースペクティブを必要とする内容なので、読書力、思考力、創造力、分析力などを働かせて、真剣に取り組んでもらいたい。人間の死を考えるには、それだけの人格を備えている必要があります。

講義の内容・授業スケジュール

- ①先端医療と死の問題—生命倫理の視点から取り扱う。医療の進歩と患者の人権。
  - ②戦争と死の問題—平和とは何か。核と人類。ヒロシマ、ナガサキ、沖縄、アウシュヴィッツ
  - ③環境倫理と死の問題—水俣病と公害問題。レイチェル・カーソンの警告。環境ホルモン。遺伝子組み換え食品の問題等。
  - ④自殺と死の問題—自殺者の心理と自殺防止の問題。遺族の気持ちとグリーフケア
  - ⑤犯罪事件と死の問題—犯罪者の分析。犯罪被害者および遺族のケア、犯罪防止の問題。
- ①～⑤のテーマをすべて取り扱うとは限らないが、講義のはじめに参加者と協議の上決めていく。

履修上の留意点

授業中に何回もレポートを提出してもらうので、講義に出席する意欲のない人は履修しないほしい。

成績評価の方法

レポートの提出状況と出席状況など総合的に評価する。

参考書等

講義中にその都度お知らせします。

その他

ビデオ、OHP も使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 心 理 〔大学生の心理教育臨床心理学の立場から〕	野 中 弘 敏 <small>の なか ひろ とし</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことです。そして様々なきざつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・  
授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理－社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参 考 書 等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	清水善和 <small>しみず よしかず</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超えるシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
  - (1) 生命の歴史性
  - (2) 遺伝子と生命現象
  - (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
  - (1) 地質年代図
  - (2) マーグリスの共生説
  - (3) カンブリアの爆発
  - (4) 大量絶滅
  - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
  - (1) リンネ式分類体系
  - (2) 生物五界説
  - (3) 種の定義と属性
  - (4) 分子時計
  - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
  - (1) 動物行動学の歩み
  - (2) 適応度とゲーム理論
  - (3) 性選択と性比
  - (4) 利他的行動と血縁淘汰
  - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生態学－産めよ殖えよ地に満てよ
  - (1) 潜在的な増殖率
  - (2) 密度効果とr-K戦略
  - (3) 食う・食われる関係
  - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
  - (1) 種間関係（共生と寄生）
  - (2) 花と昆虫の共進化
  - (3) 菌根
  - (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
  - (1) 霊長類の系統
  - (2) ヒトの発展段階
  - (3) ホミニゼーション（ヒト化）
  - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
  - (1) ダーウィン以前
  - (2) ダーウィン進化論
  - (3) ネオ・ダーウィニズム
  - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
  - (1) 生態系（エコ・システム）
  - (2) 食物連鎖と生物濃縮

- (3) 光合成と呼吸
- (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
  - (1) 物質循環の大原則
  - (2) 水の循環
  - (3) 炭素の循環
  - (4) 窒素の循環
  - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
  - (1) 遷移のモデル
  - (2) 遷移の実例
  - (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
  - (1) 3つの多様性
  - (2) 多様性の尺度
  - (3) 生物地理区と植生帯
  - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
  - (1) 里山の生物
  - (2) 都市と生物
  - (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート、試験、出席を勘案して評価する。

教科書

受講者には清水が執筆した web 版教科書（無料ダウンロード可）を紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔地球環境の現在・過去・未来〕	やま がた たけし 山 縣 毅	短国・短英選	4

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
  - ・関東平野の断層と地震
  - ・房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
  - ・伊豆大島、箱根の火山活動
  - ・関東山地の地質
  - ・関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

期末試験で評価いたします。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

『最新 図表地学』（浜島書店）ISBN 4 - 8343 - 4002 - 3 C7344

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	もち丸真里	短国・短英選	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。また、これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 生態系の成り立ち (2・3) 生物とは何か (4・5) 生命の誕生と地球環境 (6・7) 地球温暖化 (8・9) 生態系内の物質循環 (10) 生産者の働きと生態系 (11・12) 森林破壊 (13) 前期まとめ  
(後期) (14・15) 生態系の浄化作用 (16～18) 化学物質による生態系汚染 (19・20) ダイオキシン問題 (21・22) 環境ホルモン (23) オゾン層破壊 (24・25) 近代農業の問題 (26) まとめ

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めて行く。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）1,500円  
その他、講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕(夏季集中)	やまがた 山 縣 毅	短国・短英選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化  
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害  
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価します。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○	○	○	8月20日	金					
8月3日	火	○	○	○	○	○	8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○	○	○	8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○	○	○	8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○	○	○	8月26日	木					
8月7日	土	○	○	○	○	○	8月27日	金	△	△	△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水 善和・篠原 正雄 持丸 真里・山縣 毅	短国・短英選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
- (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）

第2講 地球の地殻変動と災害 山縣 毅

- (1) 地球のシステム（地球内部・表層での現象）
- (2) 地震のメカニズムと災害
- (3) 火山活動のメカニズムと災害

第3講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）

第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真里

- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
- (2) エネルギー消費と「豊かさ」
- (3) 化石燃料の化学
- (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
- (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (1) 〔微積分学入門〕	お <small>さわ</small> 沢 <small>まこと</small> 誠	短国・短英選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、関数の極限と導関数・いろいろな関数の導関数・関数の変動・いろいろな応用を、後期に、定積分と不定積分・積分の計算・面積・曲線の長さ・体積・いろいろな応用を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

『新訂 微積分 I』(大日本図書) 1,524円

参考書等

適宜紹介する。

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (2) 〔線形代数学入門〕	お <small>さわ</small> 沢 <small>まこと</small> 誠	短国・短英選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、平面のベクトル・空間のベクトル・行列・連立1次方程式と行列を、後期に、行列式の定義と性質・行列式の応用・線形変換・固有値とその応用を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

『新訂 線形代数』(大日本図書) 1,619円

参考書等

適宜紹介する。

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (3) 〔現代数学入門〕	ふくだけんいち 福田賢一	短国・短英選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計る。情報基礎数理、経済数理に力点を置き、実践な応用力の養成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期：論理の基礎、論理と言語、情報理論と数理、論理回路、線型代数とその応用、  
後期：線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、数値解析とその応用

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要がある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

必要となり次第指示する。

その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的にを行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	うえはらりゅうへい 上原隆平	短国・短英選	4

講義のねらい

形式言語理論、中でも特にオートマトン理論を学ぶ。オートマトンとは「状態を持った機械」をモデル化したもので、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものと同等である。情報科学や言語理論における基礎的分野である。

講義の内容・授業スケジュール

まず始めに基礎的な数学を学ぶ。次に形式言語理論の初歩的な知識を学び、形式的な記述に慣れる。そしてオートマトン理論に的を絞り、現実の問題がどのようにオートマトンとしてモデル化されるかを学ぶ。そしてオートマトンで表現できるものと、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものが同等であることを学ぶ。本授業の中では実際のプログラミングは行なわない。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

J. ホップクロフト、R. モトワニ、J. ウルマン共著、野崎昭弘、高橋正子、町田元、山崎秀記共訳『オートマトン 言語理論 計算論 I [第2版]』(サイエンス社) 2,800円 (2003年発売の[第2版]であることに注意)

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	しのはらまさお 篠原正雄	短国・短英選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即ち波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円  
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにはほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
化 学 〔衣食住の化学〕	もち まる まり 持 丸 真 里	短国・短英選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2・3) 物質の成り立ち (4) 水の性質 (5~7) 有機化学の基礎 (8・9) 合成繊維 (10) 染料 (11・12) 合成洗剤と水質汚濁 (13) 前期まとめ  
後期 (14・15) タンパク質 (16・17) 遺伝子 (18) 遺伝子情報の社会への影響 (19・20) 遺伝子組み換え食品 (21) 食品の安全性 (22) 住環境の化学物質汚染 (23) まとめ

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宇 宙 科 学 〔星と銀河〕	しの ほら まさ お 篠 原 正 雄	短国・短英選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返し、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。  
太陽： 構造 エネルギー源  
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源  
後期は銀河をとりあげます。  
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域  
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造  
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お ざわ まこと 小 沢 誠	短国・短英選	2

講義のねらい	HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。
履修上の留意点	毎回出席すること。
成績評価の方法	レポートで評価する。HTML・CSS・内容の3点を重視する。
教科書	HTML4.01Specification ( <a href="http://www.w3.org/TR/html4/">http://www.w3.org/TR/html4/</a> ), Cascading Style Sheets, level2 ( <a href="http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/">http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/</a> )
参考書等	The World Wide Web Consortium ( <a href="http://www.w3.org/">http://www.w3.org/</a> )
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(2)(7) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やまもと ひろのぶ 山本博信	短国・短英選	2

講義のねらい

この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーションの利用法を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、パソコンの操作だけでなく、練習問題や演習問題などを含みます。

前期では、特にキータッチの基本、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールやWWWブラウザの基本を取り上げます。これらのアプリケーションソフトを活用しながら、基本ソフトを操作すれば、Windows デスクトップを作業場とみなすことができるようになります。後期には特に文書によるコミュニケーションおよび表計算ソフトを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1・2) 基本ソフトの基礎
- (3・4) キータッチの基本
- (5) ActiveMail を用いたメールの操作、パスワードの変更、日本語入力・メールの送受信
- (6～7) ワープロソフトと日本語変換 (8～10) ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷
- (11～12) WWW ブラウザを用いたホームページの閲覧、レポート作成
- (13) 総合演習

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとします。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポート、授業の最終回で行う実技試験によって行います。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習が多いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お 小 川 けんじろう 健次郎	短国・短英選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕 (前期)	さわぐち たかし 澤 口 隆	短国・短英選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。  
 本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。  
 その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教 科 書

使用しない。適宜資料を配付する。

参 考 書 等

同上

そ の 他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎(10)(23)(24) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	うえ ほん りゅう へい 上 原 隆 平	短国・短英選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやったらいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

村井純著『インターネット』（岩波新書416）630円および村井純著『インターネットⅡ』（岩波新書571）640円

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(11)(15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	もと き みつ お 雄 元 木 光 雄	短国・短英選	2

**講義のねらい** コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

**講義の内容・授業スケジュール** コンピュータの動作原理、特に OS の役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWW などのサービスをとりあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

**履修上の留意点** 予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

**成績評価の方法** 評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

**参考書等** 参考書は必要に応じて紹介する予定である。

**その他** 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(11)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○				8月20日	金						
8月3日	火	○	○	○				8月23日	月						
8月4日	水	○	○	○				8月24日	火						
8月5日	木	○	○	○				8月25日	水						
8月6日	金	○	○	○				8月26日	木						
8月9日	月							8月27日	金						

コンピュータ基礎(15)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月							8月20日	金						
8月3日	火				○	○	○	8月23日	月						
8月4日	水				○	○	○	8月24日	火						
8月5日	木				○	○	○	8月25日	水						
8月6日	金				○	○	○	8月26日	木						
8月9日	月				○	○	○	8月27日	金						

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	お ざ わ ま こと 小 沢 誠	短国・短英選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教 科 書

HTML4.01Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参 考 書 等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(12)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○			8月20日	金					
8月3日	火	○	○	○			8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○			8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○			8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○			8月26日	木					
8月9日	月	△	△	△			8月27日	金					

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもとひろのぶ 山本博信	短国・短英選	2

講義のねらい

コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・  
授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成してWebページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場(業務)ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でもとても大事なものです。ここでは特に描き方(ビジュアル表現)についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
  - ・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
  - ・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTML ファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって行います。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。

授業日程

コンピュータ基礎(13)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○			8月20日	金					
8月3日	火	△	△	△			8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○			8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○			8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○			8月26日	木					
8月9日	月	○	○	○			8月27日	金					

△は予備日

コンピュータ基礎(17)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日	月						8月20日	金	○	○	○		
8月3日	火						8月23日	月	○	○	○		
8月4日	水						8月24日	火	△	△	△		
8月5日	木						8月25日	水	○	○	○		
8月6日	金						8月26日	木	○	○	○		
8月9日	月						8月27日	金	○	○	○		

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(14)(18) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	なが さか ひろ ふみ 長 坂 浩 史	短国・短英選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Webページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン(OSはWindows)を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excelによる表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用(電子メール、WWW)等を一通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料はWebページの体裁で作成してもらうので、HTMLの入門等、Webページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。  
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。  
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持ってほしい。そうでなければ、初日・2日目はフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。  
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っていよい。

教科書

使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(14)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○				8月20日	金						
8月3日	火	○	○	○				8月23日	月						
8月4日	水	△	△	△				8月24日	火						
8月5日	木	○	○	○				8月25日	水						
8月6日	金	○	○	○				8月26日	木						
8月9日	月	○	○	○				8月27日	金						

△は予備日

コンピュータ基礎(18)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月				○	○	○	8月20日	金						
8月3日	火				○	○	○	8月23日	月						
8月4日	水				△	△	△	8月24日	火						
8月5日	木				○	○	○	8月25日	水						
8月6日	金				○	○	○	8月26日	木						
8月9日	月				○	○	○	8月27日	金						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎(19)(21) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	さわぐち たかし 澤 口 隆	短国・短英選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。  
その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。  
Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(19)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月							8月20日	金	○	○	○			
8月3日	火							8月23日	月	○	○	○			
8月4日	水							8月24日	火	○	○	○			
8月5日	木							8月25日	水	○	○	○			
8月6日	金							8月26日	木	○	○	○			
8月9日	月							8月27日	金	△	△	△			

△は予備日

コンピュータ基礎(21)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月							8月20日	金				○	○	○
8月3日	火							8月23日	月				○	○	○
8月4日	水							8月24日	火				○	○	○
8月5日	木							8月25日	水				○	○	○
8月6日	金							8月26日	木				○	○	○
8月9日	月							8月27日	金				△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎(16)(20)(22) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	小 川 健次郎 <small>お がわ けんじろう</small>	短国・短英選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールや WWW などのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってよいのか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。  
なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(16)

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○			8月20日	金					
8月3日	火	○	○	○			8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○			8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○			8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○			8月26日	木					
8月9日	月	△	△	△			8月27日	金					

△は予備日

コンピュータ基礎(20)

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月2日	月			○	○	○	8月20日	金					
8月3日	火			○	○	○	8月23日	月					
8月4日	水			○	○	○	8月24日	火					
8月5日	木			○	○	○	8月25日	水					
8月6日	金			○	○	○	8月26日	木					
8月9日	月			△	△	△	8月27日	金					

△は予備日

コンピュータ基礎(22)

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月2日	月						8月20日	金	○	○	○		
8月3日	火						8月23日	月	○	○	○		
8月4日	水						8月24日	火	○	○	○		
8月5日	木						8月25日	水	○	○	○		
8月6日	金						8月26日	木	○	○	○		
8月9日	月						8月27日	金	△	△	△		

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	うえ はら りゅう へい 上 原 隆 平	短国・短英選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。

講義の内容・  
授業スケジュール

まずはじめに、コンピュータの動作原理を簡単に学ぶ。そしてコンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねることで、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を、目的に応じて組み合わせることが必要になる。これをプログラミングとよぶ。いくつかの問題に対して、プログラムを作成する。同じ問題に対していくつかの解決方法があることを知り、これらの解決方法の「比較」を通じて「効率のよいプログラム」とは何かを学ぶ。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は仮定しない。しかし授業に必要な資料はWWWを通じて配布するので、必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識（関数logなど）が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

山崎秀記『Delphiによるプログラミング入門』（培風館）2,000円

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学(1)(2) 〔人類の進化〕	えん どう ばん り 遠 藤 萬 里	短国・短英選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体のさまざまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であまり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教科書

遠藤萬里編『人類生物学入門』（てらべいあ）

参考書等

進化については 遠藤萬里『人類学百話一話』（てらべいあ）2,000円、アンドリュース・ストリンガーイラスト・ガイド『私たちヒトの進化』（てらべいあ）2,400円 他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

その他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。



科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	高橋 良博 <small>たか 橋 よし ひろ</small>	短国・短英選	4

- 講義のねらい** 基礎的な心理学の概論を学ぶ人を対象にして、日常的な問題に即しながら、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。  
特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間の行動生物学的研究や、環境心理学的研究などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。  
また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の人間行動に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。
- 成績評価の方法** 筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。
- 教科書** 講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学〔心を科学する〕 (夏季集中)	堀内 正彦 <small>ほり うち まさ ひこ</small>	短国・短英選	4

- 講義のねらい** 人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。
- 講義の内容・授業スケジュール** 心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。
- 履修上の留意点** この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。  
① 私語は厳禁である。  
② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。  
③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

- 成績評価の方法** 試験の結果を重視する。
- 教科書** 特に指定しない。
- 参考書等** 講義の中で紹介する。
- その他** 授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○	○	○		8月20日	金						
8月3日	火	○	○	○	○	○		8月23日	月						
8月4日	水	○	○	○	○	○		8月24日	火						
8月5日	木	○	○	○	○	○		8月25日	水						
8月6日	金	○	○	○	○	○		8月26日	木						
8月9日	月	○	○	○	○	○		8月27日	金	△	△				

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (1) 〔仏教と自然〕	よつや こう とう 四津谷 孝 道	短国・短英選	4

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、いくつかの具体的テーマに焦点をしばって、仏教と自然に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、本講座において扱うところの「仏教」並びに「自然」というものについて明確な説明を加える。

それを前提にして、「仏教と肉食主義」というテーマを、インド思想全体の関連の中で検討する。もう一つのテーマは「仏教と医学」である。このテーマの下に、特にインド・チベットの伝統医学の中にその自然観・人間観を探ってみる。

履修上の留意点

外国語の文献を扱うことが多いので、受講生は英語、ドイツ語、フランス語のある程度の語学力を有することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

参考書等

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

その他

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (2) 〔仏教と社会〕	くま もと えい にん 熊 本 英 人	短国・短英選	4

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。

仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教への期待、社会の現実などをみていくことで、現代への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	短国・短英選	4

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

講義の内容・授業スケジュール

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

GRADING, AGAIN: Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

Textbook and materials: We will probably use *Social Practices*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おかざきとしいちろう 岡崎 寿一郎	短国・短英選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (3) 〔中国語圏文化の諸相〕	いわさき ひろし 岩崎 皇	短国・短英選	4

講義のねらい 同い漢字文化圏の国として、中国の、漢字に関する言語政策を紹介します。

講義の内容・授業スケジュール 文字改革と80年以降の情報化社会に対応する政策を中心に解説します。

成績評価の方法 出席及び授業態度で判断します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし あきと 林 明人	短国・短英選	4

講義の内容・授業スケジュール 現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード (abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等) を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法 前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書 プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (2) 〔米国シアトルNPOの経営研究〕	にしむら ゆうこ 西村 祐子	短国・短英選	4

講義のねらい アメリカのNPO, NGO (非営利組織) は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれるが、なかでもまちづくり (コミュニティビルディング) において市民と自治体の協同がとりわけて盛んでユニークな発展を続けているワシントン州、シアトル市の事例をとりあげてみる。さらに日本におけるまちづくりのありかたとの比較を行う。

講義の内容・授業スケジュール 授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。

アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い  
コミュニティ・ビルディングとまちづくり  
シアトルのまちづくり  
シアトル・アジア系住民のまちづくり  
自治体とNPOの協同について  
日本のまちづくりとシアトル

成績評価の方法 平常点 (出席率、レポート内容) 重視。

教科書 教場にて指定。

参考書等 教場にて指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	丸小哲雄	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、受講生の既成概念に対して挑発することで、既視感に対して違和感を抱くように講義します。それを念頭において、近代化の啓蒙思想を批判し、それを乗り越えるための主体性としての自己組織の確立を目指すことにあります。ポストモダン概念を整理し、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うための批判の方法によって権力の座(特権化された場所)を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史の思想を批判すること(帝国主義と植民地化に対する批判)にあります。そのために「大きな物語」の終息後に、どのようにして世界を再構築していくかが現代的な問題となります。

本講義においては、基本的に、近代の思想を担った思想家たちをモデルにして、その論理的枠組み、哲学・宗教の思想的な特徴、経済・政治におけるメカニズムと思想史的特徴などのさまざまなキーワードを手がかりにして、近代思想の根拠を跡づけて、ポストモダンの現象と批判的立場を明確化していきます。前期では、近代建築史、広告批評史、エロスの解放問題、ファッション・モードの変遷、映画の変遷過程の特徴、文学と文学理論の特徴、近代を乗り越える根拠を原理的に見出すように講義していきます。従って、受講生がどのようにして主体性を形成するかが受講生の課題となります。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んで、前期と後期にレポートを作成します。講義の骨子は以下の通りです。

1. 「モダン」の定義とポストモダンの特質について
2. 近代言語観の変遷について
3. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックスについて
4. 近代における人間観、宇宙観、社会観の変遷について
5. 西洋の理性批判(啓蒙思想批判)について
  - 1) ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス、ショーペンハウエル、
  - 2) ニーチェとハイデガー 3) マック・ヴェーバー 4) ミュシェル・フーコー
6. トランスモダン  
横断的近代：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョナル意識との対抗性について
7. レビュー：冷戦後における自己組織と反省的人間の特質について

成績評価の方法

出席、前期・後期の読書レポート(リストから選択)、ターム・ペーパー作成などの総合評価。

教科書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

参考書等

リーディング・リスト配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (1) 〔民族とは何か〕	おお の 野 祐 二	短国・短英選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教 科 書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参 考 書 等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)  
吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)  
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (2) 〔イスラム〕	よし た きょう こ 吉 田 京 子	短国・短英選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを中心に講義を行う。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点に注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期を通じ、イスラームの信仰の核である、クルアーン、預言者ムハンマド、イスラーム法学、イスラーム神学、歴史的分派、スーフイズム等々の思想トピックごとに概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不適当である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率、提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教 科 書

特になし

参 考 書 等

授業中紹介

そ の 他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (3) [フェミニズム・ジェンダー]	はやかわ のりよ 早 川 紀 代	短国・短英選	4

講義のねらい

この世の中はあたり前のことだけでも、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっている。この両性の関係はどんな風に私たちの社会の中で構成されているだろうか。それをつぎの分野でみなさんとともに考えます。私たちはどんな両性関係を望んでいるのか。私たちが理想とする両性関係を創造するには、どんなことが必要か、みなさんと考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- a. ジェンダーってなに？  
フェミニズムやジェンダーという考え方が誕生した歴史背景と私たちがもっているジェンダー観を考えます。
- b. セクシュアリティとジェンダー  
性同一性障害、ドメスティックバイオレンス、ホモセクシュアルとヘテロセクシュアル、生殖技術の発展と人間の歴史などを考えます。

後期

- c. 家族の過去、現在、未来  
日本の家族の歴史をふり返りながら、みなさんが生まれ、現在にいたるまでの間に、どんな風に家族の機能や形、人間関係、家族観が変わったか、今後の家族のあり方をさぐります。
- d. 労働とジェンダー  
2003年10月の新卒の就職率は60パーセント。企業の雇用戦略が変貌する過程で男女の配置はどうなっているのか。男女がともに家族と労働の生活をおくるには何が必要か、考えます。

成績評価の方法

- 前期 夏休みに課題のレポートをまとめ提出する。  
後期 論述式試験。

そ の 他

随時、感想文などを提出してもらおう。なるべくみなさんの間で意志交換できるようにする。資料を随時配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VII (1) 〔トラブルと法的解決〕	<small>ふじもと</small> 藤本 <small>しげる</small> 茂 <small>あうき</small> 荒木 <small>まさたか</small> 正孝 <small>たけなか</small> 竹中 <small>ちか</small> 智香 <small>はらだ</small> 原田啓一郎 <small>ひな</small> 日笠 <small>かんじ</small> 完治 <small>やぶくち</small> 山口 <small>くにや</small> 邦夫	短国・短英選	4

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- |   |       |                  |
|---|-------|------------------|
| 1 | 日笠 完治 | トラブルを憲法的観点から考える  |
| 2 | 山口 邦夫 | 刑事事件と法定手続        |
| 3 | 竹中 智香 | 変化する市民生活と民法      |
| 4 | 荒木 正孝 | 現代社会と商法          |
| 5 | 藤本 茂  | 現代雇用社会と労働法       |
| 6 | 原田啓一郎 | 大学生活と社会保障の法的トラブル |

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

追・再試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。六法は毎回忘れずに、持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VII 〔都市論〕 (2)	早川純貴・浦田早苗 品田知美・坂井文 保坂尚郎	短国・短英選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。過密化と空洞化、住宅難、犯罪、失業と貧困、ホームレス、ゴミ問題、再開発、あるいは国際化と多文化主義。しかしこれらは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学や建築学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は5名の講師により、各々4～6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。

早川純貴『都市論』のガイダンス (1回/4月)

品田知美「都市の変容と生活様式」(6回/4・5月) ——都市には、多くの人々が集う場として独特の生活様式が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を、主に2つの視点から振り返る。①環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するのか。②家族：都市はいつも新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるのか。2つの視点を、生活様式というキーワードで結びながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。

保坂尚郎「都市と労働」(6回/6・7月) ——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の整備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と、駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。

坂井文「都市オープンスペースの公共性」(4回/9月・10月) ——公共性の概念は、時代・文化とともに変容していく。本講座は、都市施設の一要素である都市オープンスペース整備の政策に注目しながら、その公共性のあり方について考察することを目的とする。具体的には、ロンドンと東京の歴史的な都市オープンスペースの概念の形成について考察したうえで、現在の政策について検証する。

早川純貴「『まちづくり』と住民参加」(4回/10・11月) ——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」(4回/11・12月) ——イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、住居などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。もちろん学生諸君が「都市」に居住しているかどうかは問わない。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。



### 3. 外国語科目

外国語

### 3 . 外国語科目

#### [ 英語 ]

英語 I (短国) 〈照山 雄彦〉	87
英語 I (短国) 〈大 瀨 利 春〉	87
英語 I (短国) 〈藤 島 喬 樹〉	88
英語 I (短英) 〈大 瀨 利 春〉	88
英語 I (短英) 〈澤 田 真 弓〉	89
英語 I (短英) 〈藤 島 喬 樹〉	89

#### [ ドイツ語 ]

ドイツ語 I (短国・短英) 〈井 村 行 子〉	90
--------------------------	----

#### [ フランス語 ]

フランス語 I (短国・短英) 〈竹 田 正 純〉	91
---------------------------	----

#### [ 中国語 ]

中国語 I (短国・短英) 〈宮 本 厚 子〉	92
-------------------------	----

#### [ スペイン語 ]

スペイン語 I (短国・短英) 〈上 野 勝 広〉	93
---------------------------	----

#### 《再履修クラス》

英語 I [再クラス] (短英) 〈西 原 克 政〉	94
ドイツ語 I [再クラス] (短英) 〈杉 本 正 俊〉	94
フランス語 I [再クラス] (短英) 〈谷 川 かおる〉	95
中国語 I [再クラス] (短英) 〈蘭 明〉	95
スペイン語 I [再クラス] (短英) 〈佐 藤 麻里乃〉	95

## 《 選 択 科 目 》

英 文 講 読	(短国・短英)	〈林 明 人〉	96
英 文 講 読	(短国・短英)	〈矢 島 直 子〉	96
英 文 講 読	(短国・短英)	〈牧 野 輝 良〉	96
時 事 英 語 研 究	(短国・短英)	〈竹 村 恵 都 子〉	97
時 事 英 語 研 究	(短国・短英)	〈林 明 人〉	97
時 事 英 語 研 究	(短国・短英)	〈岸 本 茂 和〉	97
時 事 英 語 研 究	(短国・短英)	〈丹 治 弘 昌〉	98
時 事 英 語 研 究	(短国・短英)	〈矢 島 直 子〉	98
マルチ・メディア	(短国・短英)	〈大 庭 直 樹〉	99
マルチ・メディア	(短国・短英)	〈落 合 和 昭〉	100
マルチ・メディア	(短国・短英)	〈西 村 祐 子〉	100
英 会 話 II	(短国・短英)	〈ジトウィッツ, P. D.〉	101
英 会 話 II	(短国・短英)	〈プラスキー, J. C.〉	101
英 会 話 II	—夏季集中— (短国・短英)	〈ピアス, D. M.〉	102
英 会 話 III	(短国・短英)	〈ウエルズ, J. K.〉	103
英 会 話 III	(短国・短英)	〈ラージ, R.〉	104
英 会 話 III	—夏季集中— (短国・短英)	〈レーン, C. M.〉	105
英 語 L L II	(短国・短英)	〈太 田 雅 子〉	106
英 語 L L II	(短国・短英)	〈外 池 一 子〉	106
英 語 L L II	(短国・短英)	〈西 村 祐 子〉	107
英 語 L L III	(短国・短英)	〈レーン, C. M.〉	108
英 語 L L III	(短国・短英)	〈久 保 ひ さ 子〉	109
英 語 L L III	(短国・短英)	〈西 村 祐 子〉	109
英 語 II	(短国)	〈伊 藤 幸 一〉	110
英 語 II	(短英)	〈丹 治 弘 昌〉	110
ドイツ語 I A (選)	(短国・短英)	〈五十嵐 信 子〉	111
ドイツ語 I B (選)	(短国・短英)	〈野 島 利 彰〉	111
ドイツ語 II (選)	(短国・短英)	〈松 岡 晋〉	112
フランス語 I A (選)	(短国・短英)	〈井 田 清 子〉	112
フランス語 I A (選)	(短国・短英)	〈伊 藤 な お〉	112
フランス語 I B (選)	(短国・短英)	〈大 野 英 士〉	113
フランス語 I B (選)	(短国・短英)	〈菅 原 猛〉	113
フランス語 II (選)	(短国・短英)	〈桑 田 禮 彰〉	114
中国語 I A (選)	(短国・短英)	〈釜 屋 修 修〉	114
中国語 I A (選)	(短国・短英)	〈宮 本 厚 子〉	114
中国語 I B (選)	(短国・短英)	〈蘭 明〉	115
中国語 II (選)	(短国・短英)	〈松 本 丁 俊〉	115
スペイン語 I A (選)	(短国・短英)	〈宮 地 達 郎〉	115
スペイン語 I B (選)	(短国・短英)	〈亀 山 晃 一〉	116
スペイン語 II (選)	(短国・短英)	〈荻 野 雅 司〉	116
ロシア語 I A (選)	(短国)	〈クロチコフ, Y.〉	117
ロシア語 I B (選)	(短国)	〈木 村 英 明〉	117

# 〔英 語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	<small>てる やま ゆう ひこ</small> 照 山 雄 彦	短国1選	2

## 講義のねらい

これまで学んで身につけた英語の力を基礎にして身の回りの事柄を話したり、書いたりできるように練習します。

## 講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法事項について練習した上で多様な基本表現の習得をする。

## 履修上の留意点

予習を必ずしてくること。

## 成績評価の方法

毎回初めに行う小テスト、授業の態度を考慮にして総合的に行う。

## 教科書

照山雄彦著『総合英語』（上武出版、印刷）

## 参考書等

その都度必要に応じて紹介する。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	<small>おお ぶち とし はる</small> 大 淵 利 春	短国1選	2

## 講義のねらい

平易な英語を聞き取り、読解する能力をつけることを目指す。

## 講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に進めますが、プリントも適時使用します。

## 履修上の留意点

毎回予習を行い、辞書を必ず携帯して下さい。

## 成績評価の方法

平常点50%、前、後期試験50%で評価します。平常点は出席率、発表の内容などから総合的に評価します。

## 教科書

*Broadening Your Cultural Horizons*（成美堂）1,700円



外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	藤島喬樹 <small>ふじしま たかき</small>	短国1選	2

履修上の留意点

年間二十数回の授業枠でやれることは限られるかも知れないが、再三ご承知のとおり〈語学は習うより慣れろ〉。教わることはその一部に過ぎず、実際血となり肉となるようモノにしてゆくにはやはり当人の普段からの不断的努力の積み重ねが必要。そこを十分に踏まえ、真剣に取り組んで頂きたい。必ず予習をしてくる事を前提に授業を進める。

成績評価の方法

平常点（出席、発表、小テスト）並びに、前・後期両定期試験等を総合し、年間単位で最終的に評価を出す。

尚、欠席回数が全授業数の1/3を割ればここでもう DROP OUT。また好成绩を取得するなら、当然、それなりの努力と成果を達成する事が絶対条件。

（欠席1回につき、年間総合点より3点減点、遅刻1回につき2点減点する。）

履修上の注意項目を以下に記す。

1. 年間全授業回数の中の少なくとも2/3以上の出席回数が不可欠。但し出席回数充足が即単位認定を意味するわけではない。
2. くれぐれも集合時間厳守で出席の事。遅刻は授業進行に最も支障を来すから。
3. 授業各回前半に施行する小テストは授業開始と同時に実施するので、遅刻や欠席のゴマかしは絶対にきかない。

教科書

本教材と副教材を併用する。具体的には追って指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	大淵利春 <small>おおぶち としはる</small>	短英1年 短英1選	2

講義のねらい

平易な英語を聞き取り、読解する能力をつけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト中心に進めますが、適時プリントも使用します。

履修上の留意点

毎回予習を必ず行うこと。また、辞書を必ず携帯すること。

成績評価の方法

平常点50%、前・後期試験50%で評価します。平常点は出席率、発表の内容などから総合的に評価します。

教科書

*Broadening Your Cultural Horizons* (成美堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	さわ だ ま ひろ 澤 田 真 弓	短英1年 短英1選	2

講義のねらい

英語で書かれた簡単な作品を1年間かけて精読します。文法事項について確認しながら、内容を理解する能力を養っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業では毎回担当者を決めて音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうことになるので、予習が必要となります。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。単語の意味調べは必ずしておくこと。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前期後期の試験の結果を総合的に判断して評価します。

教科書

Terry O'Brien 著『*Bridge to College English*——文法中心の大学英語』（南雲堂）1,600円  
ISBN4-523-17420-2 C0082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	ふじ しま たか き 藤 島 喬 樹	短英1年 短英1選	2

履修上の留意点

年間二十数回の授業枠でやれることは限られるかも知れないが、再三ご承知のとおり（語学は習うより慣れろ）。教わる事はその一部に過ぎず、実際血となり肉となるようモノにしてゆくにはやはり当人の普段からの不断的努力の積み重ねが必要。そこを十分に踏まえ、真剣に取り組んで頂きたい。必ず予習をしてくる事を前提に授業を進める。

成績評価の方法

平常点（出席、発表、小テスト）並びに、前・後期両定期試験等を総合し、年間単位で最終的に評価を出す。

尚、欠席回数が全授業数の1/3を割ればそこでもう DROP OUT。また好成绩を取得するなら、当然、それなりの努力と成果を達成する事が絶対条件。

（欠席1回につき、年間総合点より3点減点、遅刻1回につき2点減点する。）

履修上の注意事項を以下に記す。

1. 年間全授業回数の中の少なくとも2/3以上の出席回数が不可欠。但し出席回数充足が即単位認定を意味するわけではない。
2. くれぐれも集合時間厳守で出席の事。遅刻は授業進行に最も支障を来すから。
3. 授業各回前半に施行する小テストは授業開始と同時に実施するので、遅刻や欠席のゴマかしは絶対にきかない。

教科書

本教材と副教材を併用する。具体的には追って指示する。

## [ドイツ語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	井 村 行 子 <small>いむら ゆきこ</small>	短英1年 短国・短英1選	2

### 外国語

講義のねらい

ドイツ語の基礎を身につけることを目標にします。

講義の内容・  
授業スケジュール

簡単なテキストを読みながら、文法事項の説明や練習を行います。できるだけ口頭演習の機会を多くしたいと思います。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教 科 書

未定

## [フランス語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I	たけだまさずみ 竹田正純	短英1年 短国・短英1選	2

### 講義のねらい

初歩的なフランス語の規則を、読む・書く・話すをとおして学んでいく。

### 履修上の留意点

毎授業小テストをおこなうので、休まないこと。

### 成績評価の方法

上記小テストのほか、前後期2度の試験をもとに評価する。

### 教 科 書

内藤陽哉・玉田健二『フランス語ってやさしい!』(白水社) 1,850円

## [中国語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I	みやもと あつこ 宮本厚子	短英1年 短国・短英1選	2

### 外国語

講義の内容・  
授業スケジュール

発音を学んだ後、簡単な会話を聞きとり、話せるようにする。前回学んだところを暗記して来ることが求められる。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点で評価する。

教科書

『(新版) 一年生のコミュニケーション』(白水社) 2,200円

その他

詳細は開講時に説明するので、履修者は第一回目に必ず出席すること。

## [スペイン語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I	上野勝広 <small>うえのかつひろ</small>	短英1年	2
		短国・短英1選	

### 講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

### 講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

### 履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。  
また最低限の復習も欠かせません。

### 成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

### 教 科 書

小池和良・上野勝広『太郎と学ぶスペイン語』（朝日出版社）2,100円

### 参 考 書 等

初回の授業で紹介します。

## 《再履修クラス》

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I 〔再クラス〕	にし ほん かつ まさ 西 原 克 政	短英2年	2

### 外国語

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心にした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられている Basic English (850語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方) を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているため、その基礎を自分のものとして、会話に応用していただいたいと考えている。

#### 履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

#### 成績評価の方法

出席が授業回数の3分の2以上であること。日常のプレゼンテーションをその都度評価する。前期・後期試験は行わない。

#### 教科書

『英語表現トレーニング』（北星堂書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I 〔再クラス〕	すぎ もと まさ とし 杉 本 正 俊	短英2年	2

#### 講義のねらい

ヨーロッパ文化の重要な一翼を担い、現代日本とも深いかわりを持つドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイスの一部など）の言語、ドイツ語を、発音、文法、語彙、文など様々な角度から学び、ドイツ語への入門を果たしてもらい。授業の性質上、文法に重要な力点を置いた授業を行う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

教科書に従った授業を行う。

#### 履修上の留意点

予習より、授業中の集中力に重点を置いて要領良く学んで下さい。教師のことばにしっかりと耳を傾け、よく理解する事が重要です。こちらにも必要事項は学生が理解しているかどうかを確認しながら繰り返し説明するつもりです。

#### 成績評価の方法

前後2回の期末テストも重要だが、授業にきちんと参加しているかどうかを非常に重視します。当てられた問いには必ず自分なりによく考えて答えを出して下さい。その際に、結果的に正しい答えを出したかどうかより、自分なりに考えて答えを出せたのかどうか、という点をより重視します。

#### 教科書

藤代幸一・保阪靖一『ワンポイント・ドイツ文法』（郁文堂）1,800円 ISBN4-261-01185-9

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I 〔再クラス〕	谷川 かのる <small>たに かわ</small>	短英2年	2

講義のねらい フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・授業スケジュール 文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。

履修上の留意点 出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法 前期・後期試験、および小テストなど。

教科書 未定。

参考書等 授業中に紹介する。

その他 全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I 〔再クラス〕	蘭 明 <small>らん めい</small>	短英2年	2

講義の内容・授業スケジュール 前期は最初の1ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法 出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書 董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇1』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I 〔再クラス〕	佐藤 麻里乃 <small>さとう まりの</small>	短英2年	2

講義のねらい 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点 教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法 提出物の出来具合により評価する。

教科書 未定  
辞書『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

参考書等 宮本博司『超入門スペイン語』（大学書林）



## 《選択科目》

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	はやし 林 明 人	短国・短英選	4

外国語

講義の内容・  
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにしなければ幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教 科 書

教員が作成したものを用います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	や 矢 島 直 子 しま なお こ	短国・短英選	4

講義のねらい

イギリス現代戯曲を読んで、現代の英語に慣れるとともに、想像力を働かせて読むことを学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストとして使う戯曲を、きちんと読んでいきます。

履修上の留意点

ほぼ毎回あたりますから、必ず辞書をよく引いて予習をしてくること。教科書の手配は、出席する学生数を確認してからなので、初回の授業から出席してください。教科書が書店に入るまで、プリントで授業を行ないます。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的に評価します。

教 科 書

Anthony Neilson, *The Lying Kind*, Methuen, £7-99, ISBN0-413-77314-0

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	まさ 牧 の 野 輝 良 の てる よし	短国・短英選	4

講義のねらい

英語の長文の内容理解に努める。

講義の内容・  
授業スケジュール

英文の構造をしっかりと学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。

履修上の留意点

テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳が出来るようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点を置く。

教 科 書

『真の国際化とは』(成美堂) 980円 ISBN4-7919-1236-5 C1382

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	竹村 恵都子	短国・短英選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	林 明人	短国・短英選	4

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。

尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	岸本 茂和	短国・短英選	4

講義のねらい

racism（人種差別主義）、sexism（性差別主義）、ethnicity（少数民族）などを鍵のことばとして、現代アメリカを読みときつつ、“September 11, 2001”——2001年9月11日の、あの悲劇の日までいたる。

講義の内容・授業スケジュール

「研究」と銘打っているが、いわゆる講義ではなくふつうの英語の授業だ。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくること。テキストの英語はそうとう密度が高いのでその点を留意しておくこと。

成績評価の方法

試験は、前期・後期の2回。出席はとる。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあい「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの〈美德〉』（朝日出版社）1,400円

その他

受講者は70人を上限とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	丹治弘昌 <small>たんじひろまさ</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

時事英語の講座を担当してまず痛切に感ずるのは、学生の修得している語彙と実際に新聞、雑誌あるいは放送においてニュースに使われる英単語の間にはかなりの差があることである。これは習得語彙の量的な不足もさることながら、質的な面での個々の単語の意味を包括的にとらえていないことからきていることと思われる。一つの単語について一つの語義をもって事足りると思いついていたり、また頻度数の低い意味にこだわって、ニュース全体の意味を取り違えたりすることが良く見受けられる。そこで時事英語の単語を段階的に、同時にジャンル（分野）ごとに分けて、かなり整理してみることにした。時事英語というと、むやみに英単語を暗記し、語彙数をふやさなければならないと思われがちだが、むしろ基礎的な語彙の活用や応用に習熟し、簡単なコメントを表現できることから始めて、段階的に語彙修得を重ねていって、質と量の両面から時事英語の学習をすすめることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教科書

『よくわかるニュース英語』（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	矢島直子 <small>やしまなおこ</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

時事英語の読み方を学び、慣れることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書で時事英語を読み、記事の内容・構成を学びます。慣れてきたら、時に、英字新聞の記事も使います。

履修上の留意点

学生にどんどんあててやってもらいますから、必ず予習をしてくる。学生にあててやってもらいたいため、一クラスの人数を60名までとしますから、初回の授業に必ず出席してください。できれば初回から教科書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的に評価します。

教科書

馬場彰、佐藤和哉『Current English（『時事英語2004/2005年版』）』（成美堂）1,800円 ISBN4-7919-4826-2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おお び なお き 大 庭 直 樹	短国・短英選	2

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。  
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。  
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。  
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。  
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	おちろ あい かず あさ 落合和昭	短国・短英選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC<sup>®</sup>、TOEFL<sup>®</sup>、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。始めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%（現代口語英語の和訳と会話英作文）、後期試験は30%（ヒヤリングが10%、会話英作文が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表は60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度（ちなみに、去年の場合は、約15回だった）、小テストは5～10分程度のものを10回程度（去年は8回）、授業中の発表、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める（去年の場合は、一人約20回）。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『句動詞の実用総合演習』（マクミラン）
- 2) 『スモーク』（松柏社）1,750円 ISBN4-88198-457-8C3082
- 3) 『Oxford Phrasal Verbs Dictionary for Learners of English』（オックスフォード大学出版局）2,200円 ISBN0-19-431543-6

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	にしむら ふうこ 西村祐子	短国・短英選	2

講義のねらい

インターネットやオーディオビジュアル機器を使用して、英語とコンピュータ操作の初歩を身につけるクラス。

講義の内容・授業スケジュール

- 4-7月：インターネットによる英語サイトを利用した読解・作文。  
9-12月：英語によるプレゼンテーションをまとめたビデオをコンピュータで製作。

履修上の留意点

あくまでも英語のクラスなので、コンピュータソフトについて詳しく学ぶよりも英語習得をめざす学生の履修を進める。

成績評価の方法

平常点（出席点、提出物など）で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

特になし。

# 英 会 話 II

## 〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ジトウィッツ, P. D.	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

To build upon the skills mastered in English 1 by giving students intensive practice in listening, reading, writing and speaking.

To help students learn techniques for increasing their vocabulary and their reading skills.

To help prepare students who are interested in advanced English study for my advanced or study abroad.

### 講義の内容・授業スケジュール

Students will participate in debates, prepare speeches and practice scenes from plays and films.

### 成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in class.

### 教科書

*The Spirit of Broadway, The Spirit of America—An Introduction to the Broadway Musical* by Philip Zitowitz, Eihosha, 2000.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	プラスキー, J. C.	短国・短英2選	2

### 講義のねらい

The goal of this course is for students to begin to express themselves beyond the basic level of proficiency about themselves and other topics about which they are familiar.

### 講義の内容・授業スケジュール

This class will primarily consist of student discussions about themselves, school, family and friends. Emphasis will be placed on the exchange of information and the negotiation of meaning. These activities will be supplemented with grammar, pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises as well as listening practice.

### 履修上の留意点

Students will be required to complete homework assignments before each class.

### 成績評価の方法

Students will be evaluated on the basis of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.

### 教科書

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II (夏季集中)	ピアス, D. M.	短国・短英2選	2

外国語

講義のねらい

This is a special intensive class for English conversation that advances students to a high level of speaking ability within a short period of time. It provides continuous conversational practice in quotidian conversational situations. It supplies special vocabulary and speech patterns for every sort of circumstance such as travel, banking, telephone, business exchange, etc. To the purpose of high scores in the important examinations intensive weekly review will be made of the major language aspects tested in TOEFL®, EIKEN, and TOEIC®. English composition and listening comprehension will be practiced by means of having students correct and improve materials they themselves have produced. The core of class activity will consist in accelerated practice in conversation. The method of the course is to render students active throughout the ninety minute period. Students will have opportunity to carry on intelligent dialogues about interesting topics at a level above ordinary conversation. The advanced conversation practice is especially good for students who need to show their English speaking ability when searching for employment. Short lectures will be given on sociological contrasts between Japan and America, following which students will develop personal reactions to the ideas conveyed in those topics.

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Your final grade is the quality of the employment that you can final after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Your academic grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Social Practices*, publisher Themis Research Group, by Adam Pelagius, 2003, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

授業日程

前半						後半					
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
8月2日	月	○	○	○	○	8月20日	金				
8月3日	火	○	○	○	○	8月23日	月				
8月4日	水	○	○	○	○	8月24日	火				
8月5日	木	○	○	○	○	8月25日	水				
8月6日	金	○	○	○	○	8月26日	木				
8月9日	月	○	○	○	○	8月27日	金				

## 英 会 話 Ⅲ

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコアー500点以上、TOEIC®のスコアー900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウエルズ, J. K.	短国・短英2選	2

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.  
 Students must have taken English conv. II to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!

I'm waiting to meet you and to improve your English. . .

成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.  
 LET'S HAVE FUN



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ラーズ, R.	短国・短英2選	2

外国語

講義のねらい

The goal of this class is to give students fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, and by discussing simple to moderately abstract / complex subjects. Students read stories and articles and extrapolate content verbally through questions and answers. Special attention is given to improvement in pronunciation and grammar.

講義の内容・授業スケジュール

Conversations using present, past and future tense: talking about oneself, other people, families, one's likes and dislikes, professions and neighbors; forms of communication and communities around the world, cultural patterns and traits, travel; human interests and hobbies, habits, possessions; going shopping, shopping districts and specialties, currencies and numbers; crime; asking and giving directions; feelings and needs, etc. Some introductory explanation of word roots, English slang and commonly used phrases.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow the text that has a number of stories or essays with questions and answers and grammar exercises. Additional vocabulary is introduced and explained. After modeling a few examples, the text is discussed through pair-work and group-work. To enhance listening skills 'conversations on tape' are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of revising, memorizing new vocabulary, written assignments and completing exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary and conversation games, and grammar exercises are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) written tests and papers (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2/3 of the year will fail the course.

教科書

I) *New Headway English Course Pre-Intermediate Student's Book* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN#0-19-436670-7

II) *New Headway English Course Pre-Intermediate Workbook* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN#0-19-436672-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	短国・短英2選	2

外国語

講義のねらい

The main aim of this class is to help students take control of their own learning and to help them gain confidence speaking English in front of groups of people. This will be achieved through presentations and small group discussions. The course will also concentrate on cultural and/or controversial issues and will teach the students to view value systems, which are different from their own.

講義の内容・  
授業スケジュール

Each week one student will be in charge of the content of the class. This means that they will at the beginning of the class they will give a presentation on their chosen subject. Then they will provide a discussion sheet related to their topic, which will be discussed either as a class activity or else in small groups. Students will be required to give two such presentations during the academic year.

The teacher will prepare some discussion subjects as well. How many will depend on how many students decide to enrol in the class. Also, the teacher will choose the material to be discussed only after consultation with the students as a whole. This is because it is felt that students tend to contribute much more when they are actually interested in the topic up for discussion.

履修上の留意点

1. The presentations and discussion sheets must be shown to the teacher at least one week before the student's presentation, so that the teacher can help the student with corrections and ideas.
2. Students must be able to communicate, or at least be willing to try to participate, within group discussions. Failure to do so will result in the student failing the course.

成績評価の方法

There is no exam for this course. However, students will be graded by the quality of their presentations and by the amount of their week-to-week participation.  
 20%two take home essays (10%each essay)  
 40%two presentations, with discussion sheet (20%each presentation)  
 40%participation within the class (20%each semester)

教 科 書

There is no required textbook for this course. However students will be required to have a good dictionary and to buy a binder to keep the handouts and presentation copies in.

授業日程

前半	1	2	3	4	5	後半	1	2	3	4	5
8月2日 月	○	○	○	○	○	8月20日 金					
8月3日 火	○	○	○	○	○	8月23日 月					
8月4日 水	○	○	○	○	○	8月24日 火					
8月5日 木	○	○	○	○	○	8月25日 水					
8月6日 金	○	○	○	○	○	8月26日 木					
8月9日 月	○	○	○	○	○	8月27日 金					

# 英語 L L II

## 〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

外国語

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。デジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL<sup>®</sup>のスコア480点、TOEIC<sup>®</sup>のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	おお たい まさこ 太田 雅子	短国・短英2選	2

### 講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

### 履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

### 成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

### 教科書

*Listening Theory and Practice* (開文社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	どの いけ かず こ 外池 一子	短国・短英2選	2

### 講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

### 履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。毎日新聞を読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすること。カセットテープを必ず持参すること。

### 成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

### 教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	にしむらめうこ 西村 祐子	短国・短英2選	2

#### 講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC®700-750程度。LLIにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

#### 講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。  
9-12月：LLIIIへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をのいた授業となる。

#### 履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。  
テープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

#### 成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

#### 教科書

テキスト：*Headway pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)  
使用ビデオ：Headway elementary、および pre-intermediate、その他。（いずれも本学LL事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。）

#### 参考書等

使用ビデオ：Headway (elementary)、および (pre-intermediate)、その他。（いずれも本学LL事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。）

#### その他

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。  
電子メールアドレスは商業プロヴァイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

# 英 語 L L III

## 〈英語 LL IIIの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL IIを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	レーン, C.M.	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many English as a second language tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the 'real world' they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

### 講義の内容・授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be also to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as, music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

### 履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.
2. Since the lesson is only once a week, students must also 'take control' of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English everyday. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

### 成績評価の方法

- 20% attendance
- 40% exams
- 40% participation within the class

### 教 科 書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	久保 ひさ子	短国・短英2選	2

講義のねらい

英文のレクチュアが、聞き取り、ディベートできる程度をめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。ビデオやスピーチや、ディスカッションを含む。

履修上の留意点

LL授業は、ラボによる実習の、授業のため、欠席しないようにお願いします。

成績評価の方法

試験と授業実習点

教科書

World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	西村 祐子	短国・短英2選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめたLLIのレベルに対して、レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。このレベルIIIはそれより一層高度な会話表現力を習得することをめざす。LLII同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルIIを終了し、英検一級程度（TOEIC®800以上の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：アメリカの大学教養レベルの社会科学系ビデオを素材として用いて英語でのサマリーの仕方を中心とする授業。  
9-12月：英語での発表とエッセイ・ライティングを中心とした授業。

履修上の留意点

学生への要望：学生は課題提出用に全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。レベルIIIは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修を決める場合にLLIIの内容とよく比較して決定してほしい。

成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教科書

教場で指示（主にプリントを使用）。

参考書等

使用カセットテープ：Open University Program シリーズ（LL事務室備え付け）。  
使用ビデオ：Mapping the Landscape（ジェムコ出版、LL事務室備え付け）その他社会科学系教育ビデオを適宜使用。

その他

学生への要望：聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもつてくること。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II	伊藤 幸一	短国2選	2

講義のねらい

使用テキストの『はしがき』には「英語で書かれた名作のみでなく日本文学の英訳をも……材料として……日本語を通して英語の、英語を通して日本語の理解を探ることを……意図している……」と記されている。国文学専攻の学生には好適か。

講義の内容・授業スケジュール

大半が進学を希望している様なので協力・助力はしたいが、毎回、着席順に当てるので予習して出席されたい。また、復習のために3回（5月末、夏休み、大学祭後）宿題レポートを課し、「まとめ」として最終授業時にテストの予定。

成績評価の方法

以上の3点、予習・復習・まとめの成果による。詳細は最初の授業時に説明する。

教科書

『*Twelve Bridges between Japanese and English*』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II	丹治 弘昌	短英2選	2

講義のねらい

教場にて説明いたします。

講義の内容・授業スケジュール

教場にて説明いたします。

履修上の留意点

実際の会話より表現のパターンを選びだし、その応用表現を学習します。そしてときに応じて文法事項について説明します。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教科書

プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A (選)	い がらし のぶ こ 五十嵐 信 子	短国・短英選	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引ながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかりと理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』(白水社) 1,800円

その他

学生諸君にのぞむこと

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B (選)	の じま とし あき 野 島 利 彰	短国・短英選	2

講義のねらい

CDつき教科書を使い、音からドイツ語を学びます。ドイツ語は発音と文字とが一致しており、また難しい音も少ないので、練習すればすぐ上手に発音できるようになります。

講義の内容・授業スケジュール

教場ではCDを聞きません。授業でテキストの音読を指名します。自宅で十分CDを聞き、音読練習もしておいてください。

履修上の留意点

教科書には多数の練習問題があります。答えられるよう予習をしてください。

成績評価の方法

3課ごとに1回ヒアリングテストを行います。このテストと定期試験(筆記試験)の成績が評価の大きな基準になります。

教科書

三室・シュレヒト著『ドイチュ・プラクティッシュ<グリーン>』(三修社) 2,500円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書にしてください。

その他

ラジオやテレビのドイツ語講座も役に立ちます。ぜひ視聴してください。



外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語Ⅱ(選)	まつおか すずむ 松岡 晋	短国・短英2選	2

講義のねらい

初等文法の知識を基礎にして、より多くのドイツ語の文章を読んでみようというのがこの授業のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

授業は下に掲げる教科書に即して行われます。各課は読章(1~2ページからなるドイツ語の文章)、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限度にとどめ、ドイツ文の読解に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。なお教科書が早く終わった場合には、他の教材(短い新聞記事など)をコピーで配布して読む予定でおります。

履修上の留意点

ドイツ語の文章に慣れてもらい、今後、新聞・雑誌等のより難しい文章を読むための基礎を築きたいと考えております。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので、定期的な出席と最低限度の予習をお願いします。

成績評価の方法

成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点(出席率、担当箇所の和訳をきちんと行ったかどうか等々)によって行います。

教科書

諏訪功ほか著『文法読本——ヨーロッパとは何か(新訂版)』(郁文堂)2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA(選)	いだ きよこ 井田 清子	短国・短英選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、パリの生活情景を主題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

パリを中心とした生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

教科書は、山崎庸一郎他『パリのどこかで』(第三書房)1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA(選)	いとう なお 伊藤 なお	短国・短英選	2

講義のねらい

一年間かけてフランス語文法の基礎を習得し、実際に運用できるようになるための基礎固めをします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、簡単な対話文をもとに基本単語と平易な日常表現によってフランス語の基礎を習得するよう組み立てられています。テキストにそって各文法事項を理解したうえで、聴き取り問題も含めた練習問題に取り組みます。発音練習と音読には力を注ぎます。テキストに付属する現地ロケによるビデオも覗いてみましょう。

履修上の留意点

選択科目ではありますが、できるだけ毎回出席し、授業には積極的に参加してください。

成績評価の方法

平常点、前・後期試験によって判定します。

教科書

藤田祐二『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社)2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B (選)	大野英士	短国・短英選	2

講義のねらい

フランス語を全く知らない初心者を対象に、フランス語の基礎的な文法知識を学習しつつ、特に、話す、聞く、読む、書く能力を無理なく、バランスよくつけてもらうことを目標として授業を行います。

講義の内容・授業スケジュール

『新エスカルゴ』は、各課ごとにそれぞれ「挨拶する」「自己紹介する」「家族・年齢を言う」などと、日常生活のなかで遭遇する実践的な課題を設定し、それを言うために必要な文法事項や、関連表現を学ばせるといってきわめて合理的な構成になっています。1年で1冊を終わらせます。習った知識を確認するため『練習問題ABC』を適宜併用します。

履修上の留意点

授業中は、恥ずかしがらないで、大きな声で積極的に授業に参加してください。その上で、教科書に出てくる会話は暗記するぐらい声を出して、何度も読んでください。「練習」はできれば予習の段階で、あらかじめ準備してきてください。

成績評価の方法

授業中の小テスト、前期末のテスト、定期試験の三つの総合点で評価します。

教科書

藤田裕二著『新・えすかるご1』（朝日出版社）2,500円  
加賀山孝子他『フランス語練習問題ABC』（早美出版社）2,000円

参考書等

『フランス語動詞活用表』（駿河台出版社）800円

その他

辞書等は、授業の開始時に簡単なガイダンスを行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B (選)	菅原 猛	短国・短英選	2

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

I A を補完するかたちで授業を進め、1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

平常の授業、平常試験と学年末試験をプラスし、総合的な評価を出す。

教科書

澤田直之・黒川学他著『アミカルマンーフランス語・フランス文化への誘いー』（駿河台出版社）2,500円 ISBN4-411-01093-3 C1085

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語Ⅱ(選)	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	短国・短英2選	2

講義のねらい	フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
講義の内容・授業スケジュール	比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	長谷川公昭他著『時事フランス語(2004年度版)』(朝日出版社)
参考書等	そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA(選)	かま や おさむ 釜 屋 修	短国・短英選	2

講義のねらい	中国語発音の基礎、語法のしくみについての基本理解の獲得を中心とする。ピンインの習得と正確な発音の学習に重点をおく。
講義の内容・授業スケジュール	週一回の授業なので学習量の不足が心配となる。課題の消化、テキストについているCDを活用した家庭学習が望まれる。
履修上の留意点	ⅠB(選)とあわせて受講できるが、この科目のみを履修する人は、学習機会が週一回となるので欠席は大敵である。
成績評価の方法	出席状況、平常の学習の積極性、平常点と期末テストの成績等を総合的に判定する。
教科書	守屋宏則『フォーアップ初級中国語』(同学社)2,500円
参考書等	開講後指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA(選)	みや もと あつ こ 宮 本 厚 子	短国・短英選	2

講義の内容・授業スケジュール	発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。
履修上の留意点	毎回暗唱あるいは聞き取り(小テスト)を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。
成績評価の方法	年に4回の筆記試験(前後期末試験を含む)と平常点(暗唱・小テストを含む)で評価する。
教科書	『〈新版〉中国語ははじめの一步』(白水社)2,200円
その他	詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	蘭 <small>らん</small> 明 <small>めい</small>	短国・短英選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は最初の一カ月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会語の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇1』（朝日出版社） 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	松 <small>まつ</small> 本 <small>もと</small> 丁 <small>あつ</small> 俊 <small>とし</small>	短国・短英2選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

外国人である日本人が中国人に接したとき言うべき言葉、言うべき表現など実用面の中国語。中国語を学んでもまもない田中さん夫婦の北京旅行という設定で、挨拶から始まり、買物、食事といった日常生活に限られた会話を学ぶ。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段授業中の発音、練習問題、さらに出席点も加味する。

教科書

王元武・鶴島俊一郎『北京旅行』（白帝社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	宮 <small>みや</small> 地 <small>じ</small> 達 <small>たつ</small> 郎 <small>ろう</small>	短国・短英選	2

講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

基礎文法の徹底が目的。前期は英語との違い、特に性数一致、動詞の変化（現在形）に重点を置く。後期は過去形、未来形、できれば接続法まで入ることが目的。

履修上の留意点

欠席が多い場合、前回の授業内容が分からなければ、その回の授業についていけなくなる。スペイン語は他の外国語より易しいという先入観を持ったり、英語が苦手だからという簡単な理由で受講しても単位取得は簡単ではないことを認識して受講してほしい。

成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西和および和西）』（白水社）  
『スペイン語ミニ辞典』

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B (選)	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	短国・短英選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 II (選)	おざ の まさ し 荻 野 雅 司	短国・短英2選	2

講義のねらい

スペイン語 I で学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語 I で得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(芸林書房)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.	短国選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディ・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをすることができるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 価格未定、プリント配布。  
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I B (選)	木村英明	短国選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混迷から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

外国語

## 4. 保健体育科目



# 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (卓球)	〈佐藤 政之〉	125
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈三幣 晴三〉	126
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈山口 良博〉	127
健康・スポーツ実習 (テニス)	〈田中 佳孝〉	128
健康・スポーツ実習 (ティーソフトボール)	〈田中 佳孝〉	129
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈田中 佳孝・長濱 友雄〉	130
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈鈴木 淳平〉	131
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(簡化太極拳)	〈大石 武士〉	131
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (サッカー)	〈秋田 浩一〉	132
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (卓球)	〈川村 正義・山口 良博〉	133
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (バドミントン)	〈牧野 茂〉	134
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (ソフトボール)	〈高橋 俊介・村松 誠〉	135
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	136
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (トレーニング)	〈山口 良博〉	137
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期／基礎 (簡化太極拳)	〈大石 武士〉	138
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期／基礎 (バドミントン)	〈長濱 友雄〉	139
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期／基礎 (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	139
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期／基礎 (卓球)	〈牧野 茂〉	140
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期／基礎 (バスケットボール)	〈牧野 茂〉	141
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期／応用 (簡化太極拳)	〈大石 武士〉	142
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期／応用 (ニュースポーツ)	〈大石 武士〉	143
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期／応用 (バドミントン)	〈長濱 友雄〉	144
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期／応用 (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	144
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期／応用 (バドミントン)	〈鈴木 淳平〉	145
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期／応用 (卓球)	〈牧野 茂〉	146
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期／応用 (バスケットボール)	〈牧野 茂〉	147
生涯スポーツ実習 (集中前期) (テニス集中)	〈江口 淳一〉	148
生涯スポーツ実習 (集中後期) (テニス集中)	〈江口 淳一〉	149

生涯スポーツ実習（集中後期）（ゴルフ集中）	〈三 幣 晴 三〉	.....	150
生涯スポーツ演習（シーズン前期）（ゴルフ）	〈森 本 葵 他〉	.....	151
生涯スポーツ演習（シーズン後期）（スキー・スノーボード）	〈鈴 木 淳 平 他〉	.....	152
健康・スポーツ論	〈佐 藤 政 之〉	.....	153
健康・スポーツ論	〈三 幣 晴 三〉	.....	154

# 「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

金曜日	1 時限 (短国)		2 時限 (短英)	
	※佐藤	卓球	※田中	ティーツフトボール
田中	テニス	三幣	ゴルフ	
山口	室内球技	佐藤	卓球	
		山口	室内球技	

※は、科目の担当者

保健体育

# 「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日		
1 時限							
2 時限	長濱	前期・基礎	大	前期・応用	牧	前期・応用	
		バドミントン		ニュースポーツ※		卓球	バスケットボール
	濱	後期・基礎	石	後期・応用	野	後期・応用	
		バドミントン		ニュースポーツ※		卓球	バスケットボール
3 時限	長濱	前期・応用	大	鈴	牧	前期・基礎	
		バドミントン				簡化太極拳※	室内球技
	濱	後期・応用	石	木	野	後期・基礎	
		バドミントン				簡化太極拳※	室内球技
4 時限	大	前期・応用		鈴	鈴	前期・応用	
		簡化太極拳※				室内球技	バドミントン
	石	後期・応用		木	木	後期・基礎	後期・応用
		簡化太極拳※				室内球技	バドミントン

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

保健体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	さとう まさゆき 佐藤 政之	短英1必 短国1選	2

#### 講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15 時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

#### 成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

#### そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	み ぬぎ はる み 三 幣 晴 三	短英1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習 (7・9アイアン)
- 4 時限目：打撃練習 (7・9アイアン)・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習 (5 アイアン)
- 6 時限目：打撃練習 (5 アイアン)
- 7 時限目：打撃練習 (W 1・W 3)
- 8 時限目：打撃練習 (W 1・W 3)
- 9 時限目：打撃練習 (アプローチ)
- 10 時限目：打撃練習 (アプローチ)
- 11 時限目：打撃練習 (パッティング)・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習 (パッティング)・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド (模擬コース)
- 14 時限目：ラウンド (模擬コース)
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点(実技テストを含む)30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やまぐちよしひろ 山口良博	短英1必 短国1選	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バトミントン教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム (2次リーグ)  
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (トーナメント)  
(バトミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サーブ、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	た な が よ し た か 田 中 佳 孝	短国1選	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本記述
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本記述
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ティーソフトボール)	たなか よし たか 田 中 佳 孝	短英1必	2

講義のねらい

ソフトボールから生まれたニュー・スポーツ「ティーボール」を行なう。このスポーツはピッチャーのいないソフトボールであり、ホームベース上のティーに置かれたボールを打つことからプレーされる。

より安全に広範囲の年齢層にプレーができる様ルールおよび用具が考えられている。ティーボールの基本技術を習得し、ルールを理解することにより見るスポーツから参加するスポーツに発展させる。また、模擬試合をすることにより戦術的なことを理解し、より楽しくゲームが行なえ、野球やソフトボール観戦にも興味を持つことができる様にする。

保健  
体育

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明と諸注意
- 2 時限目：用具の説明と使い方、キャッチボールの基本、ゴロ補球の基本、ルールの説明と実際
- 3 時限目：キャッチボール&ゴロの補球、バッティングの基本、ルールの説明と模擬ゲーム
- 4 時限目：ゴロの補球と1塁送球、ティーバッティング、ルールの説明と模擬ゲーム
- 5 時限目：フライボール補球の基本、模擬ゲーム
- 6 時限目：ティーバッティング、ゲーム
- 7 時限目：ティーバッティング、ゲーム
- 8 時限目：W-up、リーグ戦
- 9 時限目：W-up、リーグ戦
- 10時限目：W-up、リーグ戦
- 11時限目：W-up、リーグ戦
- 12時限目：W-up、リーグ戦
- 13時限目：W-up、リーグ戦
- 14時限目：W-up、リーグ戦
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は一般的運動服装。運動シューズを用意する事。用具は全て貸与する。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。特別な実技テストは行わない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	たなか よしたか ながはま ともお 田中 佳孝・長濱 友雄	短英2年	2

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 5 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目： 〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目： 〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 14 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 15 時限目： 〃 (まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (アタックとブロッキングの技術、ルール解説)
- 4 時限目： 〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目： 〃 (ゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目： 〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目： 〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目： 〃 (ゲーム)
- 13 時限目： 〃 (ゲーム)
- 14 時限目： 〃 (ゲーム)
- 15 時限目： 〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	すずき じゅん べい 鈴木 淳 平	短英2年	2

## 講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

## 講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。  
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

## 履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

## 成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(簡化太極拳)	おおいし たけし 大石 武士	短英2年	2

## 講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

## 講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション	16時限目：太極拳動作について説明
2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動	17時限目：総合
3時限目：第一組 起勢・左右野馬分頁・白鶴亮翅	18時限目：総合
4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱	19時限目：総合
5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾	20時限目：総合
6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭	21時限目：総合
7時限目：第五組 高探馬・右擱脚・双峰貫耳・轉身左擱脚	22時限目：総合
8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立	23時限目：総合
9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24時限目：総合
10時限目：第八組 轉身撇蓄捶・如封似閉・十字手・取勢	25時限目：総合
11時限目：総合	26時限目：総合
12時限目：総合	27時限目：総合
13時限目：総合	28時限目：総合
14時限目：総合	29時限目：総合
15時限目：テスト	30時限目：テスト

## 履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

## 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(サッカー)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	短英2年	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習(キック、トラップ、ヘディング、ドリブル) チーム分け
- 1日目午後：                   〃
- 2日目午前：パス練習、ゲーム
- 2日目午後：ロングキック、ゲーム
- 3日目午前：ドリブル、ゲーム
- 3日目午後：シュート、ゲーム
- 4日目午前：ルールの解説、ゲーム
- 4日目午後：ゲーム(リーグ戦)
- 5日目午前：                   〃
- 5日目午後：                   〃

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)  
(後期) 12月21日(火)～25日(土)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前10:00～12:00  
午後13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(卓球)	かわむら まさよし やまぐち よしひろ 川村 正義・山口 良博	短英2年	2

#### 講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単と言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3 日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4 日目午前：ダブルスゲーム
- 4 日目午後：ダブルスゲーム
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

#### そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)  
(後期) 12月21日(火)～25日(土)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
  - (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
  - (3) 実施場所：玉川体育館
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(バドミントン)	まきの 牧 野 茂	短英2年	2

#### 講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）  
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク  
①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム  
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク  
②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス  
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク  
①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム  
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク  
②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム  
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム  
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク  
③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム  
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム  
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム  
5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

#### 履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

#### 成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

#### そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)  
(後期) 12月21日(火)～25日(土)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	たかはし しゅんすけ むらまつ まこと 高橋 俊介・村松 誠	短英2年	2

#### 講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパテイング、走塁練習、その他）  
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム  
午後：〃
- 第3日目 午前：〃  
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃  
午後：〃
- 第5日目 午前：〃  
午後：〃

保健体育

#### 履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

#### 成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

#### そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)  
(後期) 12月21日(火)～25日(土)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- 実施場所：玉川グラウンド
- 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への「履修届(事前登録)」は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(室内球技)	オズキ ジュンペイ 鈴 木 淳 平	短英2年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる基礎的な技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントンを行なう。チームスポーツ、個人スポーツに必要とされる要素(体力的・技術的)を意識してゲームを多く消化していく。  
スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア(上下)、スポーツシューズ(室内用として履き分ける)の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)  
(後期) 12月21日(火)～25日(土)

7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合

- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30

- (3) 実施場所：玉川体育館

- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(トレーニング)	やまぐち よしひろ 山 口 良 博	短英2年	2

#### 講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

#### そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)  
(後期) 12月21日(火)～25日(土)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
  - (2) 実施時間：午前 10：00～12：00  
午後 13：00～15：30
  - (3) 実施場所：玉川体育館
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎) (簡化太極拳)		短国・短英2選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・單鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右擲脚・双峰貫耳・轉身左擲脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬運捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎) (バドミントン)		短国・短英2選	

## 講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。  
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。  
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時限目： }
- 11 時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時限目： }

## 履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

## 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)	すず き じゅん べい 鈴 木 淳 平	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎) (室内球技)		短国・短英2選	

## 講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

## 講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。  
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

## 履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

## 成績評価の方法

出席率、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	まき の しげる 牧 野 茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) (卓 球)		短国・短英2選	

保健体育

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。  
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
  - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
  - (2) スマッシュを打つことが出来る。
  - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3 時 限 目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4 時 限 目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5 時 限 目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6 時 限 目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7 時 限 目：シングルスゲームの練習
- 8 時 限 目：
- 9 時 限 目：
- 10 時 限 目：} 総合練習、シングルスゲーム練習
- 11 時 限 目：}
- 12 時 限 目：}
- 13 時 限 目：} 総合練習、ダブルスゲーム
- 14 時 限 目：}
- 15 時 限 目：}

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)	まき の 野 しげる 茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎) (バスケットボール)		短国・短英2選	

#### 講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス①、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス②、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク①、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク②、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：初歩的なマンツーマン・オフense①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：初歩的なマンツーマン・オフense②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：初歩的なマンツーマン・オフense③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

#### 履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用)		短国・短英2選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分貨・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右攔脚・双峰貫耳・轉身左攔脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬擋捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (ニュースポーツ)		短国・短英2選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ：                    ♪                    ♪
- 9 時限目：スポーツチャンバラ：                    ♪                    ♪
- 10 時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 11 時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 12 時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用) (バドミントン)		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。  
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1)スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。  
(2)ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時 限 目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時 限 目：総合練習
- 5 時 限 目：総合練習
- 6 時 限 目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時 限 目： }
- 11 時 限 目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時 限 目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)	すず き じゅん べい 鈴 木 淳 平	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用) (室内球技)		短国・短英2選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。  
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)	すずき じゅん へい 鈴 木 淳 平	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用) (バドミントン)		短国・短英2選	

## 講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。

- (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
- (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：ク
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目：
  - } 総合練習・シングルスゲーム
- 11 時限目：
- 12 時限目：
  - } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15 時限目：

## 履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

## 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	まきの野 しのぶ	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用)		短国・短英2選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目： }
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目： }
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)	まきの野 しげる茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (バスケットボール)		短国・短英2選	

#### 講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフENSE③ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

#### 履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) テニス集中	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	短国・短英選	1

## 講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎)…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用)…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1日目午前：ラケットイング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術  
1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ  
2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用  
2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム  
3日目午前：半面でのシングルスゲーム (ゲームを楽しむ)  
3日目午後：                      〃                      〃                      (戦術と応用)  
4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング  
4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ  
5日目午前：トーナメント形式の試合  
5日目午後：まとめ

## 履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

## 成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

## そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月18日(日)～22日(木)  
7月18日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00  
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
特・4時限 (前期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	えぐちじゅんいち 江口 淳 一	短国・短英選	1

## 講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニス裏打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認

1日目午後：ラリーの応用練習

2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ

2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。

3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）

4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）

4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）

5日目午前：団体戦形式の試合

5日目午後：まとめ

## 履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

## 成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

## そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（火）～25日（土）  
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時間で提出すること。  
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	み ぬさ はる み 三 幣 晴 三	短国・短英選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。  
本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。  
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）  
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）  
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）  
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）  
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
  - ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
  - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：12月21日（火）～25日（土）  
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	もり もと まもる 森 本 葵 他	短国・短英選	2

#### 講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

保健体育

#### 講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月23日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
  - 1日目 9月6日(月) 実技:12:50~17:20 打撃練習  
講義:10:40~12:10 17:30~18:00 《ゴルフスイングの基本》  
※注意:1日目は、玉川校舎で実施する。
  - 2日目 9月7日(火) 実技:13:30~16:30 打撃練習  
講義:19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》
  - 3日目 9月8日(水) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド  
講義:19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
  - 4日目 9月9日(木) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド  
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
  - 5日目 9月10日(金) 実技:9:00~12:00 ラウンド

#### 履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 実習日程:9月6日(月)~9月10日(金)の3泊5日(現地集合解散)
  - 場 所:①宿 泊 ホテル安比グランド 電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025  
岩手県岩手郡松尾村安比高原  
②練習場 玉山ゴルフクラブ 電話019-683-3100 FAX019-683-3100  
③コース 安比高原ゴルフクラブ 電話0195-73-5311 FAX0195-73-5044
  - 定 員:40名
  - 集合解散:現地(ホテル安比グランド)  
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
  - 受講料:39,500円(左記金額には、交通費は含まれない)  
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間:5月24日(月)~6月5日(土)
  - 服装・用具
    - ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
    - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
    - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
 ※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

#### 成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

#### そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。



科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	すずき じゅん べい 他 鈴木 淳平 他	短国・短英選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月20日(月) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
  - 1日目 2月14日(月)  
午後：現地ホテルロビー集合  
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
  - 2日目 2月15日(火)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
  - 3日目 2月16日(水)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
  - 4日目 2月17日(木)  
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
  - 5日目 2月18日(金)  
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成17年2月14日(月)~2月18日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場  
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名  
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。  
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間：平成16年5月24日(月)~6月5日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	佐 藤 政 之 さとうまさゆき	短国・短英1選	2

講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に生活習慣病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりとした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に、運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 時限目：現代生活と健康（食生活と健康）
- 3 時限目：〃（食生活と栄養）
- 4 時限目：〃（運動不足と成人病）
- 5 時限目：〃（平均余命と寿命の伸び）
- 6 時限目：〃（健康のための生活習慣）
- 7 時限目：〃（喫煙・飲酒）
- 8 時限目：〃（ストレス社会と健康障害）
- 9 時限目：〃（ストレスと健康測定）
- 10時限目：現代生活と運動（健康づくり運動）
- 11時限目：〃（スポーツマンのトレーニング）
- 12時限目：〃（スポーツマンの運動処方法）
- 13時限目：〃（スポーツ医学の一般知識）
- 14時限目：〃（スポーツと環境・条件）
- 15時限目：まとめ

成績評価の方法

- ①「レポート」の提出3回で成績評価とする。

教 科 書

毎時限に配布プリントにて授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	三 幣 晴 三	短国・短英1選	2

保健  
体育

講義のねらい

健康は、人間が生きて、何かを実現していく上で最も重要な基本的な前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康だけに焦点をおくのではなく、人間として生きる上で身体的・精神的健康とはどんな状態であるのか、また、その実現にはどうすべきかを論ずるものである。したがって健康にとって障害となる現代の社会的状況からのさまざまな問題（食・住・ストレスなど）について、どう対処すべきかを、実際の観点から探ろうとするものである。また、西洋医学と東洋医学の相異などから、心と体の関係などにも言及し、メンタルマネージメント・自律訓練法・ヨガ・健康体操などの実践的な健康づくりによって学生としての、また生涯にわたっての健康の必要性を認識することをねらいとする。その際、これまで一般的に常識とされていた種々の考え方を、別の角度から検証し、新しい認識を作り上げることを目指すものである。

スポーツは、過去から長い間にわたって築きあげられてきたが、いまや現代の人々によって欠かすことのできない《文化》である。文化としてのスポーツを楽しむことは、いまや現代人にとって生活のひとつの要素になりつつある。それは、実践することを楽しむことだけにとどまらず、観ることを楽しむ、あるいはマスコミからの情報によってスポーツから幅広い視点を提供されるなど、現代人にとって広範囲の影響力をもちつつある。本講義では、スポーツを《文化論》あるいは《遊戯論》から論じることで、人間とは何か、生きるとは何かについても言及するものである。また、《スポーツの技術論》、さらに《スポーツ運動学》、《メンタルトレーニング》などにも触れることで、スポーツの狭い領域だけにとどまらず、生きがいをもって仕事・生活・趣味をしていく上での共通点を見いだしていこうとするものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の概要説明
- 2 時限目：健康とは何か（世界の長寿村と短命村の比較）－その I
- 3 時限目： 同 －その II
- 4 時限目：現代の生活と健康
- 5 時限目：ストレス学説（セリエ博士の学説）－その I
- 6 時限目： 同 －その II
- 7 時限目：西洋医学と東洋医学の比較
- 8 時限目：健康体操・メンタルトレーニング
- 9 時限目：遊戯論（ホモ・ルーデンス）－その I
- 10 時限目： 同 －その II
- 11 時限目：スポーツ論
- 12 時限目：スポーツ技術論
- 13 時限目：スポーツ運動学（カテゴリー論）
- 14 時限目： 同（発達論・学習論）
- 15 時限目：日本のスポーツ（組織編・考え方）／まとめ

履修上の留意点

教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。教科書の内容は各自であらかじめ読んでおいてほしい。

成績評価の方法

ペーパーテストを基本とし、毎時間の出席を参考にする。

教 科 書

『保健体育概論』（カズサ出版部）1,700円

参 考 書 等

『ホモ・ルーデンス』（中央公論社）  
『マイネル・スポーツ運動学』（大修館書店）

そ の 他

講義形式を基本とし、ビデオや実技も加える。

## Ⅱ 專 門 教 育 科 目

### 1 国 文 科

国  
文  
科

## II. 専門教育科目

### (1) 国文学科

上代文学演習 I	〈佐原作美〉	161
中古文学演習 I	〈鈴木裕子〉	161
中世文学演習 I	〈蘭部幹生〉	162
近世文学演習 I	〈伴野英一〉	162
近代文学演習 I	〈石割透〉	163
現代文学演習 I	〈小林治〉	163
現代文学演習 I	〈松田直行〉	164
国語演習 I	〈片山晴賢〉	164
上代文学演習 II	〈佐原作美〉	165
中古文学演習 II	〈鈴木裕子〉	165
中世文学演習 II	〈坂口博規〉	166
中世文学演習 II	〈蘭部幹生〉	166
近世文学演習 II	〈越後敬子〉	167
近代文学演習 II	〈石割透〉	167
現代文学演習 II	〈小林治〉	168
現代文学演習 II	〈松田直行〉	168
国語演習 II	〈片山晴賢〉	169
卒業研究 (上代)	〈佐原作美〉	169
卒業研究 (中古)	〈鈴木裕子〉	170
卒業研究 (中世)	〈坂口博規〉	170
卒業研究 (中世)	〈蘭部幹生〉	171
卒業研究 (近世)	〈坂口博規〉	171
卒業研究 (近代)	〈石割透〉	172
卒業研究 (現代)	〈小林治〉	172
卒業研究 (現代)	〈松田直行〉	173
卒業研究 (国語学)	〈片山晴賢〉	173
国語学	〈片山晴賢〉	174
国語史	〈服部龍太郎〉	174
日本語文法	〈奈部淑子〉	175
日本語教育	〈奥原淳子〉	175
表現法 (話すこと)	〈真田治子〉	176
表現法 (書くこと)	〈真田治子〉	176
テーマ研究 I	〈松田直行〉	177
テーマ研究 II	〈蘭部幹生〉	177
テーマ研究 III	〈石割透〉	178
テーマ研究 IV	〈坂口博規〉	178
テーマ研究 V	〈坂口博規〉	179
テーマ研究 VI	〈佐原作美〉	179
テーマ研究 VII	〈小林治〉	180
テーマ研究 VIII	〈小林治〉	180
異文化コミュニケーション	〈奥原淳子〉	181
情報言語学	〈片山晴賢・真田治子〉	182
国文学概論	〈坂口博規〉	183
国文学特殊研究	〈小林治・鈴木裕子・蘭部幹生・松田直行〉	183

国文科

古	典	文	学	史	伴	野	英	一)	.....	184
近	·	現	文	史	笹	瀬	王	子)	.....	184
中	国	文	学	史	清	水	浩	子)	.....	184
文	献	資	を	I	奈	部	淑	子)	.....	185
文	献	資	を	II	休		講			
古	典	文	を	I	佐	原	作	美)	.....	185
古	典	文	を	II	休		講			
古	典	文	を	III	休		講			
古	典	文	を	IV	岡	田	万	里子)	.....	186
近	·	現	文	I	石	割	透		.....	186
近	·	現	文	II	休		講			
中	国	文	講	読	清	水	浩	子)	.....	187
原	典	講	読	I	佐	原	作	美)	.....	187
原	典	講	読	II	佐	原	作	美)	.....	188
歌		謡		I	休		講			
歌		謡		II	川	上	順	子)	.....	188
和	歌	文	学	I	坂	口	博	規)	.....	189
和	歌	文	学	II	休		講			
物	語	文	学	I	鈴	木	裕	子)	.....	189
物	語	文	学	II	休		講			
物	語	文	学	III	鈴	木	裕	子)	.....	190
物	語	文	学	IV	休		講			
日	記	文	学	I	坂	口	博	規)	.....	190
日	記	文	学	II	休		講			
随	筆	·	評	I	鈴	木	裕	子)	.....	191
随	筆	·	評	II	休		講			
歴	史	文	学	I	藺	部	幹	生)	.....	191
歴	史	文	学	II	休		講			
説	話	文	学	I	藺	部	幹	生)	.....	192
説	話	文	学	II	休		講			
軍	記	文	学	I	田	中	伸	作)	.....	192
軍	記	文	学	II	休		講			
連	歌	·	俳	I	越	後	敬	子)	.....	193
連	歌	·	俳	II	休		講			
短		歌		I	休		講			
短		歌		II	笹	瀬	王	子)	.....	193
俳		句		I	休		講			
俳		句		II	笹	瀬	王	子)	.....	194
近	·	現	代	I	井	上	優		.....	194
近	·	現	代	II	休		講			
現	代	小	説	I	休		講			
現	代	小	説	II	内	藤	寿	子)	.....	195
児	童	文	学	I	吉	田	司	雄)	.....	196
児	童	文	学	II	休		講			
比	較	文	学	休	井	上	優)	.....	197	
文	芸	創	作	休	松	田	直	行)	.....	198
文	芸	創	論	休	藺	部	幹	生·他)	.....	199
有	職	概	論	休	近	藤	好	和)	.....	199
話	職	故	論	休	三	遊	亭	貴	.....	200

女 性	史	嶋 和 美	200
女 性	学	藤 田 和 美	201
女 性 と 職 業	学	藪 部 幹 生	201
メ デ ィ ア と 表 現	学	松 田 直 行	202
地 域 文 化 論	学	鈴 木 裕 子	202
海 外 か ら 見 た 日 本	学	石 割 透	203
非 言 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (音 楽)	学	土 井 晴 人	203
非 言 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (囲 碁)	学	松 田 直 行	204
非 言 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (将 棋)	学	藪 部 幹 生	204
映 画 と 文 学	学	小 林 治	205
美 術 と 文 学	学	石 割 透	205
映 像 論	学	石 割 透	206
古 典 戯 曲 演 劇	学	岡 田 万 里 子	206
近 代 戯 曲 演 劇	学	松 田 直 行	207
現 代 演 劇	学	松 田 直 行	207
芸 能 研 究	学	松 田 直 行	208
服 飾 文 化 を 考 え る	学	内 藤 寿 子	208
食 文 化 を 考 え る	学	内 藤 寿 子	209
住 ま い の 文 化 を 考 え る	学	休 講	
手 話	学	白 須 和 子	209
点 字	学	渡 辺 勇 喜 三	210
書 道 実 習 I	学	那 須 隆 吉	210
書 道 実 習 II	学	那 須 隆 吉	211
編 集 実 務	学	長 谷 川 孝	211
ジ ャ ー ナ リ ズ ム 研 究	学	旗 野 寿 雄	212
ビ ジ ネ ス 実 務 総 論	学	森 本 正 恵	213
オ フ ィ ス 実 務 演 習	学	森 本 正 恵	214
情 報 処 理	学	谷 本 本 玲 大	215
応 用 情 報 処 理	学	谷 本 本 玲 大	216



国文科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 代 文 学 演 習 I	さ ぼ ら さ く み 佐 原 作 美	短国1選必	4

講義のねらい

わが国で最古の和歌集である『万葉集』を対象に演習授業を行う。周知のように、『万葉集』には様々な階層の人々の手になる約4500首もの作品が収められる世界に誇れる古典である。授業ではその作品に慣れ親しみつつ、上代人の生活と心のありようを探っていききたい。

講義の内容・授業スケジュール

多くの作家作品の中から、特に女性とその作品を読んでいきたい。たとえば、

第一期：鏡王女・倭太后

第二期：大伯皇女・但馬皇女

第三期：大伴坂上郎女

第四期：孝謙天皇・笠郎女・狭野茅上娘子

など、各期を代表するよく知られた歌人とその作品を鑑賞しつつ読んでいきたい。

履修上の留意点

演習授業であるので、受講生による調査発表を中心として進めていくので、積極的な学習意欲をもってのぞんでほしい。

成績評価の方法

出席状況や調査発表の内容、およびそれらへの姿勢や態度などを勘案して総合的に評価する。

教科書

土橋寛編『作者別万葉集』（おうふう）2,000円

参考書等

必要に応じて授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 古 文 学 演 習 I	すず き ひろ こ 鈴 木 裕 子	短国1選必	4

講義のねらい

この授業の主な目的は、次の三つです。

①古典文学、とくに和歌に親しむこと。

②古典文学、とくに和歌を正確に読む力を養うこと。

③自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練をすること。

講義の内容・授業スケジュール

一年間で、『古今和歌集』の全体像を把握できるように、精選した和歌を読みます。歌言葉や技巧などの知識を深めるだけではなく、歌の背後に広がる文化の豊かさも味わいたいと思います。以下の計画で、受講生の発表と批評を行う予定ですが、進行状況により柔軟に対応します。

（前期）『古今和歌集』概説・春の歌（巻一・二）・夏の歌（巻三）・秋の歌（巻四・五）・冬の歌（巻六）・賀と旅の歌（巻七～九）

（後期）恋の歌（巻十一～十五）・哀傷の歌（巻十六）・雑の歌（巻十七・十八）・その他の歌（巻十九～二十）

履修上の留意点

授業は受講生の分担報告を中心として進めます。それぞれの担当者は、各自が作成したレジュメをもとに発表します。担当者はもちろん、発表を聞く者も、積極的にテキストを読み、調査し、考えて授業に臨むことを求めます。

成績評価の方法

授業中の発表内容、出席状況（欠席・遅刻をしないことは前提。自分の発表を欠席した場合は不可）、学年末提出のレポート（日時・論題等は授業時に提示）などから総合的に行います。

教科書

小町谷照彦編『カラー版 古今和歌集』（おうふう）、参考書は授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学演習Ⅰ	その べ みき お生 菌部幹生	短国1選必	4

講義のねらい

今年度は、中世文学の代表的な文学ジャンルの一つである説話のなかから、受講生ひとりひとりが短い説話を一話ずつ担当し、1年間かけて、解釈・伝承経路・その説話に含まれた視点など、さまざまな面から掘り下げて研究・発表する。これを通して、基礎的な研究の方法を身につけるとともに、作品を味わい、説話のおもしろさを満喫してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

全受講者が、前・後期に、それぞれ1回ずつの発表と、その追加・訂正の発表を行なう。1ガイダンス。2・3調査・研究方法の講義。4～25発表とその検討・討議。26まとめ。

履修上の留意点

担当した説話についての研究・発表だけではなく、他の受講生の発表に対する問題意識も、たいせつな要件となる。また、各自が担当する話が異なるため、具体的な調査・研究の方法、および、鑑賞についての助言は、ひとりひとりに、授業時間外の空き時間を利用して行なう。

成績評価の方法

各自の発表を60点満点で評価し、他の受講生の発表に対する意見・質問を40点満点で評価する。必要に応じて、レポートを提出してもよいが、定期試験その他の筆記試験は一切行わない。

教科書

なし。

参考書等

必要に応じて、そのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学演習Ⅰ	はん の ひで かず 伴野英一	短国1選必	4

講義のねらい

日本近世における散文を扱う。  
井原西鶴作『世間胸算用』を読む。この作品を題材にし、各人が作品の部分を担当発表することで、実際の国文学研究に必要な作業の習得を目指す。

成績評価の方法

出席点と年度末試験を重視する。出席数が年間を通じての講義数の三分の二に達しないものは単位を認定しない。及び、年度末試験の得点が60点に満たないものも単位を認定しない。また、時に臨みレポートを課し、それも評価する。

教科書

松谷昭彦編『西鶴選集 世間胸算用 翻刻』(おうふう) 2,330円 ISBN4-273-02668-6

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 代 文 学 演 習 I	いし わり とおる 石 割 透	短国1選必	4

講義のねらい

夏目漱石の小説『坊ちゃん』『それから』『門』を読みつつ、夏目漱石の文学の特徴や日露戦争後のわが国の文学傾向を検討していくことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者の発表、報告を中心にして、授業を進めていきたい。発表者は、報告内容をまとめたプリントを作成し、それを受講者全員に配布し、それを中心にして、問題点を明らかにしていきたい。発表、報告は各自2，3度行うことになるが、多様な視角から小説を読み、近代文学の研究の方法の基礎を受講者が身につけるべく、指導していきたい。

履修上の留意点

発表者は特にあらかじめ十分に作品を読み、その世界について考えをめぐらして授業にのぞむこと。とともに、発表者以外の受講者も作品を読み、いろいろな問題意識をもって授業にのぞんでほしい。発表者が発表時間に欠席すれば授業を進めることが不可能になるため、絶対に欠席することがないようにしてほしい。

成績評価の方法

2，3回にわたる発表の内容、またそれを更に深め、焦点をしぼり、分析検討したレポートにより評価する。それに出席状況を考慮、更に普段の授業時の積極的な姿勢を加味する。

教 科 書

夏目漱石『坊ちゃん』『それから』『門』（新潮文庫）各400円

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

受講者が中心となって授業を進めていく時間。各自の積極的な姿勢、自覚を期待している。

国  
文  
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 文 学 演 習 I	こ ばやし おさむ 小 林 治	短国1選必	4

講義のねらい

宮澤賢治の散文作品、および、安部公房・村上春樹の短編小説を読み、作家について調査することを通じて、個々の作家における思想と実践（行動）と作品の関係の様相、ならびにそれぞれが抱えている問題点について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の作家の作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導、助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望によって決定する。

履修上の留意点

受講者は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告者にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどりつきたいとは考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参 考 書 等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

そ の 他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問していただきたい。年間を通じて文学研究に必要な基本的手続きとその意義を知ることが当演習の目的である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 文 学 演 習 I	まつ だ なわ ゆき 松 田 直 行	短国1選必	4

講義のねらい

演劇ワークショップを行う。言葉と身体を使ったコミュニケーションによって成り立つ演劇という表現を、自分で実際に身体を動かして体験する。

講義の内容・  
授業スケジュール

演劇ワークショップは俳優になるための訓練ではなく、日常の自己表現に必要な声と体の使い方を学び、またシアター・ゲームと呼ばれるグループ活動によって集団のコミュニケーションを体験するものである。通常の教室以外で行う場合、また軽い運動ができる服装を必要とする場合がある。7月末に富浦セミナーハウスで2泊3日の合宿を行う予定があり、全員参加すること。

履修上の留意点

文字として書かれたテキストを対象としているわけではないので、授業の場でのコミュニケーションを通してしか学習できない。自主的、積極的、創造的な参加が必要となり、厳しい出席条件を設ける。

成績評価の方法

試験、レポートはない。通常授業での平常点で評価する。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

必要な資料はプリントで配布する。

そ の 他

科目登録の前に履修許可が必要となるので、初回の授業に必ず出席すること。希望者が定員を越える場合は選抜を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 演 習 I	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	短国1選必	4

講義のねらい

国語学研究の基礎的な知識を養うことに主眼をおき、中世の資料を中心に検討していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

それぞれ、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。

履修上の留意点

演習であるので、出席を重視し、各自分担で発表を中心に進めるので、自らの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

レポートにより成績を評価する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

参 考 書 等

授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学演習Ⅱ	佐原 作美	短国2選必	4

- 講義のねらい** 奈良朝の社会と人々の生活を素材として成る、わが国最初の仏教説話集『日本霊異記』をもとに演習を行う。授業では、受講生による調査の発表を中心に進めるが、その狙いは、古代社会の底辺に生きる人々が何を求め、何を願って生きていたか、また、その願いは何に向けられていたか、などその心的ありようを諸仏信仰の面から探っていくことにある。
- 講義の内容・授業スケジュール** 上記の目的のために、授業では、観音菩薩・弥勒菩薩・阿弥陀如来・薬師如来・地藏菩薩・妙見菩薩、などへの信仰を主題とする説話を中心にしていきたい。仏教美術や古代史などをも視野に入れながら、発表者を中心にして、受講者みんなでじっくりと読んでいきたい。それと同時に、後世の作品への影響など、その史的展開についてもあわせ見ていきたい。
- 履修上の留意点** 仏教に関する事柄が濃厚な作品であるだけに、身近な親しみやすい内容の作品であるので、じっくりと腰をすえて読み、かつ調べていってほしい。作中に見られる苦しみや願いなど、それらを自分自身の問題として考えることも忘れないでほしいと思う。
- 成績評価の方法** 出席状況や調査発表の内容などを勘案して総合的に評価する。
- 教科書** 小泉道編『日本霊異記』（新潮日本古典集成）（新潮社）2,200円
- 参考書等** 必要なものは授業の中でその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学演習Ⅱ	鈴木 裕子	短国2選必	4

- 講義のねらい** この授業の主な目的は、次の三つです。  
 ①古典文学、とくに歌物語を深く読み味わうこと。  
 ②古典文学、とくに歌物語を正確に読む力を養うこと。  
 ③自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練をすること。
- 講義の内容・授業スケジュール** 『伊勢物語』を読みます。歌物語とは何か、和歌はどうか機能しているかなど、作品理解のための基本的なことはもちろん、物語や注釈にみられる様々なジェンダーの問題についても考えてみたいと思います。以下の計画で、受講生の発表と批評を行う予定ですが、進行状況により柔軟に対応します。  
 （前期）『伊勢物語』概説  
 初段・第四十五段  
 第二段・第三段・第四段・第五段・第六段・第九段・第六十五段・第六十九段  
 （後期）第十六段・第八十二段  
 第二十一段・第二十三段・第二十四段・第六十段・第六十二段・第六十三段
- 履修上の留意点** 授業は受講生の分担報告を中心として進めます。それぞれの担当者は、各自が作成したレジュメをもとに発表します。担当者はもちろん、発表を聞く者も、積極的にテキストを読み、調査し、考えて授業に臨むことを求めます。
- 成績評価の方法** 授業中の発表内容、出席状況（欠席・遅刻をしないことは前提。自分の発表を欠席した場合は不可）、学年末提出のレポート（日時・論題等は授業時に提示）から総合的に行います。
- 教科書** 片桐洋一編『異本対照 伊勢物語』（和泉書院）、参考書は授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 世 文 学 演 習 II	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	短国2選必	4

講義のねらい

元禄2年間正月刊『和歌威徳物語』を版本影印で読む。本書は和歌の徳（→幸い・利得等）を主題とした説話集で、これを変体仮名の学習も含めて読み進める。

講義の内容・  
授業スケジュール

本書は全5冊、第一「神感上」第二「神感下」第三「君恩」第四「人愛上」第五「人愛下」と説話の主題により分類されており、中古や中世の歌人たちの詠歌の徳を語る説話が収められている。その中でも特に中世の説話集である『十訓抄』『古今著聞集』『沙石集』『三国伝記』等々に収録されている説話を典拠とする本文を中心に取り上げて、受講生に分担、変体仮名の読みと語釈、原拠となった中古や中世の説話集との本文比較や、登場人物の評伝等を調査、発表してもらう。

開講時（1～3）説話文学の概説とその歴史を考察、変体仮名の読みを学ぶことを中心に6月頃まで作品本文を読む（4～10）。以後順次受講者に5つのテーマのうちより受講者の数に応じて作品を分担して、上記のごとく本文分析をしてもらう（11～26）。

履修上の留意点

何より変体仮名の読みを学ぶことが第一。しばらく文字=記号との付き合いとなり、馴れることが重要。作品の典拠となった中世の説話集等は指示するので、その本文との比較分析をして、特に複数の回話がある場合、その書承関係を考えてもらいたい。

成績評価の方法

定期試験は行わない。各報告者のレポート内容、及び出席状況や授業への取り組みを参考に評価する。

教 科 書

テキストは開講の最初に配布する。

参 考 書 等

神戸平安文学会編『仮名手引』400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 世 文 学 演 習 II	その べ みき お 園 部 幹 生	短国2選必	4

講義のねらい

中世文学における、代表的なジャンルの一つである説話文学を取り扱う。各自が、好きな説話を一話選び、1年かけて、その説話について、調査・研究し、演習形式で発表する。その実践を通じて、研究方法を身につけ、説話文学の本質を考え、他者に説明できるようにすることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期と後期にそれぞれ1回ずつの発表があるが、それぞれに追加・訂正の発表もおこなうので、年間の発表回数は一人5～6回程度となる。  
1ガイダンス。2方法論講義。3～25発表とその検討・討議。26まとめ。

履修上の留意点

各自の調査・研究は当然のことであるが、他の受講生の発表に対して問題意識を持つことも、たいせつな学修の要件となる。なお、受講生がそれぞれ異なった説話を取り扱うので、具体的な研究方法については、ひとりひとりに、授業時間外の空き時間を利用して助言する。

成績評価の方法

各自の発表を60点満点で評価し、他の受講生の発表に対する意見・質問を30点満点で評価する。それ以上の成績を得たい場合は、レポートを提出する。定期試験を含めた筆記試験は一切行わない。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

必要に応じて、そのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学演習Ⅱ	越後敬子	短国2選必	4

講義のねらい

「古典文学は難しい」という先入観を捨てて、数百年前の日本人のありさまを、さまざまな方向から楽しんでほしい。この授業では江戸時代の代表的作家、井原西鶴の『世間胸算用』を取り上げる。本書は、一年最後の収支決算日である大晦日を、江戸時代の町人たちがどのように過ごしているかを描いた作品である。古文を現代語訳するだけではなく、当時の人情・風俗・経済生活等にも触れ、本作品の面白さをレポートしてほしい。演習という科目の性質上、各自が調査・研究した上で自分の考えをまとめ、それを他の受講生にわかりやすく伝えることが必要である。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1～4) 近世文学・西鶴・『世間胸算用』等に関する概説  
(5～13) 演習発表  
(後期) (1～13) 演習発表

履修上の留意点

受講者の分担発表を中心として進める。各自の担当箇所はもちろん、他の受講者の発表に対しても問題意識を持ち、積極的に議論に加わってほしい。

成績評価の方法

担当の発表内容および学年末のレポートに、出席状況を加味する。

教科書

授業時にプリントを配布する。

参考書等

授業時に紹介する。

国  
文  
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学演習Ⅱ	石割透	短国2選必	4

講義のねらい

芥川龍之介の代表的な小説を読みながら、芥川文学の特徴や彼の活躍した大正という時代の文学、文化傾向を検討することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

受講者に、授業時ごとの発表、報告者を決め、発表者の発表内容を中心にして、授業を進めていく。発表者は、担当する作品についての発表内容をまとめたプリントを作成し、それを受講者全員に配布し、それを中心に作品の問題点を明らかにする。発表は年間2、3回担当することになる。1時間に1つの作品をとりあげて進めていく予定。

履修上の留意点

発表者が十分に作品を読み、作品世界について考えをめぐらして授業にのぞむこと。発表者は、発表の折、充分に問題点を明確に示すこと。とともに、発表者以外の受講者も十分に作品を読み、問題意識をもって授業にのぞむこと。発表者が発表担当の時間に欠席でもすることになれば、授業を進めることが不可能になるため、絶対に欠席することがないようにしてほしい。

成績評価の方法

年間2、3回の発表の内容、またその内容を更に深め、焦点をしばらく分析検討したレポートにより評価する。それに普段の授業時の積極的な意欲、出席状況を加味する。

教科書

『芥川龍之介全集1, 2, 3』(ちくま文庫)

参考書等

授業時に指示する。

その他

演習は受講者が中心となり、主体的、積極的に授業を進めていく時間。各自の積極的な姿勢に期待しています。



科目名	担当者名	配当学科	単位
現代文学演習Ⅱ	こばやし 小林 治	短国2選必	4

講義のねらい

安部公房、鳥尾敏雄、深沢七郎、加賀乙彦、村上龍、村上春樹などの第二次戦後派以降、現在に至るまでの作家の小説作品、あるいは上野英信などによるルポルタージュ文学作品を読み、戦後の日本文学の可能性と限界について考える。演習Ⅰからの積み重ねの科目として、個々に自分が文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むことを対象化して考えることを意識しながら、作品に向かってほしい。

講義の内容・授業スケジュール

上記の作家たちの作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導・助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望によって決定する。

履修上の留意点

受講生は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告者にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどり着ければと考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参考書等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

その他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代文学演習Ⅱ	まつだ なおゆき 松田 直行	短国2選必	4

講義のねらい

演劇ワークショップの応用編として、実際の上演を目標とする。かならずしも舞台を使って演劇を上演することに限定しないが、何をやりたいかをグループ全体で相談するところから始める。

講義の内容・授業スケジュール

最初に相談の上、具体的な上演の目標を設定する。詳細については、最初の授業で説明するので必ず出席すること。夏休みに富浦セミナーハウスで2泊3日の合宿を予定している。また上演スケジュールによっては、授業時間以外にもかなりの参加が必要となる可能性がある。

履修上の留意点

文字として書かれたテキストを対象としているわけではないので、授業の場でのコミュニケーションを通してしか学習できない。また共同作業となるため、欠席すると他の学生に迷惑となるので、基本的に毎回出席することが必要になる。

成績評価の方法

試験・レポート提出は行わないが、上演の成果と個々の参加姿勢により評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

指定しない。

その他

科目登録の前に履修許可が必要となるので、初回の授業に必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語演習Ⅱ	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	短国2選必	4

講義のねらい

1年次に修得した国語・国文学研究法をさらに発展させるために、各自が好む題材を選び研究を進めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

国語資料をもとに、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。

履修上の留意点

演習であるので、出席を重視し、各自分担で発表を中心に進めるので、自らの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

レポートにより成績を評価する。

教科書

必要に応じてコピーを配付する。

参考書等

授業時間に指示する。

国  
文  
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究(上代)	さ はら さく み 佐 原 作 美	短国2選必	4

講義のねらい

『万葉集』や『古事記』、『風土記』あるいは『日本霊異記』など奈良朝から平安初期にかけての作品や作者を対象に、各自が選んだ研究テーマをもとに調査研究したその成果を論文にまとめることを目的としている。それに必要な基礎的な事項について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

四月から五月にかけて論文作成に必要な事項を講義し、その間に各自による研究テーマを決定して貰うと共にその作業を進めていく。かくして、12月の最終授業に提出して貰うことになる。

履修上の留意点

2年間の学修の決算としての性格をもつだけに自主的に取り組んでほしい。卒業論文を書くことはその後の人生に大きな喜びと影響をもたらすことであろう。それほどに意義深いことと思われるので最善をつくしてほしい。

成績評価の方法

論文作成に至るまでの取り組み方やその意欲や態度、その上での論文の内容などをあわせ、総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。必要に応じてプリントを使う。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒 業 研 究 (中古)	オズ 鈴木 裕 子	短国2選必	4

講義のねらい

中古文学を対象に、各自が決めた作品とテーマによって、研究論文を作成するための講座です。論文作成に必要な基礎的な事項について、個別に指導します。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的な資料や研究論文等を例示しながら、テーマの決め方、研究の方法、文献や資料の使い方等について助言します。

- ①テーマの決定……4月・5月
- ②資料収集と研究……6月～8月
- ③目次の提出・中間報告(随時)……9月
- ④研究・中間報告(随時)……10月～11月
- ⑤清書・提出……12月
- ⑥面接……1月

履修上の留意点

二年間の学修の総決算として、研究論文という形にすることはとても有意義なことです。是非意欲的に取り組んで欲しいと思います。なお、土曜4限に設定されていますが、実際の指導時間は、別に各自と相談の上定めますので、まず、直接担当者に面談に来てください。

成績評価の方法

作成された論文の内容によります。

教 科 書

特に指定しません。参考書等は指導中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒 業 研 究 (中世)	さか ぐち ひろ 規	短国2選必	4

講義のねらい

中世時代(鎌倉・室町時代)に成立した作品やその作家を取り挙げ、これを研究してレポートを作成する。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに中世文学を概観し、論文をまとめる準備として研究方法等を学び、各自のテーマを決定した後に準備に入る。各自の進度に応じて段階を決めてチェックする。レポート作成スケジュールは授業時に示す。

履修上の留意点

中世文学で研究レポートを作成する者は、出来る限り「古典文学史」の授業を履修して欲しい。また「中世文学演習Ⅱ」といづれかの受講となるので、出席状況もチェックする。

成績評価の方法

卒業研究のレポートの内容とその準備作業をもとに評価する。

教 科 書

授業時にプリント等で学ぶ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒 業 研 究 (中世)	<small>その</small> 園 <small>べ</small> 部 <small>みき</small> 幹 <small>お</small> 生	短国2選必	4

講義のねらい

短期大学2年間の集大成として卒業論文を作成することは、卒業後の人生のためにも、たいへん意義深いものがある。この時間では、中世文学に関連した卒業論文（原稿用紙30枚以上）を作成するための助言・指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主として、卒業論文作成のためのテーマ設定や資料集めとその読解、後期は、卒業論文の構成と作成に関する助言・指導を行なう。

履修上の留意点

授業時間は、土曜日の4時間目に設定されているが、実際には、各受講生と都合をあわせてうえて、空き時間を利用した授業となるので、履修届を提出する前に、必ず相談に来ること。

成績評価の方法

完成した卒業論文によって評価する。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

必要に応じてそのつど紹介する。

国  
文  
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒 業 研 究 (近世)	<small>さか</small> 坂 <small>ぐち</small> 口 <small>ひろ</small> 博 <small>き</small> 規	短国2選必	4

講義のねらい

近世時代（江戸時代）に成立した作品や作家を取り挙げ、これを研究してレポートを作成する。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに近世文学の流れを概観し、論文をまとめる準備として研究法等を学び、各自のテーマを決定した後に準備に入る。各自の進度に応じてチェックする。レポート作成スケジュールは授業時に示す。

履修上の留意点

近世文学で研究レポートを作成するものは、「近世文学演習Ⅱ」を必ず受講してほしい。

成績評価の方法

研究レポートの内容と、その準備作業をもとに評価する。

教 科 書

授業時にプリント等で学ぶ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒 業 研 究 (近代)	いし かり とうる 石 割 透	短国2選必	4

講義のねらい

2年間の学習成果のまとめとして、各自が最も関心がある学習テーマについて研究し、400字詰原稿用紙30枚以上の論文を作成する授業。研究、調査していく過程で、また書くという営みを通して、学習し、考え、知ることの喜びが味わえることと思う。また、その中で、研究ということの深さ、知らない不明な点までも明らかになり、知らないこと不明なことを知ることが勉強することである、という実感が味わえる筈である。研究方法やそれに必要な文献、資料については、示唆を与えるので、教員に質問する積極的な姿勢、意欲を見せてほしい。書くことの意味をくみとるためにも、是非、分野を問わず〈卒業研究〉の授業をうけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

受講者の研究テーマを各自ができるだけ早い時期に決め、そのテーマに基づき、学習の方法、進行についての助言を与えていきたい。

履修上の留意点

不明な点があれば、いつでも質問をすること。テーマをできるだけ、しほり、それまでの研究成果を踏まえて、新しい何かをつけ加えるほどの意欲、熱意を見せてほしい。

成績評価の方法

年度末に提出する原稿用紙30枚以上の論文の内容によって評価する。

教科書

各自のテーマに従って、指示する。

参考書等

各自のテーマに従って、指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒 業 研 究 (現代)	こ ばやし おさむ 小 林 治	短国2選必	4

講義のねらい

二年間継続してきた学習の成果として、各自が選んだテーマによって、研究論文を作成することを目的とする。そのために必要な基本的知識と方法論を学びつつ、論文作成のための実際的な指導を受けることになる。なお、この科目は、研究テーマを近・現代文学に関わるものの中から選ぶとする者が受講する科目である。

講義の内容・授業スケジュール

四月から五月は、論文の具体的なテーマを各自が決める期間であり、研究の基本的な方法、関連する参考文献の調査方法、文学研究の方法論などを学びつつ、それぞれのテーマを検討し、決定していく。六月以降は、対象に選んだ作家、作品ごとに、指導を受けていく。そして、一月のはじめまでに四百字詰め原稿用紙で三十枚以上の研究論文を完成、提出することになる。その間、逐次、進行状況、作成上の問題点等を検討し、指導する。

履修上の留意点

二年間、国文科の学生として学んできた成果をまとめ、それを形にして残すという意味でより多くの学生に挑戦してほしい。自分が選んだテーマを、実際に一つの研究論文にまとめていくことは喜びであると同時に、途中いくつもの難問にぶつかって悩むことも多いだろうが、大きな手応えとして卒業後の自信につながることであろう。

成績評価の方法

完成した論文の内容による。また、研究意欲、取り組みへの積極性にも高い評価を与えたい。

教科書

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
卒業研究（現代）	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国2選必	2

講義のねらい

1年間かけて、卒業論文、または論文にかわる卒業制作作品（小説など）を完成させる。内容に応じて個別に指導する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として近代以降の演劇・芸能関係で卒業論文を書く場合、また論文にかえて、それに相当する内容の文芸創作作品（小説や戯曲など）を提出する場合に、私が担当することになる。小説の場合、400字×200枚以上で構想する。

履修上の留意点

受講者は必ず科目登録の前に申し出ること。小説など卒業制作作品の提出は、原則として1年次で「文芸創作」を履修していることを条件とする。またその場合、個人指導のほか、履修者全員によるグループ指導や合評会を行う。

成績評価の方法

提出された論文または作品により評価するが、完成に至るまでの過程も重視する。

教科書

指定しない。

参考書等

個別に指示する。

国  
文  
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
卒業研究（国語学）	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	短国2選必	4

講義のねらい

国語学についての研究論文を作成するための講座である。国語学研究上必要な方法論・資料収集等の方法について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な論文の例示をして、中世を中心とした音韻・文法・語彙・文字等の特質を概観し、各自の研究対象を確認し、助言した後でそのテーマにそった資料収集を進めてもらう。夏休み中に主な資料のカードを作成してもらい、10月初めに論文作成にとりかかり、12月に各自点検の為の面談を行った後に提出してもらう。

履修上の留意点

各自の自主的な作業で進められるので、論文を作成するという意欲が必要となる。

成績評価の方法

論文作成過程の中の努力・意欲をみて、さらに論文を評価する。

教科書

面談の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	短国1・2選	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。  
私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声・音韻・文字・語彙の各方面から概説します。  
なお、概要は次の通りです。

- ・音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか  
どのように声を作っているのか  
音声をどのように表記するのか  
アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
- ・文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷  
仮名遣いの諸問題
- ・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教 科 書

適宜プリントを配布します。  
春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参 考 書 等

その都度指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 史	はっ とり りゅうたろう 服 部 龍 太 郎	短国1・2選	4

講義のねらい

各時代の資料により、国語の様相を具体的に確認することによって、国語の歴史を概観する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (前期) (1) 概説 (2～4) 上代語 (5～8) 中古語 (9～11) 中世語 (前期)  
(12・13) まとめ  
(後期) (14～17) 中世語 (後期) (18～20) 近世語 (前期)  
(21・22) 近世語 (後期) (23) 近代語 (24) 現代語  
(25・26) まとめ

成績評価の方法

試験やレポート、受講状況等によって判断する。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語文法	なべとしこ 奈部 淑子	短国1・2選	4

#### 講義のねらい

普段、母語として自然に身につけて会話している現代日本語の疑問点を挙げ、現代日本語を分析し、文法を理解し、興味を抱いて現代日本語に対することを目的とします。日頃、何とも思っていなかったり、考えてもみなかったところに規則性（文法）が存在していたことを知り、文法について考える時間を持ち、現代日本語に対する意識を呼び起こし知識を養います。

前期では格助詞を中心に文法に対する理解を深めます。後期には文の持つモダリティについて考察していきます。必要に応じて古典文法との比較を行いながら講義を進めていきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 現代日本語文法についての概説・品詞の説明 (2~5) 主格と主題について (6~10) 受動文・使役文について (11~13) 文体（丁寧さ）について

(後期) (14~19) 現代日本語のテンス・アスペクトについて (20~25) モダリティについて (26) まとめ

#### 履修上の留意点

現代日本語を分析的な目で捉え、興味を深めていくことを目的としますので、講義をあまり欠席しないことが希まれます。

#### 成績評価の方法

学年末試験と受講生の提出物の内容に依拠して行います。

#### 教科書

その時間のトピックスとなるプリントを毎回配布します。

国  
文  
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語教育	おくはらじゅんこ 奥原 淳子	短国1・2選	4

#### 講義のねらい

目的は、二つあります。一つは「日本語教育とはどういうものを学ぶこと」、もう一つは「日本語を客観的に分析する態度を養うこと」です。

「国語教育」と「日本語教育」は違います。これまでみなさんが学んできたのは「国語教育」で、それは幼い頃から自然に無意識のうちに身に付けた言語知識を基に学ぶものでした。一方、「日本語教育」は、その自然に身に付けた日本語を、外国語としての日本語という視点から改めて捉えなおしていくものです。

本講義では、テキストに則り日本語教育に関する基本的な理論を提示します。そして同時に、具体的に日本語を分析していくことで、問題発見能力、帰納的に考察していく力、相手に伝える力を養っていきたいと考えます。さらに、日本語を母語としない人たちが何をどうやって習得していくのか、その具体的な方法や直面する問題もさぐります。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 日本語教育の概観：日本語教育とは何か／日本語学習者の周辺
- 日本語：音声／文法／文字・語彙／社会言語学／心理学
- 日本語教授法：いかに日本語を教えるか、その具体的な方法

#### 履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。グループ活動も多いので、自分の考えをしっかりと伝えるように心がけてください。

#### 成績評価の方法

出席（毎回とります）・提出物・発表・試験・レポート

#### 教科書

高見澤孟 監修『はじめての日本語教育・1[日本語教育の基礎知識]』（アスク）1996年

#### 参考書等

開講時指示します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
表現法(話すこと)(前期)	真 田 治 子	短国1・2選	2

講義のねらい

- (1) 話し言葉の日本語にまつわる問題  
現在の話し言葉はどのような歴史をたどって来ているのか、東京の話し言葉と共通語はどう違うのか、話すように書くと言われていたメールの言葉づかいは書き言葉の日本語とどう違うのか、など現代日本語に関する問題を取り上げて考えていく。
- (2) ゲストの講演に話し方を学ぶ  
各方面で活躍している方たちを授業時間にゲストとして招き、その講演から話し方の特性について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ゲストの方たちの予定を優先するので、開講時に指示する。  
参考までに昨年度のゲストをあげておく。
1. 海外歌舞伎公演のプロデュースアシスタントを手がけてきた関 健二さん
  2. 駒澤大学出身テレビ朝日アナウンサー藤井 たかしさん
  3. 駒澤短期大学出身新人テレビタレント「王様のランチ」の内藤 千晶さん
  4. 数学者で大道芸人そして『美しくて面白い日本語』の著者ビタ フランクルさん
  5. 映画監督として今も発信しつづけている〇〇さん

履修上の留意点

教室の関係で、人数制限をすることがある。

成績評価の方法

出席点、スピーチ、レポートなどを予定。

教 科 書

なし(プリント配布)

参 考 書 等

授業時に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
表現法(書くこと)(後期)	真 田 治 子	短国1・2選	2

講義のねらい

デジタル社会の筆記具であるパソコンを使って、自分の考えていることを文字や画像などで人に伝える技術を学ぶ。また、このような「書く」方法が従来の方法とどのように違うのかを、実習を通して考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) パワーポイントを使って「電子紙芝居」を作ってみる。
- (2) HTMLを使って「ホームページ」を作ってみる。

履修上の留意点

教室の関係で、人数制限をすることがある。初回授業にMOディスクを持参すること。

成績評価の方法

出席点、課題提出などを予定。

教 科 書

なし(プリント配布)

参 考 書 等

授業時に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 I ( 前 期 )	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	2

講義のねらい

国語の試験問題の解法について、現代文（評論・論説文）を中心に講義する。国語の試験問題では、本文の要旨を正確に読み取った上で、設問における出題者の意図を把握し、論理的な文章で簡潔な解答を書くことが要求される。実際に出題された問題を使って解法を講義することにより、単に試験で点数を取るだけでなく、論理的な思考力と記述力を身につけるための訓練を行う。

講義の内容・授業スケジュール

(1-2) 論説文を読む (3-4) 論旨とは何か (5-6) 論理的な構成を読み解く (7-8) 出題の意図を考える (9-10) 記述式問題の答え方 (11-12) 論述力の養成 (13) 模擬試験

履修上の留意点

履修希望者は初回の授業に出席し、ガイダンスを受けること。初回に出席できない場合は、登録前に直接相談に来ること。

成績評価の方法

教場試験と出席状況により採点する。

教科書

教科書・参考書は授業で指示する。主に過去の編入学試験の問題を教材として使用するが、それについてはプリントで配布する。

国  
文  
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 II ( 後 期 )	その べ みき お 園 部 幹 生	短国1・2選	2

講義のねらい

国語の試験問題の解法について、古文を中心に講義する。単なる出題文の読解ではなく、設問の意図をどのように理解すればよいか、限られた時間の中でいかに効率よく解答を作成するか、そのためにはどのような基礎的知識が必要か、試験問題として出題されやすい事項にはどのようなものがあるか、論述問題の解答作成上の留意点は何かなど、国語の試験問題の解法と関連したことがらについて講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1・2、呼応表現。3・4、助動詞。5・6、敬語。7・8、識別。9・10、修辭法。11・12、総合。13、時間内試験。

履修上の留意点

後期科目であるために、履修届の提出前に授業がないので、この科目についての説明は、同一時限に開講される「テーマ研究Ⅰ」の1回目の授業の中で行う。したがって、この科目を履修しようとする学生は、必ず「テーマ研究Ⅰ」の初回の授業に出席するか、もしくは、担当教員のところまで直接相談に来ること。

成績評価の方法

教場試験と出席状況を総合して評価する。

教科書

過去の編入学試験における国語の問題を中心としたプリントを配布する。

参考書等

必要に応じてそのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テーマ研究Ⅲ（前期）	いし かり とおる 石 割 透	短国1・2選	2

講義のねらい

〈家〉〈家族〉のあり方は、幕末から明治にかけての西洋との接触、その深まりに伴い、大きな変化をもたらした。〈個〉の自覚が高まり、男女関係も大きな変容を見せる。従来の主に儒教道徳に基づく〈家〉制度に対する疑問も昂まり、新たに個人の愛情関係に基づく〈恋愛〉、〈家庭〉の概念が、徐々に一般に浸透していった。この授業では、明治初期から大正にいたる文学テキストに、いかに〈家〉〈家庭〉〈恋愛〉が描かれてきたかを考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

福沢諭吉、坪内逍遙「小説神髓」「当世書生気質」、二葉亭四迷「浮雲」、森鷗外「舞姫」、樋口一葉「十三夜」、徳富蘆花「不如帰」、与謝野晶子「みだれ髪」などから、明治三十年代の家庭小説、島崎藤村「旧主人」「水彩画家」、そして夏目漱石、「白樺」派などの日露戦争後から大正期にかけての主要な作家、作品について具体的に検討していきます。

履修上の留意点

授業内容の性質から、多くの長編小説も含んだ作品をとりあげることになる。授業をうけるにあたり、出来る限り作品を細かく読んで、授業に臨んでほしいと思います。

成績評価の方法

レポートと出席状況により、採点します。

教科書

文学作品については、文庫本などを授業時に指示します。また、必要なことは、授業時にプリントを配布します。年表の会編『近代文学年表』（双文社出版）をいつも手許に置き、授業の参考にすること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テーマ研究Ⅳ（後期）	まさ ぐち ひろ き 坂 口 博 規	短国1・2選	2

講義のねらい

テーマは「変身譚の真実」である。変身譚は、人間が鳥獣・魚虫・植物に姿を変えること、あるいはその逆を語る話であり、世界の各地・諸民族が古代の昔から語り継ぐもので、現代文学に至るまで「幻想文学」のテーマとして、幾多の作品の創造を見る。変身物語は、それまでの自己を閉ざして、次元の異なる自己を創りたいという欲望に根ざしたり、あるいは変身することで古い思想や秩序の共通世界を喪失する疎外状況への恐怖・不安に根ざしたりするところの、人間存在を本源的に問う物語である。人間の尊厳を否定する「イジメ」ということも、会話（＝言語）を断って疎外するという方法がとられたりする。変身譚が秘める問題は、古くても新しいものでありその真実を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

変身譚は日本においても古代から近・現代まで多くの文学作品に見ることが出来る。開講時(1)変身譚の文学性について論述、次いで海外の変身譚、特にローマの詩人オヴィディウス著『変身譚』（又は『転身物語』）より数篇の話を取り上げ、変身のパターンを概括(2～4)、日本の例を取り上げ、まず古代の『風土記』に登場する「羽衣伝説」を考察(5～7)、中古の『竹取物語』(8)を考える。以後近代の変身譚として中島敦作『山月記』(9・10)や木下順二作『夕鶴』(11～13)を考察、変身譚の主要な問題点である疎外状況におけるコミュニケーションの断絶という問題を考察する。

履修上の留意点

上記した三作品の他、カフカ作『変身』なども読んでおいてほしい。なお人間以外の者が人間に変身して人間と結婚するという「異類怪婚譚」という話がある。これについては「テーマ研究Ⅴ」にて論じるので、併せて受講してほしい。

成績評価の方法

レポートによる評価に、出欠状況を参考にして判定する。

教科書

授業時に配布するプリントによって講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テーマ研究Ⅴ(前期)	坂 口 博 規 <small>さか ぐち ひろ き</small>	短国1・2選	2

講義のねらい

テーマは「異類怪婚譚の諸相」である。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・植物のことで、この異類が人間の男や女に変身して、人間と結婚する話を異類怪婚譚と称する。昔話(あるいは民話・民譚等)に様々な話があり、この異類物語は古代の文学から作品に登場するのであるが、この異類の郷土(人間界と別の異郷)を基礎として大きく三つの系統に大別される。本講義ではこれらの諸相を、古代の伝承から考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず異類怪婚譚とはどのような話を解説し(1~3)、特に異類女房の話を中心に授業を進める。初め「空」を郷土とする白鳥処女説話(天女の「羽衣伝説」が代表)を考察(4~7)、次に「海」を郷土とする「浦島伝説」を考察(8・9)、更に「陸地(森林・山野)」を郷土とする狐女房の話などを考察する(10)。こうした話は室町時代の物語草子(御伽草子)に多く物語られるので、それぞれの作品についても論及したい(11~13)。

履修上の留意点

異類女房の話は、例えば「鶴の恩返し」や「天女」「竜宮城の乙姫様」等々、昔話あるいはお伽話として馴染み深いものである。こうした話は古代の神話・伝説の世界から日本で綿々と語り継がれたものであるとともに世界各地で語られる世界大物語でもある。これらの中には、時代時代の思想や信仰が指摘される。そうしたものへの深い理解を求めたい。さらにこうした異類の変身の話には、人間の哲学的問題を秘めている。この点については「テーマ研究Ⅳ」にて論じるので、こちらの講義も受講してほしい。

成績評価の方法

レポート評価に出欠状況を加えて判定したい。

教科書

授業時に配布するプリント資料によって講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テーマ研究Ⅵ(後期)	佐 原 作 美 <small>さ ばら さく み</small>	短国1・2選	2

講義のねらい

奈良朝から平安朝頃にかけて成立した文学作品を通して「上代の日本人の精神生活を探求する」をテーマに見ていきたい。精神風土と文学のありようについて、作品の鑑賞をまじえながら授業をすすめていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

テーマ①上代人の呪的信仰について

はじめに「呪的信仰」とは何かについて、その概念規定を行ったのち、具体的な作品たとえば『古事記』上巻の「イザナギノミコトの黄泉国訪問」神話や『万葉集』『日本霊異記』等の作品を素材に検討を加えていく。

テーマ②上代人の言霊信仰について

「呪的信仰」とともに上代人にとって重要な事柄として言霊信仰がある。『万葉集』や『風土記』あるいは『続日本紀』などの史書の中からそれに関する作品や記録をもとに考えていきたい。

テーマ③上代人の夢信仰について

上代人は「夢」をどうみていたかについて、『万葉集』や『風土記』や『日本霊異記』あるいはその他の文献をもとに見ていきたい。

履修上の留意点

教材はプリントを事前に配布したいと思うので、その時は予め目を通しておいてほしい。常に問題意識を呼び起すようにつとめて貰いたい。

成績評価の方法

出席状況や時々のレポートなどを見て総合的に判断する。

教科書

教科書を用いず、毎回プリントを配布する。

参考書等

必要に応じてその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 Ⅶ (前 期)	こ ばやし 小 林 治	短 国 1・2 選	2

講義のねらい

宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばみまわれてきた経緯があり、それゆえ、賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類なき想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはなつてくるのである。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の賢治作品の実相を、生前発表作品と、『ボラーノの広場』、『グスコブドリの伝記』、『風之又三郎』など、後に「少年小説」と名づけられた作品の初期形から最終形までの生成の中にもっていく予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んでおいて授業に出席のこと。

成績評価の方法

数回のレポートの内容に、出席状況を加味して評価する。

教 科 書

宮澤賢治『宮沢賢治全集第7巻、第8巻』（ちくま文庫）  
その他、適宜プリントも配布する。

参 考 書 等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 Ⅷ (後 期)	こ ばやし 小 林 治	短 国 1・2 選	2

講義のねらい

戦後日本において、その新たな可能性が追究されたアヴァンギャルド文学運動の渦中から登場した安部公房が遺した作品のほとんどは、現実を写そうとする旧来のリアリズムと対極にある。皮相なりアリズムによっては切り捨てられ、あるいは隠蔽されて、闇に葬られてきた生活者の身体感を露出させているという意味において、これほど現実を映している作品は稀有といつてよいだろう。そのような安部公房の作品を精読する。

講義の内容・  
授業スケジュール

昭和20年代の初期短編作品から、『砂の女』以前の昭和30年代の長編作品まで順次取り上げていく。

履修上の留意点

新潮文庫、安部公房全作品、安部公房全集などを用意して、あらかじめ作品を読んでおいて授業に出席のこと。

成績評価の方法

数回のレポートの内容に、出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

安部公房『水中都市・デンドロカカリヤ』（新潮文庫）438円  
その他、適宜プリントも配布する。

参 考 書 等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
異文化コミュニケーション	おく ほん じゅん こ 奥 原 淳 子	短国1・2選	4

#### 講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化が進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下において、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思ひます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- ・「日本人」とはだれか。
- ・「コミュニケーション」とは何か。
- ・それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- ・非言語コミュニケーションは国によってどう違うのか。
- ・異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるのか。また、そのためにはどうしたらいいのか。

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くこと等についてその方策を提示していきます。

#### 履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

#### 成績評価の方法

出席(毎回とります)・提出物・発表・試験・レポート

#### 教科書

開講時指示します。

#### 参考書等

開講時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報言語学	かたやま はるかた きなだ はるこ 片山 晴賢・真田 治子	短国1・2選	4

講義のねらい

「電脳国文学」ということばをあなたは理解できますか。まさに電脳システムに基づく国語・国文学研究をめざします。ネット上には、電子テキスト・写本原画像はたまた学術研究者の公開論文など多種多様な研究すべき素材とテーマがそれぞれのホームページに常時拡張しつづけています。これらのデータをパーソナル・コンピュータという電子の道具をもって利用し、かつ自身がもっとも必要とする情報収集・整理そして自らのレポート・論文作成まで学習していくものとなります。前期で基礎編、後期で応用編を学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

基礎編

I 情報収集

- ① URLの仕組み
- ② ブラウザの基本操作
- ③ 検索の方法
- ④ 役立つ情報資料
- ⑤ 周縁圏のガイドライン情報
- ⑥ 新聞記事を検索で読む
- ⑦ 展示会・催し物などの情報へのアクセス
- ⑧ 旅宿・地図・時刻表を読む
- ⑨ 就職情報へのアクセス
- ⑩ ネット交流—メール送受信・掲示板。著作権など

II 情報整理

- ① ことばのエディタ化とワアプロ化（利便な機能習得）
- ② ことばのデータベース化（基礎データ作成）

応用編

発表用資料の組み立てを知りましょう  
 自分の研究資料に基づく固有辞書の登録（歴史的假名遣い入力など）  
 漢字（旧漢字や難字・難読漢字をどう理会し、どう活かすか）  
 電子データのレポート原稿作成  
 漢字索引・假名索引の製作

成績評価の方法

レポート、出席日数を考慮して評価する。

教科書

《前期分》  
 漢字文献情報処理研究会編『電脳国文学』CD-ROM付（好文出版）3,200円＋税  
 《後期分》  
 講義の際、追って指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学概論	坂口博規	短国1・2選	4

講義のねらい

日本文学は原始の口承文学より長い歴史をもち、政治や社会や風土と深くかわりながら、複雑多様で豊かな展開を示してきた。個々の作品や作家を考える上で、そうした日本文学がいかなる背景のもとで生成したのかを理解することは大切なことである。日本文学の本質を理解し、その諸相を十分に把握することで、作品や作家の抱えた諸問題への深い関心が喚起される。即ち、日本文学を研究する上で様々な視点があることを知り、問題意識を多角的に持つ必要があるからである。文学作品を研究するには客観的立場に立って『論証』することが要求され、単に個人の主観的印象や価値判断を与えるものではない。日本文学とはいかなるものか、日本文学研究とはいかなるものかを考えるのが目的である。

講義の内容・授業スケジュール

開講時(1・2)に、日本文学＝国文学という分野について概説をし、文学ジャンルについて論じる(3～7)。以後古代より近世までの文学理念について論じ(8～23)、及び日本文学と風土との関係(24)、時代や社会との関係(25・26)などを論じる。主にテキストを読み進めることを中心に論述する。

履修上の留意点

テキストを読み進め、これを補うという形で授業を進めるので、必ずテキストを入手すること。また定期試験もテキスト持ち込み可とするので、入手が望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績に、出欠状況を参考にして評価する。

教科書

阿部正路・上坂信男・神作光一・寺本直彦編著『日本文学概論』(右文書院)2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	小林治・鈴木裕子 園部幹生・松田直行	短国1・2選	4

講義のねらい

「音」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者から、その都度指示があるので、それに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は、次の通りである。

- ① 近現代文学の中の音と音楽 (4/15, 4/22, 5/6, 5/13, 5/20, 5/27, 6/3) 小林治
- ② 説話文学における音 (6/10, 6/17, 6/24, 7/1, 7/8, 7/15) 園部幹生
- ③ 歌の近代史～J-POPへの道程  
(9/16, 9/30, 10/7, 10/14, 10/21, 10/28, 11/4) 松田直行
- ④ 王朝人が聞いた「音」—古代の物語と日記から—  
(11/11, 11/18, 11/25, 12/2, 12/9, 12/16) 鈴木裕子

履修上の留意点

最初の授業時(4/15)にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況等により総合的に評価する。

教科書

担当者により指示する。

参考書等

授業中に指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
古典文学史	伴野英一 <small>ばんのひでかず</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

日本における古典文学史を、概観的に把握できるよう学ぶ。  
「古典文学史」ということで、概ね、上古より中世までの範囲を考えているが、いわゆる文学史を学ぶだけでなく、なるべく各時代の文章そのものに触れて味わいたい。また、現代に生きる我々の持っている感覚と、古典の中に広がる世界に溢る感覚との相違点にも思いを巡らせ、日本古典文学史をミームとして捉えてみたい。

成績評価の方法

出席点と年度末試験を重視する。出席数が年間を通じての講義数の三分の二に達しないものは単位を認定しない。また、年度末試験の得点が60点に満たないものも単位を認定しない。

教科書

テキストは適宜指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近・現代文学史	笹瀬王子 <small>ささせおうじ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

日本の近代は、江戸から明治へと改元された時から始まるとされる。文学の世界も同様である。旧来の文学を一新し、近代文学としての歩みを始め、自立し、その独自性を発揮するまでの道程を知り、確認することは文学研究の上からばかりでなく、今を生きる私達現代人にとっても自ら<近代>を問う意味で有意義となろう。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、明治開化期の文学の考察を手始めとして、以降は時代の流れに沿って文芸思潮を中心にその時々の文学運動を参看しながら個々の作品の歴史的な意味について考えていく。

履修上の留意点

講義の性格上、ともすれば作品名の羅列になりがちであるが、可能な限り数多くの作品にじかにふれるようにしたい。扱う作品は、すべて名作ばかりである。まずは、勉強するという意識に縛られず、それらと親しみ、その世界に遊んで欲しい。講義に積極的に参加する気持ちが何よりも大切である。従って、受講者は知識として作品名を覚えればよいというのではなく、あらかじめ課題となる作品を自主的に読み、考える姿勢を強くもって講義に臨むことを要望する。よく遊び、よく学ぶ。そこから得られる喜びがかけがえのないものであることを信じる。

成績評価の方法

受講態度、学習意欲等の平常点、レポート、試験によって総合的に評価する。

教科書

岡保生、大久保典夫編『現代日本文学史』（おうふう）  
〈近代日本の文学〉編集部編『近代日本の文学』（双文社出版）  
教場配布のプリント。

参考書等

講義の際、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国文学史	清水浩子 <small>しみずひろこ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

テキストにより周代の文学から現代までの文学について概観し、代表的な作品講読を行い、中国文学への理解を深める。

履修上の留意点

レポートの締め切りを守ること。

成績評価の方法

各時代の講義が終るごとに簡単なレポートを提出してもらうので、レポートの内容の評価と出席などを総合的に判断して行う。

教科書

佐藤一郎著『中国文学史』（慶應義塾大学通信教育部）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文献資料を読むⅠ	なべとしこ 奈部 淑子	短国1・2選	4

講義のねらい

上代から江戸時代までの文献資料を読み、国語学（日本語学）の歴史的研究の重要な資料にふれることを通して文献資料研究の楽しさを知ることを目的とします。国語学史を学ぶにおいて上代からの文献資料にじかにふれ、解説していくことは欠かせない作業であり、歴史的な資料とそれに対する研究がなかったら現在の国語学（日本語学）の研究成果は得られなかったと言っても過言ではありません。また、合わせて文献資料に関する知識・意識を高めていくことも目標としています。

前期には上代から中世にかけての文献資料を読み、後期には中世から江戸時代に残された資料にふれ、活字がなかった時代の文献に対応し、読み解くことのできる力を養います。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 日本語における文字の歴史についての概説 (2~5) 上代の文献資料を読む (6~10) 中古（平安時代）の文献資料を読む (11~13) 中世（鎌倉時代）の文献資料を読む  
(後期) (14~19) 中世（鎌倉時代から室町時代）の文献資料を読む (20~25) 近世（江戸時代）の文献資料を読む (26) まとめ

履修上の留意点

文献資料に慣れ親しみ、資料研究の楽しさを知ることを目的としますので、講義をあまり欠席しないことが望まれます。

成績評価の方法

学年末試験の結果と受講者の提出物の内容に依拠して行います。

教科書

その時間に用いる文献資料のプリントを随時配布します。

国  
文  
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典文学を読むⅠ	さほらまくみ 佐原 作美	短国1・2選	4

講義のねらい

授業では『万葉集』の講読を中心にすすめる。『万葉集』は承知の如くわが国最古の大和歌集であり、約4500首もの和歌を収める国民的古典である。授業ではその中から特に特色ある歌人として知られる山上憶良の作品を中心に読んでいくと共に、作者憶良の人間像を探究することを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

憶良を理解するにはその作品を精読することが第一であり、それにあわせその時代や社会などとの関わりをも視野に入れる必要がある。授業では、憶良の全作品を創作年代順に追いながら学生と共に読んでいきたい。

履修上の留意点

授業は単に出席して講義を聞けばいいというものではない。自ら積極的に作品を読み、考え、味わうことが大切である。作品は人間から生れた文学芸術であることを忘れずに、意欲的に立ち向うようにしてほしい。

成績評価の方法

出席状況や質疑、およびレポートなどの提出物などを見て総合的に評価する。

教科書

土橋 寛編『作者別万葉集』（おうふう）2,000円

参考書等

授業時に必要に応じてその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
古典文学を読むⅣ	岡田万里子 <small>おかだ まりこ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

テーマ：江戸時代の文学作品を読む

本講義では、出版文化が開花した江戸時代の文学作品を読み、今日まで「日本文化」といえば常套的に挙げられる歌舞伎や浮世絵などの江戸時代の文化に親しむことを第一の目標とします。さらに、古文の文法や単語を学んで古文を読みなれ、参考図書を利用して独力で古文を読めるようになること、文献調査の方法から文学理論の基礎まで、文学作品を読む上で必要な技術を身につけることの二点をも講義の目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

銭湯での会話を通じて庶民の生活を描いた式亭三馬の『浮世風呂』をはじめ、複数の江戸時代の版本（印刷された本）から抜粋して講読します。親しみやすい作品を通して、内容を把握すると同時に、描かれた生活文化への理解を深めましょう。また、講読と並行して、期末レポートへの準備を兼ねた、文学研究の方法について講義をしていきます。

履修上の留意点

基本的には講義の形式をとりますが、討議も行いたいと考えていますので、授業への積極的な参加が求められます。参考図書の使用方法など、講読に必要な基礎知識を提示するので、それにしたがって、自らも調べながら読んでいってほしい。

成績評価の方法

前期末ならびに後期末のレポート、出席、授業への貢献度を総合的に勘案します。

教 科 書

講読テキストはコピーを配布します。

参 考 書 等

教場で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近・現代文学を読むⅠ	石割透 <small>いしわり とおる</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

近代の小説、この時間は特にわが国の1910年代から20年代にかけての代表的な小説、作家をとりあげて、この時代の文学的傾向、文化的な諸問題を検討していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

とりあげる作家、小説は大体次の通りです。志賀直哉「清兵衛と瓢箪」「雨蛙」「十一月三日午後の事」「焚火」「小僧の神様」、谷崎潤一郎「刺青」「痴人の愛」「小さな王国」「春琴抄」、芥川龍之介「鼻」「芋粥」「秋」「奉教人の死」、江戸川乱歩「二銭銅貨」「屋根裏の散歩者」「人間椅子」など。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は、短編小説が中心である。前もって必ず緻密に読んでおいて下さい。

成績評価の方法

年度に2、3回、作品について論じたレポートを提出。原稿用紙7枚以上のレポートとともに、出席状況、授業時の態度によって評価する。

教 科 書

プリントを随時配布。年表の会編『近代文学年表』（双文社出版）を常に備えておくこと。とりあげる作品の多くは、文庫本で読めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国文学講読	清水 浩子	短国1・2選	4

講義のねらい

中国最古の詩集『詩経』から唐・宋までの詩文を中心に学び、漢文に親しみ、中国文学への理解を深め、日本文学への影響についても考える。

講義の内容・授業スケジュール

4月から5月にかけての授業は日本人のよく知っている漢詩文を用いて、漢文の読み方の基礎を学ぶ。それ以降はテキストにそって、講義を行い、10月から11月には受講生各位に好きな唐詩の発表をしてもらう。最後は中国文学の日本文学への影響を考える。

履修上の留意点

毎回の出席を心がけて欲しい。

成績評価の方法

年間数回の試験と授業中の発言によって判定を行う。

教科書

中村璋八編『中国思想文学通史』（明治書院）、及びプリント。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原典講読 I (前期)	佐原 作美	短国1・2選	2

講義のねらい

文学は読む作業を通して享受するものであるが、ここでは「活字」ではなく手書きされたものを読んでいく。活字以前の古典のこもす雰囲気や、変体仮名（で味わいつつ）独特の書体に読み慣れることを目指していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

作品として、複製の『竹取物語』を扱うのであるが、時間的に全文は無理なので要所を選んで読んでいきたい。

履修上の留意点

大切なのは問題意識や関心を寄せることであることを肝に銘じて取り組んでほしい。

成績評価の方法

出席状況や授業中の質疑やレポートなどを見て総合的に判断する。

教科書

片桐洋一編『竹取物語』（新典社）1,000円  
神戸平安文学会編『仮名手引』（和泉書院）400円

参考書等

必要に応じて授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 典 講 読 II (後期)	佐 原 作 美	短国1・2選	2

講義のねらい

古典和歌の中から秀歌百首をもって撰集された「小倉百人一首」をテキストとして、一首一首味読していきたい。いわゆる活字体のものではなく、変体仮名で書かれた写本の複製本を用いて読む。写本や変体仮名に慣れると共に、古典のもつ雰囲気をも味わいたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、その配列順に従って一首ずつ、学生と共に読んでいきたい。また、和歌には様々な逸話や伝承がついているので、そうした和歌にまつわる伝承や史話などもあわせ読んでいきたい。それと共に、日本人にとっての和歌のもつ意味などをも含め、広い視野から見ていきたい。

履修上の留意点

和歌はあまりなじみがない学生も多いかと思うが、和歌は日本人にとって大きな精神的要素を形成し、担って来た一大国民的文学の柱でもあった。単に和歌を解釈する以上に、出来るだけ深く読み取ろうとする態度、意欲的な姿勢をもって取り組むことが望まれる。

成績評価の方法

出席状況や授業中の質疑、及びレポートなどの提出物などを見て、総合的に評価する。

教 科 書

有吉保他編『影印本百人一首』(新典社) 750円  
神戸平安文学会編『仮名手引』(和泉書院) 400円

参 考 書 等

必要に応じて授業の中で紹介する。

国  
文  
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歌 謡 II	川 上 順 子	短国1・2選	4

講義のねらい

今年度は『古事記』下巻の仁徳天皇巻に記載される歌謡から講義を開始する。聖帝の世といわれる仁徳記の歌謡の大半は、天皇と后たちの恋の歌である。そして多くの皇位継承者を倒して天皇となった雄略天皇の巻も、男女の恋の歌で彩られる。萬葉集に先行する古代歌謡が『古事記』の中に文字として捉えられたとき、その文学性をどのように評価すべきか。物語と歌謡の関係を『日本書紀』歌謡と対応させて考えていこう。

講義の内容・授業スケジュール

- k. 仁徳記歌謡
- l. 志都歌・本岐歌・夷振・宮人振
- m. 雄略記歌謡
- n. 鬨歌
- o. 日本書紀・風土記・続日本紀の歌謡

履修上の留意点

- ①出席を必ずとる。
- ②講義ノートにもとづく小テストを数回行うので、教室へは専用ノートを必ず持参すること。

成績評価の方法

- ①出席回数
- ②小テストの点数
- ③夏休みレポートの評価点
- ④期末レポート試験の評価点(上記のものを総合して成績を評価する)

教 科 書

- ・西宮一民編『古事記』(おうふう) 1,900円
- ・日本書紀歌謡・風土記歌謡・続日本紀歌謡はプリントを配布する。

参 考 書 等

参考書等はそのつど指示する。

そ の 他

授業は講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
和歌文学 I	さかぐちひろま 坂口博規	短国1・2選	4

講義のねらい

鎌倉時代初期に成立した私家集（＝個人歌集）『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛娘徳子（安徳天皇母）の宮廷に女房として仕えた、「右京大夫」と称した女性の歌集である。他人詠も含めて361首の歌が、全体ほぼ年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学に指摘される自照精神を問うこともできる。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋に陥り、以後平家一門の都落ちに伴う資盛の流転、壇の浦での死去を体験し、その追想の日々を過ごす。その戦乱期に運命を翻弄された作者の人生を、散文（＝詞書）と韻文（＝和歌）が見事に融合したと評価される作品を通して考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時（1・2）は、女性の手になる自照文学の流れを概観し『平家物語』の裏面史とも言えるべき本作品を理解するため『平家物語』の女人哀話を紹介（3）、前期は平資盛との交渉を中心に作品を講読する（4～13）。後期は似絵（肖像画）の名手であり歌人でもあった藤原隆信との稔らぬ恋に苦悩するが、その交渉を伝える和歌を中心に作品を読み進め（14～25）、和歌文学の魅力を考える（26）。作品研究という形で本文を読みたい。

履修上の留意点

和歌の魅力を感じてもらうように、いくつかの作品を分析的に読解してみるが、まず作品の成立した平家全盛の時代、そしてその滅亡の歴史的背景について研究してほしい。なお宮廷社会について考察してほしい。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績に、平素の出席状況や授業への取組みを参考にして評価する。

教科書

糸賀きみ江校注『建礼門院右京大夫集』（新潮社）1,940円

科目名	担当者名	配当学科	単位
物語文学 I	すずきひろこ 鈴木裕子	短国1・2選	4

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者の一人一人に答を見つけてもらいたいと思います。そのためには、原文で『源氏物語』を読むことは大切なことです。少しずつでも、自分で作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになるとよいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

『源氏物語』入門のための講座です。一年間で、『源氏物語』の全体像を把握できるように、精選した場面を読みながら、古典に親しめるように配慮します。以下の計画で、『源氏物語』の名場面を精読する予定ですが、進行状況により柔軟に対応します。

（前期）『源氏物語』概説

第一部の物語世界・その1（光源氏誕生から須磨・明石退去まで）

（後期）第一部の物語世界・その2（光源氏世界の構築・罪と栄華の物語）

第二部の物語世界（光源氏世界の変容・女の物語へ）

履修上の留意点

授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式を基本としますが、頻繁に小作文などの課題を出題します。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験（論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行います。

教科書

『ピギナーズ・クラシック源氏物語』角川ソフィア文庫（角川書店）、その他プリント教材。参考書は、授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
物 語 文 学 Ⅲ	すずき ひろこ 鈴 木 裕 子	短国1・2選	4

講義のねらい

仮名散文で書かれた「物語」とは、平安時代の文学作品の代表的な形態の一つと言えます。この授業では、一つの物語作品について精読するのではなく、できるだけ多くの作品を取り上げてそれらの一節を読みながら、古代の物語の系譜をたどってみたいと思います。また、本文解釈のための基礎知識・古典文法の知識についても復習しながら、古典が「読める」ようになることを目指したいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の計画で、物語作品の中から選んだ場面を、特に女性たちの人生がどのように描かれているかに着目しつつ、読みながら解説していく予定ですが、進行状況により柔軟に対応します。

- (前期) ①前期物語を読む。  
『竹取物語』、『うつほ物語』、『落窪物語』その他。  
②歌物語を読む。  
『大和物語』、『葦物語』その他。  
(後期) ③『源氏物語』と後期物語を読む。  
『源氏物語』、『堤中納言物語』『夜の寝覚め』その他。

履修上の留意点

授業はプリント教材を用い、講義形式を基本としますが、かなり多くの古典作品を次から次へと読むことになります。また、頻繁に課題を出題します。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験(日時・論題等は授業時に提示)・授業態度(欠席・遅刻をしないことは前提)・課題などから総合的に行います。

教 科 書

プリント教材。参考書は、授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 記 文 学 I	さか ぐち ひろき 坂 口 博 規	短国1・2選	4

講義のねらい

日記文学の文学性の本質は「自照(=自己観照)精神」に見る。自己の内面に向き合う作者の自己省察の姿勢や精神を考えたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

開講時(1・2)に日記文学の歴史や文学性を概観し、特に『土佐日記』と『蜻蛉日記』の果たした意義を考える(3~5)。5月中旬頃より、中世の女流日記文学を考察(6)、鎌倉時代後期、後深草院の後宮に出仕した二条という女性の回想記『とはずがたり』の紹介をする(7)。以後前期のうちに巻一のうちより主要部分を講読(8~13)、後期に入って巻二・巻三より主要部分を取り上げて講読する(14~25)。作者二条の波乱に豊んだ人生を総括する(26)。

作者は後深草上皇に愛されると同時に、他に二人の男性からも愛され交渉をもつ。その愛憎の苦悩からのちに出家、理想と仰ぐ西行法師にならって諸国行脚の修行の旅をした。その特異な人生体験の回想の記より、作者二条の自照精神を考えてもらう。

履修上の留意点

作品の講読を主とするが、作品全体を味読することは叶わないので、取り上げた以外のところも、是非目を通してほしい。授業時注釈書等参考資料を紹介する。

成績評価の方法

定期試験時にレポートを提出してもらい、出席状況等を参考にして評価する。

教 科 書

次田香澄校注『とはずがたり』(明治書院)1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
随筆・評論 I	すずきひろこ 鈴木裕子	短国1・2選	4

#### 講義のねらい

『枕草子』を読みます。この作品はそれまでにない新しい文学のスタイルを打ち出したものと言えます。そのような作品の表現の特色は何か、またこの作品はいかなる美意識に支えられているか、あるいはまた、そこに描き出される宮廷生活とはどのようなものかなど、いろいろ考察しながら作品のおもしろさを理解したいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

『枕草子』に描かれている記事の歴史的社会的な背景が理解できるように、周辺の資料も読みながら、作品のおもしろさを味わいましょう。以下の計画で、精選した『枕草子』の章段を読む予定ですが、進行状況により柔軟に対応します。

- (前期) ①『枕草子』概説  
 ②枕草子の美意識…初段・第三四段・第八九段・第九八段・第二二四段～二二七段  
 ③宮仕え生活1…第一七九段・第二〇段・第二一段・第七八段・第九五段  
 (後期) ④宮仕え生活2…第四六段・第一二八段・第一三一段・第一三二段・第一〇二段  
 ⑤中関白家没落…第一五六段・第八〇段・第五段・第六段

#### 履修上の留意点

授業は主としてテキストやプリント教材を用いての講義形式ですが、頻繁に小作文などの課題を課します。

#### 成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験(日時・論題等は授業時に提示)・授業態度(欠席・遅刻をしないことは前提)・課題などから総合的に行います。

#### 教科書

角川文庫『枕草子上・下』(角川書店) ※必ず上下とも購入のこと。その他プリント教材。参考書は、授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史文学 I	そのべみきお 蘭部幹生	短国1・2選	4

#### 講義のねらい

歴史文学のなかから、代表的な歴史物語である『大鏡』をとりあげる。昨年度の「歴史文学Ⅱ」の講座のなかで、『大鏡』を読み、道長伝の始めの部分と、その関連作品を取り扱ったので、今年度は、序文と、道長伝の続きに当たる部分を講読する。ただし、道長伝の他に、『栄花物語』のような関連のある歴史物語や、日記・説話の類も読むことになる。それらを通じて、歴史の事象を多面的に捉え、立場による視点の違いを知ることで、歴史文学についての理解を深めたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

年間を通して『大鏡』序文と道長伝や関連作品を読み進める。1 ガイダンス。2 歴史文学概説。3 大鏡概説。4～8 序文講読。9～24 道長伝および関連作品の講読。25 教場試験。26 まとめ。

#### 履修上の留意点

毎時間、授業の最後に、その時間の講義内容に対する短い意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

#### 成績評価の方法

毎時間提出する意見文によって50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の試験を行なう。試験には、ノート・テキスト・参考書・辞書など、何でも持ち込んで参照してよい。なお、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡(該当者・テーマ・提出期限など)を行なうので、必ず出席すること。

#### 教科書

『大鏡』の全文が載っているものであれば、何でもよい。むしろ、各受講者が異なる出版社の『大鏡』を持って授業に臨み、比較・検討できれば、その方がよい。

#### 参考書等

必要に応じて、授業時間内にそのつど紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
説 話 文 学 I	<small>その</small> 園 <small>べ</small> <small>みき</small> <small>お</small> 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい

説話文学のなかから、代表的な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かすことを試みてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。それらの話との比較も、説話を理解するうえでは、たいせつな要件となる。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、家集・歌学書・物語・歴史書・日記等々、あらゆるジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1ガイダンス。2説話とは。3・4説話文学史。5序文講読。6・7宇治拾遺物語の特徴。8～18編者論。19～24作品論。25教場試験。26まとめ

履修上の留意点

毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう（試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込んで参照してよい。ただし、受講者が極端に少ない場合はレポートに切り替える）。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

教 科 書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』（角川文庫）

参 考 書 等

『駒澤短大国文』34号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
軍 記 文 学 I	<small>た</small> <small>なか</small> <small>しん</small> <small>さく</small> 田 中 伸 作	短国1・2選	4

講義のねらい

軍記文学の代表である『平家物語』を流布本によって読む。『平家物語』の諸伝本は語り本系統と読み本系統に大別されるが（流布本は前者に属する）、諸伝本による記事の異同等にも留意しながら物語を読み進め、『平家物語』の抱える諸問題について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

本文講読が中心。本年度は巻三から読み始める。作品全体を理解できるようになるべく多くの句を講読し、内容と特色を把握する。また、作品論、時代背景、文化史的な問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教 科 書

野村宗朔『昭和校訂平家物語』（武蔵野書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
連歌・俳諧 I	越後敬子	短国1・2選	4

講義のねらい

連歌の発生・隆盛から初期俳諧への移行、芭蕉の蕉風俳諧確立へという、連歌・俳諧の歴史的な流れを把握するとともに、連歌・俳諧が複数の作者によって長句(五・七・五)と短句(七・七)を交互に付け連ねてゆく「付合文芸」であることを理解する。また、いくつかの実作品を鑑賞することによって、その魅力に触れてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1・2) 付合文芸とは何か (3・4) 連歌の歴史——発生  
(5・6) 連歌の歴史——隆盛 (7・8) 連歌作品鑑賞  
(9・10) 初期俳諧——貞門俳諧 (11・12) 貞門作品鑑賞  
(後期) (1・2) 初期俳諧——談林俳諧 (3・4) 談林作品鑑賞  
(5～7) 芭蕉と元禄俳諧 (8～10) 蕉風作品鑑賞  
(11・12) 芭蕉以降の俳諧

履修上の留意点

適宜、影印資料(当時の書籍をコピーしたもの)を配布するので、変体仮名に慣れてほしい。

成績評価の方法

前・後期末の試験に平常点(出席、授業への貢献度)を加味する。

教科書

佐藤勝明・竹下義人・谷地快一・宮脇真彦編『連句の世界』(新典社) 1,300円

参考書等

櫻井武次郎『連句文芸の流れ』(和泉書院)  
乾裕幸・白石悌三『新版連句への招待』(和泉書院)  
その他授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
短歌 II (前期)	榎瀬王子	短国1・2選	2

講義のねらい

前年度の「短歌I」に引き続く、今年度の「II」では、特に近代短歌全般を考える。短歌は日本固有の文学表現として長らく愛され続けて来た。伝統芸術の力がそれを可能にしたのである。しかし、他の文学と同じく、明治期にその存亡の危機を迎える。近代文学としての短歌が必要とされたからである。危機を乗り越え、先人達によって新たに、どのように歌い継がれて来たかを短歌史の流れに沿いながら見て行くこととする。

講義の内容・授業スケジュール

対象が広範にわたるので、明治・大正期の作家作品を中心に講義を進めることとなる。時間が許せば、現代短歌についても触れたい。講義の進め方は、テキストに収録された近代の代表的な歌人の作品を鑑賞して行くこととする。テキストを中心に、なるべくわかりやすい歌を選んで、あくまでも作品に親しむことを目標にして短歌の世界を味わいたい。

履修上の留意点

短歌は短詩型のスタイルを持つがゆえに、その作品数は他の文学ジャンルと比べて比較にならないほど多い。また、特有の言葉遣いも目立つ。したがって、受動的に講義を聞くだけではなく、各自が前もって扱う歌人の作品を出来るだけ多く読み、その独特な表現に親しんでおいてもらいたい。そうすることで、より高度な鑑賞力を身に付けることが可能となります。

成績評価の方法

平常点、レポート、試験等を総合的に評価。

教科書

森脇一夫編『近代短歌精粹』(おうふう)  
教場配布のプリント。

参考書等

必要に応じて教場にて指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
俳 句 II (後期)	ささ せ おう じ 笹 瀬 王 子	短国1・2選	2

講義のねらい

近代俳句の検証ならびに鑑賞。俳句は江戸時代以降、特に庶民によって高い支持を得てきた文学である。伝統的でありながら、時代を超えた大衆性を保持し続ける俳句の魅力とは何であるのかを考えてみたい。また、俳句における〈近代〉の意味を視野に入れつつ、今なお私達現代人にとっても、大変に近い文学表現の一つである俳句の本質を見定められればと思う。

講義の内容・授業スケジュール

前年度の「俳句Ⅰ」にかわる今年度の「Ⅱ」では、近代俳句全般を網羅的に見て行くこととする。テキスト収録の俳人達の俳句の丁寧な鑑賞を中心に、彼ら固有の文学のありようを見極める。収録作家以外の、特に重要な俳人の作句については、適宜紹介する予定である。時に、実際の作句の機会を設け、俳句の世界に少しでも近付けられたらと考える。自己表現のひとつとして俳句に親しむことにより、表現することの喜びやその魅力を共にわかち合えれば、さいわいである。

履修上の留意点

俳句はあらゆる文学ジャンルの中で、もっとも手軽で親しみやすい最短詩型のスタイルを持つ。したがって、最初から縁のないもの、難解な表現であるとの先入観をもつことなく、気軽に、かつ自由な姿勢で名句と接して欲しい。そのためにも、率先して一句でも多くの俳句を各自が自主的に眼を通すようにしておいて貰いたい。

成績評価の方法

平常点、レポート、試験等を総合的に評価する。

教 科 書

沢木欣一『近代俳人』(おうふう)  
教場にて配布する各種プリント。

参 考 書 等

必要に応じて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 ・ 現 代 詩 I	いの う え まさる 井 上 優	短国1・2選	4

講義のねらい

普段わたしたちは「文学的」という範疇を「詩的」という言葉で覆うように想定している。シクロフスキーは、「日常的に見慣れた事物を奇異なものとして表現する《非日常化》の方法が芸術の方法」であるといった。これを文学に引き付ければ、「文学」と「非文学」との違いは、「文学」とは日常の見慣れ使い古された言葉を《非日常化》したものということになる。しかし、「非文学」とされる日常語自体が性別、出身地、現在地、階層、宗教、職業などによって人それぞれ多様で、皆が同じ日常語を共有していると考えるのは幻想であり、「文学的言語」「詩的言語」が何であるのかは容易に括ってしまえない。そこで、詩の言語とは何かを問いかけて行くことは、言語・記号と人間との関わりを考え直して行くうえで、大切なことになるのだ。

講義の内容・授業スケジュール

現代の文学理論の初歩的な事柄を学びながら明治期以降の詩作品を読む。詩を読むうえで文学理論を踏まえることで何が可能となるのか、ある理論に立つと詩作品から何が見え、また同時に何が見えないままになってしまうのか考察する。前期は、Ⅰ虚構の言語とは何か、Ⅱリアリズムについて、Ⅲ詩的言語の境界線、後期は、Ⅳ愛を囁く言葉の受難、Ⅴ〈私〉と〈物語〉の解体といったテーマを据えて、理論と作品読解の相互作用を試みる。

履修上の留意点

毎時間が論理的にものを考える連続となるので、辛抱強い学習態度が要求される。短いレポートを書いたり、考えを口述してもらい討議したりもするので、科目等登録はそうした努力を継続する意志が強固かよく内省して行うこと。授業中に私語や携帯電話の使用などをした者は以降の出席を許可しない。

成績評価の方法

学年末に教場筆記試験の予定だが、出欠状況や学習態度なども合わせて総合的に評価する。

教 科 書

文庫本で入手できるものは指示して用意してもらい、他にはプリントを配布する。

参 考 書 等

授業の中でその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 小 説 Ⅱ	ないとうひさこ 内藤 寿 子	短国1・2選	4

講義のねらい

「ミステリー」とは、現在、もっとも注目をあつめている小説のジャンルです。「ミステリーとは何か」という定義をすることはとても難しいのですが、何らかの形で「犯罪」と結びついた出来事が「ミステリー」では頻繁に描かれています。なぜ、ひとびとは、このような小説に魅了されるのでしょうか。講義では、「ミステリー」というジャンルの特徴を多角的に考えていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (前期) (1～3) 「ミステリー」の現在およびその特徴  
(4～8) 「犯罪」とは何か? (桐野夏生・宮部みゆきたちの作品から考える)  
(9～13) 「子どもの犯罪」とは何か? (貫井徳郎・貴志祐介たちの作品から考える)
- (後期) (1～3) 「ミステリー」の歴史およびその特徴  
(4～8) 「ミステリー」の映像化について考える (角川映画の意義ほか)  
(9～12) 「ミステリー」の翻訳について考える  
(13) まとめ

国  
文  
科

履修上の留意点

授業は講義形式ですが、映像資料も使用する予定です。また、教師の一方的な講義にならないよう、みなさんにも課題に取り組んでもらいます。現代小説を「読む」という行為に、積極的に参加する態度を求めます。

成績評価の方法

授業では、ほぼ毎回課題に取り組んでもらいます。授業への参加度および提出物(60%)と出席状況(40%)をあわせて、総合的に評価をおこないます。内容や提出方法については授業中に指示します。

教 科 書

適宜プリントを配布します。

参 考 書 等

榎田萬治・新保博久監修『日本ミステリー事典』(新潮選書) 2,000円  
山前譲『日本ミステリーの100年』(光文社知恵の森文庫) 648円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 文 学 I	よし だ もり お 雄 吉 田 司 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

本年度は明治初期からの日本近代児童文学の歩みを、代表的な作品を読みながら勉強します。「子ども」のイメージは時代と共に変化し、児童文学の在り方も変わってゆきます。歴史的社会的な状況の中でどのような「子ども」像が求められたかを振り返ることを通して、固定的な「子ども」や「童話」のイメージから自らを解き放ち、いまあるべき児童文学のかたちをきちんと考えられるようになってほしいと願っています。従って本年度の授業は講義中心となりますが、次年度の「児童文学II」では実際に「童話」の創作にチャレンジすることが中心となります。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (前期) (1) 授業ガイダンス  
 (2～4) 近代日本児童文学の出發と巖谷小波  
 (5～7) 明治期の翻訳児童文学  
 (8～10) 「赤い鳥」と童心主義、芥川龍之介「蜘蛛の糸」  
 (11～13) 小川未明「赤い蠟燭と人魚」の評価、童話は誰のためのものか  
 (後期) (14・15) 戦争と児童文学、「ビルマの堅琴」と「二十四の瞳」  
 (16～18) 戦後日本における現代児童文学の登場  
 (19・20) ファンタジーとは何か  
 (21～23) 現代児童文学の変容  
 (24～26) 児童文学はどこへ向かおうとしているか

履修上の留意点

子供のための文学を取り上げるからと言って、授業自体がやさしい訳ではありません。読書課題が次々出るので、結構ハードです。何でも見てやろう読んでやろう書いてやろうという、旺盛な好奇心と読書意欲とチャレンジ精神をもって授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

夏休みに読書感想文的なレポート、後期に批評レポートを書いてもらいます。ただし、試験を行う場合もあるかも知れません。授業中の小テストや短い感想文の宿題なども加味して、総合的に成績評価を行います。出席も大事。遅刻もしないように。

教 科 書

鳥越信編著『はじめて学ぶ日本児童文学史』（ミネルヴァ書房）3,000円

参 考 書 等

その他、児童文学関係に限らず、多様な資料や参考書を教場で随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 文 学	いの うえ まさる 井 上 優	短国1・2選	4

#### 講義のねらい

森鷗外は小説家であるのみならず、翻訳者、詩歌人、劇作者、批評家、美学者、交渉家、医学者でもあって、その業績は多岐に及ぶ。このような多面的文学者であったがゆえに、その作品にはさまざまな観点から比較文学的考察が可能である。現在鷗外を読もうという人の数は多くなく、ともすれば敬遠されがちでもあるが、逆にいえばそうした状況だからこそ多くの新たな発見の可能性に満ちているといえる。これまで既に彼の作品に触れた人もいるだろうが、一般に流通する鷗外像とその作品についての偏向した固定的理解にくらまされることなく、鷗外文学を通して、日本近代文学の抱える問題の諸相や文学作品の読み方の可能性を探求してみよう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

鷗外の明治期の文学を、彼が読み翻訳した外国作品との照合から始め、更には視野を広げ、文学作品同士の比較にとどまらず、それ以外のさまざまな領域の同時代言説とアクセスさせつつ考察して行く。前期は、Ⅰ鷗外の文学活動とその時代とについての概観、Ⅱ『舞姫』と英仏露の文学および法制度、後期はⅢ『半日』と精神病学、Ⅳ『キタ・セクスアリス』と近代セクシュアリティなどを予定しているが、受講生の学習状況を見ながら選択の変更があるかもしれない。

#### 履修上の留意点

指定された作品を読まないで来た者や、授業中の私語、携帯電話の使用をした者については、以降の出席を許可しない。授業中に短いレポートを書いてもらったり、感想を口述してもらったりするし、様々な資料を緻密に解読していく粘りが必要なので、科目登録時にはそうした努力が継続出来る意志が強固かどうかよく自省したうえで選ぶこと。

#### 成績評価の方法

学年末の教場筆記試験の予定だが、他の課題、出席遅刻や授業態度を総合して判断する。

#### 教科書

『森鷗外全集』1（ちくま文庫）を各自が書店で購入のこと。他にプリントを配布する。

#### 参考書等

授業の中で具体的に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 芸 創 作	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	4

講義のねらい

小説、詩、シナリオ、歌詞など（ジャンルは問わない）の作品を、自分で実際に創作する。いわゆる「小説の書き方」といった技術の問題よりも、各自が表現する動機を発見し、自分自身のスタイルで表現できるようになることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は各自にとって身近な表現から始める。授業の中で順次課題を出すので、その中から自分が書きたいと思うものを選んで作品を提出する。携帯メールのやりとりを表現形式としてとらえた創作演習も予定している。後期は自分の選んだジャンル（形式は自由）のまとまった作品を完成させることを目指す。提出された作品は、授業でプリントして全員に配り、お互いの作品を読んで批評しあう。最終的には、自分の作品をインターネット上で公開する作品集に掲載することを目標とする。

履修上の留意点

前期・後期あわせて数回の作品提出が課せられる。実際に作品を書くのは、授業時間ではないので、各自で創作のための時間を十分に取り、自分で納得できる作品を提出してほしい。また授業時間を使って年間数回ずつ個人面接を行い、個別の指導を行う。日程については、受講者の人数や創作の進行状況にもよるので、様子を見て順次発表する。

成績評価の方法

文章の技巧的な巧拙よりも、それぞれが自分自身の表現をどこまで見つけ出すことができたかを重視した評価をしたい。出席回数と授業での提出物による平常点も加味して成績を評価する。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

参考書は指定しないが、昨年度までのこの授業で提出された作品をホームページ上に掲載しているので、参照してほしい。

アドレスは、<http://www.komazawa-u.ac.jp/~naomats/bungei/index.html>

そ の 他

小説など作品の創作で2年次の卒業研究を履修したい者は、1年次でこの授業を履修しておくことが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 概 論	そのべ 蘭部 幹生・井上 優 さとう 佐藤 憲昭・内藤 寿子 ふじた 藤田 和美	短国1・2選	4

講義のねらい

「タブー」(taboo)を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしたがうこと。

本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月14日(水) オリエンテーション

① 文学とタブー《4/21、4/28、5/12、5/19、5/26、6/2(6回)》

② タブーと宗教《6/9、6/16、6/23、6/30、7/7、7/14(6回)》

③ メディアとタブー《9/22、9/29、10/6、10/13、10/20、10/27(6回)》

④ 慣習のタブー《11/10、11/17、11/24、12/1、12/8(5回)》

◎12月15日 まとめ

◎1月8日 レポート提出(資料室)

蘭部幹生  
井上 優  
佐藤憲昭  
内藤寿子  
藤田和美  
蘭部幹生

国文科

履修上の留意点

最初の授業時(4/14)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
有 職 故 実	こん どう よし かず 近 藤 好 和	短国1・2選	4

講義のねらい

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事(朝廷の儀式・政務)のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家男子・武家男子の装束を中心に講義する。特に公家男子の装束は、ファッションではなく、厳しい規制や慣習のもとでの身分や職掌の象徴でもあることを理解してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、有職故実の歴史を概観したうえで、装束の基本である東帯について、肌着から上着・装身具個々についての概説をする。後期では、前期で理解したことを基礎に、東帯以外の公家男子装束と武家男子装束について、同様に概説する。さらに女子の装束として宮中の女房装束を概説する。

履修上の留意点

後期一回のレポートを予定。

成績評価の方法

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

教科書

特になし。授業ごとにプリントを配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
話 芸 (後期)	さんゆうてい きらく 三遊亭 貴 楽	短国1・2選	2

講義のねらい

「笑話」の中で、特に「落語」を中心に上げます。  
 「人にとって『笑い』とは何か。」  
 「人は何故『笑い』を求めるのか。」などを考えていき、人とは何かの一端を発見してもらいたいです。

講義の内容・授業スケジュール

「落語」の源である中国笑話集『笑府』を題材とし、それが「落語」として発展、現在まで残存している理由をその時代の文化、風習などを踏まえた上で理解してもらい、それを現代に置き換えて考え、発想力・想像力を磨いてもらいます。

履修上の留意点

生とは言いませんが、せめてテープ等で結構ですから何か一つ落語を聴いておいてください。

成績評価の方法

- ①出席状況
- ②発想力・想像力を中心とした試験

教 科 書

プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 史	たか しま 高 嶋 めぐみ	短国1・2選	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけないこと。

成績評価の方法

総合評価 (①出席、受講の状況②レポートまたは試験)

教 科 書

特に指定はしない。

参 考 書 等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

そ の 他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 学	ふじ 藤 田 和 美	短国1・2選	4

講義のねらい

「女性学」とは既存の知や文化をジェンダー（性別）の視点から読み直し、読みかえるものである。近代以降の女性解放運動から現代の女性学研究まで「女性学」という学問の成立の歴史的経緯とその成果をふまえ、法律や制度、家族関係、性、暴力、労働、教育、表現など現代の女性をめぐる諸問題を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、現代の女性学研究までの近代の女性解放運動の歴史を学び、前期は近代社会における家族関係、女性労働、教育、性と生殖の問題など、それぞれの変遷を追いながら、女性の主体的な生と性のあり方をさぐる。後期は女性と表現の問題を中心にすすめる。文学、美術、漫画、音楽、映画など女性芸術家の作品を鑑賞しながら、女性が何を表現してきたのか、どのように女性が表現活動に参入してきたのか、性による参加と排除のシステムを検討する。

履修上の留意点

あらゆることに広く関心をもち、主体的に取り組むこと。

成績評価の方法

年2回のレポートと授業時に毎回提出する感想文、出席などで総合的に判断する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義開始時に文献リストを配布する。

その他

講義を中心とする。テーマによってはビデオなどの視聴覚教材を用いる。

国  
文  
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 と 職 業 (後期)	その べ 園 部 幹 生	短国1・2選	2

講義のねらい

最近では就職がたいへん困難な社会状況にあり、ようやく就職したとしても、転職やリストラ、あるいは企業の倒産などが待ち構えていることも少なくない。そうした時代にあっては、働くことの意味を考えることの重要性が増してくるが、同時に、実際の労働とはどのようなものであるか、女性が働くうえでの問題点にはどういったことがあるかなど、現実には即したテーマをしっかりと認識して、考えを深めておくことが必要であり、そこに本講座のねらいがある。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ毎時間、さまざまな職業に就いて活躍している女性をゲストに迎え、職業の内容や、豊富な体験、職業意識や考え方、等々についてのお話をいただく。講演形式の場合もあり、ゲストと担当教員との対談形式の場合もあり、学生も交えた討議形式のディスカッションの場合もある。  
1ガイダンス。2～12ゲスト講師による講義および討論。13まとめ。レポート課題説明。

履修上の留意点

科目名の「女性と職業」は、受講生が全員女性であるところから命名したもので、職業に関して女性を差別化あるいは特化しようとするものではない。ただし、女性であるためにおこる職業上の問題が存在することも事実であり、そうした点については取りあげていく必要がある。

成績評価の方法

レポート・時間中の発言・出席状況などを総合的に判断して評価する。

教科書

なし。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
メディアと表現	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストのスケジュールは初回の授業で発表するが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

履修上の留意点

受講希望者が教場の定員を越える場合は、他学部履修生については抽選とすることもある。初回の授業でガイダンスと受講生の確認を行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験期間中に提出していただくレポートによって採点する。それ以外に、適宜提出していただく小レポートにより、出席を確認する。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

教場で適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地域文化論	すず き ひろ こ 鈴 木 裕 子	短国1・2選	2

講義のねらい

ある限定された空間（ひとつの地域）に視点を定めて、そこでの歴史的文化的な展開の様相を（時間軸により）たどってみようというのが、この授業のねらいです。具体的には、「東国・陸奥」を取り上げます。古代の文学作品や基本的な史料（「都」＝中央の立場からの記述）が、どのようにこの地域を把握してきたかを読み取っていきたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

『日本書紀』『続日本書紀』などといった歴史書の記述の他、和歌や説話・紀行文など、多くの作品に「東国・陸奥」は取り上げられています。それらの一節を実際に読み解きながら、古代における「東国・陸奥」を概観し、内在する様々な問題について多角的な視点から考えてみたいと思います。

- ①古代・都世界から見た「あづま・みちのく」概説……律令国家の東北支配という視座 4月
- ②王朝物語……『伊勢物語』・『源氏物語』を中心に 5月
- ③伝説・説話……『更級日記』の竹芝伝説・『宇治拾遺物語』を中心に 6月
- ④御伽草子……『田村の草子』を中心に 6月・7月

履修上の留意点

授業は主として講義形式ですが、頻繁に小作文などの課題を出題します。

成績評価の方法

前期授業の終わり（日時・論題等は授業時に提示）に提出するレポート、授業中の発言や課題、出席状況（欠席・遅刻しないことは前提）などから総合的に行います。

教 科 書

プリント教材。参考書は、授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
海外から見た日本(後期)	いしわりと 石 割 透	短国1・2選	2

講義のねらい

近代に入り、多くの外国の人々が日本を訪れ、日本の文化、人々について記してきた。また、日本の文学者、美術家も海外にわたり、その文化から大きな影響を受けた。この時間は、特に、西洋と日本との関係をめぐって、外国の人たちの記した日本観、わが国の文学者、美術家の西洋体験による影響をテーマにして、国際化、グローバル化が問題となっている現代を生き、考える契機を与えたい。

講義の内容・授業スケジュール

この時間は特にラフカディオ・ハーン(小泉八雲)、ピエール・ロチ、ギメ、モラエス、日本側として、永井荷風、島崎藤村、高村光太郎、古くは久米邦武らを取りあげて、検討していく材料としたい。

履修上の留意点

ラフカディオ・ハーンなどは、容易に文庫本などを通して、その日本観に触れることができる。受講を契機に、彼らの文章に接してほしく思います。

成績評価の方法

1, 2度のレポートを提出。その内容と出席状況、授業態度によって評価する。

教 科 書

授業時に指示する。

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

ほとんど講義の形で進めていく予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
非言語コミュニケーション(音楽)(前期)	と い は 土 井 晴 人	短国1・2選	2

講義のねらい

音楽をコミュニケーションツールとしての側面から考察する。言葉は伝えたいコトを正しく伝えるために記号化、定義化している言語であるが、伝えたい内容を自分の言葉で明確化できない感情を伝えるにはとても不自由な言語でもある。音楽が言語としてどのように有効なのかを現代のモバイルコミュニケーションとともに推考する。

講義の内容・授業スケジュール

音楽の学術面よりも文化性に着目する。記号化された言語で正しい情報を伝達するためには、その言語の持つ定義を共有していなければならないように、感情などのあいまいさを正しくコミュニケーションするためには価値観を共有していなければならない。受け手が自由に価値観を創造してしまう聴覚表現は映像や絵画、文字などの視覚表現と比べるとミスコミュニケーションやディスコミュニケーションのリスクが高くなる事例を検証する。音楽が持つ一定のルールや法則がどのように琴線に触れるのかを紹介しながら、同じ価値観を共有することとはどういうことなのかを考える。また、コミュニケーションツールとしての携帯電話端末における着メロなども自己表現例として分析する。

履修上の留意点

授業に出席することが前提。

成績評価の方法

出席状況と最後の授業で提出していただくレポートにより評価する。

教 科 書

教科書、参考書は指定しない。資料はプリントして授業で配付する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
非言語コミュニケーション(囲碁)(前期)	<small>まつ</small> 松 <small>だ</small> 田 <small>なお</small> 直 <small>ゆき</small> 行	短国1・2選	2

講義のねらい

囲碁は「手談」と呼ばれる。言葉で会話するのではなく、手で碁石を並べることだけで互いの意図を察し、自分の考えを表現し、また相手の着手によって常に変わる新たな状況へ対応し続けることが必要になる。言語を使わないコミュニケーションとして日本の伝統文化に深く根ざした囲碁を、実際の対局を通して体験的に学び、言語によるコミュニケーションである国文学に対する視座をさらに広げてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

まったくの初心者を対象として囲碁のルールを講義し、実際に9路盤（通常の19×19の碁盤より小さい9×9の初心者用）を使った対局を行う。すでにルールを知っている者は、初心者の指導にあたってもらう。基本的な考え方や上達するためのヒントとともに、囲碁の文化史に関する講義もあわせて行う。(1)ガイダンス (2-3)基本ルール (4-5)囲碁の文化史 (6-7)対局の実際 (8)石の取り方 (9)死活 (10-12)実戦対局 (13)教場試験

履修上の留意点

授業での対局が主になるので、毎回出席することが前提となる。碁石と碁盤は、こちらで用意するので、購入の必要はない。

成績評価の方法

囲碁の基本と文化史に関する教場試験を実施し、出席状況ともあわせて評価する。

教 科 書

梅沢由香里著『すぐに打てる9路盤』（日本放送出版協会）税別1,000円を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
非言語コミュニケーション(将棋)(後期)	<small>その</small> 藺 <small>べ</small> 部 <small>みき</small> 幹 <small>お</small> 生	短国1・2選	2

講義のねらい

将棋で勝つためには、相手の考えを読み取ったうえでそれをはずし、自分の主張を通さなくてはならない。本講座では、国文学の関連科目として、その中にある「言語によらないコミュニケーション性」を考えることを第一の目的とする。合わせて、将棋の文化史的な側面も講義したい。

講義の内容・授業スケジュール

将棋のルール、棋譜のつけ方等について講義し、時間中の実戦をもとに自戦記を書くことで、言語によらないコミュニケーション性について考える。おりに触れて、将棋の歴史、将棋に関する格言等についても講義し、将棋の文化史的な側面についての理解も深める。1ガイダンス。2ルール。3実戦。4棋譜。5実戦。6多面指し。7実戦。8戦術。9実戦。10戦術。11実戦。12自戦記。13教場試験。

履修上の留意点

時間中の実戦を基に自戦記を書くので、遅刻をしないこと、また、出席をすること。

成績評価の方法

提出されたレポートとしての棋譜および自戦記による評価（勝敗によるものではなく、指し手についてのコミュニケーション性をどのように理解し表現してあるかをポイントに評価する）と、出席状況を総合して判断する。

教 科 書

テキストは必要に応じてプリントを配布するが、用具として、各自、将棋の駒（どのようなものでもよい）・盤（折り盤・紙盤・マグネット盤など、何でもよい）を用意すること。

参 考 書 等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
映画と文学	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

現代文学の作家と映画との関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を中心にいくつか取り上げて、どのように関わっているか考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房についてと、昭和50年代にデビュー作『限りなく透明に近いブルー』を監督として映画化して以来、数多くの映画を制作した村上龍の二人について順次みていく予定である。

履修上の留意点

授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と併行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

数回のレポートの内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

安部公房『砂の女』（新潮文庫）400円  
安部公房『他人の顔』（新潮文庫）450円  
その他、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

国  
文  
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
美術と文学	石割 透 <small>いしわり とおる</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

幕末頃よりわが国に新しく移入された西洋画の手法は、伝統的なわが国の絵画の様式、方法に影響を与えるとともに、わが国に新たにもたらされたノヴェル（小説）、ポエトリー（詩）、それに従来の和歌、俳句の表現に大きな影響を与えた。この時間は西洋画の手法、方法がわが国に移入された過程、状況の概観を示すとともに、1900年代初めまでの文学の表現に、西洋の美術がいかに影響を与えてきたかを検討していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず洋画の受容の歴史のあらましを示すとともに、それがわが国の伝統的な日本画、浮世絵、錦絵の方法といかに異なっているかを検討し、あわせて他のこの時期の文化現象と重ねて、〈近代〉とは、いかなる時代なのかを考える契機を与えたいと思う。

履修上の留意点

美術の、特に近代の代表的な作品には度々触れることになる。常に美術全集、展示会図録を眺め、美術館などに赴いて鑑賞してほしい。

成績評価の方法

年に2回ほどのレポート提出。その内容と出席状況、授業時の態度、学習にとりくむ姿勢を加味して評価する。

教科書

年表の会編『近代文学年表』（双文社出版）など。他は授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

その他

ほとんど講義形式によって授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
映 像 論	いしわり とおる 石 割 透	短国1・2選	4

講義のねらい

フランスの画家、ダゲールが〈現像〉の技術を発展させ、〈写真術〉を発明したのは1839年、〈実〉をうつす写真は、折からの科学的、実証的精神の浸透、産業の進展によって急速に進歩し、普及する。こうした写真の構図は、絵画の影響を強く受けつつ、一方では絵画からの影響を離れ、独自のジャンルを獲得するにいたる。一方、絵画も〈写真〉の出現によって、大きくその役割の転換を余儀なくされ、絵画独自の美の追求に向かう。絵画と〈写真〉は、このように互いの強い影響関係のもとに、その歴史を展開させていく。この時間は、絵画とは異なる写真の独自性とは何か、というテーマを、絵画の展開と関らせながら考えていきたい。またエジソンがキネトスコープを完成したのは1889年、フランスのルミエール兄弟がシネマトグラフを発表したのは1895年、以後映画も急激に20世紀に入り、普及浸透し、急速な進歩発展をとげた。この時間は、後期には、簡単に、わが国の映画の歴史を説明しながら、とりあえずは、映画の技法を知るための映画用語を、実際に小津安二郎、溝口健二の映画を見ながら、確認していきたい。

履修上の留意点

写真や映画の歴史を知るために、古い写真、映画にできるだけ接してほしいと思う。

成績評価の方法

年間に2度ほど課題を与え、レポートを提出。その書かれた内容によって、評価する。それに出席状況、授業での態度などを考慮する。

教 科 書

授業時に指示する。

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

講義により進行する。劇映画のビデオなどを実際に見ながら進める形式を、後期には時折採る予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
古 典 戯 曲 演 劇	おかだまりこ 岡 田 万里子	短国1・2選	4

講義のねらい

テーマ：歌舞伎と日本文化論

日本の古典劇のひとつにかぞえられる歌舞伎は、今日まで、いわゆる日本論、日本人論、日本文化論に、日本人のエートスの表象として引用されてきました。本講義は、履修者に対する歌舞伎へのガイダンスではありますが、歌舞伎を高尚な趣味として鑑賞するのではなく、歌舞伎、さらには歌舞伎に託されたいわゆる「日本文化」を対象化し、分析、批判的に考察することを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

歌舞伎を用いた日本文化論を講読します。関連する舞台のビデオ鑑賞や戯曲講読を通して理解を深めた上で、討議を行っていきます。

履修上の留意点

履修前の歌舞伎に関する予備知識は問いませんが、履修後は積極的に歌舞伎を含む古典芸能を鑑賞してほしい。土日あるいは夜間を利用して、団体鑑賞の機会を設けます。

成績評価の方法

前期および後期末のレポートと授業への貢献度などを総合的に勘案します。

教 科 書

河竹登志夫『舞台の奥の日本-日本人の美意識』（ティービーエスブリタニカ）新装版2000年7月、1,500円 ISBN4-484-0213-2  
このほかの講読資料はコピーを配布します。

参 考 書 等

教場において指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代戯曲演劇 (前期)	まつだ なおゆき 松田直行	短国1・2選	2

講義のねらい

日本における近代演劇の成立と展開を中心とした演劇史の講義を進めながら、近代戯曲を読む。戯曲のテキスト研究だけでなく、パフォーマンスという表現=コミュニケーションの一形態に関する総合的な論考としたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1)カイダンス (2)歌舞伎開化 (3)近代リアリズム演劇 (4)イブセンとチューホフ (5)壮士芝居と新派 (6)文芸協会と新劇の誕生 (7)帝国劇場と女優の誕生 (8)宝塚少女歌劇 (9)浅草オペラ (10)自由劇場と大正戯曲時代 (11)築地小劇場 (12)教場試験 (13)レポート提出

履修上の留意点

授業で実際に戯曲の一部を読み、またビデオを使って上演の一部を見ることもあるが、作品を通読する時間はないので、残りは各自で読んでおくことが必要になる。

成績評価の方法

近代戯曲を読んで書くレポート1つと、近代演劇史に関する教場試験を行い、その合計で評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

演劇史についてはすべてプリントを配布する。読んでもらう戯曲や参考書は、適宜授業で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代演劇 (後期)	まつだ なおゆき 松田直行	短国1・2選	2

講義のねらい

様々なメディアに囲まれた現代社会において、生身の俳優の演技を観客が目の前で見る演劇という表現形式が持つ意義と役割を考える。現代演劇を鑑賞するための基礎知識としての現代演劇史を講義し、「演劇におけるリアル」とは何かを考えるが、その上で実際の舞台を見に行っていきたい。授業でVTRを使い上演の一部を見ることもあるが、演劇はその場に行き行って体験しなければ作品に触れたことにはならないので。

講義の内容・授業スケジュール

(1)現代演劇とは何か (2-3)戦後の日本演劇 (4)世界の現代演劇 (5-6)戯曲を読む (7)上演とは何か (8)演出とは何か (9)劇場空間を考える (10-13)演劇におけるリアルとは何か

履修上の留意点

授業期間内(後期)に上演される演劇作品を、自分で実際に見に行くことが必要になる(授業で随時公演の案内を配布する)。

成績評価の方法

実際の上演を見に行き行った上で書いていただくレポートを最後に提出し、それに出席回数による平常点を加えて評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

平田オリザ『演劇入門』(講談社現代新書1422) 税別660円を参考書として指定する。授業で一部をプリントして配布するが、全体を通読しておくことが望ましい。



科目名	担当者名	配当学科	単位
芸能研究 (前期)	まつだ なおゆき 松田直行	短国1・2選	2

講義のねらい

芸能とは何か。人間は、生物としての存続に必要な衣・食・住とは直接関係のない、芸能という行為をなぜか必要としている。現代生活における芸能は、一見「趣味」とか「遊び」といった余剰生産的なものに思われるが、その本質は人間社会の成立に不可欠な表現行為である。本講では、いわゆる「演劇」の範疇に入らない「芸能」について、古代から現代に至るまでの、様々な形式の芸能を広く視野に入れることにより、現代社会においては見えなくなりがちな芸能の本質を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

古代の呪術や神事と芸能の関係から説き始め、現在でも各地に伝わる風習や伝説、相撲、民俗芸能、大道芸などを素材として近代以前の芸能に触れるが、それをあくまで現代社会とつながる心性としてとらえたい。授業のスケジュールは、(1)芸能を検索する (2-3)相撲の起源と呪術 (4-5)異界と異人 (6-7)通過儀礼と境界の時間 (8)花伝書を読む (9-10)大道芸と放浪芸 (11)漫才と喜劇 (12)遊園地と博覧会 (13)教場レポート作成

履修上の留意点

情報センターの教場で、パソコンを使用する。ログインするのにIDとパスワードが必要になる。キーボード入力とホームページを見る程度の初歩的な操作ができればよいので、特にパソコン操作に詳しくなくても問題はない。

成績評価の方法

出席と小レポートによる平常点に加え、最後に教場レポートを課す。レポートはすべてパソコンのワープロで作成し、メールで提出する。

教科書

指定しない。

参考書等

指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
服飾文化を考える (後期)	ないとう ひまこ 内藤寿子	短国1・2選	2

講義のねらい

わたくしたちは「洋服」を着て日常生活をおくり、この言葉を当たり前のもので使っていますが、「洋服」とは「西洋服」のことであり、「民族服としての和服」という考え方を背景に生まれた言葉でした。性別を問わず、日本の服飾文化の中心が「洋服」となったのは、敗戦直後(1945年以降)から現在にいたるまでのおよそ60年間に起こった変化なのです。講義では、「スカート」などの具体的なファッションを切り口に、「洋服」が持つ意味や、そのような意味づけがなされるようになった歴史について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1~3)「洋服」はどこから来るのか？(フェアトレードの意味ほか)
- (4~8)わたくしたちはどんな「洋服」を着ているのか？(「モンベからスカートへ」の歴史ほか)
- (9~12)ファッションに関するメディアについて考える
- (13) まとめ

履修上の留意点

教師の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈聞く〉〈書く〉〈調べる〉といった形でみなさんに参加してもらいます。第1週目に具体的な説明をしますが、授業時間をふりかえてフィールドワーク(実地調査や見学)をおこなってもらう予定です。日程などは調整しますが、フィールドワークをおこなうことが履修の条件です。

成績評価の方法

授業では、ほぼ毎回課題に取り組んでもらいます。授業への参加度および提出物(60%)と出席状況(40%)をあわせて、総合的に評価をおこないます。内容や提出方法については授業中に指示します。

教科書

適宜プリントを配布します。

参考書等

鷲田清一『ちくはぐな身体』(筑摩書房) 1,200円  
世相風俗観察会編『現代風俗史年表』(河出書房新社) 3,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
食文化を考える (前期)	ないとうひさこ 内藤 寿子	短国1・2選	2

講義のねらい

日本が経済大国としての地位を確立した1980年代から、徐々にわたくしたちの食文化はかわってきました。たとえば、現在、東京では世界のあらゆる国の食文化を体験することができますが、このような豊かさを支えるものは、いったい何なのでしょう。講義では、食文化をとおして、わたくしたちとアジアとの関係などについて考えていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1～3) ペットフードはどこから来るのか？ (食文化と経済力の関係ほか)
- (4～8) わたくしたちはどんな「肉」を食べているのか？ (「肉食」の歴史ほか)
- (9～12) 「料理」に関するメディアについて考える
- (13) まとめ

履修上の留意点

教師の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈聞く〉〈書く〉〈調べる〉といった形でみなさんに参加してもらいます。第1週目に具体的な説明をしますが、授業時間をふりかえてフィールドワーク(実地調査や見学)をおこなってもらう予定です。日程などは調整しますが、フィールドワークをおこなうことが履修の条件です。

成績評価の方法

授業では、ほぼ毎回課題に取り組んでもらいます。授業への参加度および提出物(60%)と出席状況(40%)をあわせて、総合的に評価をおこないます。内容や提出方法については授業中に指示します。

教科書

適宜プリントを配布します。

参考書等

辺見庸『もの食う人びと』(角川文庫) 686円  
世相風俗観察会編『現代風俗史年表』(河出書房新社) 3,900円

国文科

科目名	担当者名	配当学科	単位
手話(前期)	しらすかずこ 白須 和子	短国1・2選	2

講義のねらい

言語としての手話の特徴を学び豊かに表現できるまでの基礎学習と日常会話ができるまでの学習。理論では聴覚障害とは何かを理解すること。

講義の内容・  
授業スケジュール

手話技術の学習と聴覚障害に関連する諸問題についての講義。(カリキュラムは別途)

履修上の留意点

受講した内容については復習すること。予習は独断で学習するとまちがって覚える恐れがあるのでしない事。聴覚障害者も含め福祉関係の本、資料等日を通しておく事。

成績評価の方法

前期終了時に期末テスト。内容は講義内容のまとめの文章問題と手話表現の技術試験。

教科書

『手話教室』入門(財団法人全日本ろうあ連盟出版) 850円  
申し込み先 〒162-0801 新宿区山吹町130SKビル8階  
Tel3268-8847

参考書等

随時、講義のときに紹介。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
点 字 (後期)	わた なべ ゆきぞう 渡 辺 勇喜三	短国1・2選	2

- 講義のねらい 日本点字の習得
- 講義の内容・授業スケジュール ①～②50音 ③濁音半濁音 ④拗音拗濁音 ⑤数字、アルファベット ⑥～⑦ カナづかい ⑧数を含む言葉、外字符 ⑨ひとつづきに書く言葉 ⑩～⑬わかち書き ⑭～⑮符号など
- 履修上の留意点 教室の静粛 積極的参加
- 成績評価の方法 テスト
- 教科書 田辺淳也(たなべじゅんや)著『点字練習帳』(東京ヘレンケラー協会 点字出版所) 業務課 Tel3200-1310 900円+消費税  
「点字器」点字器 N632 (オレンジ/ブルー/グリーン/ピンク/グレーの5色スケルトンカラー) 1,030円(非課税) 20面以上単価980円(非課税)  
「点字用紙」90キロ厚 寸長サイズ (一人50枚) 約110円～115円(税込み)  
※点字器と点字用紙は、日本点字図書館 用具事業課 (3209-0751)
- 参考書等 当山啓(とうやまひらく)著『改訂版 点字点訳基本入門』1,890円(本体価格)
- その他 視覚障害者の教育、生活、福祉等を毎時短時間、講義に含める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 実 習 I	な す たか よし 那 須 隆 吉	短国1・2選	2

- 講義のねらい 芸術全体の中で書道が東洋独自の芸術として、どんな特質を持つのかを考察しながら、書道の基礎的知識と技法を習得すると共に鑑賞力を養う。
- 講義の内容・授業スケジュール 執筆法、用筆法、運筆法及び用具用材とその取り扱い方について学ぶ。  
・書体とその変遷を理解する。  
・初歩的な楷書、行書、草書の書法を習得する。  
・仮名の単体、連綿体を学び、平仮名、片仮名の成立、及びいろは歌、五十音図について理解する。
- 履修上の留意点 遅刻をしないように、又道具を忘れないように。
- 成績評価の方法 出席、清書の提出(又、随時レポートの提出)等を総合して評価する。
- 教科書 『大学書写書道教育』(第一法規出版)
- 参考書等 随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道実習Ⅱ	那須隆吉	短国1・2選	2

講義のねらい

漢字仮名の代表的古典を学び、書道についての理解と鑑賞力を高め、書道文化の素晴らしさを味わいたい。

講義の内容・授業スケジュール

・古典の解説と臨書により、楷書法、行書法、草書法、仮名書法の習熟をはかる。  
 ・変体仮名、及び代表的古筆について理解を深める。  
 ・実社会で役立つ実用書道（手紙文、宛名書き、のし紙等の書き方）を学び、一層書道に親しめるようにしたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又道具を忘れないように。

成績評価の方法

出席、清書の提出（又、随時レポートの提出）等を総合して評価する。

教科書

『大学書写書道教育』（第一法規出版）〈書道実習Ⅰ、Ⅱ併用〉

参考書等

随時紹介する。

国文科

科目名	担当者名	配当学科	単位
編集実務	長谷川孝	短国1・2選	4

講義のねらい

編集とは、＜誰かに——何かを——伝える＞過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」（視点・視野・視角）をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・原稿の整理やレイアウトなど、実際の知識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取り、問う力、自分の表現をつくり出す力を養うよう考えています。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また授業で「取材」した「自分なりに感じ気づき考えた」ことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

自己評価点および、課題作品（B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と授業で書く短文（イケン文）など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ジャーナリズム研究	はた の とし お 旗 野 寿 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースの取材方法や報道のあり方を事例に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材（マスメディア志望者）、あるいは、情報をうのみにせず、冷静に解説・判断できる人間（読者）を育成する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。後期は報道と人権、報道被害といった諸問題を、プライバシーや名誉棄損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。

記者やアメリカ生活などの経験を生かし、全期を通して、その都度主要ニュースの解説、分析をするほか、アメリカの新聞記事の読解や日米ジャーナリズムの比較なども試みる。新聞社や新聞博物館の見学も行う。

履修上の留意点

実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。

成績評価の方法

ニュース分析、学習結果を応用したレポート、記事スタイルの簡単なルポ、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して点数をつける。

教 科 書

使用しない。毎日の新聞を教科書として欲しい。

参 考 書 等

その都度指示する。

そ の 他

私語厳禁、公語（意見発表）歓迎。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス実務総論 (前期)	もり もと まさ え 森 本 正 恵	短国1・2選	2

#### 講義のねらい

高度情報化社会にともない、社会のグローバル化、少子・高齢化など私たちを取り巻く社会環境の変化は著しいものがあります。

このような中で求められているのは、自律した個性ある創造性豊かな人材であり、働き方も営利・非営利を問わず多様化しています。

ビジネス社会において求められる能力とは何か、ビジネス実務について理解を深め、知識・技能だけでなく人間を知り、文化の違いを感じとって、社会に広がるビジネス実務の「実践の知（知恵・知識・技術）」を創りだす人間としての基本を学びます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
2. ビジネス実務とは何か 1
3. ビジネス実務とは何か 2
4. 個人業務とマネジメント
5. 協働業務とマネジメント
6. ビジネス実務を支える基本1
7. ビジネス実務を支える基本2
8. ビジネス実務を支える基本3
9. これからのビジネスワーカー
10. これからのビジネスとビジネスワーカー

#### 履修上の留意点

講義と演習問題によるグループ討議など参加型学習で授業を進めます。各自の個別学習（予習）と全員での学習を効率よくかみ合わせ、発表の機会などを設け自分の考えが表現できるように創造的学習を行います。

欠席などで他のメンバーに迷惑をかけないように心掛けること。

止むを得ず欠席した場合、課題などを確認し自己学習によってカバーしておくこと。

#### 成績評価の方法

出席およびレポート提出を重視します。毎回課するレポートがあるので、課題に対して問題意識を持ち、自分で考え、自分の言葉で表現できるようになることを望みます。

課題は、指定された提出日に必ず出すこと。期限の遅れたものは評価しない。

2年生は就職活動で欠席を余儀なくされることもあります。欠席の届を出したうえ「就職活動の報告」を翌週に発表してもらい、欠席分を補えるものとします。

#### 教科書

森脇 道子編著『ビジネス実務総論』（実教出版）2000年刊 2,200円

#### 参考書等

授業のなかで適宜、示します。

#### その他

1. オフィスワーカーとして多領域に亘る学習をするので、予習を必ずしておくこと
2. 出席を重視するので、止むを得ず欠席する場合は、必ず届を提出すること
3. 授業中私語が多かったり、遅刻して他人の迷惑になるような行動は慎むこと
4. 授業中は、大人の女性としての意識を持ち行動するように心掛けること

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オフィス実務演習 (後期)	もりもと まさえ 森 本 正 恵	短国1・2選	2

講義のねらい

急激なビジネス社会の変化に気づき、理解し、対応できる能力を身につけることを目指します。『ビジネス実務概論』で学んだことを基礎に、企業で働くために必要とする実務能力を修得します。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
2. ビジネス実務とは
3. 仕事の流れと進め方
4. タイムマネジメント
5. 職場のコミュニケーションと人間関係
6. ドキュメントコミュニケーション
7. 会議とコミュニケーション
8. 社交コミュニケーション
9. キャリアプランニング
10. IT時代の働き方

履修上の留意点

グループ別で進めることが多いため欠席してメンバーに迷惑をかけないこと。基本的事項については個別学習(予習)により理解をしておくこと。クラスでは、創造的学習を目標とする。  
 ・課題に対して自分の考えを人に伝えられるようになること。  
 ・疑問や質問は積極的に発言すること。  
 『ビジネス実務総論』をベースに授業を組み立てていますので、共に受講することを勧めます。  
 また、就職対策にもなるので1年次で受講するのが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席を重視します
2. 筆記テスト
3. レポート提出
4. その他：検定取得、授業への参画意欲等の総合的評価

教 科 書

鎌田和江・大津洋子編著『新ビジネス実務の基本』(峯野書院) 2001年刊 2,400円

参 考 書 等

プリントの他、授業で示します

そ の 他

出席、レポート提出を自己管理できること。  
 欠席の場合、必ず理由を明記した届を提出すること。  
 連絡先: morimom@komazawa-u.ac.jp  
 TEL&FAX: 0467-33-1631

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理	谷 本 玲 大 <small>たに もと さち ひろ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

本講座では、人文学分野と情報処理技術の両方にまたがる課題実習を重視して、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。  
更に「情報をどのように利用し、どのように発信するか」、また、「ネットワーク上で他者とのように付き合うか」(電子メール、文章表現、著作権問題、プライバシーの問題など)についても考えてゆくこととしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- 1 教師紹介/講義内容解説/履修許可/アンケート
  - 2 情報倫理概説 (パスワードとIDについて)/起動~ログオン~終了/FDD 初期化/検索エンジンと WWW 体験
  - 3 インターネットで就職自己診断/情報サイトに登録/進学情報/資格取得/パソコンが欲しい人へのアドバイス
  - 4 電子メールのマナー/電子メール実習/URL の仕組み
  - 5 パスワードの管理/タイピング練習
  - 6 DOS コマンド (FDD のフォーマット)、バックアップのための FDD 同士のコピー、ファイルとフォルダの操作
  - 7 解凍ツールの使い方/ファイルの種類と拡張子/メモ帳の利用/Word の基本操作
  - 8 Word の基本操作(クリップボードの使用/ショートカット/縦書き/段組み/段区切り/脚注/ルビ/改ページ/ページ設定/印刷プレビュー/ヘッダーとフッター/印刷)
  - 9 Word の基本操作 (ワードアート/クリップアート/図形の調整/順序/グループ化/描画キャンバス/オートシェイプ/テキストボックス/図形描画ツールバー/テキストの折り返し/罫線と表の挿入/行や列の挿入と削除/セルの大きさの設定/罫線の種類/網掛け)
  - 10 Word 実習、IME と難しい字の入力・漢字の旧字体と変体仮名講座
  - 11・12 Word 実習 入力課題
  - 13 背景設定・スクリーンショットの活用
  - 14 ベイントによる描画・画像処理・画像フォーマット変換と拡張子・メールと添付ファイル
  - 15 予備
- 後期
- 16 Excel 基礎講座 (日付・曜日・等差数列のオートフィル、書式設定)
  - 17 Excel 基礎講座 (セル・行・列の操作/Sort/ワークシートの操作)
  - 18 Excel 基礎講座 (数式の基本/簡単な計算/相対参照と絶対参照)
  - 19 Excel 応用講座 (基本統計量・関数の利用 AVERAGE, SUM, MIN, MAX)
  - 20 Excel 応用講座 (グラフ作成)
  - 21 Excel 応用講座 (関数の作成・関数の利用 COUNTIF, IF, NOW, DATE)
  - 22 Excel 応用講座 (財務関数 FV, PMT の使用)
  - 23 素材と著作権/ハイパーリンク/相対パス・絶対パス/HTML のタグ
  - 24~28 My ホームページを作ろう
  - 29 コンピュータを活かす方法 (一年間のまとめ)
  - 30 予備
- ※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

初心者~初・中級向け。受講希望者多数の場合は1年生を優先する。実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

成績評価の方法

受講態度や出席状況等の平常点 (40%)、課題・レポート (60%)。通年で6時間 (6回) 以上の欠席は、評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。  
パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。  
講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

教科書

プリント、電子データを用いての実演などを適宜組み合わせる。

参考書等

講義中に紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 情 報 処 理	谷 本 玲 大 <small>たに もと さち ひろ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

本講座では、人文学分野と情報処理技術の両方にまたがる課題実習を重視して、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

特に「情報活用」と「表現技術」について、就職・進学活動の視点も考慮に入れてアプローチしてゆくこととしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期

- 1 教師紹介/講義内容解説/履修許可/アンケート
- 2 情報倫理概説 (パスワードとIDについて) / 起動～ログオン～終了/FDD 初期化/検索エンジンと WWW 体験
- 3 インターネットでの就職自己診断/情報サイトに登録/進学情報/資格取得/パソコンが欲しい人へのアドバイス
- 4 電子メールのマナー/電子メール実習/URL の仕組み
- 5 パスワードの管理/タイピング練習
- 6 DOS コマンド (FDD のフォーマット)、バックアップのための FDD 同士のコピー、ファイルとフォルダの操作
- 7 解凍ツールの使い方/ファイルの種類と拡張子/メモ帳の利用/Word の基本操作
- 8 Word の基本操作 (クリップボードの使用/ショートカット/縦書き/段組み/段区切り/脚注/ルビ/改ページ/ページ設定/印刷プレビュー/ヘッダーとフッター/印刷)
- 9 Word の基本操作 (ワードアート/クリップアート/図形の調整/順序/グループ化/描画キャンパス/オートシェイプ/テキストボックス/図形描画ツールバー/テキストの折り返し/罫線と表の挿入/行や列の挿入と削除/セルの大きさの設定/罫線の種類/網掛け)
- 10 Word 実習、IME と難しい字の入力・漢字の旧字体と変体仮名講座
- 11・12 Word 実習 入力課題
- 13 背景設定・スクリーンショットの活用
- 14 画像処理・画像フォーマット変換と拡張子・メールと添付ファイル
- 15 予備

後期

- 16 Excel 基礎講座 (日付・曜日・等差数列のオートフィル、書式設定)
- 17 Excel 基礎講座 (セル・行・列の操作/Sort/ワークシートの操作)
- 18 Excel 基礎講座 (数式の基本/簡単な計算/相対参照と絶対参照)
- 19 Excel 応用講座 (基本統計量・関数の利用 AVERAGE, SUM, MIN, MAX)
- 20 Excel 応用講座 (グラフ作成)
- 21 Excel 応用講座 (関数の作成・関数の利用 COUNTIF, IF, NOW, DATE)
- 22 Excel 応用講座 (財務関数 FV, PMT の使用)
- 23 PowerPoint 基礎講座 (素材と著作権/新規スライドの作成、スタイルとデザインの適用、文字列の入力、保存、新しいスライドの挿入、書式設定、箇条書き、テキストボックス)
- 24・25 PowerPoint 実習 マナー研究
- 26～28 PowerPoint 発表会
- 29 コンピュータを活かす方法 (一年間のまとめ)
- 30 予備

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

初級～中・上級向け。受講希望者多数の場合は2年生を優先する。実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

成績評価の方法

受講態度や出席状況等の平常点 (40%)、課題・レポート (60%)。通年で6時間 (6回) 以上の欠席は、評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。

パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。

講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

教 科 書

プリント、電子データを用いての実演などを適宜組み合わせる。

参 考 書 等

講義中に紹介する。

# II 專 門 教 育 科 目

英  
文  
科

## 2 英 文 科

英文科

## II. 専門教育科目

### (2) 英 文 科

英米文学概論〈高野秀夫〉	221
英語講読Ⅰ〈ホワイト, E.〉	221
英語講読Ⅰ〈ホワイト, E.〉	222
英語講読Ⅰ〈ブラック, A.〉	222
Oral CommunicationⅠ〈トランプリー, J.〉	223
Oral CommunicationⅠ〈キーズ, P.〉	223
英文学史〈滝静寿〉	224
英語講読Ⅱ〈梅原敏弘〉	224
英語講読Ⅱ〈高野秀夫〉	225
英語講読Ⅱ〈ホワイト, E.〉	225
Oral CommunicationⅡ〈トランプリー, J.〉	226
Oral CommunicationⅡ〈キーズ, P.〉	226
Intensive EnglishⅠ 〈モエ, R. A.・オーラ, B.・トランプリー, J.・ハードグレーブ, B.〉	227
Intensive EnglishⅡ 〈サリバン, C.・ハードグレーブ, B.・ランドルフ, M.・ロルフ, M. F.〉	228
Intensive EnglishⅢ〈デンドウ, G.・ギャリソン, J. G.〉	229
Intensive EnglishⅣ 〈サリバン, C.・オーラ, B.・ロルフ, M. F.・トランプリー, J.・レオーネ, J. V.〉	230
Intensive EnglishⅤ 〈モエ, R. A.・オーラ, B.・トランプリー, J.・ハードグレーブ, B.〉	231
Intensive EnglishⅥ 〈サリバン, C.・ハードグレーブ, B.・ランドルフ, M.・ロルフ, M. F.〉	232
Intensive EnglishⅦ〈デンドウ, G.・ギャリソン, J. G.〉	233
Intensive EnglishⅧ 〈サリバン, C.・オーラ, B.・ロルフ, M. F.・トランプリー, J.・レオーネ, J. V.〉	234
英語学概論〈岡本誠〉	235
言語と文化〈岡本誠〉	236
日英語比較〈梅原敏弘〉	237
英文法論〈梅原敏弘〉	237
英語音声学〈ホワイト, E.〉	238
作品作家研究〔イギリス文学と映画〕〈広川治〉	238
作品作家研究〔世紀末文学〕〈滝静寿〉	239
作品作家研究〔19世紀英文学〕〈高野秀夫〉	239
作品作家研究〔アメリカ20世紀文学〕〈湯浅陽子〉	240
米文学演習〈ギャリソン, J. G.〉	241
20世紀イギリス文学〈高野秀夫〉	241
アメリカ演劇〈ギャリソン, J. G.〉	242
20世紀アメリカ文学〈休講〉	
戯曲研究〈広川治〉	243
英米文学講読〈ブラック, A.〉	243
英米文学講読〈高野秀夫〉	244
英米文学講読〈滝静寿〉	244
英米文学講読〈湯浅陽子〉	245

聖書研究	〈水島陽子〉	246
西洋古典文学	〈水島陽子〉	247
イギリス史	〈休講〉	
イギリス文化事情	〈ランドルフ, M〉	247
アメリカ史	〈モエ, R. A.〉	248
アメリカ文化事情	〈休講〉	
時事英語	〈岡本誠〉	249
英語演習 [英語音声の基礎]	〈岡本誠〉	249
英語演習 [シャーロックホームズ]	〈ランドルフ, M〉	250
英語演習 [ボキャビュラリービルディング]	〈梅原敏弘〉	250
英語演習 [センテンスの構造]	〈ブラック, A.〉	251
英語演習 [英語表現]	〈ブラック, A.〉	251
英語表現	〈梅原敏弘〉	252
英語表現	〈岡本誠〉	253
英語表現	〈高野秀夫〉	253
英語表現	〈滝静寿〉	254
英語翻訳法	〈梅原敏弘〉	255
Advanced English A	〈オーラ, B.〉	256
Advanced English A	〈サリバン, C.〉	256
Advanced English A	〈トランブリー, J.〉	256
Advanced English A	〈モエ, R. A.〉	257
Advanced English A	〈レオーネ, J. V.〉	257
Advanced English A	〈ロルフ, M. F.〉	258
Advanced English B	〈オーラ, B.〉	258
Advanced English B	〈サリバン, C.〉	259
Advanced English B	〈トランブリー, J.〉	259
Advanced English B	〈モエ, R. A.〉	260
Advanced English B	〈レオーネ, J. V.〉	260
Advanced English B	〈ロルフ, M. F.〉	261
News English	〈ハードグレーブ, B.〉	262
English through Movies	〈岡本誠〉	263
英語とコンピュータ I	〈ブラック, A.〉	263
英語とコンピュータ II	〈ブラック, A.〉	264
同時通訳入門	〈モエ, R. A.〉	265
コンピュータ I	〈野崎芳秀〉	266
コンピュータ I	〈湯浅陽子〉	267
コンピュータ II	〈野崎芳秀〉	268
コンピュータ II	〈湯浅陽子〉	269
ビジネス実務総論	〈森本正恵〉	270
オフィス実務演習	〈森本正恵〉	271
オフィス・マナーズ	〈森本正恵〉	272
プレゼンテーション・スキルズ	〈湯浅陽子〉	273
ジャーナリズム研究	〈旗野寿雄〉	274
ビジネスイングリッシュ	〈町井靖〉	274
日本語教育法 A	〈松代涼子〉	275
日本語教育法 B	〈松代涼子〉	275
表現法 (話すこと)	〈真田治子〉	276
表現法 (書くこと)	〈真田治子〉	276

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米文学概論	たかのひでお夫 高野秀夫	短英1必(一類)	4

講義のねらい

中世(古英語650-1150、中世英語1150-1500)からいろいろな時代を辿り、最後にロマン派時代を経て来た19世紀英文学と、アメリカ入植のピューリタニズムからネオ・クラシズムを経て来た19世紀米文学とは、互いに係わり合いながら独自性を発揮し現代に至る。それぞれの英米文学の流れを概観する。

講義の内容・授業スケジュール

- 前半
1. 19世紀までの英文学
  2. ヴィクトリア女王朝 (The Victoria Age) 1837-1901
  3. 19世紀末および20世紀初頭
  4. 現代
- 後半
1. ロマンティシズムの時代 (1830-南北戦争)
  2. リアリズムの時代 (南北戦争後-第1次世界大戦)
  3. モダニズムの時代 (第1次世界大戦-第2次世界大戦)
  4. ポストモダニズムの時代 (第2次世界大戦-現在)

履修上の留意点

19、20世紀英米文学の作品を読み、文学とは何かを考える機会を多く持つこと。

成績評価の方法

中間、期末テストと出席代わりのレポート。

教科書

教場にて指示。

英  
文  
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読 I (前期)	ホワイト, E.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

The goals for this course are for students to improve their reading fluency and comprehension. This will result from use of a class reading textbook as well as a number of books in easy English which students will be required to read. Knowledge of vocabulary is an important element in developing reading skills and this course will make use of a learner's dictionary to deepen and extend student's vocabulary.

成績評価の方法

Student grades will be based on: a) class textbook unit tests, b) reading English stories and writing book reports, and c) attendance and class participation.

教科書

1. *Active Skills for Reading*: Book 1
2. *Basic Newbury House Dictionary* (2nd edition)

その他

木曜日・2時限  
土曜日・2時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 講 読 I (前期)	ホワイト, E.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

The goals for this course are for students to improve their reading fluency and comprehension. This will result from use of a class reading textbook as well as having students read a number of books written in easy English. Knowledge of vocabulary is an important element in developing reading skills and this course will make use of a learner's dictionary to deepen and extend student's vocabulary.

成績評価の方法

Student grades will be based on: a) class textbook unit tests, b) reading English stories and writing book reports, and c) attendance and class participation.

教 科 書

1. *Active Skills for Reading*: Book 1
2. *Basic Newbury House Dictionary* (2nd edition)

そ の 他

木曜日・1時限  
土曜日・1時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 講 読 I (前期)	ブラック, A.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

The central aim of this course is to help students improve their reading comprehension and to expand their functional vocabulary, yet we will also learn to translate and to write summaries of the works read.

講義の内容・  
授業スケジュール

A broad range of materials will be covered, consisting of short stories, essays, poetry and perhaps song lyrics. We will focus on reading well-known fairy tales.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. Additionally, since the reading assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

成績評価の方法

Attendance 25%  
In-class Participation (Answering Questions, Reading Assignments) 25%  
Notebook Folders (Vocabulary lists, Summaries, etc.) 25%  
Final Test 25%

教 科 書

No textbook will be used on this course. Teaching materials will be copied and provided by the instructor.

参 考 書 等

Students are required to bring both a Japanese-English dictionary and their notebook folders with them to each class.

そ の 他

The class will be conducted bilingually.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Oral Communication I (前期)	トランブリー, J.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving students' level of English communication in a variety of situations.

The overall goal of this course is for students to develop fluency in conversation to engage in exchanges of information and ideas.

講義の内容・  
授業スケジュール

Each class will review the previous week's material and introduce new material. Through group, pair and individual work, students will be challenged to communicate in English in debate, discussion, interview, conversation and presentation activities. Supplementary material such as videos, newspapers and magazines will be used.

履修上の留意点

Attendance is required in this course as well as active participation.

成績評価の方法

Grades will be based on participation in class, attendance and oral exams.

教 科 書

To be decided. Handouts and other sources will also be distributed to students.

英  
文  
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Oral Communication I (前期)	キーズ, P.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

講義の内容・  
授業スケジュール

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.

履修上の留意点

The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The course will cover a variety of skill areas—such as communications, business, socializing, travel, hotels, money, and hobbies and interests. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

成績評価の方法

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

教 科 書

The text will be announced later.  
Supplementary Material will be handed out by the teacher.

参 考 書 等

Although the text will be announced later the students will require the following:—  
An A4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class).  
An English Japanese dictionary.

そ の 他

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation and reviewing what has been learnt.



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 学 史 (後期)	たき せい じゅ 滝 静 寿	短英1必(一類)	4

講義のねらい

歴史を背景に、イギリス文学の流れを、その時代の代表的な作品、作家を取り上げながら概観する。講義形式であるので、ノートをとって貰う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- イギリス文学史の年間講義の概略の説明、イギリスについての基礎知識、アングロ・サクソン時代までの簡単な歴史。
- 古英語時代の詩歌等『ベイウルフ』を中心に。ノーマン・コンクエストによる言語・文化の変遷。
- 16世紀までの歴史。中英語の文学チョウサー、ラングランドを中心に。ギリシャ・ローマ演劇について。
- 17世紀までの歴史、中世のイギリス演劇。ヒューマニズムについて。
- エリザベス朝の文学と演劇、特にシェイクスピアを中心に。
- 18世紀までの歴史、・ビュウリタニズムについて、特にミルトン、パンヤンを中心に。王政復古について。
- 19世紀までの歴史。ポープ等について。散文の登場、ジャーナリズムの発展、サムエル・ジョンソン等を中心に。
- ヴィクトリア朝の歴史と文芸。
- イギリス文学史の総まとめ

履修上の留意点

出欠はとらない代りに、レポートを提出し、それが出席率になる。未提出(期日まで)者は単位修得はできない。

成績評価の方法

学年末のペーパーのテストが主で、提出のレポートを参考に評価する。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

教場で説明。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 講 読 II (後期)	うめ ほん とし ひろ 梅 原 敏 弘	短英1必(一類)	2

講義のねらい

正確な英文読書力の養成を主眼とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、文型を中心とした構文の知識の整理と再確認を主眼としたハンドアウトを配り、例文を読みながら構文力の基礎の充実を図ります。その後で、雑誌や新聞の記事をハンドアウトにして配布し、読んでいくことにします。

履修上の留意点

受講者は必ず、毎回予習をしてくること。アットランダムにあてていくので、口頭での訳が困難な場合、訳をノートに書いてくること。

成績評価の方法

平常の授業時に行うテスト(3-4回を予定)の結果により成績判定をします。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、及び予習をしてこなかった場合、減点します。

教 科 書

使用しない

参 考 書 等

出来れば、学習者用の英英辞書(Longman Dictionary of Contemporary EnglishやOxford Advanced Learner's Dictionary of Current English等の)を購入し、利用してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 講 読 II (後期)	たかのひでお 高野秀夫	短英1必(一類)	2

講義のねらい

Natural Speed の英語の読みと聞き取り、平易な英文の作成、作品の内容の理解に努める。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) Natural Speed で英語の読み、聞く能力を高める。
- (2) 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家 Thomas Hardy は、運命論者として知られ、「この宇宙には Immanent Will (内在された意志)があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えながら行く。

履修上の留意点

教科書の逐語訳をするので必ず予習は欠かささないこと。

成績評価の方法

中間、期末筆記試験、平常点（出席点、レポート等）

教 科 書

- (1) *To Please His Wife and Other Stories* (成美堂)
- (2) プリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 講 読 II (後期)	ホワイト, E.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

In this course students will focus on reading and vocabulary skills to enable them to become better readers of English. Through reading a number of English books and working through the class textbook students will be able to develop their reading fluency and comprehension. The use of a learner's English dictionary to improve vocabulary knowledge will help students in the process of becoming better readers.

成績評価の方法

Student grades will be based on: a) class textbook quizzes and tests, b) reading English stories and writing book reports, and c) attendance and class participation.

教 科 書

1. *Reading Advantage 2*
2. *Basic Newbury House Dictionary (2nd edition)*

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Oral Communication II (後期)	トランブリー, J.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving students' level of English communication in a variety of situations.

The overall goal of this course is for students to develop fluency in conversation to engage in exchanges of information and ideas.

講義の内容・  
授業スケジュール

Each class will review the previous week's material and introduce new material.

Through group, pair and individual work, students will be challenged to communicate in English in debate, discussion, interview, conversation and presentation activities. Supplementary material such as videos, newspapers and magazines will be used.

履修上の留意点

Attendance is required in this course as well as active participation.

成績評価の方法

Grades will be based on participation in class, attendance and oral exams.

教 科 書

To be decided. Handouts and other sources will also be distributed to students.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Oral Communication II (後期)	キーズ, P.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

講義の内容・  
授業スケジュール

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.

履修上の留意点

The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The course will cover a variety of skill areas—such as communications, business, socializing, travel, hotels, money, and hobbies and interests. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

成績評価の方法

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

教 科 書

The text will be announced later.  
Supplementary Material will be handed out by the teacher.

参 考 書 等

Although the text will be announced later the students will require the following : —  
An A4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class).  
An English Japanese dictionary.

そ の 他

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation and reviewing what has been learnt.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English I (前期)	モエ, R. A・オーラ, B. トランブリー, J. ハードグレーブ, B	短英1必(二類)	2

講義のねらい

To develop and improve English conversational skills.

講義の内容・  
授業スケジュール

Timed Paired Practice (TPP) exercises. Students are randomly paired and their conversations are timed. They are allowed to speak until they make a mistake at which time they are stopped and the duration of their conversation is recorded. Students may do this up to ten times per class. TPP will be conducted in every class and in the same way. During the first 10 times (TPP 1~TPP 10) students will be free to talk about anything they wish. During the next 5 times (TPP 11~TPP 15) students will be assigned a topic that must be discussed in the next class. That gives them time to prepare. For the next 5 times (TPP 16~TPP 20) the topic will be assigned at the start of the class. From TPP 21, topics will not be assigned and students may talk about anything. TPP will be conducted in every class and in the same way.

履修上の留意点

This is a course in which the students are expected to actually use the English they know in conversational situations. In other words, they should try to use what they have studied and are studying in other courses. Mistakes are any unnatural English usage. That includes grammatical errors, pronunciation errors, delivery errors, and also if the content is considered odd, that is an error. Pauses of more than half a second are also considered to be errors. Not speaking loudly enough will also be an error. If a student repeats a word, that also is an error. If a student realizes she has made a mistake, she may correct it by first saying, "Excuse me," and then repeating the corrected phrase. If a student thinks that her partner has made a mistake or if she cannot understand what her partner says, then she should say, "Pardon?" The other person must then repeat from the beginning, being careful to speak correctly.

成績評価の方法

The grades are based on the average length of a conversation and also the number of times that a student does TPP. This data is put into the following formula

$$\text{Avg} * (\text{Count} / 3) + (60 - (\text{TPP No.} * 3)) = \text{score}$$

Avg=the average length of all TPP conversations

Count=the number of times a student did TPP conversations

This provides a score for one TPP class. The scores for all the TPP, from 1 through 20 (or whatever the last one might be) are averaged to provide the final score. The final score is then put into the following formula to determine the final grade.

$$((100 - 10X - 5Y) + 2Z) / 3 + \alpha = \text{final grade}$$

X=number of unexcused absences

Y=number of unexcused times tardy

Z=final score

$\alpha$ =adjustments made by teacher

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The final grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教 科 書

ありません

参 考 書 等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

そ の 他

Students should their talk to their teacher or to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Scores will be posted regularly outside the office of the English Department.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English II	サリバン, C・ハードグレーブ, B. ランドルフ, M.・ロルフ, M. F.	短英 1 必(二類)	2

講義のねらい

In this course students will read a large quantity of graded English material (graded readers) in order to develop confidence and fluency in reading. This approach, which is broadly called 'extensive reading', has been shown to be an effective way of helping learners to gradually improve their ability to comprehend more and more complex extended texts. The intention is to make reading English an everyday activity through which students cultivate a reading habit.

講義の内容・  
授業スケジュール

In the first class of the course, students will take a test to determine their reading level. Students will then start reading books at the appropriate starting level by borrowing them from the Book Bags which are brought to class or by borrowing them from the university library. Students are only allowed to borrow one book at a time from the Book Bags. After a student has read 5 to 7 books at her beginning level, she will move up one level and read the same number of books again at this new level. The target number of pages to be read over 12 weeks is 600 pages. Students will probably, therefore, move up two levels during the course of the semester. They will have to read 50 pages on average each week. In the penultimate week of classes in July a second test will be given to ascertain which level the students are reading at by this stage. In addition, students write reports (Reaction Reports) on every book they read. These are checked by the teacher and then returned to the student who then sticks the report into her notebook.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Below is an explanation of how the course is graded:

50% = pages read

601 and over = 50%

551 - 600 = 40%

501 - 550 = 30%

0 - 500 = 0%

25% = improvement in level between the first and second reading tests

25% = quality of Reaction Reports

+ attendance

+ effort shown

+  $\alpha$  [to be determined by individual teachers]

教 科 書

All graded readers are provided. [individual teachers may ask students to buy a textbook to supplement the graded readers].

そ の 他

Students will need a B 5 (or slightly bigger) notebook to stick their Reaction Reports into.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English III (前期)	デンドウ, G. ギャリソン, J. G.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

Designed to expose students to authentic English spoken by Americans from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. Primary emphasis on comprehension of video materials selected by the instructor from American television; secondary emphasis on mastering the use of vocabulary, idioms and syntactical patterns. All material and instruction in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance. Students will be expected to view the appropriate material, outside class, watching it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script.

During class, the lesson will be reviewed, students' understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced.

Each lesson will be followed by a short test.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.

成績評価の方法

Grades will be based on the results of tests given after each lesson is completed - normally 3 to 4.

教 科 書

Teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor.

参 考 書 等

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English IV	サリバン, C.・オーラ, B. ロルフ, M. F.・トランブリー, J. レオーネ, J. V.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

- ① by the end of the course students will be able to speak English with improved confidence in situation they are likely to encounter when travelling abroad or when in a home stay;
- ② students will increase their general fluency in spoken English.

講義の内容・  
授業スケジュール

The emphasis in this course is on spoken English. Students will be judged on how functionally communicative they become in the set situations and on the improvements they make in their general conversational fluency. Starting with the English students have at their disposal, situations and the language needed to survive in those situations will gradually be built up in each class.

Students will take Entrance and Exit Tests at the beginning and at the end of the course. Improvement between the Entrance and Exit Tests is worth about a third of the final grade. Students will also take up to 5 Mini Tests through the semester to check on progress on material covered in class. Students will do 'Partner Taping' each week for homework.

履修上の留意点

This course is being provided in the new curriculum in part as an antidote to the years of "examination English" students have had to endure at high school and partly in response to the call for more conversation classes from students who have passed through Komazawa Junior College in previous years. It is imperative that students take an active part in this class for this course to be successful. Any student who does not speak English or who does not become proficient in the expressions needed for the different situations covered will not pass this course.

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Students will be assessed on their English oral ability at the beginning and at the end of the semester. They will also have up to five mini tests on the material covered. Grades will be based on:

1. improvement in speaking ability over the semester based on the Entrance and Exit Test results (=30%);
2. performance on mini tests;
3. completion of homework partner taping;
4. effort shown in class;
5. attendance.

教 科 書

None. All materials will be provided by the teacher.

そ の 他

Students will need a mini cassette recorder and a B5 notebook.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English V (後期)	モエ, R. A.・オーラ, B. トランブリー, J. ハードグレーブ, B	短英1必(二類)	2

講義のねらい

To develop and improve English conversational skills.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students will build upon the skills developed in Intensive English I. Students will be randomly paired to practice extemporaneous conversations. Specific topics will be introduced and instruction given as to how to converse on these topics in depth. Every third or fourth class students will be tested on their ability, the testing method being the TPP exercise that was introduced in Intensive English I.

履修上の留意点

Practice outside of class will be essential in order to make the progress necessary in class to receive a passing grade. That is to say, students must be able to carry on conversations for at least one minute without making any mistakes.

成績評価の方法

The grades are based on the average length of a conversation and also the number of times that a student does TPP. This data is put into the following formula

$$\text{Avg} * (\text{Count} / 3) = \text{score}$$

Avg=the average length of all TPP conversations

Count=the number of times a student did TPP conversations

This provides a score for one TPP class. The scores for all the TPP, from 1 through 20 (or whatever the last one might be) are averaged to provide the final score. The final score is then put into the following formula to determine the final grade.

$$((100 - 10X - 5Y) / 3) + \alpha = \text{final grade}$$

X=number of unexcused absences

Y=number of unexcused times tardy

Z=final score

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The final grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教 科 書

ありません

参 考 書 等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

そ の 他

Students should either talk to their teacher or to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Scores will be posted regularly outside the office of the English Department.



科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English VI (後期)	サリバン, C. ・ハードグレーブ, B. ランドルフ, M. ・ロルフ, M. F.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

In this course students will develop their ability to write longer texts in English. The main aim is for students to produce three 500-word assignments. These may be essays or formal reports. Students will also keep journals in order to develop greater fluency and greater belief in using English as a means of communication and as a way of expressing themselves.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students are required to produce three essays or reports which need to be researched and drafted. These pieces of writing will involve the students in synthesizing information they have found through discussion or research and in presenting a point of view on a topic using evidence to support their position. Organising the writing so that it becomes a clear and reasoned statement of the student's own position will be a principle focus of the class. Each week students will also be asked to make entries of a particular length in their journals.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Students are graded as follows:

1). Three Assignments = 75% (Assn. 1, 2, and 3 = 25% each).

Each assignment receives one of five grades:

Very good (5 points)

Good (4 points)

OK (3 points)

Poor (2 points)

Weak (1 point).

To pass this course students need to have accumulated 11 points from the three assignments. If students are concerned that they are not accumulating enough points, they can resubmit assignments any number of times until a final deadline in December.

2). Journal assignments. = 25% (10 × 2.5)

教科書

No textbook will be used.

参考書等

Students should bring an English-Japanese dictionary to each class. Students will be advised about buying a good English-English dictionary in the first class.

その他

Students will need a B 5 notebook.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English VII (後期)	デンドウ, G. ギャリソン, J. G.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

Continuation of Intensive English III. Designed to further develop students' ability to understand authentic English spoken by Americans from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. As with IE III, primary emphasis will remain on comprehension of video materials while secondary emphasis will once again be on mastering the use of vocabulary, idioms and syntactical patterns. The material selected for inclusion in this class will be more advanced than that of IE III.

講義の内容・  
授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance. Students will be expected to go to the Language Laboratory, borrow the appropriate video, take it home overnight or to the L. L. study booths, and watch it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script. During class, the lesson will be reviewed, students' understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced. Each lesson will be followed by a short test.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.

成績評価の方法

Grades will be based on class participation (25%) and the results of tests given after each lesson is completed normally 3 to 4 (75%).

教 科 書

Teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor.

参 考 書 等

None.

そ の 他

Class conducted in the language laboratory. All material and instruction in English.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English VIII (後期)	サリバン, C.・オーラ, B. ロルフ, M. F.・トランブリー, J. レオーネ, J. V.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

The purpose of this course is to familiarize students with the TOEIC® test and improve their test scores so that they feel ready to attempt the real TOEIC® test for themselves.

講義の内容・  
授業スケジュール

At the beginning of this course, students will take a baseline TOEIC® test and at the end an exit TOEIC® test. Improvement over the course in terms of test scores constitutes a major part of the assessment for the course. In class, students will study strategies for taking the test and will have opportunities to take practice TOEIC® tests. The scores on these tests will also contribute to the final grade. Students will be expected to organise their work outside class properly too. Work outside class also figures in the assessment of this course. Not all class time will be spent studying TOEIC® directly. In order to maintain students' speaking abilities, speaking activities will also be incorporated in the course each week.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Your grade in this class will be calculated in the following way:

25% Final TOEIC® Test score compared to Initial TOEIC® Test score. (70 points higher =25%; 50 points higher=20%; 30 points higher=15%; 10 points higher=10%; no change=5%; a drop=0%).

25% Scores on two Practice Tests. (Practice Test: Much better than previous Test=12%; a little better than previous Test=9%; no better than previous Test=6%; a little worse than previous Test=3%; much worse than previous Test=0%).

25% Completion of homework tasks.

25% Awarded at individual teacher's discretion.

教 科 書

Students will be told by individual teachers if a textbook is required.

そ の 他

REMEMBER: you can get 4 extra credits if you get 530 or over on the real TOEIC® test under the 'Kentei shiken' system. (Your teacher will explain more when this course begins).

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学概論 (前期)	おかもと まこと 岡本 誠	短英1・2選必	4

講義のねらい

英語は言うまでもなく、まずイギリスの言語であったわけで、それは現在でもそうであるわけだが、アメリカを代表とする若い国々の言語ともなり、さらに世界各地で使われるようになってきた。英語を母語とはしていない人までも国際的な場でのコミュニケーションの手段として英語に頼る。分かりやすく言えば、日本と韓国の人でさえ英語でなら話し合えるのだ。つまり、非英語圏での外国語教育のナンバーワンは英語である。言ってみれば、英語という言語は非常に出世したのである。

どうして英語はこのように出世したのであろうか。中学校以来、英語の学習をつい当たり前のように思ってしまったのかもしれないが、なぜだろう、即ち、なぜ英語はかくも世界中で使われるようになったのか、考えてみることは意味のあることであろう。

ところで、その世界のあちこちで使われているという英語がどれもぴったりに同じというわけではない。ご先祖のイギリスの地を離れて各々いささか趣を変えている。このことは、社会が言語に影響を与えるという普遍的な側面を窺い知ることができる。

この講義では、上に記した趣旨に従って、国際的な視野で英語という言語を考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

英語の歴史的区分。インド・ヨーロッパ語と英語の関係。英語が影響を受けることになったブリテン島の対外関係。ノルマン人によるフランス語の影響。ルネサンスと英語との関係。17世紀の英語の自己発見。大英帝国を背景とした英語。アメリカの台頭とその英語。世界各地の英語。英語の方言ならびにその変異種。

履修上の留意点

教科書を使用することもあるが、その際は事前に次のところを読んでおくこと。ケータイは切っておくこと。

成績評価の方法

筆記試験。レポート。小テスト。出席状況。

教科書

必要の際に指示する。

参考書等

適宜プリントを配布するが、お金があまっけてどうしても欲しい、という際は次のものが最も網羅的である。

ポー／ケイブル著・永嶋大典他訳『英語史概説』（研究者）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
言語と文化 (後期)	おがもと まこと 岡本 誠	短英1・2選必	4

講義のねらい

日本は高 context 文化であると言われる。つまり特定の場面で発話する際、全部を言わずともあとは状況で察してほしいということである。電車をおりた人が駅から電話をかけてきて「今着いたんだけど」と言う。電話を受けた人は「だからなんなのさ？」などとは応じない。「じゃ待ってて。今車で迎えに行くから」などと言う。これが我々の住んでいる文化である。英語圏で、日本語あるいは日本人の発想で“I'm here at the station”と電話すればそれこそ“What do you mean?”と言われかねない。つまり我々は状況に頼っていてストレートにものを言わない文化の中にいる。

この文化の特徴は直接的に言わずにほのめかして、あとは相手に察してほしい、というわけであるから、必然的に目立とうとしないことを多とする。目立つ人は出しゃばりになるのである。ところが欧米ではいい意味で目立つ人が評価されるわけで、ユニークであることはいいことである。他の人と違うからである。出しゃばらない文化では先輩をさしおいてなどという行動はありえない。先輩はたてまつるのである。悲しいかな中学校の部活で既に「先輩」「後輩」の意識はできあがってしまうようだ。しかるに、こういう言い方が英語にはない。彼らはファーストネームで呼び合う You and I are equal の世界にいる。従って英語には敬語がないとよく言われるが、「へりくだり」の言い方はもったない。「愚妻」だとか「豚尻」などの語はないのである。

本講義では異文化間コミュニケーションとも相通じる、言語と文化の関係を考えていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

この趣旨にそった話題を新聞や雑誌に求め、ディスカッションの場とする。

履修上の留意点

事前に問題点を吟味してくること。ケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

出席状況。発表状況。レポート提出。小テスト。

教科書

特定の教科書は使わない。

参考書等

適宜教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日英語比較(後期)	うめ はら とし ひろ 梅原敏弘	短英1・2選必	4

講義のねらい

日本語と英語を比較・対照させることによって、両語の特徴と差異を探る。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の「腰」という言葉と英語の“hip”とは同じであろうか、何故 hips と複数でいうのであろうか、というような語彙レベルでの問題、英語圏の国に手紙を書くとき、どうして番地を先に書いて、町名、国名などを後に書くのか、また英語では主語の次に動詞がきてその後目的語が来るのに対して、日本語では動詞が目的語の後に来るのはどうしてなのか、というような語順の問題、日本語の敬語に相当するような表現が英語にあるのだろうか、という待遇表現の問題等、様々な「違い」が日英両語の間には存在する。それらを順次取り上げ、両語の特徴を探りながら、英語の表現上の特徴を明らかにしていく。授業は講義形式で行うが、完全な一方通行ではなく、日英両語の特徴と差異について、受講者自らに様々な具体的な例をあげてもらい、ディスカッションもしていく予定。

履修上の留意点

言葉に興味をもっている受講者が望ましい。履修希望者は必ず履修届を出す前に、授業に出て受講許可を受けること。コンピュータを利用するので、受講者は最低限のコンピュータの操作ができることが望ましい。コンピュータの操作ができない受講者は必ず英文科のコンピュータの授業を合わせ受講すること。

成績評価の方法

学期末の試験、レポートの出来映え、特にその独自性、と授業への積極的参加と貢献度を勘案して決める。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、綜合成績から減点します。

教科書

使用せず。

参考書等

小島義郎 著『日本語の意味 英語の意味』(南雲堂)  
 国広 編 『日英語比較講座』全5巻(大修館)  
 国広哲哉 著『日英語の比較』(現代英語教育-8)(研究社)  
 榎垣 実 著『日英比較表現論』(大修館)  
 中右 実 編『日英語比較選書』全10巻(研究社)

英  
文  
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文法論(前期)	うめ はら とし ひろ 梅原敏弘	短英1・2選必	4

講義のねらい

基本的な文構造の知識の再確認と日本人が特に苦手とする文法項目の克服を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

ハンドアウトに従って、5文型を中心とした基本的な文構造の批判的再確認を先ず行う。次いで、指定の教科書の中から時制、アスペクト(完了相、進行相)、法助動詞と仮定法、不定詞、冠詞、前置詞等の重要な文法項目もしくは日本人に難しい文法項目を順次取り上げ、解説をし練習問題をこなしていくことにする。

履修上の留意点

数多くの問題練習をやりながら、各文法項目の理解を確実なものにするという方法をとるので、各自、問題練習は全て自分でやってみて、レポートとして提出すること。

成績評価の方法

平常の授業時間内に2~3回テストを行い、その平均点に基づいて成績評価をする。レポートの提出は重視し、レポートを提出しなかった場合、欠席が多い場合にはテストの平均点から減点します。

教科書

Raymond Murphy *Grammar in Use* (Cambridge University Press)

参考書等

クワーク著『現代英語文法』(紀伊国屋書店)  
 松波 有編『英文法』(大修館)  
 正保富三者『英語の冠詞がわかる本』(研究社)  
 江川泰一郎著『英文法解説』(金子書房)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語音声学(後期)	ホワイト, E.	短英1・2選必	4

講義のねらい

The goal of this course is to improve student's pronunciation skills by focusing on the stress, intonation and rhythm of English through both speaking and listening practice. By focusing on the areas that Japanese speakers find challenging students will also develop a better understanding of the sounds of the language and the importance of good pronunciation for successful communication.

成績評価の方法

Student grades will be based on: a) a number of class tests and quizzes based on the course textbook, b) audio cassette recordings of the students spoken English, c) a final speaking test which focuses on pronunciation, d) attendance and participation.

教科書

Speaking Well: Pronunciation for Japanese Students

英  
文  
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
作品作家研究 [イギリス文学と映画](後期)	ひろかわ 広川 治	短英1・2選必	4

講義のねらい

イギリス文学の作品とその映画化を1~3作ほど取り上げ、原文、翻訳、シナリオ、ビデオなどを活用して、その作家作品についての知識を深め、多角的に考察していく。作品は受講者の知識、興味等を初回の授業で確認した上で、映画化作品のビデオ、DVDの入手状況も考慮した後に決定する。文学作品(小説または劇)がいかに映像化されているか、原作と映画化の比較を中心に授業を進めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

(9月) アンケート、作家作品紹介  
(10月) 作品研究 I  
(11月) 作品研究 II  
(12月) テスト・発表・まとめなど

履修上の留意点

授業への参加を重視するので、遅刻(欠席と同じ扱いにする)、欠席、居眠等は厳禁。大幅なマイナス点になるので注意。予習や復習よりも、まず授業中の集中度が勝負の授業。

成績評価の方法

出席などの平常点に課題レポートや小テストなどの点数を加えた総合評価となる。

教科書

プリント配布の予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品作家研究 〔世紀末文学〕(前期)	たき せい じゅう 滝 静 寿	短英1・2選必	4

講義のねらい

オスカー・ワイルドの作品を中心に、世紀末の文芸を考えてみる。童話や戯曲を中心に輪読し、ワイルドの文体をも研究する。

講義の内容・授業スケジュール

輪読形式で行う。毎時間、議長と書記を選び、討論しながら進めていく。  
 ○世紀末文芸と概観。ワイルドについて、作品鑑賞（童話を中心に）。  
 ○戯曲『サロメ』の輪読。世紀末画家（ビアズレーを中心に）について。  
 ビデオで、パーコフの『サロメ』鑑賞。小説『ドリアン・グレーの画像』福田恒存訳を一部原文と比較しながら輪読しワイルドの芸術観への導入。

履修上の留意点

必ず予習し、積極的に意見や考えを述べることを義務づける。テーマを割り当て、研究発表を行う。

成績評価の方法

輪読を進めていく過程での平常点、出席率、前後期レポート等の総合評価。

教科書

O. Wilde: *The Happy Prince and Other Tales* (北星堂)

英文科

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品作家研究 〔19世紀英文学〕(前期)	たかの ひで お 高野 秀夫	短英1・2選必	4

講義のねらい

英国では英文学の入門書となっている「サイラス・マーナー」の作品を読む。その著者、ジョージ・エリオットがなぜ19世紀英文学において特異な存在になったのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

教科書  
 神への信仰を失い、親友、恋人そして仲間にも裏切られた主人公、サイラス・マーナーは、住み慣れた都会からラヴィロー村に移る。金を貯めることが人生の唯一の楽しみになり、ついに、天涯孤独な守銭奴となる。16年後その金が盗まれ、再び絶望の淵をさ迷う。その時、たまたま、迷い児、エッピーが家に転がり込んで来る。サイラスはその児を育てながら、美しい自然のなかで暮らす村人の温かな心に触れ、生きることの素晴らしさを知る。そして可愛い娘に成長したエッピーと幸せに暮らす。  
 この物語を原書で読み、他の作品の物語も言及する。登場人物の様々な問題点（孤独、神、偶然等）を採り挙げ、ジョージ・エリオット文学への扉を開く。

口頭発表

各自が課題を決めて20分程度でまとめる。

履修上の留意点

主要な19世紀英国作家の作品に触れ、絶えず文学とは何かを考える機会を多く持つこと。

成績評価の方法

(1) 口頭発表 (2) レポート (3) 7枚程度の論文

教科書

(1) George Eliot: *Silas Marner*  
 (2) プリント



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品作家研究 〔アメリカ20世紀文学〕(前期)	湯 浅 陽 子 <small>ゆ あさ よう こ</small>	短英1・2選必	4

講義のねらい

今から100年前にアメリカのミネソタ州セントポール市に生まれ、1920年～1930年代に活躍したFrancis Scott Key Fitzgeraldの『The Great Gatsby』を読む。フィッツジェラルドは44歳で死んだ短命な作家である。

第一次世界大戦後の狂騒的な好況の1920年代とあまりにも密着していたところに、この作家の華々しいスタートと成功の、ひいては1929年の大恐慌を経た後の30年代における閑却と不遇の原因を求めるのが今日のほぼ通説と見てよいかもしれない。

正味10年程の短い活動期を自分の夢を追いかけて駆け抜けていった男に「アメリカの夢」を重ね合わせる人も多い。

いま若い女性に人気のある村上春樹氏も実は相当フィッツジェラルドに傾倒していることを知っている人も少なくないことだろう。また、本木雅広演ずる某男性化粧品会社のCMに出てくる化粧品の名前もたしか“Gatsby”だった。不景気な世の中だからこそ、この名前には彷彿としたものを感じさせる何かがあるのだろうか。作品を通してそれが何であるかを感じてほしい。

英  
文  
科

講義の内容・  
授業スケジュール

4月	映画に描かれている	The Great Gatsby 鑑賞
5月	発表	第1章 19ページ 第2章 14ページ 第3章 19ページ 第4・5章 33ページ
6月	発表	第6章 13ページ 第7章 31ページ 第8章 15ページ 第9章 17ページ

7月 レポート提出 Fitzgeraldと作品および家族、作品のテーマ、人生観、女性観について等、論文の書き方の練習も兼ねて最低3本出してもらおう。なお、場合によっては小テストもあり得る。

履修上の留意点

『The Great Gatsby』は中編小説だが、全章読破するとなると中々大変である。テキストは発表形式で読み進める。受講者は幾つかのグループに分かれ、そのメンバーで自分たちの担当する章を決めたいうで、分担して発表する。

発表は次の要領で行う：

1. 担当した部分のReading、(文章が把握できているかどうかを読み方で判る)
2. その部分の要約、
3. 調べて気がついた注目すべき／難解な英語表現、
4. その部分にまつわるエピソード等、調べてわかった周辺の事柄、
5. その他

成績評価の方法

毎回の出席 (30%)、発表評価表への記入姿勢や必需品を忘れない等に見られる授業への参加度 (10%)、何回か回ってくる発表平均点 (25%)、レポート提出 (20%)、最終試験結果 (15%) の総合で評価する。

教 科 書

F. Scott Fitzgerald: *The Great Gatsby* (英潮社 Penguin Book)

参 考 書 等

野崎孝編『20世紀英米文学案内-7-F. Scott Fitzgerald』(研究社)  
小堀用一朗著『スコット・フィッツジェラルド-人と作品-』(弓書房)  
ナンシー・ミルフォード著 大橋吉之輔訳 『ゼルダ-愛と狂気の生涯』(新潮社)  
*Fitzgerald's The Great Gatsby - The Novel, The Critics, The Background* Henry Dan Piper 著 (Charles Scribners)

そ の 他

最良の学習環境を確保するために、場合によっては人数制限を行う。その際は第1回目の授業時に抽選して受講者を決定し、受講許可書を発行する。受講許可書を受領した者のみ、履修登録をすることができる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
米 文 学 演 習 (後 期)	ギャリソン, J. G.	短英1・2選必	4

## 講義のねらい

The literature, art and music of the Harlem Renaissance during the 1920s, how they reflect the social changes brought about by World War I, Industrialization, the Great Migration and the search by Black Americans for their African roots. The poetry, novels and short stories of Langston Hughes, Claude McKay, Countee Cullen, Jean Toomer and James Weldon Johnson will be introduced in order to present an overview of prevailing literary and social trends in America and encourage a deeper understanding of the forces at work forging racial identity and pride among African-Americans during the period.

講義の内容・  
授業スケジュール

Introductory comments on American culture and slavery, followed by discussion of the social, cultural and literary trends in America during the early 1900s. Reading, discussion and analysis of selected authors, both Black and White, whose works are available in Japanese translation. Limited reading in English. Participation in seminar discussions and scheduled group and individual presentations on subjects and authors assigned upon consultation with instructor.

## 履修上の留意点

There will be no retests; term papers, however, may be rewritten within certain time limits. Computer and internet skills required.

## 成績評価の方法

Completion of assignments, class participation and presentations (50%) and either one 7-10 page research paper (50%) on an author or artist selected by the student in consultation with the instructor or a final Exam (50%).

## 教 科 書

Steven Watson 著 *The Harlem Renaissance: Hub of African-American Culture, 1920-1930*, (Pantheon Books, New York) 1995

## 参 考 書 等

None

## そ の 他

Sophomores will be given preference in admission.  
Completion of 20世紀アメリカ文学 or アメリカ演劇 required.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
20世紀イギリス文学(後期)	たかのひでお 高野秀夫	短英1・2選必	4

## 講義のねらい

- (1) Natural Speedで英語の聞く能力を高める。
- (2) 教科書:  
19世紀には、偉大な女流作家が英文学史上に次々に登場した。男性優位の甚だしい社会の陰で、女性弱者の立場から自らの文学をこつこつ築き上げて、英文学をより一層豊かなものにした。その伝統をしっかり受け継いで、現代に生きる人の心を魅了し続けている20世紀の新しいタイプの女流小説家、20世紀英国文壇の旗手ヴァージニア・ウルフの作品を読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) テープの英語
- (2) 20世紀英国小説の“意識の流れ”の作家、ウルフの作品理解に努める。

## 履修上の留意点

英語の質疑応答があるので予習は欠かせないこと。

## 成績評価の方法

研究発表、筆記試験、平常点(出席、レポート等)

## 教 科 書

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ演劇 (前期)	ギャリソン, J.G.	短英1・2選	4

講義のねらい

The purpose of the course is twofold: 1) to familiarize the student with the historical development, social and cultural background, and principal themes and elements of American dramatic writing from the earliest years through the 1990s. 2) to nurture a critical appreciation of American drama, both as literature and performing art.

講義の内容・  
授業スケジュール

Panoramic introduction to American drama. Emphasis on contemporary issues and themes. Lectures and discussions to be supplemented by viewing of filmed American plays.

- 1) Definition and discussion of the elements of "drama." How a play reaches production from script to performance. Who and what is involved.
- 2) The 20s: birth of modern American Drama: selections from: Rachel Crothers, Susan Glaspell, Zona Gale, Georgia Douglas Johnson and Sophie Treadwell
- 3) Eugene O'Neill: Thirst & Hughie
- 4) Realism—Thornton Wilder's *Our Town*
- 5) Lillian Hellman's *The Children's Hour*
- 6) The 40s: *The Marginalized*—Tennessee Williams' *A Streetcar Named Desire*
- 7) The 50s: The dark side—William Inge's *Come Back, Little Sheba*
- 8) The collapse of the American Dream—Arthur Miller's *Death of a Salesman*
- 9) The 60s and 70s: Edward Albee's *Who's Afraid of Virginia Woolf?*
- 10) The 80s and 90s: Sam Shepard's *Fool for Love*, David Mamet's *Sexual Perversity in Chicago*, Marsha Norman's *night, Mother*

履修上の留意点

- 1) All readings will be in Japanese translation.
- 2) No retests will be given.

成績評価の方法

- 1) Attendance and class participation (50%)
- 2) One final exam given at the end of the semester (50%)

教科書

Copies of most material will be passed out in class by instructor.

参考書等

鳴原真一編『モダン・アメリカン・ドラマ』（研究社出版）1989年  
 高島邦子著『20世紀アメリカ演劇—アメリカ神話の解剖』（国書刊行会）1993年  
 池内靖子訳『アメリカ女性劇集』 *Plays by American Women 1900-1930*（新水社）1988年  
 田川弘雄・鈴木周二共編『アメリカ演劇の世界』（研究社出版）1991年  
 岩元巖・酒素雅之（共編）『アメリカ文学作家作品事典』（本の友社）1991年  
 現代演劇研究会編『現代英米の劇作家たち』（英潮社）1990年  
 芳賀馨（はがかおる）著『現代アメリカ文学研究』（開文社）1992年

その他

Nothing

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
戯 曲 研 究 (前期)	ひろ <sup>かわ</sup> <sup>おさむ</sup> 広 川 治	短英1・2選必	4

講義のねらい

Shakespeare または他の英米の劇作家の作品を1～3作ほど取り上げ、原文、翻訳、研究書ばかりでなく、上演、録音、ビデオなども活用して、その作家作品についての知識を深め、多角的に考察していく。作品は受講者の知識、興味等を初回の授業で確認した上で、劇場での英米演劇上演予定も考慮して決定する。単なる読む「戯曲」としてでなく、あくまでも「演劇」の台本としてテキストをとらえ、上演面や映画化の問題も検討していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (4月) アンケート、作家作品紹介
- (5月) 作品研究Ⅰ
- (6月) 作品研究Ⅱ
- (7月) テスト・発表・まとめなど

履修上の留意点

授業への参加を重視するので、遅刻(欠席と同じ扱いにする)、欠席、居眠等は厳禁。大幅なマイナス点となるので注意。予習復習よりもまず授業中の集中度が勝負の授業。

成績評価の方法

出席、授業内の朗読、演技などの平常点に、観劇レポート(配布するリストの公演より数本の舞台を選んで、各自がチケットを購入して観劇後、レポートにまとめる)やセリフの暗記などの小テストの点数を加えた総合評価で成績をつける。

教 科 書

プリント配布の予定。

英  
文  
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 文 学 講 読 (後期)	ブラック, A.	短英1・2選必	2

講義のねらい

The central aim of this course is to help students improve their reading comprehension and to expand their functional vocabulary, yet we will also learn to translate and to write summaries of the works read.

講義の内容・授業スケジュール

Although we will mainly read selections from the Harry Potter books, I hope to cover a broad range of materials, consisting of short stories, essays, poetry and perhaps song lyrics dependent on student ability. This class will cover a different section of the books from the class taught in 2003. Thus I would like to welcome both continuing students as well as those beginning to read the Harry Potter series.

履修上の留意点

Student are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. Additionally, since the reading assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

成績評価の方法

- Attendance 25%
- Participation (Answering Questions, Reading Assignments) 25%
- Notebook Folders (Vocabulary lists, Summaries, etc.) 25%
- Final Test 25%

教 科 書

No textbook will be used in this course.

参 考 書 等

Students are required to bring both a Japanese-English dictionary and their notebook folders with them to each class.

そ の 他

The class will be conducted bilingually.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米文学講読(前期)	たかのひでお夫 高野秀夫	短英1・2選必	2

講義のねらい

- (1) Natural Speed で、テープの英語を聞き取る。英語の質疑応答で教科書の内容を把握し、英語の基本構文を理解する。
- (2) 教科書『クリスマス・キャロル』はいわゆるクリスマスの読物のなかでとりわけ有名な作品である。特に、冷酷な主人公が、亡霊に導かれてやさしい人間に生まれ変わる心の動きに注目しながら読み進め、様々な視点からディケンズ文学の理解を図り、英文学の面白さに迫る。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) テープの英語
- (2) 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、英国文学の知識を広げる。

履修上の留意点

英語の質疑応答があるので予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

期末筆記試験、平常点(発表、出席、レポート)

教科書

- (1) Charles Dickens: *A Christmas Carol*
- (2) プリント

英  
文  
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米文学講読(後期)	たきのせいじう 滝 静 寿	短英1・2選必	2

講義のねらい

旧約聖書の『創世記』を輪読し、西洋文化の根底をなす世界観に接し、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の違いを概観してみる。平易な英語で書かれているので、速読に馴れることを目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

- 『聖書』、『聖書物語』について
- 「創世記」“天地創造”から“バベルの塔”まで
- “ノアの箱舟”
- “天地創造”のビデオ鑑賞
- “アブラハム”
- “ソドム”
- “イサク”
- “ヨセフ”から“モーゼの十戒”(出エジプト記)への導入と、ビデオ鑑賞
- 全体のまとめ

履修上の留意点

教員のみでなく学生からも常に問題を提起し、読むだけでなく、各ストーリーにもられた意味等を考えながら進めていく。

必ず予習し、積極的な意見の発表を義務づける。予習しない者は入室を拒否する。

成績評価の方法

授業を進めていく過程での平常点、出席率、小テスト、学年末テスト等の総合評価。

教科書

*The Story Bible by Pearl S. Buck Vol. 1* (英宝社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米文学講読(後期)	湯浅陽子	短英1・2選必	2

#### 講義のねらい

“Lost Generation”という単語を聞いたことがあるだろうか。これは、アーネスト・ヘミングウェイ(1899~1961)が、最初の長編The Sun Also Risesの扉にガートルード・スタイン(1874~1946)の言葉として掲げた「あなた方はみんな失われた世代よ」という一句から取られたものである。そして、これはスタインが第一次世界大戦後のパリで、自分の周辺に集まってきた若い芸術家たちに向かって言った文句と考えられ、失われた世代とは戦後の社会的混乱の中で生活の指針を失ってさ迷っている若い世代を表す言葉と解釈されている。文学史上ではその世代に属するF・スコット・フィッツジェラルド(1896~1940)、ジョン・ドス・パソス(1896~1970)、ウィリアム・フォークナー(1897~1962)、ヘミングウェイといった、第一次世界大戦後に輩出した一群の作家たちを総称する言葉とされてきた。

その世代の中から、ヘミングウェイのA Farewell to Arms(武器よさらば)を読む。ヘミングウェイは、フォークナーとならんで、20世紀アメリカ文学界の巨星であった。そして、この彼の代表作A Farewell to Armsは、20世紀アメリカ文学の古典として既に定評がある。その意味でこの作品は20世紀アメリカ文学を知る上に欠くべからざるものであり、何よりもまず読むべき好個の入門書である。アメリカを代表する偉大な作家でありながら、ヘミングウェイは必ずしもアメリカを描いた作家とは言えず、むしろヨーロッパを、スペインをそしてアフリカを書いた。そうした所を舞台に、彼は暴力に打ちひしがれ、絶望する人間を書いた。そして、その絶望から立ち上がろうと必死にもがきながらも、絶望を見事に克服し、忍耐と勇気を持つ逞しい人間を描いた。人一倍生きることと死ぬことを直視したヘミングウェイの作品に触れてみて欲しい。

英文科

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 9月 映画に描かれているA Farewell to Arms鑑賞(前編)
- 10月 Book One 第1章~第12章  
Book Two 第13章~第24章  
映画に描かれているA Farewell to Arms鑑賞(後編)
- 11月 Book Three 第25章~第32章(時間の関係で省略)  
Book Four 第33章~第37章
- 12月 Book Five 第38章~第41章

#### 履修上の留意点

テキストに入る前に受講者を5人のグループに分け、章ごとに分担して発表してもらう。この授業はいわばプレゼンテーションの実践の場である。発表は前に立ち、書画カメラを使用して資料を提示しながら、次の要領で行う:

1. 担当した部分のReadingとその部分の要約をする。【文章が把握できているかどうか、単語の意味を辞書で調べたかどうか、Readingで判るので重視される。また、全体の把握ができていないかどうかは、自分の言葉で語る要約ができていないか否かで判る。訳本をそのまま読むようなことをすると減点になる。】
2. 辞書で調べた注目すべき単語、英語表現、その部分に関係する作家のエピソード等、調べてわかった周辺の事柄、その他自分の感想等を述べる。

万が一自分の発表の日に欠席すると、所属するグループ全体の責任となり、他のメンバーがその部分の穴埋めをすることになる。発表者はメンバーに迷惑をかけないように注意しなければならない。そのため、グループ間の連絡を密にしておく必要があることは言うまでもない。万が一の場合に備えて、自分の担当の前後についても一応準備しておくことよい。なお、発表日に休むと本人の大きな減点になるだけでなく、その部分をメンバーがカバーできなかった場合はメンバーも減点になる。その意味で発表はグループの連帯責任なのである。

発表以外の人は担当者の発表をよく聴き、発表終了後に発表に関する評価を所定用紙に記入し提出する。発表に関するこのコメント用紙への記入の仕方が、発表者以外の人の授業への参加度点として評価の対象になる。いつも同じ人が書くのではなく回してほしい。また、発表者でないからといって気を抜かず、私語を謹んでもらいたい。聞く側の最低のルールである。

#### 成績評価の方法

毎回の出席(20%)、発表評価表への記入姿勢や必需品を忘れないなどに見られる授業への参加度点(15%)、何回か回ってくる発表平均点(25%)、レポート平均点(40%)の総合点で評価する。

#### 教科書

Ernest Hemingway: A Farewell to Arms (Arrow社)

#### 参考書等

佐伯彰一編『20世紀英米文学案内-15-Ernest Hemingway』(研究社)  
石 一郎著『アーネスト・ヘミングウェイ研究』(南雲堂)  
中島顕治著『ヘミングウェイの考え方と生き方』(弓書房)

E.L.アレン著 藤久ミネ訳『オンリー・イエスタディー-1920年代・アメリカ』(研究社叢書)

そ の 他

第1回目の「作品作家研究」の授業時に、併せてこの「英米文学講読」について受講希望者には受講願書を提出してもらうことにする。その時間に他の科目に出席していて、「英米文学講読」の教場に来れない場合は、授業後すぐに短大英文科事務室まで来て、受講許可願書を提出してもらいたい。また、受講予定していたが、後期になって受講を取り消す場合もあり得るであろう。その際も、後期授業の第1回目の授業時に短大英文科事務室に来て、その旨を科目担当者に伝えていただきたい。そうしないと、グループ分けに支障を来してしまうからである。これは最低限の礼を尽くす挨拶というものである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
聖 書 研 究	みず しま よう こ 水 島 陽 子	短英1・2選必(一類) 短英1・2選(二類)	4

英 文 科

講義のねらい

言うまでもなく、聖書をぬきにして西洋文明は語れず、また、日本を含む様々な非キリスト教文化圏においてもその影響は多大かつ複雑である。永遠のベストセラーと呼ばれるこの書物は、ありとあらゆる言語に翻訳され、人々の信仰を支えると同時に、キリスト教とキリスト教文化を知るための最も有効な手掛りのひとつとなっている。ここでは日本語訳聖書を実際に読み進めながら、その意味、構造、歴史的背景などを理解し、さらに、英文学をはじめとする数々の文学、音楽、美術などに親しく触れながら、それらの中に聖書との関係を確認していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期……主として旧約聖書について  
(天地創造、アダムとイヴ、ノア、アブラハム、モーセ、ダビデ、ソロモン、詩篇、預言書など)  
後期……主として新約聖書について  
(福音書とたとえ話、イエスの生涯、パウロ書簡など)

履修上の留意点

1限の授業なので、年間を通して遅刻・欠席のないように。  
いかにベストセラーといえども、聖書を「読む」のは骨が折れる。授業でも紹介するが、いわゆる「聖書物語」を読むことで予備知識をつけておくとわかりやすいであろう。何より望まれるのは授業への積極的な参加である。各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、意見・感想を述べたりコメントを書いたりしてもらい予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

成績評価の方法

レポート・出席重視

教 科 書

『新共同訳聖書』(日本聖書協会編)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 古 典 文 学	みづ しま よう こ 水 島 陽 子	短英1・2選必(一類)	4
		短英1・2選(二類)	

講義のねらい

二千年をはるかに超える昔、ギリシアに花開いた文化は西洋文化の源流の一端となって、今もなお多様な形でその消息をたどることができる。文学・哲学・歴史、その他人間のあらゆる文化的営みの原型がギリシアにあると言っても、過言ではないだろう。

そのギリシアの、自他ともに認める後継者となったのは、古代ローマ人であった。本講義では、ギリシア文化とローマ文化の差異に留意しつつ、両文化の神話の集大成である、ローマ人オウィディウスの『転身物語』を読む。その中で、数々のエピソードの原型と、後代への影響を確認していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期……神話と詩人  
『転身物語』(上)  
後期……ギリシア文化とローマ文化  
『転身物語』(下)

履修上の留意点

テキストに必ず目を通しておくこと。受講人数によっては個々に発表してもらいかもしれない。また、各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、コメントを書いてもらう予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

成績評価の方法

発表・筆記試験及びレポート

教科書

オウィディウス『転身物語』(上・下)(岩波文庫)

英  
文  
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文化事情(前期)	ランドルフ, M.	短英1・2選必(一類)	4
		短英1・2選(二類)	

講義のねらい

This course will explore many aspects of modern Britain. It will examine the social, political and educational systems. In addition, we'll look at the cultural diversity of Britain, its pastimes and all the elements that make Britain truly a unique culture.

成績評価の方法

The course will be divided into five sections. There will be a Test on each section for a total of five. Each test will account for 15% for a total 75% of the final grade. There will be a class project which will count for roughly 20% of the final grade. Attendance will count for the last 5%.

教科書

The textbooks will be 'Focus on Britain Today' (MacMillan LanguageHouse), and 'Cool Britannia' (Kinseido).



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 史 (前 期)	モ工, R.A.	短英1・2選必(一類)	4
		短英1・2選(二類)	

講義のねらい

To provide students with a solid overview of American history from prehistoric times to the present day.

講義の内容・授業スケジュール

The class will be conducted as a lecture, however, students are encouraged to ask questions at any time. Discussion of the lessons being presented is welcomed.

履修上の留意点

Students will be expected to take notes on the contents of lessons as there will be tests over the content. Students are also encouraged to submit reports over aspects of American history on their own initiative. All reports, questions, communication, and most tests will be conducted by email. Therefore, if a student does not have a personal email address, she will have to get one at the Information Center of the university.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is  $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$  where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all test scores and grades on papers submitted, and  $\alpha$  represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教 科 書

There are no texts or materials for this class. Students are encouraged to read any materials or information they can on American history, be it books borrowed from the library or papers reserched on the Internet.

参 考 書 等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

そ の 他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a make up test at a later date.

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語（前期）	おかもとまこと 岡本誠	短英2選必	4

#### 講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば”Current English”ということになるのか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞や Newsweek などの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

#### 履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

#### 成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

#### 教科書

特定の教科書は使用しない。

#### 参考書等

『時事英語講座』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習 〔英語音声の基礎〕（後期）	おかもとまこと 岡本誠	短英2選必	4

#### 講義のねらい

英語音声の認識をディクテーションの手法で行なう。英語を聴いて、それを正確に書き上げるという作業はその人の実力をずばりと表す。例の“r”音と“l”音の認識といったレベルにとどまらず、ここで文が完結したな、じゃここでピリオドを打って次が文頭になるな、などといったイントネーションのレベルに至るまで幅広く力量が要求されるからである。TOEFL®500点以上、TOEIC®700点以上を達成したい人はどうぞ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

聴く英語の内容は慣用語句の成立背景を説明したもの。同じ聴いて書くならば、面白くてためになるものが多い。例えば、アメリカでは「近所の人と生活振りを張りあう、世間に遅れをとらないようにする」ということを“to keep up with the Joneses”と言う。また、もともとは人物の人名（実在の市長さん）であったのだが“maverick”は「一匹狼」の意味で現在では用いられている。こういう表現の成立をついでに知って、自分達も使いこなそう、という意図でもある。

#### 履修上の留意点

遅刻して物音をたてながら入ってくるは迷惑至極。ケータイを鳴らした者には単位を与えない。そういう授業なのである。

#### 成績評価の方法

小テスト。発表情況。出席情況。

#### 教科書

教科書は使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習 [シャーロックホームズ] (前期)	ランドルフ, M.	短英2選必	4

講義のねらい

This course focuses on helping students develop and express opinions in English on more abstract themes. Students will watch key episodes of the "X-Files", and, through short, written response pieces, extensive discussion, and creative projects, come to terms with its unusual messages. Students will be required to develop material at the courses' end to demonstrate mastery of the issues raised by the X-Files.

成績評価の方法

Each student will be required to actively participate in the classes' activities, especially the discussion/debate weekly session, as it is roughly 25% of your grade. Shyness or a lack of confidence in your oral communication skills will not be a valid excuse for non-participation. Diligent attendance is another 25%, followed by weekly short writing tasks and the final project, which cover the final 50% of your grade.

教科書

No textbook will be required, however a home computer with Internet access or a CD Rom drive will be necessary to read the relevant episode transcripts.

英  
文  
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習 [ボキャビュラービルディング] (前期)	<small>うめ</small> 梅 <small>はら</small> 原 <small>とし</small> 敏 <small>ひろ</small> 弘	短英2選必	4

講義のねらい

英文読解の基礎は単語と文法と文脈を読む力にある。文法は高校までの文法がしっかりしていれば日常の読書には殆ど問題はない。文脈を読む力は単語力に左右される。要するに問題は単語である。辞書を引き引き1時間かけて1ページ読むというのでは、実用的な読書にはほど遠い。こうした読書をせざるをえないのは単語を知らないからである。実用的な読書をするためには、単語力の増強が不可欠である。とはいっても、英語の単語の数は膨大であるし、覚えなくてはいけない単語の数は気が遠くなるほど多い。特に読書の際必要な長音節語は、会話の際頻出する基本語に比べて出現頻度も高くなく、読書をしながら覚えていくにしても、あまり効率よく覚えられない。そこでどうしたら効率よく単語を覚えるかが問題となる。本演習では、効果的単語力増強の一方法として語源を利用することとし、実際に語源を使って語彙を増やしながら、語源を使った単語力増強法を身につけてもらう。また、単語力の増強を図りながら、一言一句細かく英文を読みながら正確に英文を読み取ることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

新聞や雑誌の記事、ちょっとしたストーリーや逸話など、異なった種類の英文を取り上げ、まずそれらを綿密に読む。その後で、その中で使われている単語の中から語源的に興味ある単語を抽出して、語根、接頭語、接尾語を中心とした語源的観点から当該単語の意味を解説する。次いで同じ語根、接頭語、接尾語を持つ関連語を教師が受講生に提示し、それらの意味・用法を説明する。時には受講生自ら辞書を使い、教師のヒントをもとに関連語を探し出し、簡単な語源的記述をして、教師の用意した例文を読んで、実際に文の中でどのように当該単語が使われるかを観察することもある。一つの記事もしくはストーリーが終わるごとに小テストをして、扱った単語の記憶を図る。

履修上の留意点

単語力をつけるためには普段からの努力の積み重ねが必要である。そうした努力を厭わない受講者が望ましい。授業ではパソコンを使うので、受講者はコンピュータの授業を履修するか、履修はしなくてもワープロソフトを使えることが必要となります。パソコンの台数に限りがあるので、受講希望者は必ず第1回目の授業に出席すること。

成績評価の方法

主に、授業時間中に頻繁に行う小テストの合計点で成績判定をする。

教科書

使用しない。ハンドアウトを配る。

参考書等

小川芳男 編『ハンディ語源英和辞典』(有精堂)  
渡部昇一 著『英語の語源』(講談社現代新書)  
梅田修 著『英語の語源物語』(大修館書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 演 習 〔センテンスの構造〕(後期)	ブラック, A.	短英2選必	4

講義のねらい

The aim of this class is to improve students' ability to express themselves in writing. We will learn three types of composition : 1) personal—keeping a diary and writing letters ; 2) formal—writing reports and opinion papers ; and 3) creative—short stories and poetry. We will make use of audio-visual materials to gather themes for writing.

講義の内容・授業スケジュール

Taking up the themes of "Life as it should be" and creativity, innocence and wisdom, etc. , students will watch the assigned movies on a weekly basis and write their reactions in a journal. After learning the characteristics and elements of the three types of composition, students will be expected to develop their writing journal over the entire semester.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade.

成績評価の方法

Attendance 25%  
In-class Participation and Writing Journals 25%  
Final Report 50%

教科書

No textbook will be used in this course. Teaching materials will be copied and provided by the instructor.

参考書等

Students are required to bring their writing journals with them to each class and a Japanese-English dictionary is recommended.

英  
文  
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 演 習 〔英語表現〕(前期)	ブラック, A.	短英2選必	4

講義のねらい

The aim of this course is to improve not only the students' listening ability but improve their understanding of different ways of life as well as different means of expression. We will make use of both audio-visual and written materials in this class. I invite each student to express her opinions and understandings.

講義の内容・授業スケジュール

Taking up various themes such as ideas of love and respect, dreams and courage, racial discrimination, etc. , students will watch the assigned movies both in class and out of class on a weekly basis, fill out listening worksheets, write short essays based on their reactions and then we will cover the themes in forum discussion. We will study each movie in detail to better understand the language and concepts involved.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. Additionally, since the reading assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

成績評価の方法

Attendance 25%  
In-class Participation (Listening Worksheets, Discussion, Questions) 25%  
Homework (Writing and Listening Assignments, Opinion Papers) 25%  
Final Test 25%

教科書

No textbook will be used in this course.

参考書等

Students are recommended to bring a Japanese-English dictionary and prepare notes for discussion.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 表 現 (前期)	うめ ほら とし ひろ 梅 原 敏 弘	短英2選必	4

講義のねらい

英語で自分の意志を表現するための基礎力の養成を目指す。具体的には、まず第一に基本的な英語表現をセンテンス単位で完全に覚え込み、それを使いこなせるようにする。第二にはテープを反復練習することによって英語の音声に慣れ、基礎的な英語聴解力を養うと同時に、英語の音声・特にリズムの基礎を修得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者はあらかじめ家でテープに録音された英語のセンテンスを聴き、それをノートに書き写しておく。毎回15センテンス程度。そして教室でその結果をコンピューターに入力し、教師から正答を聞き、聞き取れなかった単語を補い、また誤って聞き取ってしまった単語を訂正する。その際、各々の表現について語法上の注意点及び聞き取れなかった箇所上の問題点につき説明をうける。その後でテープを使って各々のセンテンスの反復練習をおこなう。限られた授業時間では反復練習は十分におこなうことが出来ないため、家で十分に反復練習することが求められる。

毎回、授業は前回の授業で習った文を完全に覚え込んでいるかどうかを確認することから始まる。この際、テープの後についてよどみなく且つ正しい英語のリズムで英文を言うことが出来るかどうかには注意が払われる。その後で、各々の表現を使った英問英答練習及び口頭英作文の練習をおこなう。

履修上の留意点

コンピューターを利用するので、受講者は最低限のコンピューターの操作ができることが望ましい。コンピューターの操作ができない受講者は必ず英文科のコンピューターの授業を合わせ受講すること。受講希望者は第1回目の授業に出席し、説明を聞き、第2回目の授業のときに履修するかどうかをはっきりさせてください。講義の説明を受けないで、履修届を出すことはやめること。

成績評価の方法

毎回授業の最初におこなうテープを使った再現練習の出来具合、学期の半ば及び終了時におこなう試験の結果及び出席を総合的に勘案して成績評価をする。出欠席は重視する。

教 科 書

テキストは使わない。

参 考 書 等

東後勝明『英会話のリズムとイントネーション』（金星堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 表 現 (前期)	<small>おかもと まこと</small> 岡 本 誠	短英2選必	4

講義のねらい

英語が話せるようになりたいと願う人は多い。しかし、いきなり話せるようになるものではない。聴く力がまず備わることが前提になっている。つまり listening comprehension の力なくして話せるようにはならない。これは真理である。この講義ではリスニングの力を養い、それをいかに発話に結びつけていくか、つまり、いかに英語で表現してみるか、ということに力点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

聴く対象としてはアメリカに関する面白そうな話題を用意している。例えば

- ・アメリカへの移民の歴史
- ・入植者と先住民の対立
- ・黒人の苦勞
- ・Fast food の文化と健康の問題
- ・Walt Disney とその事業
- ・Hawaii の歴史
- etc.

履修上の留意点

こういった話題のテープをダビングし、まず自分で下見ならぬ下聴きをし、授業に臨む。話の展開に応じての英語による質問に英語で答えることが要求される。遅刻は物音をたてるので減点の対象。ケータイを鳴らした者には単位を与えない。

成績評価の方法

発表力。出席情況。

教 科 書

教科書の類は使用しない。

英  
文  
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 表 現 (後期)	<small>たかの ひでお</small> 高 野 秀 夫	短英2選必	4

講義のねらい

英作文の教科書と英語ニュースで英語表現能力を高め、平易な英語で自由に自分の意思を伝えることができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 各授業時間一つのニュースを Natural Speed の英語で聞き、その役立つ英語表現で自由に英文を作る練習を重ねる。
- (2) 教科書に従って授業計画を立てているので、教科書参照。
- (3) A Short Speech は身近な話題を自分の英語で表現する。

履修上の留意点

- (1) 出来るだけ Natural Speed の生の英語に慣れ親しむこと。
- (2) 一日30分間でよいから自分の思ったことを英語で書き表してみること。

成績評価の方法

- (1) レポート
- (2) 中間・期末各1回テスト
  - (a) 英語ニュース
  - (b) 教科書の英作文
  - (c) 自由英作文
- (3) 平常点

教 科 書

- (1) *Unique English Composition* (Vol I・II)
- (2) *TV News Watching・21 Approaches*

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現 (前期)	たき せい じゅ 滝 静 寿	短英2選必	4

講義のねらい

日本の文学作品が多数英訳され、世界中で読まれている。しかし日本の伝統ある文化がどのように伝えられているだろうか。必ずしも適正に伝達されているとは思えない。翻訳者の優劣もさることながら、他国語に移しかえることは大変難しい。文学作品なら更に困難な問題が山積している。この授業では、名訳とされている作品の一部を取り上げ、原典と比較して、言葉の違いが理解、鑑賞する上でどのような影響をおよぼすか研究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初に、世界の古典『源氏物語』を取り上げ、二、三の現代日本語訳を比較し、英訳ではウエーリー、サイデンスティフカー等の訳を検討する。その他漱石、川端の作品、短歌、俳句等研究する。

履修上の留意点

英語のみならず、日本語の学習を充分することを要求する。

成績評価の方法

定期テスト60点、出欠20点、平常点20点で評価する。

教科書

すべて配布プリントによる。

その他

積極的に意見発表することが肝要。

英  
文  
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 翻 訳 法 (後 期)	うめ ほう とし ひろ 梅 原 敏 弘	短英2選必	4

講義のねらい

「A translator is a traitor」(翻訳者は反逆者である)とはよく言われる。これは、完全な翻訳がいかに難しいかを指摘するためにしばしば引き合いに出される言葉である。確かに、翻訳は難しいし、所謂「名訳」は一流の翻訳家の「名人芸」によってしか、生み出されないのかもしれない。勿論、この講義で目指すのはそうした「名人芸」の修得ではない。授業やテストの際お目にかかる、妙な、理解に苦しむ直訳からいかに脱し、出来るだけ自然な訳文に近づけるにはどうしたらよいか、その方法を勉強する。

講義の内容・授業スケジュール

「直訳という名の誤訳」という本が出版されたことがある。直訳が全て誤訳というわけではないが、この本の指摘する通り、英文を正しく理解していなくても、直訳によって、英文を日本語にすることは出来る。しかし、こうした直訳では、正しい意味や微妙なニュアンスを伝えることが殆ど不可能であると言ってよい。意味不明の訳文には、えてして直訳によるものが多い。こうした事態に陥るのは、一つには、英語と日本語の構造の違いを無視して、英語の構文に訳語をあてはめて、英文の構文はほぼそのままにし、語順だけを日本語にするからである。

そこで本講義では、直訳を避け、出来る限り自然な日本語訳にするための一つの大きな要素として、英語の構文をいかに日本語の構文に移し変えるかという点を取りあげ、それを重点に講義を進めていくことにする。

授業を3段階に分け、学生の翻訳実習と添削を中心に授業を進める。

第1段階：翻訳の基礎練習。(読み下し練習、辞書の訳語と“定訳”、代名詞と省略、漢語と和語、無生物主語、その他)

第2段階：文法項目を中心とした翻訳練習。(名詞構文と動詞構文、所有格、時制、関係代名詞、形容詞・副詞、仮定法、語法、その他)

第3段階：総合練習。(長文翻訳練習)

履修上の留意点

授業はコンピュータを使って行うので、受講者はワープロ・ソフトを使いこなせるようにしておくこと。

成績評価の方法

平常の授業時に行う翻訳の小テストの結果(50%)、毎回提出してもらった課題の英文翻訳練習の出来具合(30%)、期末長文翻訳問題の出来具合(20%)。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、総合成績から減点します。

教 科 書

使用しません。

参 考 書 等

- 別宮貞徳 著 『翻訳を学ぶ』(八潮出版社)
- 別宮貞徳 著 『翻訳読本』(講談社)
- 河野一郎 著 『翻訳上達法』(講談社)
- 東田千秋 著 『直訳という名の誤訳』(南雲堂)



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	オーラ, B.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

The aim of this course is to develop students' all-round abilities in English in a small group environment.

講義の内容・  
授業スケジュール

The content of this course will largely be decided by the teacher and the students as we go along. It will depend on students' interests and goals, but it is anticipated that, in addition to a great deal of free conversation practice, students will read and discuss books and will make formal presentations about films.

履修上の留意点

Students will be expected to have a strong commitment to improving their English abilities.

Only a small number of students who can demonstrate a real determination to get better at English will be admitted to this class.

成績評価の方法

開講時に指示します。

教 科 書

なし

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	サリバン, C.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

The aim of this course is to develop the students' general English level. A skills-based approach will be implemented and the course content will focus on improving the students' speaking, listening, reading, and writing abilities.

履修上の留意点

Regular attendance is mandatory.

成績評価の方法

Grades will be based on class work, tests, attendance, and attitude.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	トランブリー, J.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

This purpose of this course is to develop all around abilities in English including presentation, conversation, debate, discussion and negotiation.

講義の内容・  
授業スケジュール

The course will allow students to develop English skills through individual, pair and group work. Students will be required to complete all reading assignments and participate fully in discussions and activities. The class will be a combination of activities based on the textbook and broader discussions based on required readings.

履修上の留意点

Students should demonstrate strong motivation to improve their English skills.

成績評価の方法

Vocabulary tests : 20%  
Final Exam : 30%  
Participation/Attitude/Attendance : 25%  
Homework Assignments : 25%

教 科 書

J-Talk *Conversations Across Cultures* Oxford University Press, ¥2400  
Penguin Reader: Title to be decided by students. ~¥500

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A (前期)	モ工, R. A.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

To encourage students to develop their own ideas by introducing them to selected readings over which discussions will be held.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students will be expected to read the following books on their own outside of class. They may read these texts in either English or Japanese; understanding the contents of them will be essential as these will provide the basis of discussions in class. The books should be read in the order in which they are listed.

履修上の留意点

Students will be expected to participate actively in class discussions. Students who are passive, shy, and who do not make any effort to participate in the discussions will not pass this course. All communications, reports, and tests will be conducted by email. Therefore, if a student does not have a personal email address, she will have to get one at the Information Center of the university.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is  $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$  where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all test scores and grades on papers submitted, and  $\alpha$  represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教科書

*Tao* by Lao tzu, *The Art of War* by Sun tzu, *Nineteen Eighty-four* by George Orwell, and *Brave New World* by Aldous Huxley. Some of these books are difficult to obtain, so students are free to use any versions they can find.

参考書等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

その他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a make up test at a later date.

英  
文  
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A (前期)	レオーネ, J. V.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

The purpose of this class is to help students improve their overall English ability with special emphasis on listening and speaking skills.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students will work in pairs and groups. They should be active in class and participate by using English as much as possible with the teacher and with each other. There will be variety of speaking activities including role-plays, group discussions, and information gap type interviews. There will also be extensive listening activities and vocabulary work.

履修上の留意点

In this class students should :  
 --be willing to work and cooperate with others in class.  
 --be prepared and always have pens, notebooks, texts, dictionaries, etc. with them.  
 --attend a minimum of 80% of classes.  
 --provide explanations for all valid absences and tardiness.

成績評価の方法

Students' grades will be based on scores on tests and quizzes (50%) and class participation (50%). Class participation means homework, class exercises, speaking English in class, and attendance. . .

教科書

To be announced.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	ロルフ, M. F.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

This class is a chance for you to show your creative side in English. This class is also your chance to have your written work published!

講義の内容・  
授業スケジュール

- A) Each student will write, design and make their own original children's book.  
B) As a class, we will design and publish 1 class newspaper or magazine.

Monday classes: You will learn about various forms of children's books. You will also have the chance to write your original children's story. For your final project you will make your own children's book.

Wednesday classes: You will learn about newspaper articles and how they are written. You will also have the chance to write your own newspaper articles. For our final project, each student will contribute at least 1 article to our class newspaper. The class newspaper will be printed and made available to all Komazawa Junior College students.  
(There will be some use of computers.)

成績評価の方法

Regular attendance is mandatory in order to get a passing grade in this class. Students are also required to meet the goals (stated above). Higher grades will be given to students who are ambitious and productive in this class.

教 科 書

none

参 考 書 等

to be announced

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (後期)	オーラ, B.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

The aim of this course is to develop students' all-round abilities in English in a small group environment.

講義の内容・  
授業スケジュール

The content of this course will largely be decided by the teacher and the students as we go along. It will depend on students' interests and goals, but it is anticipated that, in addition to a great deal of free conversation practice, students will read and discuss books and will make formal presentations about films.

履修上の留意点

Students will be expected to have a strong commitment to improving their English abilities. Only a small number of students who can demonstrate a real determination to get better at English will be admitted to this class.

成績評価の方法

開講時に指示します。

教 科 書

なし

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English B (後期)	サリバン, C.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

The aim of this course is to develop the students' general English level. A skills-based approach will be implemented and the course content will focus on improving the students' speaking, listening, reading, and writing abilities.

履修上の留意点

Regular attendance is mandatory.

成績評価の方法

Grades will be based on class work, tests, attendance, and attitude.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English B (後期)	トランブリー, J.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

This course will continue the objectives of the first semester course. This purpose of this course is to develop all around abilities in English including presentation, conversation, debate, discussion and negotiation.

講義の内容・  
授業スケジュール

The course will allow students to develop English skills through individual, pair and group work. Students will be required to complete all reading assignments and participate fully in discussions and activities and develop critical thinking skills. The class will be a combination of conversational activities based on the textbook and broader discussion activities based on required readings.

履修上の留意点

Students should demonstrate strong motivation to improve their English skills.

成績評価の方法

Vocabulary tests : 20%  
Final Exam : 30%  
Participation/Attitude/Attendance : 25%  
Homework Assignments : 25%

教科書

J-Talk *Conversations Across Cultures* Oxford University Press (¥2400)  
Penguin Reader: Title to be decided by students. (~¥500)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (後期)	モ工, R. A.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

Students will be given the opportunity to expand and develop the skills they have developed in Advanced English A through discussions of any topics that interest them.

講義の内容・授業スケジュール

The emphasis of the course is in conducting and maintaining natural conversations in English over a broad range of topics. Reading newspapers, weekly magazines and other periodicals, listening to the news on the radio or watching it on TV, and researching subjects of interest on the Internet are encouraged as they provide valuable material for discussion.

履修上の留意点

Students will be expected to participate actively in class discussions. Students who are passive, shy, and who do not make any effort to participate in the discussions will not pass this course. All communications, reports, and tests will be conducted by email. Therefore, if a student does not have a personal email address, she will have to get one at the Information Center of the university.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is  $((100 - (10X + 5Y) + 2Z) / 3) + \alpha$  where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all test scores and grades on papers submitted, and  $\alpha$  represents adjustments, made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教 科 書

There are no assigned texts for this course.

参 考 書 等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

そ の 他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (後期)	レオーネ, J. V.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

The purpose of this class is to help students improve their overall English ability with special emphasis on listening and speaking skills. There will also be a strong focus on increasing practical English vocabulary.

講義の内容・授業スケジュール

Students will work in pairs and groups. They should be active in class and participate by using English as much as possible with the teacher and with each other. There will be variety of speaking activities including role-plays, group discussions, and information gap type interviews. There will also be extensive listening activities and vocabulary work.

履修上の留意点

- In this class students should:
- be willing to work and cooperate with others in class.
  - be prepared and always have pens, notebook texts, dictionaries, etc. with them.
  - attend a minimum of 80% of classes.
  - prove explanations for all valid absences and tardiness.

成績評価の方法

Students' grades will be based on scores on tests and quizzes (50%) and class participation (50%). Class participation means homework, class exercises, speaking English in class, and attendance. . .

教 科 書

To be announced.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (後期)	ロルフ, M. F.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

This class is a chance for you to show your creative side in English. This class is also your chance to have your written and spoken work published!

講義の内容・  
授業スケジュール

- A) Each student will write, design and make their own original book.  
(The students may choose the theme of their book.)
- B) As a class, we will create and publish spoken word CD.

Monday classes: You will learn about various forms of creative writing. You will also have the chance to write your own short story, poem or essay. For your final project, you will actually make your own book on a theme of your choice.

Wednesday classes: You will learn how to be a dynamic reader. You will have the chance to record what you choose to read. For our final project each student will contribute 1 recorded track for our class CD. The class CD will be produced by the students of this class on a computer and made available to many Komazawa Junior College students.

成績評価の方法

Regular attendance is mandatory in order to get a passing grade in this class. Students are also required to meet the goals (stated above). Higher grades will be given to students who are ambitious and productive in this class.

教 科 書

none

そ の 他

a standard size tape recorder

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
News English (後期)	ハードグレード, B.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

Even though you are students living in Japan, there is a whole world of English news information that you have access to. You don't need to be living in an English speaking foreign country to be exposed to this. News English is here, in Japan, all around you, everyday. During this course, we will be looking at news from a variety of sources, such as the internet and radio, TV and newspapers, as well as magazines.

An overall goal of the course is that the students gain a higher level of awareness of current events in the news, both domestic and international, and perhaps get a different perspective on certain issues. The students will be involved in a number of real-world information gathering tasks and will be encouraged to develop their vocabulary in their own areas of interest, whether it is society, politics or sport, etc.

講義の内容・  
授業スケジュール

Of the four skills; listening, reading, writing and speaking, the focus will be on listening and reading, as these two skills are the most vital when attaining news in English. Of the specific reading skills, emphasis will be placed on scanning, skimming and guessing vocabulary from context. Regarding listening, most exercises will involve one-way listening, highlighting the importance of stress patterns, identifying word boundaries and short vowels (schwa), as well as top-down and bottom-up processing. When practicing these skills, the students will be exposed to slightly simplified or preferably authentic materials. Initially in the course, the students will be very dependant on the teacher for ideas and information regarding English news. However, the students will be encouraged to develop an independence from the teacher so that on completion of the course, they will take with them ample knowledge and skills that will assist them in being able to monitor and navigate their way through the various English news sources available to them in real life.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and be punctual. According to department policy, if the student misses a third or more of the classes (approximately 7per semester), the student will fail the course. Tardiness will also be frowned upon. If there is a legitimate reason for being absent or late however, the student is expected to supply the appropriate documents.

成績評価の方法

The students will receive two separate scores; an Attendance Score worth 25% and an Assessment Score worth 75%. There will be 5 different Assessment Items that comprise the Assessment Score...

1. Listening Assessment(ABC Video & VOA CD) (15%)
2. Reading Assessment(Newspaper & Internet) (15%)
3. Group Research(a variety of real-life tasks) (25%)
4. Media Sources(lists of Media sources) (10%)
5. Vocabulary Booster(Vocab. notebooks) (10%)

In completing the Group Research Assessment, the students will be analysing political cartoons, internet radio stations, internet news English sites, newspaper news briefs, photo captions and simplified ABC news video clips.

教 科 書

A broad range of media will need to be accessed by the students; a bilingual TV(for NHK bilingual news), a radio which receives InterFM FM 76.1and AFN AM 810, as well as the internet. Students will need to occasionally visit the on-campus magazine room(*zashi-shitsu*), and will be expected to purchase their own copy of the bilingual monthly booklet *The Latest News in English* (Chigasaki Press). They will also be instructed at times to purchase one of the three English newspapers available in Japan; *The Japan Times*, *The Herald Tribune* or *The Daily Yomiuri*. An A4-size notebook and English-Japanese dictionary will be necessary when completing Group Research Assessment Items.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
English through Movies (後期)	おかもと 岡 本 誠	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

映画が嫌いだという人はまずいない。邦画でなければ、世界を席捲しているハリウッドものになってしまい、いきおい英語が飛び交うことになる。その映画を手段にして英語を勉強しよう、というのが本講義のねらいとするところで、「エーガでエーゴ」というのがモットーである。

講義の内容・  
授業スケジュール

しかし、いわゆる「アクションもの」というか「刑事もの」というか、カーチェイスがあったりとかいう「ドカン!バキューン!」の類は我々英語を外国語とする者にとっては勉強にならない。勉強するのにわざわざ“汚ない英語”を目標とすることはないのである。外国語を勉強するとき、その国の王様や大統領とも話せるような言葉を身につけるべきだ。そこで、担当者好みのせいもあるが、落ち着いた雰囲気のものいい作品を対象とする。

また逆に、邦画を観て、登場人物の台詞をいかに要領のいい英語に訳すか、ということも行なう。つまり、逆トグ・ナツコをやるのである。どちらにしても、事前にシナリオをこちらから提供する。

履修上の留意点

シナリオを事前に自分で吟味し、対訳を考えてみること。ケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

発表状況。小テスト。出席情況。

教 科 書

教科書の類は使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語とコンピュータ I (前期)	ブラック, A.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

The central aim of this course is to help students overcome any anxiety they may have with computers, to expand their understanding of and confidence in using the computer as a tool for their studies, and to improve their English proficiency, especially concerning writing.

講義の内容・  
授業スケジュール

A broad range of fun and informative activities will be completed during the course of this class. Students will gather information from the Internet and write reports, keep a key-  
pal journal and learn how to produce their own homepage. Each student will receive as much personal attention as possible and assignments will be tailored to each student's ability.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. As a rule, six or more unexcused absences will result in a failing grade. Additionally, since assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

成績評価の方法

Attendance	25%
In-class Participation, Homework Assignments & Notebook Folders	50%
Final Activity	25%

教 科 書

No textbook will be used in this course. Teaching materials will be copied and provided by the instructor.

参 考 書 等

Students are required to bring both a Japanese-English dictionary and their notebook folders with them to each class.

そ の 他

Due to the small number of computers present in the classroom, the number of students allowed to enroll in the class will be limited. If the number of interested students exceeds the number of computers available, a computer proficiency test will be administered and students will be selected based on the results. Thus, if you are interested in taking this class, *be sure not to miss the first class*. The class will be conducted bilingually and while we will make use of Windows computers primarily, I will include a few sessions on learning how to use the Mac as well.



科目名	担当者名	配当学科	単位
英語とコンピュータⅡ (後期)	ブラック, A.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

The central aim of this course is to help students gain more confidence in their computer proficiency, to train students in the use of business applications, specifically Microsoft Office, and to improve their English business skills, such as writing business letters and resumes as well as preparing presentations.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students will improve their facility with word processing software and various business applications such as Excel, Word, PowerPoint, and FileMaker through completing weekly assignments. By the end of the class, students should have gained confidence in data processing, word processing and the production of business presentations.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. As a rule, six or more unexcused absences will result in a failing grade. Additionally, since assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

成績評価の方法

Attendance	25%
In-class Participation, Homework Assignments & Notebook Folders	50%
Final Activity	25%

教科書

No textbook will be used in this course. Teaching materials will be copied and provided by the instructor.

参考書等

Students are required to bring both a Japanese-English dictionary and their notebook folders with them to each class.

その他

Due to the small number of computers present in the classroom, the number of students allowed to enroll in the class will be limited. If the number of interested students exceeds the number of computers available, a computer proficiency test will be administered and students will be selected based on the results. Thus, if you are interested in taking this class, *be sure not to miss the first class*. The class will be conducted bilingually and while we will make use of Windows computers primarily, I will include a few sessions on learning how to use the Mac as well.

科目名	担当者名	配当学科	単位
同時通訳入門(後期)	モ工, R.A.	短英2選(一類)	4
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

To teach students the basic skills of simultaneous interpreting.

講義の内容・授業スケジュール

After introducing the basic skills of interpreting, students will be expected to apply them in practice. Both Japanese to English and English to Japanese interpretation will be covered. Each student will be expected to be able to give two short talks, one in English and the other in Japanese. As she does so, another student will simultaneously interpret the talks.

履修上の留意点

Students will need to practice speaking smoothly and clearly prior to class so that time in class will not have to be taken to correct their English. The emphasis of this course is on interpreting and not grammar or pronunciation, so students should practice those skills in other classes. Much preparation will be required to speak naturally in class without notes. Inability to do so will adversely affect a student's evaluation. Students will be evaluated at each class.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is  $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$  where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all evaluations, and  $\alpha$  represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教科書

There are no assigned texts for this course.

参考書等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

その他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コ ン ピ ュ ー タ I (前 期)	野 崎 芳 秀 <small>の ぎき よし ひで</small>	短 英 1 選	2

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータは普及しております。実社会では職種に関係なくコンピュータの導入が盛んになっています。今後ますますコンピュータを操作しての業務が増えて来ることが予想されます。情報処理の業務には、必ず第一にデータの入力、すなわちコンピュータの入力装置（マウス、キーボード）を使って正確で敏速な入力技能が必要です。次にコンピュータの心臓部である OS〔Operating System〕（アプリケーションソフトは OS の基本的な操作を使い、なお、独自の機能を使って操作をしますから大変重要です）の基本操作、次に代表的なアプリケーションソフトの基本操作等、以上基本操作を中心にパーソナルコンピュータを使用して繰り返し操作を行う事により、社会で役立つ技能を身につけることを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 4～5月 入力装置（マウス、キーボード）の操作練習  
ハードウェアの基本的な操作  
電子メールの送受信
- 6～7月 OS の基本操作、  
ワープロソフト（Word）を使用して文書の作成及び編集  
表計算ソフト（Excel）を使用して表の作成及び機能習得

履修上の留意点

操作を繰り返す事で技能を身につけるため、授業の時間だけでなくパーソナルコンピュータに接する時間を授業以外にも多くつくってください。基本操作の積み重ねですから、授業を欠席した場合等は早めに遅れを取り戻すこと。なお、その様な時は4号館の自習室を利用しましょう。ただし、自習室は使用登録申請が必要です。

成績評価の方法

提出された課題の出来映え、日頃の作業の習熟度と技能習得の熱意、出欠席を総合的に勘案して、成績評価をします。授業を欠席するとクラス全体の進捗にも影響するので、出欠席は評価のかなりの部分を占めます。

教 科 書

正式の教科書は特に有りません。  
データ保存用フロッピーディスク（3.5インチ2HD）を2枚が必要です。  
駒澤大学発行（KOMAnet）の電子メールアドレスが必要です。

参 考 書 等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ I (前期)	湯 浅 陽 子	短英1選	2

#### 講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータが普及しており、実社会では職種に関係なくコンピュータを扱えることが就職の基本条件となっています。コンピュータ、そしてネットワークを道具として使いこなすための知識と技術(=情報リテラシ)を身につけることは、「読み・書き・そろばん=計算」技術を身につけることと同様に、現代人にとって必須と言っても過言ではありません。この授業では、高校までの間にコンピュータに触ったことが無い、または触ったことはあるが、どのように使えばよいのか分からない人など、基本的に初心者を対象としますので、予備知識は特に必要ありません。パソコンを使いこなすには、タッチタイピング技能(=手元を見ないで打つ技能)が必須となりますので、まずこれを短期間に習得し、そのうえで、情報リテラシを各自が身につけることを目標とします。授業は一人1台のパソコンを使つての実習を中心に、講義を適宜交えて進めていきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は次のような三部構成で進めます。  
 パート1：各自の進度にしたがってタッチタイピング技能習得時間として集中練習をします。

パート2：主に講義形式で行う次のテーマの話の話を聴き、パート3での実習の予備知識を得ます。

- パソコンの基本操作
- ファイルとフォルダの管理
- インターネット、WWW
- 電子メールの基礎知識(就職活動の資料請求・添付ファイル)
- レポート・論文の書き方(参考文献の引用のルール)
- ビジネス文書の基礎知識(ワード)
- 自己表現と伝達(パワーポイントの使い方)

パート3：テキストにしたがって、実習をしながらコンピュータの知識と技術の定着をはかります。授業スケジュールに関する詳細については、KOMSYの詳細情報画面をご覧ください。

#### 履修上の留意点

入学式後に行なわれる総合情報センターのオリエンテーションに出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを必ず取得してください。IDが無いとパソコンを使う権利がありません。このオリエンテーションを受けないとID発行が遅れ、授業の進行に支障をきたしますので、授業開始時にIDを取得していない方の受講はお断りします。オリエンテーションを受けてIDが発行されますと、同時にメールアドレスを取得することになり、大学のパソコンでEメールを受発信できるようになります。

コンピュータを使いこなせるようになりたければ、授業を欠席しないことが肝要です。病気等でどうしても都合がつかない場合は、KOMSYの詳細画面で欠席日の課題を確認し、自習で補ってください。テキストや必要なプリントを忘れないこと。必需品を忘れた場合は授業前に友人にコピーさせてもらうなどの手当てをして授業に臨みましょう。教場内での飲食物摂取は禁止です。

コンピュータI修了に見合う技能を、すでに高校までの間で習得してきた学生は、担当教員と相談のうえ、Iを免除し後期のIIを受講できるように配慮しますが、それ以外の学生は、コンピュータIを受講していなければIIを受講することはできません。

#### 成績評価の方法

出席を重視します。また、10分間の入力スコア結果も重要なポイントになります。この他、タッチタイピング習得のために自習した練習時間の合計、指示に従って作成した提出物の良否、必需品を忘れないなどに顕れる授業への参加度などによって総合評価を行います

#### 教科書

授業開始時に指示します。

#### 参考書等

適宜、授業中に指示します。

#### その他

「基本が大切」とは、よく言われることですが、パソコン操作も基本が大切なことに変わりはありません。パソコン操作の基本とは、すなわちキーボード操作です。Windowsの出現以来、専門家や一部の愛好者ばかりでなく、誰もが触れるようになったパソコンですが、マウスの操作だけではパソコンの機能のうち、ほんのわずかなことしかできません。

ワープロによる文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力を中心であり、現在専門家としてパソコンを操作している人も初めはキーボードの入力から覚えていったのです。初心者にとっては、大きなハードルとなるキーボードですが、情報化がすすむ社会では不可欠の技能と言えます。この授業は、コンピュータⅡと併せて日本商工会議所のキータッチ2000テスト（キーボード操作技能を証明する試験）や、電子メール活用能力検定試験、ビジネス英語検定試験（3級）に対応できる内容になっています。

最良の学習環境を確保するために、場合によっては人数制限を行います。その場合は、第1回目の授業時に抽選して受講者を決定し、受講許可書を発行します。どのコンピュータⅠ・Ⅱの授業とも、承諾無しに履修登録をすることはできませんので注意してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータⅡ (後期)	野崎芳秀	短英1選	2

英  
文  
科

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータは普及しております。実社会では職種に関係なくコンピュータの導入が盛んになっています。今後ますますコンピュータを操作しての業務が増えて来ることが予想されます。コンピュータの心臓部であるOS〔Operating System〕（アプリケーションソフトはOSの基本的な操作を使い、なお、独自の機能を使って操作をしますから大変重要です）の操作を学び、良く使われているアプリケーションソフト（ワープロ、表計算、データベース、プレゼンテーション等）の豊富な機能を習得し、幅広い実務に使えるように、パーソナルコンピュータを使用し、社会で役立つ技能を身につけることを目的とします。  
なお、本講義を受講するためには、コンピュータⅠを受講済みであるか、もしくはそれと同等の操作が出来る必要があります。

講義の内容・  
授業スケジュール

9～10月 OSの基本操作の修得  
ワープロソフト（Word）を使用して表現力のある文書の作成及び編集を学ぶ  
10～11月 表計算ソフト（Excel）を使用して表の作成、グラフの作成及びデータベース機能を修得し、実戦的な資料を作成して学ぶ  
12～1月 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）やホームページ作成ソフトを使用してパソコンを使つての表現力を学ぶ

履修上の留意点

授業に入る前にその日の資料を配布しますので、遅刻をしない事。アプリケーションソフトは多くの機能を学びます、授業の時間だけでなくパーソナルコンピュータに接する時間を授業以外にも多くつくってください。授業中に作品が完成出来なかったり、授業を欠席した場合は早めに遅れを取り戻すこと。なお、その様な時は4号館の自習室を利用しましょう。  
ただし、自習室は使用登録申請が必要です。

成績評価の方法

提出された課題の出来映え、日頃の作業の習熟度と技能習得の熱意、出欠席を総合的に勘案して、成績評価をします。授業を欠席するとクラス全体の進捗にも影響するので、出欠席は評価のかなりの部分を占めます。

教科書

正式の教科書は特に有りません。  
データ保存用フロッピーディスク（3.5インチ2HD）を1枚が必要です。  
駒澤大学発行（KOMAnet）のメールアドレスが必要です。

参考書等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータⅡ(後期)	湯 浅 陽 子 <small>ゆ あさ よう こ</small>	短英1選	2

講義のねらい

コンピュータは問題解決のための道具です。この授業では、コンピュータⅠに引き続き、パソコンを利用して自己表現したり、問題を解決したりするための知識・技術を身につけることを目標に、現在一般的に使われているパソコンの基本的なソフトウェアについて学びます。授業はパソコンを使っての実習を中心に、講義を適宜交えて進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

9～10月 キータッチ2000テスト模擬試験  
Wordで各種検定試験対策  
11～12月 Excelで表計算技能をさらにバージョン・アップ  
プレゼンテーションソフト（Power Point）を使用して、スライド作成  
12月最終日 入力レベルテスト

履修上の留意点

この授業を受けるには、5つあるうちのどれかのコンピュータⅠを受講し合格しているか、もしくは高校生の時に既にタッチタイピングの習得やWord、Excelの基本的技能を習得済みであることが必要です。コンピュータの台数の関係で場合によっては人数制限があります。この授業の履修登録も、あらかじめ担当教員の許可を得ることが必要です。前期に行う同時限のコンピュータⅠに続いて、同じ時限のⅡを希望する場合はそのままⅡの受講許可書ももらってください。前期は他の科目を履修する場合には、先にそちらの授業に出て、その後に必ず短大英文科事務室に行き、後期にこの授業を履修できるか否かを確認してください。例えば、コンピュータⅠは野崎先生の授業を履修し、後期はこの授業を履修することもあり得ます。その場合は必ず双方の科目担当者にその旨を伝えてください。

入学式後に行なわれるオリエンテーション期間中の総合情報センターの説明会に出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを必ず取得してください。IDが無いとパソコンを使うことができません。このオリエンテーションを受けないとID発行が遅れ、授業の進行に支障をきたします。授業開始時にIDを取得していない方の受講はその時点で受け付けられませんので、気をつけてください。オリエンテーションを受けてIDが発行されますと、同時にメールアドレスを取得することになり、大学のパソコンでEメールを受発信できるようになります。

成績評価の方法

出席を重視します。また、10分間の入力スコア結果も重要なポイントになります。この他、指示に従って作成した提出物の良否、必需品を忘れないなどに顕れる授業への参加度・熱心さなどによって総合評価を行います。

教科書

樋口勝一 『Office 演習ドリル』（noa出版）

参考書等

適宜、授業中に指示します。

その他

コンピュータを使いこなせるようになりたければ、授業を欠席しないことが肝要です。病気等でどうしても都合がつかない場合は、KOMSYの詳細画面で欠席日の課題を確認し、自習で補ってください。テキストや必要なプリントを忘れないこと。必需品を忘れた場合は授業前に友人にコピーさせてもらうなどの手当てをして授業に臨みましょう。教場内での飲食物摂取は禁止です。

受講予定していたけれども、後期になって受講を取り消す場合もあり得るでしょうが、キャンセルを決めた時点で、短大英文科事務室に行き、その旨を伝えてください。

英  
文  
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス実務総論 (前期)	もり もと まさ え 森 本 正 恵	短英1・2選	2

#### 講義のねらい

高度情報化社会にともない、社会のグローバル化、少子・高齢化など私たちを取り巻く社会環境の変化は著しいものがあります。

このような中で求められているのは、自律した個性ある創造性豊かな人材であり、働き方も営利・非営利を問わず多様化しています。

ビジネス社会において求められる能力とは何か、ビジネス実務について理解を深め、知識・技能だけでなく人間を知り、文化の違いを感じとって、社会に広がるビジネス実務の「実践の知（知恵・知識・技術）」を創りだす人間としての基本を学びます。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
2. ビジネス実務とは何か 1
3. ビジネス実務とは何か 2
4. 個人業務とマネジメント
5. 協働業務とマネジメント
6. ビジネス実務を支える基本1
7. ビジネス実務を支える基本2
8. ビジネス実務を支える基本3
9. これからのビジネスワーカー
10. これからのビジネスとビジネスワーカー

### 英 文 科

#### 履修上の留意点

講義と演習問題によるグループ討議など参加型学習で授業を進めます。各自の個別学習（予習）と全員での学習を効率よくかみ合わせ、発表の機会などを設け自分の考えが表現できるように創造的学習を行います。

欠席などで他のメンバーに迷惑をかけないように心掛けること。

止むを得ず欠席した場合、課題などを確認し自己学習によってカバーしておくこと。

#### 成績評価の方法

出席およびレポート提出を重視します。毎回課するレポートがあるので、課題に対して問題意識を持ち、自分で考え、自分の言葉で表現できるようになることを望みます。

課題は、指定された提出日に必ず出すこと。期限の遅れたものは評価しない。

2年生は就職活動で欠席を余儀なくされることもあります。欠席の届を出したうえ「就職活動の報告」を翌週に発表してもらい、欠席分を補えるものとします。

#### 教 科 書

森脇 道子 編著『ビジネス実務総論』（実教出版）2000年刊 2,200円

#### 参 考 書 等

授業のなかで適宜、示します。

#### そ の 他

1. オフィスワーカーとして多領域に亘る学習をするので、予習を必ずしておくこと
2. 出席を重視するので、止むを得ず欠席する場合は、必ず届を提出すること
3. 授業中私語が多かったり、遅刻して他人の迷惑になるような行動は慎むこと
4. 授業中は、大人の女性としての意識を持ち行動するように心掛けること

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オフィス実務演習 (後期)	もりもと まさえ 森 本 正 恵	短英1・2選	2

講義のねらい

急激なビジネス社会の変化に気づき、理解し、対応できる能力を身につけることを目指します。『ビジネス実務概論』で学んだことを基礎に、企業で働くために必要とする実務能力を修得します。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
2. ビジネス実務とは
3. 仕事の流れと進め方
4. タイムマネジメント
5. 職場のコミュニケーションと人間関係
6. ドキュメントコミュニケーション
7. 会議とコミュニケーション
8. 社交コミュニケーション
9. キャリアプランニング
10. IT時代の働き方

履修上の留意点

グループ別で進めることが多いため欠席してメンバーに迷惑をかけること。基本的事項については個別学習(予習)により理解しておくこと。クラスでは、創造的学習を目標とする。  
 ・課題に対して自分の考えを人に伝えられるようになること。  
 ・疑問や質問は積極的に発言すること。  
 『ビジネス実務総論』をベースに授業を組み立てていますので、共に受講することを勧めます。  
 また、就職対策にもなるので1年次で受講するのが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席を重視します
2. 筆記テスト
3. レポート提出
4. その他：検定取得、授業への参画意欲等の総合的評価

教 科 書

鎌田和江・大津洋子編著『新ビジネス実務の基本』(嵯峨野書院) 2001年刊 2,400円

参 考 書 等

プリントの他、授業で示します

そ の 他

出席、レポート提出を自己管理できること。  
 欠席の場合、必ず理由を明記した届を提出すること。  
 連絡先: morimom@komazawa-u.ac.jp  
 TEL&FAX: 0467-33-1631



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オフィス・マナーズ (前期)	もり もと まさ え 森 本 正 恵	短英1・2選	2

講義のねらい

ビジネス社会で組織を構成している人たちの世代は、学生時代とは異なっている。顧客、上司、先輩、後輩と多種であり、しかも、それぞれの年代も異なる。オフィス・マナーは、このような世代を超えて、人と人との人間関係を良好に結ぶために、お互いを尊重し好印象を与えて業務を推進するための基本的な心得である。オフィス・マナーを心得ていることは、自分も相手も大切にできる人間としての基本であるといえる。

社会人となって活躍するためには、オフィス・マナーズの習得と実践が不可欠である。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. オリエンテーション (授業のねらいと進め方、評価について：第1章 ビジネス社会の常識)
2. ビジネス社会での人間関係
3. 第2章 仕事をするための基礎知識：好感をもたれる服装、挨拶、言葉づかい
4. 仕事のすすめ方：仕事への取り組み方と確実な仕事の基本
5. 第3章 ビジネスマナーの基本：敬語の種類と使い分け
6. 電話対応の基本と応用：電話のかけ方と受け方、取次ぎ電話、伝言を受ける場合
7. 来客対応の基本：訪問のマナー－訪問の心得、名刺の扱い  
来客対応－心構え
8. 来客対応の応用：受付、取次ぎ、案内、接待、見送り
9. 社会人としてのつきあい：冠婚葬祭の知識とマナー
10. 慶弔のマナー
11. 贈答と交際業務：中元・歳暮、お見舞い、接待・食事のマナー
12. テスト

履修上の留意点

グループワークによる実習を主体に進める。遅刻、居眠り、欠席などメンバーに迷惑をかける人の受講は望まない。受講者数を50名に制限するので、受講希望者は、第1回目の授業に必ず出席すること。授業に積極的な学生の参加を主体とするので、当日、受講希望についてレポート(400字程度、連絡先明記)を作成するので提出すること。結果は2、3日中に連絡する。

成績評価の方法

出席及びレポート提出もテストと同様に重視する。期限の送れた提出物は評価しない。予習、復習を自分できちんとしておくこと。ロールプレイングの実技テストも課する。

教 科 書

青木テル著『ビジネス・マナー』(早稲田教育出版)1995 1,262円

そ の 他

欠席の届は、必ずしておくこと。やむを得ず事後の場合も下記へ届けること。

連絡先：miki.morimoto@nifty.com  
morimom-228@ezweb.ne.jp  
0467-33-1631 (tel&fax)

科目名	担当者名	配当学科	単位
プレゼンテーション・スキルズ (後期)	湯浅陽子	短英1・2選	2

#### 講義のねらい

IT化が進みグローバル時代に突入した今、これまで日本人には不得手とされていた、積極的な自己表現力が求められるようになっていきます。特にビジネス社会においては、多くの企業が競合し、多種多様な商品が市場に出回る中でビジネスを成功させるためには、商品の説明、企業の情報伝達、マーケティング等の分野において、従来にも増してより優れたプレゼンテーション能力が問われるようになってきました。プレゼンテーションの良し悪しが、ビジネスに直接影響を与える時代と言っても過言ではありません。パソコンは使えて当たり前、使いこなして実社会で求められるプレゼンテーションの仕方と、効果的な「表現力」について学びます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 やってみよう紹介のプレゼンテーション
- 第3回 プレゼンテーションのスタート
- 第4回 構成が命
- 第5回 構成をつくる
- 第6回 言葉の使い方(言い回しのテクニック)
- 第7回 話し方のスキル
- 第8回 聴衆に好感をもたれる態度
- 第9回 効果的な資料を作ってみよう(1)
- 第10回 効果的な資料を作ってみよう(2)
- 第11回 資料を使ったプレゼンテーションの実践(1)
- 第12回 資料を使ったプレゼンテーションの実践(2)
- 第13回 授業全体のまとめ

#### 履修上の留意点

この授業はコンピュータ室で行います。コンピュータの台数の関係で人数制限があります。後期の授業ですが、前期の履修登録日に登録しておかなければなりません。ただし、この授業の履修登録も、コンピュータI・II同様、あらかじめ担当教員の許可を得ることが必要です。受講許可書は、前期授業開始日から履修登録前日までの間に、短大英文科事務室にて先着順に発行します。定員になり次第締め切ります。

#### 成績評価の方法

毎回の出席(20%)、作成したワークシートの提出(20%)、プレゼンテーション発表点(20%)、宿題レポート(20%)、ビジュアル資料作成点(20%)の総合点で評価します。

#### 教科書

授業開始時に指示します。

#### 参考書等

八幡紘芦史『戦略的プレゼンテーションの技術』(ダイヤモンド社)2002  
野口吉昭編著『プレゼンテーションのノウハウ・ドゥハウ』(PHP研究所)2000  
Power Pointの使い方を説明している本(どこの出版社でもよい)等を参考にしてください。

#### その他

コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行なってIDを取得してください。授業開始時にIDを取得していないことが判明した学生の受講は、その時点で取り消されますので、気をつけてください。

この授業は Semester制では無いので、週1回の授業です。回数の少ない授業ですので、病気以外の欠席は認めません。病気でどうしても欠席せざるを得なかった場合は、KOMSYの詳細画面で欠席日の課題を確認し、自習で補ってください。2年生の就職活動時に授業で習ったことを活かしたいので、1年次での履修をお勧めします。テキストや必要なプリントを忘れないこと。必需品を忘れた場合は授業前に友人にコピーさせてもらうなどの手当てをして授業に臨みましょう。教場内での飲食物摂取は禁止です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ジャーナリズム研究	はたのとしお 旗野 寿雄	短英1・2選	4

講義のねらい

ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースの取材方法や報道のあり方を実際に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材（マスメディア志望者）、あるいは、情報をうのみにせず、冷静に解説・判断できる人間（読者）を育成する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。後期は報道と人権、報道被害といった諸問題を、プライバシーや名誉棄損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。

記者やアメリカ生活などの経験を生かし、全期を通して、その都度主要ニュースの解説、分析をするほか、アメリカの新聞記事の読解や日米ジャーナリズムの比較なども試みる。新聞社や新聞博物館の見学も行う。

履修上の留意点

実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。

成績評価の方法

ニュース分析、学習結果を応用したレポート、記事スタイルの簡単なルポ、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して点数をつける。

教科書

使用しない。毎日の新聞を教科書として欲しい。

参考書等

その都度指示する。

その他

私語厳禁、公語（意見発表）歓迎。

英  
文  
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネスイングリッシュ	まちいやすし 町井 靖	短英1・2選	4

講義のねらい

『商品の輸出入に関する英文の手紙』を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファ、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階でよく使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるので、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっていく。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門的用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教科書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参考書等

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語教育法 A (前期)	まつ しろ りょう こ 松 代 涼 子	短英 1・2 選	4

講義のねらい

外国人が日本語を学ぶ際に、どのようなことが問題になるのかを見ていくことによって「ことば」というもの、そして外国語を学ぶということを改めて捉えなおすことが第一のねらいです。具体的には、現代日本語（以下日本語）を客観的に観察し分析する、異文化コミュニケーションにおける諸問題に目を向け考察する、ということに取り組んでいきます。これらの問題を自ら考え、表現していくという作業を通して各自が日頃使用している日本語の再検討および日本語によるコミュニケーション能力の向上、そして日々の英語学習への有効活用をしてほしいと考えています。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1、2) オリエンテーション、概論
- (3、4) 日本語の音声
- (5、6) 日本語の文法
- (7、8) 日本語の語彙
- (9、10) 言語行動
- (11、12) 異文化コミュニケーション (13) まとめ

履修上の留意点

毎週、次回の課題を出すので必ずそれについて自分なりの答えを用意した上で授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

出席状況も含めた授業への参加態度及び提出物の内容、学期末試験の結果によって総合的に評価します。

教 科 書

随時プリントを配布します。

英  
文  
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語教育法 B (後期)	まつ しろ りょう こ 松 代 涼 子	短英 1・2 選	4

講義のねらい

日本語教育法Aの講義内容を発展させた形で行います。引き続き日本語を客観的に見る目を養うことを目的としますが、本講義では各自が関心のある事象をとりあげ、より深く分析し観察する場を設けていきます。また日本語教育、ひいては語学教育が具体的にどのような手順で行われているかにも目を向け、それを実際に体験する機会も作っていきます。人と人が直に触れ合う「教える」という作業の基本はコミュニケーションのとりかたにあると思います。受講者の皆さんには本講義の活動を通して自分のコミュニケーションパターンを見直し、さらにコミュニケーション能力を高めてほしいと考えています。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (予定、一部変更の可能性あり)
- (1、2) オリエンテーション  
日本語教育の全体的な流れ
- (3～6) コースデザイン
- (7～10) 授業の組み立て、準備
- (11～12) 模擬授業 (13) まとめ

履修上の留意点

毎週、次回の課題を出すので必ずそれについて自分なりの答えを用意した上で授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

出席状況も含めた授業への参加態度及び提出物の内容、学期末試験の結果によって総合的に評価します。

教 科 書

随時プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
表現法(話すこと)(前期)	さな だ はる こ 真 田 治 子	短英1・2選	2

講義のねらい

- (1) 話し言葉の日本語にまつわる問題  
現在の話し言葉はどのような歴史をたどって来ているのか、東京の話し言葉と共通語はどう違うのか、話すように書くと言われていたメールの言葉づかいは書き言葉の日本語とどう違うのか、など現代日本語に関する問題を取り上げて考えていく。
- (2) ゲストの講演に話し方を学ぶ  
各方面で活躍している方たちを授業時間にゲストとして招き、その講演から話し方の特性について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

ゲストの方たちの予定を優先するので、開講時に指示する。  
参考までに昨年度のゲストをあげておく。

1. 海外歌舞伎公演のプロデューサーアシスタントを手がけてきた関 健二さん
2. 駒澤大学出身テレビ朝日アナウンサー藤井 たかしさん
3. 駒澤短期大学出身新人テレビタレント「王様のランチ」の内藤 千晶さん
4. 数学者で大道芸人そして『美しくて面白い日本語』の著者ピーター・フランクルさん
5. 映画監督として今も発信しつづけている〇〇さん

履修上の留意点

教室の関係で、人数制限をすることがある。

成績評価の方法

出席点、スピーチ、レポートなどを予定。

教 科 書

なし（プリント配布）

参 考 書 等

授業時に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
表現法(書くこと)(後期)	さな だ はる こ 真 田 治 子	短英1・2選	2

講義のねらい

デジタル社会の筆記具であるパソコンを使って、自分の考えていることを文字や画像などで人に伝える技術を学ぶ。また、このような「書く」方法が従来の方法とどのように違うのかを、実習を通して考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) パワーポイントを使って「電子紙芝居」を作ってみる。
- (2) HTMLを使って「ホームページ」を作ってみる。

履修上の留意点

教室の関係で、人数制限をすることがある。初回授業に2HD フロッピーを持参すること。

成績評価の方法

出席点、課題提出などを予定。

教 科 書

なし（プリント配布）

参 考 書 等

授業時に適宜指示する。

## II 專 門 教 育 科 目

### 3 放 射 線 科

放射線科

## II. 専門教育科目

### (3) 放射線科

放射線物理学	〈小山正希〉	281
電気工学	〈佐藤昌憲〉	281
放射線機器概論	〈閉講〉	
放射線写真学	〈古川克治〉	282
生理学	〈樋口雄三〉	283
環境保健医学	〈吉田稔〉	283
画像技術学概論	〈西尾誠示〉	284
放射線基礎数学	〈熊坂さつき〉	285
近代物理学序論	〈佐藤昌憲・一守俊寛〉	285
放射化学序論	〈原田和正〉	286
実験 I A	〈西尾誠示・熊坂さつき・長谷川武・原昌代・三浦康平〉	287
実験 I B	〈小山正希・小林久夫・佐藤昌憲・中北倫男・森啓〉	288
実験 I C	〈閉講〉	
実験 I D	〈山本裕右・榎尾英次・高田健夫・原田和正・村上雅彦〉	289
医学概論	〈吉川宏起〉	290
臨床医学概論	〈吉川宏起〉	290
放射線生物学	〈早川吉彦〉	291
病理学	〈吉川宏起〉	291
生化学	〈原田和正〉	292
画像数学	〔平成12年度以前入学生：応用数学〕 〈熊坂さつき〉	292
原子核物理学	〈永井喜則〉	293
放射化学	〈山本裕右〉	293
電子工学	〈杉田徹〉	294
放射線機器工学	〈中北倫男〉	294
画像工学	〈高野正雄〉	295
画像技術学	〈西尾誠示〉	296
放射線計測学	〈青木清〉	297
関係法規	〈一守俊寛〉	297
実験 II A	〈西尾誠示・氏家盛通・谷口貴久・原昌代・吉川達生〉	298
実験 II B	〈小山正希・佐藤昌憲・中北倫男〉	299
実験 II C	〈杉田徹・青木清・川副護・木村登・吉田正廣〉	300
実験 II D	〈杉田徹・青木清〉	300
実験 II E	〈榎尾英次・一守俊寛・原昌代・中北倫男〉	301
病院実習 I	〈氏家盛通〉	302
放射線医学概論	〈蜂屋順一〉	302
機器制御工学	〔平成12年度以前入学生：自動制御工学〕 〈青木清〉	303
医用機器工学	〈榎尾英次〉	304



放射性同位元素応用機器工学〈小山正希〉	305
画像情報学〈西尾誠示〉	306
核医学検査技術学〔平成12年度以前入学生：放射性同位元素検査技術学〕	
〈氏家盛通〉	307
放射線治療技術学〈高山誠〉	307
放射線管理学〈一守俊寛〉	308
放射線学演習〈西尾誠示〉	308
実験Ⅲ A〈小山正希・佐藤昌憲・羽生毅〉	309
実験Ⅲ B〈青木清・杉田徹・永井喜則・原昌代〉	310
実験Ⅲ C〈山本裕右・原田和正・村上雅彦〉	311
実験Ⅲ D	
〈檀尾英次・氏家盛通・小林久夫・近藤啓介・高野正雄〉	312
病院実習Ⅱ〈氏家盛通〉	313
医学英語〈休講〉	
臨床医学特論〈休講〉	
臨床放射線特論〈蜂屋順一〉	313
統計学〈休講〉	
情報工学〈休講〉	
画像処理論〈檀尾英次〉	314
放射化学特論〔平成12年度以前入学生：化学特論〕	
〈原田和正〉	314
応用計測学〈檀尾英次〉	315
放射線学特論〈休講〉	
放射線学基礎演習〈氏家盛通〉	315
放射線学基礎演習〈熊坂さつき〉	316
放射線学基礎演習〈杉田徹〉	316
放射線学基礎演習〈高野正雄〉	316
放射線学基礎演習〈山本裕右〉	317
放射線学基礎演習〈吉川宏起〉	317
放射線学特別演習〈青木清〉	318
放射線学特別演習〈檀尾英次〉	318
放射線学特別演習〈近藤啓介〉	319
放射線学特別演習〈佐藤昌憲〉	319
放射線学特別演習〈西尾誠示〉	319
放射線学特別演習〈原田和正〉	320
放射線学特別演習〈山本裕右〉	320

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線物理学	こやま まさき 小山 正 希	短放1必	2

講義のねらい

診療放射線学の基礎的概念である放射線（ここでは主として光子）と物質との相互作用を中心として、最も多用されている X 線の発生機構を含めて、放射線とその作用効果の基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

主たる項目とその学習順序は凡そ次の通りである。

- 1) 放射線・放射能の定義と概念。
- 2) 放射線の種類と分類。
- 3) 光子 (X 線・ $\gamma$ 線) の粒子性。
- 4) 光電効果。
- 5) 原子の構造・粒子の波動性。
- 6) X 線回折・ブラック反射。
- 7) 軌道電子のエネルギー準位。
- 8) 輝線スペクトル。
- 9) 制動 X 線・特性 X 線の発生機構。
- 10) X 線の線質。
- 11) 光子と物質との相互作用 (光電効果・コンプトン効果・電子対生成効果・トムソン散乱など)。
- 12) 吸収端現象とその応用。
- 13) 電子と物質との相互作用 (電離・励起・制動輻射・チエレンコフ輻射など)。
- 14) 光子の減弱 (吸収係数・再生係数・平均自由行程など)。
- 15) 電子の飛程。
- 16) 放射線の単位。

X 線による写真や電子機器を通して得られる人体に関する画像は総べてここで学習する X 線と物質との相互作用に依っている。即ち放射線の利用も、また放射線による損傷効果も、その基本的過程は相互作用にあると言える。従ってこの科目の内容は診療放射線学全体の理解に要する最も基本的な概念知識となっている。放射線の単位は、その内容が本科目での知識なしには理解し得ないので、最後に学ぶ事になるが、学習の各段階で折にふれ概要を説明する。

放射線科

成績評価の方法

定期試験の他、2~3回行う中間試験および出席状況により評価する。

教科書

教科書は使用しないが、参考となる書籍とその部分については適宜紹介する。

その他

授業の映像および毎時間ごとの内容が学内 LAN により、また自宅からも復習できる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
電気工学 (後期)	さとう まさのり 佐藤 昌 憲	短放1必	2

講義のねらい

交流回路理論の基礎知識を得ることを目的としている。この科目は、診療放射線技師国家試験科目であるので、十分な演習と中間テストも合わせて講義をする。

講義の内容・授業スケジュール

次の内容で授業を進める。

- 1) 交流回路の基礎
- 2) 交流の平均値・実効値
- 3) 正弦波交流の基本回路
- 4) 交流の直列回路
- 5) 交流の並列回路
- 6) 交流の電力
- 7) 複素数とベクトル
- 8) 交流回路の計算
- 9) 相互インダクタンスを含む回路の計算
- 10) 三相交流の基礎
- 11) 三相の結線方法と電圧・電流の関係
- 12) 三相交流の電力と力率
- 13) 平衡三相交流回路の計算
- 14) 電気計測 (電圧・電流・電力の測定)
- 15) 変圧器の基礎

成績評価の方法

中間テストと定期テストの結果より評価する。また、授業の出席数や課題レポートも加味する。

教科書

- 『新電気基礎問題集』(綜文館) 800円
- 『電気基礎上』(東京電機大学) 2,472円
- 『電気基礎下』(東京電機大学) 2,369円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線写真学(後期)	ふる かわ かつ ほる 古 川 克 治	短放1必	1

講義のねらい

画像診断の根幹をなす、各種医用画像の画像形成につき、感光材料、感熱材料等のX線センサー科学とその最新技術につき理解を深める。  
また、近年話題が高まっている環境問題についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- i) 講義項目
- ① 感光材料(湿色フィルム)概論
  - ② 感光理論・現像理論
  - ③ X線写真の成り立ち・各種X線センサーの特性
  - ④ X線画像とその評価、センチメートル、鮮鋭度、粒状性
  - ⑤ ドライ感光材料とその記録方式・各種モダリティ画像
  - ⑥ 放射線写真に関する環境問題
- ii) スケジュール
- 感光材料/感光理論 H16/9~10  
 画像の成り立ち、画像とその評価 H16/10~11  
 ドライ感材/環境関連 H16/11~12

放射線科

履修上の留意点

- ① 期中3回前後のミニテスト実施予定。出席点は重視しない。
- ② 教科書、参考書、文献等(OHP、Video、PC)で理解を深める。
- ③ 各種臨床写真を供覧し、理論と写真を一体化させ、理解を深める。

成績評価の方法

期末試験を重視。出席状況、ミニテストを参考に最終評価する。  
追試のみ実施。再試は「無」。

教科書

『放射線写真学』(富士フィルムメディカル株) 5,700円

参考書等

- ① 日本写真学会編『改訂 写真工学の基礎 [銀塩写真編]』(コロナ社)
- ② 友田宜忠著『写真科学』(通商産業研究社)
- ③ 笹井明『写真の化学』(写真工業出版社)
- ④ 内田勝『放射線画像情報工学 (I) (II)』(通商産業研究社)
- ⑤ T. H. James *The Theory of the Photographic Process, 4th Ed.* '77 (Macmillan Co.)
- ⑥ T. S. Curry et al *Christensen's Introduction to the Physics of Diagnostic Radiology, 3rd Ed.* (Lea & Febiger '84)
- ⑦ 日本医用画像工学会監修『医用画像工学ハンドブック』(篠原出版)' 94
- ⑧ 環境法研究会編『環境六法 平成14年版』(中央法規)

その他

授業方法：講義…Video、OHP、PC、臨床写真を活用

科目名	担当者名	配当学科	単位
生理学 (前期)	樋口雄三	13以降入学生/短放1必	1

講義のねらい

生命現象がホリスティックに恒常性が維持されていることを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. 生命・健康・環境 | 7. 内分泌   |
| 2. 体液・血液    | 8. 脳・神経系 |
| 3. 循環系      | 9. 筋・運動系 |
| 4. 消化・吸収    | 10. 感覚   |
| 5. 代謝・体温    | 11. 生殖   |
| 6. 排泄       | 12. 免疫系  |

履修上の留意点

授業に出席し、ノートを整理すること。

成績評価の方法

定期試験、出席状況、態度などにより総合評価する。

教科書

下 正宗他『人体の構造と機能』(医学書院)

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境保健医学(後期)	吉田稔	13以降入学生/短放1必	1

講義のねらい

衛生・公衆衛生学は、人々を疾病から守り、健康を保持、増進および福祉の向上を目的とした学問である。しかも個人、家族、地域社会および全国民の健康を対象とし、疾病のみならずすべての健康からの偏りを予防、コントロールし、積極的な健康の達成を目指すものである。しかしながら、健康の保持には環境、病因、宿主の間のバランスが重要である。今日では地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨といった地球規模での環境破壊が健康保持に深刻な問題を投げかけている。ここでは公衆衛生が果たす役割のみならず環境問題についても学ぶ。

成績評価の方法

総括的評価は認知領域(知識)については論述試験と客観試験を定期試験の時にを行い、情意領域(態度・習慣)については出欠および授業中の態度で評価を行う。形成的評価については、授業中に小テストを行い、その結果を学生にフィードバックする。

教科書

鈴木庄助・久道茂編集『シンプル衛生・公衆衛生学』改訂7版(南江堂)2,400円

参考書等

『国民衛生の動向』(厚生省の指標 臨時増刊)厚生統計協会  
 厚生省編『厚生白書』(厚生省統計協会)  
 環境庁編『環境白書』(大蔵省印刷局)

放射線科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画像技術学概論(後期)	にし お せい じ 西 尾 誠 示	13以降入学生/短放1必	2

講義のねらい

医療の場において診療放射線技師の果たす役割とその関連事項、及び診療画像技術学を学ぶ上で基礎となる X 線画像の基礎知識について講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①医療社会と放射線技師  
医療社会の構成、病院組織、関連職種、チーム医療などについて
- ②放射線技師の役割と医療人の条件  
社会における診療放射線技師の役割、放射線学の歴史、将来の展望等について
- ③X線撮影の基礎  
X線の発生、線質、物質との相互作用、写真効果などについて
- ④X線画像の成り立ち  
X線照射によって生じる写真効果と画像の拡大、歪み、重畳効果など
- ⑤画質の基礎知識  
画質を評価するときの対象となるコントラスト、鮮鋭度、粒状性について
- ⑥良い画像と画質を左右する要因  
管電圧、フィルター、散乱線とグリッド、フィルム・増感紙などについて
- ⑦撮影条件の設定と考え方  
最適な画像を得るための理論的な考え方、課題と改善策について
- ⑧体の基準線と名称  
医療画像検査を行う上で重要な基準線、名称および体表解剖について
- ⑨画像検査の種類  
単純撮影、造影法、特殊撮影の原理と検査の基礎的知識について

履修上の留意点

講義は Power point とプリントを用いるが、必ずノートをとること。

成績評価の方法

テーマ毎の小試験と定期試験を基準にするが、授業態度も採点に加える。

教 科 書

立入弘著『診療放射線技術』(南江堂) 6,800円

参 考 書 等

講義用 CD 及びプリント

そ の 他

授業は講義形式であるが、内容により質問あるいは意見を求める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線基礎数学(前期)	熊坂 さつき	短放1必	2

## 講義のねらい

放射線の科学・技術は数学ぬきでは考えられない。精密な画像解析も、数学的手法を使えば可能になる。本講義では、ターゲットを「放射線学に応用されている数学の世界」にターゲットを絞って学ぶ。内容は、応用数学(後期)とリンクする。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 微分と偏微分
  - 微分係数、導関数の定義、偏微分係数、偏導関数の定義
  - 有理関数、合成関数、三角関数、指数関数
  - 対数関数の微分と偏微分
  - 媒介変数と微分
  - 高次導関数と高次偏導関数
  - 連続関数と不連続関数
  - テイラーの定理と、テイラー展開 その他
- 積分
  - 不定積分と定積分
  - 部分積分と置換積分
  - 体積と面積
- 三角関数
  - 加法定理、和積・積和の公式等重要な公式の求め方と証明
  - 三角方程式や三角関数の合成 その他

## 成績評価の方法

試験(1又は2回/年)、レポート

## 教科書

氏原真代『画像数学入門』(東洋書店)

## 参考書等

Paul C. Du Chatateau 著 *Ordinary Differential Equations* (Harper Perennial 社)  
和達三樹『微分積分』(岩波書店)  
数学Ⅲの教科書

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代物理学序論(前期)	佐藤 昌憲・一守 俊寛	短放1必	2

## 講義のねらい

物理学序論で学習した程度の内容を基礎とし、近代物理学成立に至るまでの物理学のうち、最も基礎となる力と運動、波動、熱さらに電磁気学を中心として学ぶ。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 力学と運動  
(速度、加速度、円運動、放物運動、運動量、エネルギー)
- 波動の物理学  
(音と光、共鳴、ドプラー効果、干渉と回折、偏光)
- 熱力学  
(熱と温度、熱力学の第一法則、第二法則)
- 電磁気学  
電界(真空中の静電界、導体系による電界、静電界におけるエネルギーと力)  
磁界(静磁界、電流による磁界、電流に及ぼす作用と電磁誘導)
- 電磁波  
(自由空間における電磁波)

## 履修上の留意点

この科目は前期での集中授業である。近代物理学序論Aでは、力学、波動性および熱力学を、近代物理学序論Bでは、電磁気学と電磁波を中心に講義する。知識の単純記憶ではなく理論に基づいた思考過程を身につけてほしい。

## 成績評価の方法

近代物理学序論A・Bの出席数、小テスト、定期試験により評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 化 学 序 論	ほら だ かず まさ 原 田 和 正	短放1必	2

講義のねらい

本講義では「放射化学」、「放射線写真学」、「生化学」などを学ぶ上で必要となる化学の基本事項について理解することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 原子・分子・モル
2. 電子配置と周期表
3. 化学結合
4. 化学平衡
5. 酸・塩基、酸化・還元
6. 溶解度と溶解度積
7. 気体の状態方程式
8. 反応速度論
9. 化学熱力学

成績評価の方法

中間試験、定期試験の結果と平常点で評価する。

教 科 書

- A. Sherman 他著、石倉洋子・石倉久之訳、『化学 基本の考え方を中心に』（東京化学同人）  
2,850円
- A. Sherman 他著、石倉洋子・石倉久之訳、『化学 基本の考え方を中心に－問題と解答－』（東京化学同人）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
実 験 I A	にしお せいじ くらまさか 西尾 誠示・熊坂さつき ほせがわ たけし ほんら まさよ 長谷川 武・原 昌代 みづうら こうへい 三 浦 康平	短放1必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

X線装置及び周辺機器の構造を理解し、正しい使用法を習得する。  
X線画像を左右する要因と基礎的な画質評価について実験を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① X線量と写真濃度  
被検体からより多い情報を得るための適切な線量を求める。ファントムを用いて、照射を行いX線の吸収と写真濃度を理解する。
- ② 撮影条件表の作成  
アクリル板を用い、その厚さの変化に対する適正な線量、電圧を求め、条件表を作成する。
- ③ 照射野の線量分布と撮影距離  
X線照射野とフィルム・X線焦点間距離を変化させ写真濃度を測定し、照射野内のX線分布を把握する。
- ④ フィルムの特性曲線の作成  
距離の逆二乗則を利用した距離法にて複数の特性曲線を作成する。特性曲線と相対線量の関係を理解するとともに、その利用方法を学ぶ。
- ⑤ 撮影電圧とコントラスト  
電圧とフィルター厚を変化させ、線質の違いが画質に及ぼす影響を調べる。  
X線吸収差の少ない被写体のコントラスト、微小検体の描出度を評価する。
- ⑥ 増感紙の感度  
フィルムの特性曲線を作成し、各種増感紙の相対感度を求める。増感紙とフィルムの正しい組合せ、および感度と被曝線量の関係について学習する。
- ⑦ フィルム・増感紙の鮮鋭度／解像力  
矩形波チャートを用いたコントラスト法にて、フィルム・増感紙のMTFを求める。マイクロデンシトメータの取扱いを習得する。
- ⑧ 散乱線の評価  
上記の特性曲線を用いて、鉛ディスク法による散乱線含有率を求める。被写体厚と照射野を変化させて散乱線の量を測定し、臨床における量を把握する。
- ⑨ グリッドの性能評価  
鉛ディスク法にて散乱線透過率、直接線透過率、全X線透過率から露出倍数、コントラスト改善度、選択度を求め、グリッドの基本的性能を評価する。

放射線科

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。

成績評価の方法

定期試験、実技試験、学習意欲、レポートについて総合的に判定する。

教 科 書

実験マニュアルを配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 I B	<small>こやま</small> 小山 正希・ <small>こばやし</small> 小林 久夫 <small>さきとう</small> 佐藤 昌憲・ <small>なかに</small> 中北 倫男 <small>もり</small> 森 啓	短放1必	実験 I (IA～ID) 5

講義のねらい

多くの学生にとっては初めての実験であると思われるので、前半・後半と分けて、前半は器具・機器の扱い方の練習をする。後半はデータを処理する方法を扱う実験を用意してある。現象を通じて理論を理解することも同時に身に付けてもらいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

内容は手引書を製作してあるのでこれを参照すること。少人数で実験をするために班分けをする。  
そのためにスケジュールは個人によって異なる。入学後のガイダンスの際に班分けによるスケジュールを発表する。

成績評価の方法

1. レポート 2. 実験 3. 質疑応答 4. 調査・検索について点数化して総得点で評価する。

教 科 書

放射線科でいくつかの実験のために用意した手引書を制作してある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験 I D	<small>やまもと</small> 山本 <small>ゆうすけ</small> 裕右・ <small>かしお</small> 樫尾 <small>まいじ</small> 英次 <small>たかだ</small> 高田 <small>たけお</small> 健夫・ <small>はらだ</small> 原田 <small>かづまさ</small> 和正 <small>むらかみ</small> 村上 <small>まさひろ</small> 雅彦	短放1必	実験 I (IA~ID) 5

#### 講義のねらい

医療分野において必要な化学に関する実験を通して、化学の基本原理や概念を理解すると共に、化学実験における基本操作、薬品取扱時の基礎知識を学ぶ。また、実験で得られたデータを客観的に評価し、分子レベルで化学的に考察してレポートにまとめる能力を育成する。

化学実験は常に危険を伴うが、その危険は実験前の下調べ、正しい実験操作および実験中の注意深い観察により避けることができるし、また、得られた実験結果に伴う誤差には原因があり、その原因を突き止め、誤差をいかに最小限にとどめるかは、実験者の洞察力と腕の見せ所である。これらのことは、実際に実験を行ってのみ経験でき、養えることである。

必ずしもよい結果だけを追いかける必要はない。失敗もまた次への大きな手がかりとなる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. ガラス細工、器具の洗浄
3. 容量、重量の測定、試薬の調製法
4. ハロゲン化銀の感光性と現像、定着試薬との反応
5. 中和滴定による酸の定量
6. 薄層クロマトグラフィーによるアミノ酸の分離・同定
7. 分子模型実習
8. pHメータによる緩衝能の測定
9. 硫酸銅(II)五水和物の合成
10. ヨウ素滴定による銅(II)の定量
11.  $\delta$ -フェナントロリン法による鉄(II)の比色分析
12. イオン交換樹脂の交換容量の測定

#### 履修上の留意点

- ・欠席しないこと：実験操作を段階的、体系的に学習できるようにテーマを設定してあるので、欠席をすると次の実験に支障をきたす。
- ・遅刻しないこと：冒頭で実験についての注意事項を説明する。遅刻すると、これらの説明を聞かないで実験することになり、操作の誤りや、事故を起こしかねないので危険である。したがって、遅刻者には当日の実験を許可しない。
- ・予習、下調べをして実験のフローチャートを作製してくること：実験の詳細はプリントして2週間前に配布するので、当日までにフローチャートを作り、使用する薬品の性質、器具の使用方法について下調べしておく。
- ・実験室内での規則を守ること：化学実験には危険や事故が付きまとう。これらをできる限り排除するように努力すべきである。そのためにはガイダンスでの注意事項を厳守する必要がある。
- ・レポートの提出：各テーマごとに実験終了1週間後にレポートを提出する。ガイダンスで説明する形式が守られていない場合、内容に誤りがあるか不十分な場合は再提出となる。最終的にレポートが受理されて初めてその実験が終了となる。

#### 成績評価の方法

平常点、レポート、定期試験により評価する。

#### 教科書

プリント使用。

#### 参考書等

新版『実験を安全に行うために―事故・災害防止編』(化学同人) 800円+税  
 新版『(続)実験を安全に行うために―基本操作・基本測定編』(化学同人) 700円+税  
 以上2冊は、実験時に常に持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医学概論（前期）	よし かわ こう き 吉 川 宏 起	短放2必	2

## 講義のねらい

現代医学で行われている実際の医療について幅広く理解し、その中での放射線医学の役割について理解する。さらに医療従事者として必要な人権を尊重した医療倫理について考察する。

## 講義の内容・授業スケジュール

病院や診療所で行われている医療について、医療現場の構造やそこで働く医療従事者の役割分担について具体例を挙げながら概説する。この医療全般の中における放射線医学、すなわち放射線診断学、核医学、放射線治療学それぞれの役割について解説する。とくに個々の分野で使用されるモダリティー（X線撮影装置、X線CT（computed tomography；コンピュータ断層撮影）、MRI（magnetic resonance imaging；磁気共鳴映像法）、超音波装置、核医学装置、放射線治療装置など）についてその原理や特徴の概略を解説する。さらに医療従事者として必要とされる医療倫理およびそれに裏打ちされたマネジメントケアについて解説する。

## 履修上の留意点

広範囲にわたる放射線医学について理解を深めることが重要で、数多くの放射線診断あるいは放射線治療モダリティーの特徴、これらの臨床的有用性と限界について理解することが重要である。

## 成績評価の方法

定期の筆記試験。

## 参考書等

日野原重明著『医学概論』（医学書院）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
臨床医学概論（後期）	よし かわ こう き 吉 川 宏 起	短放2必	2

## 講義のねらい

医学概論で学んだ知識を基に、更に一歩進んで主要疾患に対する核医学を含めた放射線診断法あるいは放射線治療法について解説する。IVR（interventional radiology）や近年、注目を浴びている遺伝子治療の中での放射線医学の役割についても概略を解説する。

## 講義の内容・授業スケジュール

中枢神経系および循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌系、泌尿生殖器系、運動器系の疾患について放射線診断法あるいは放射線治療法について解説する。放射線医学で使用される各種診断モダリティーおよび核医学装置、放射線治療装置の有用性と限界について概説する。またX線造影剤およびMRI（磁気共鳴映像法）用造影剤の種類と使用方法について概略を解説する。近年、急速な発展を遂げている血管あるいは血管以外におけるIVRの現況や放射線学における遺伝子治療についても概説する。

## 履修上の留意点

診療放射線技師として必要な種々の疾患の概念を習得し、実際の臨床に結びつく放射線医学（放射線診断学、核医学、放射線治療学）の基礎的知識を獲得することが重要である。

## 成績評価の方法

定期の筆記試験。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線生物学(後期)	はやかわよしひこ 早川吉彦	短放2必	1

講義のねらい

放射線が生物に及ぼす影響を、分子や細胞のレベルから個体や集団のレベルにわたって総合的に理解する。専門基礎分野の科目として、今後治療技術学や安全管理学を学んでいく上での基礎となる「被ばくの影響を正しく評価するための知識」を身につける。

ここ四半世紀に及ぶ遺伝子工学の時代に、生物への放射線影響の解析は著しく進歩した。この講義では、高線量及び低線量の放射線の生物影響研究の最新の知識を伝えたい。

講義の内容・授業スケジュール

次の各項目よりなる。

- 1 放射線生物学の基礎：細胞、遺伝子
- 2 生物作用の初期過程：物理・化学・生化学的作用
- 3 放射線による細胞死、細胞の生存率曲線とその解析
- 4 放射線影響の修飾：LETとRBE、線量率、分割照射、酸素効果、温度効果、細胞周期、増感剤・防護剤
- 5 DNA損傷と細胞への影響、DNA修復、遺伝子突然変異と染色体異常
- 6 組織・臓器への影響：早期障害と後期障害、確定的影響と確率的影響
- 7 放射線による発がんや遺伝的影響、胚と胎児への影響
- 8 腫瘍の放射線生物学：感受性とその修飾、分割照射効果と4R、高LET放射線と生物学的効果、温熱療法
- 9 放射線被ばくのリスクと防護

履修上の留意点

授業開始時刻厳守のこと。

成績評価の方法

期末に筆記試験を行う。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

江島洋介、木村博編、放射線技術学シリーズ『放射線生物学』（オーム社）2002年

その他

講義。

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
病理学(後期)	よしかわこうき 吉川宏起	13以降入学生/短放2必	1
		12以前入学生/短放2必	2

講義のねらい

ヒトの疾病の原因・経緯・結果を追求し、人体組織の形態学的な変化および機能的変化を理解することを目標とする。病理学総論では各種疾患の分類について理解し、各論では疾病（疾患）を臓器（組織）別に、原因・経緯・結果を追求し、臓器特異性変化を踏まえた上で理解することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

体の健康な状態を学ぶ生理生化学や解剖学の知識を基礎として、各臓器での疾病（疾患）（奇形、炎症、外傷、血管性病変、腫瘍など）の原因と病態、治癒あるいは進行過程について、できるだけ多くのイラストや画像を用いた講義をめざす。近年、急速な発展を遂げている遺伝子解析と疾患との関係についても概説する。

履修上の留意点

病理学は生理生化学や解剖学での知識の上に成り立つ学問である。解剖名や病名など膨大な記憶力が求められているため、繰り返しての履修が必要となるが、重要なポイントは記憶前段階での確実な理解である。

成績評価の方法

定期的筆記試験。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生 化 学 (前期)	原 田 和 正 <small>はら た かず まさ</small>	13以降入学生/短放2必	1
		12以前入学生/短放2必	2

講義のねらい

生化学の分野から、診療放射線技師にとって最低限必要と思われる項目に重点を置いて学習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 細胞 2. 酵素とビタミン 3. 代謝 4. 核酸と遺伝子 5. タンパク質の生合成

成績評価の方法

定期試験の結果と平常点で評価する。

教科書

猪飼篤著『化学入門コース8生化学』（岩波書店）2,913円

参考書等

林典夫・廣野治子編『シンプル生化学』（南江堂）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
画 像 数 学 (後期)	熊 坂 さつき <small>くま さか</small>	13以降入学生/短放2必	2
応 用 数 学 (後期)		12以前入学生/短放2必	

講義のねらい

放射線技術者として、将来必要になるであろう画像数学の基礎知識について学ぶ。内容は基礎数学を終了したものが理解できるスケジュールとなっている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 微分の応用
  - ・極限と微分
  - ・ロルの定理、コーシーの平均値の定理
  - ・ロピタルの定理
  - ・マクローリンの展開
  - ・近似値の求め方
  - ・その他
2. 積分の応用
  - ・有理関数の積分
  - ・ $\sin x$ 、 $\cos x$  の有理関数の積分
  - ・ $e^x \sin x$  の積分
  - ・偶関数、奇関数の定積分
  - ・広義積分と無限積分
  - ・多重積分
  - ・シンプソンの公式
  - ・その他
3. 三角関数の応用
  - ・オイラーの公式
  - ・ド・モアブルの公式
  - ・その他

成績評価の方法

試験（1又は2回/年）、レポート

教科書

氏原真代『画像数学入門』（東洋書房）、プリント

参考書等

『応用数学—1工学専攻者のための』（内田老鶴圃新社）  
 英保茂『医用画像処理』（朝倉書店）  
 今里悠一『画像処理』（昭晃堂）  
 和達三樹『微分積分』（岩波書店）  
 矢嶋信男『常微分方程式』（岩波書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
原子核物理学	なが い よし のり 永 井 喜 則	短放2必	2

講義のねらい

放射線物理学で学習した内容を基礎とし、原子核と放射線に関する講義を行う。特に $\alpha$ ・ $\beta$ 壊変と $\gamma$ 線放射は、今後、放射性同位元素の応用を考える上での基礎となるものである。正確な理解をすると共に、他の科目との関連を意識しながら受講すること。

講義の内容・授業スケジュール

1. 原子核の性質（構成粒子、質量、結合エネルギー、核力、核模型、磁気モーメント）
2. 放射性壊変（放射能、 $\alpha$ ・ $\beta$ ・ $\gamma$ 線、壊変図）
3.  $\alpha$ 壊変（ $\alpha$ 線のエネルギー、ガイガーヌッタルの法則、トンネル効果）
4.  $\beta$ 壊変（ $\beta^-$ 壊変、 $\beta^+$ 壊変、 $\beta$ 線のエネルギー、電子捕獲、カリブプロット）
5.  $\gamma$ 線放射（ $\gamma$ 線の角運動量、核異性体、内部転換、メスバウアー効果）
6. 核反応（核反応の種類、Q値、しきい値、核反応断面積、複合核、光核反応）
7. 中性子（中性子の性質、中性子発生源、エネルギーによる分類）
8. 原子炉（核分裂と放出エネルギー、中性子の減速、原子炉の構造、中性子捕捉療法）

履修上の留意点

講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするように心がけてほしい。講義の後には、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験以外に中間試験を2回行い、その結果から成績を評価する。出席は重視する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

上原周三著『放射線物理学』（南山堂） 田島英三著『原子核物理概論』（地人書館）

その他

授業の中では演習問題も出題する。電卓を用意しておくこと。

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射化学	やま ちと ゆう すけ 山 本 裕 右	短放2必	2

講義のねらい

診療放射線技師として必要な放射性同位元素の化学について学ぶ。  
本講義では、すでに1年次に学んだ「放射化学序論」および「放射線物理学」、さらに2年次で並行して学ぶ「原子核物理学」で得た、化学的、物理的知識を基に、放射性同位元素の化学について解説する。またここで学ぶ事柄は、3年次の「実験ⅢC」を履修するための必要不可欠な学問的基礎となるものであると同時に、「核医学検査技術学」、「放射線管理学」に必要な放射化学的知識の基礎となるものである。  
なお、診療放射線技師国家試験科目として「放射化学」がある。

講義の内容・授業スケジュール

- 上記の観点から以下の内容について講義する。
1. 天然に存在する放射性同位元素
  2. 放射能、放射壊変および壊変則
  3. 放射平衡
  4. 放射性同位元素の製造
  5. 放射性同位元素の分離、精製
  6. 放射能を利用する分析法
  7. 放射性標識化合物の合成法

成績評価の方法

中間試験、学年末試験および平常点により評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

データブックとして 日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会）1,600円＋税を使用する。講義には必ず持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
電 子 工 学	すぎ た とおる 杉 田 徹	短放 2 必	2

講義のねらい

電子工学の主役は「電子」である。電子工学はまず電子の挙動を制御する素子の理解に始まり、その展開上に回路技術を習得する。現在、電子工学は医療分野に於ける基礎技術として考えなければならない。そのような観点から、次に掲げる項目に従い講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. 電子の性質
2. 場との相互作用
3. 素子への展開と周辺技術
4. 基礎的な回路技術
5. 電子応用機器の概論

履修上の留意点

時間的制約があり概論的な講義になるが、基本的な知識の修得を心掛けて欲しい。

成績評価の方法

中間試験、定期試験、出席状況により成績評価を行う。

教 科 書

宇佐美晶、曾根福保共著『テキストブック・電子工学概論』（日本理工出版会）2,500円

そ の 他

国家試験該当科目である。

放射線科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 機 器 工 学	なか きた つね お 中 北 倫 男	短放 2 必	2

講義のねらい

診療用 X 線発生装置および X 線映像装置の構成、構成要素の構造、機能、特性、装置の動作原理、動作特性などについて学び、装置を取り扱うための基礎知識を身に付ける。

講義の内容・授業スケジュール

X 線発生装置は、X 線管部、直流高電圧発生部および制御部などから構成される。直流高電圧の発生形式により、自己整流式、単相ならびに三相全波整流式、インバータ式およびコンデンサ式などの種別がある。また X 線映像装置として X 線 TV 装置とミラーカメラ装置がある。前期は X 線管装置から単相ならびに三相全波整流式 X 線装置について講義し、後期はインバータ式、コンデンサ式および自己整流式 X 線装置と、X 線 TV 装置およびミラーカメラ装置ならびにこれら装置に関わる自動制御について講義する。

履修上の留意点

X 線発生装置は、高電圧応用機器の一種でさまざまな技術要素を内包する。また X 線映像装置はエレクトロニクスと光学の応用機器である。

したがって、この教科をよく理解するには、電気工学、電子工学、物理学、化学などを併せ履修することが望ましい。

教科の内容については、基本的事項を理解し身に付けることが第一で、さらに、原理や特性のほか、因果関係・論理の筋道を重視したい。

成績評価の方法

年度内に行う試験（中間試験、定期試験）および出席状況により評価する。

教 科 書

青柳泰司ほか著『改訂 放射線機器工学 (I) X 線診断機器』（コロナ社）5,900円、内容の誤りや誤植がいくつかあるので、講義の中で指摘訂正する。

参 考 書 等

岡部哲夫ほか編『放射線診断機器工学』第 2 版（医歯薬出版株式会社）5,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像工学 (前期)	たかのまさお 高野正雄	短放2必	1

講義のねらい

医用画像形成システムに使われている画像情報の理論を理解し、画質の解析と評価、画像の処理、医療画像情報システム等に関する知識を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 医用画像情報の役割
2. X線画像の形成  
アナログとデジタル画像
3. Fourier 変換
4. 画質の評価  
入出力特性、解像特性、ノイズ特性、DQE、ROC
5. デジタル画像の処理  
ファイル、フィルタリング、実際に使用されている処理
6. 医療画像情報システム  
PACS、RIS、HIS、Tele-Radiology

履修上の留意点

講義の内容が多いので、自習を心がけてください。

成績評価の方法

レポート、定期試験の総合点。

教科書

桂川茂彦編『医用画像情報学』(南山堂) 3,300円

参考書等

必要となる資料はプリントを配布します。

その他

理解を深めるために、演習を行います。欠席しないように。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画 像 技 術 学	にし お せい じ 西 尾 誠 示	13以降入学生/短放2必	4

講義のねらい

画像技術学はX線解剖学や基礎的な画像工学を元にした幅広い分野から構成される。体表解剖、解剖・生理を裏付けとした整位、及び理論的な撮影条件を始めとして臨床画像の評価まで含めて講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- ①X線撮影の基礎的知識
- ②頭部の撮影技術
- ③側頭骨・聴器の撮影技術
- ④副鼻腔・眼窩・顔面の撮影技術
- ⑤椎骨の撮影技術
- ⑥胸郭その他の骨の撮影技術
- ⑦四肢骨の撮影技術
- ⑧胸部の特殊性と胸部撮影の理論
- ⑨胸部撮影技術と画像
- ⑩腹部の特徴とその撮影技術
- ⑪乳腺・軟X線撮影の理論と技術
- ⑫上部消化管検査の技術
- ⑬小腸・大腸の検査について
- ⑭肝・胆・膵の画像検査について
- ⑮泌尿器系の画像検査について
- ⑯心臓・大血管及び冠動脈の検査について
- ⑰腹部の血管造影検査について
- ⑱脳神経系の画像検査について
- ⑲小児科領域の撮影技術

放射線科

履修上の留意点

講義はPower Pointを用いるが、必ずノートをとること

成績評価の方法

定期試験及び中間試験が基準であるが、各自の学習意欲、授業態度も採点に加える。

教科書

稲本一夫編『放射線画像技術学』（医歯薬出版）4,800円

参考書等

『診療画像技術学』（日本放射線技術学会出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線計測学	あおき きよし 青木 清	短放2必	2

#### 講義のねらい

放射線にはいろいろな種類があり、物質との相互作用もそれぞれ異なっている。さらに、同じ種類の放射線であっても、エネルギーにより振るまいが異なる。このような多様な放射線を計るため、たくさんの検出器が考案されている。正確な測定を行うにはこれらの検出器を目的に応じて使い分けることが大切である。本講義ではこれらのことを念頭に置いて、代表的な検出器の動作原理と特徴、ならびに測定結果の評価法を学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期)  
 (1)放射線の検出原理 (2)放射線検出器の全体像と分類  
 (3～5)電離箱型検出器の基本原理と特性 (6・7)電離箱型検出器の出力回路と動作モード  
 (8～10)各種電離箱型検出器の原理と特徴 (11～13)電離箱型検出器による線量計測  
 (後期)  
 (14～18)各種計数管 (GM、比例、シンチレーション計数管など)の原理と特性  
 (19～21)パルス計測の基本と応用 (22～24)計測データの統計処理  
 (25・26)半導体検出器の原理と応用

#### 履修上の留意点

講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするよう心がけてほしい。講義の後には短時間でも必ず復習を行うこと。

#### 成績評価の方法

中間試験、定期試験ならびに出席状況により評価する。

#### 教科書

教科書は使用しない。

#### 参考書等

『放射線計測学』(南山堂)2,800円、『放射線計測学』(オーム社)4,700円、『放射線計測学』(コロナ社)5,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
関係法規(後期)	いちもり としひろ 一守 俊寛	13以降入学生/短放2必	2

#### 講義のねらい

法律上、放射性同位元素及び放射線発生装置に関しては放射線障害防止法により、診療用放射線装置に関しては診療放射線技師法により、放射性医薬品に関しては医療法・薬事法によって規制される。しかしながら、保護法益、取扱いの態様等により更に電離放射線障害防止規則等により規制される。法令で定められている事項を正確に把握するには相当な努力が要求される。整理・関連性等を重視し効率的な理解を日論む。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- \*関係する各種法令の体系的な把握
- \*各法令での定義、規制に関する共通・特異性のある事項の抽出
- \*管理技術との関連性に着目して法令条項の理解度を増大させる。
- \*数値的規制が与えられている項目についての整理と数値の意味の把握
- \*係わる各種業務に対応した法令の把握
- \*想定される各種実務に対する整理された法令の理解・把握

#### 履修上の留意点

国家試験該当科目「放射線管理学」に対応し、基本的事項を確実に把握するよう心掛けて欲しい。

#### 成績評価の方法

出席率、定期試験により評価する。

#### 教科書

医用放射線科学講座4『放射線安全管理学』(医歯薬出版KK)4,000円 配布資料

#### 参考書等

日本アイソトープ協会  
 『医学における放射線の防護と安全』 ICRP Publication73 2,400円  
 『医療放射線防護関係法令集』1,900円  
 『放射線障害の防止に関する法令』概説と要点 1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 II A	西尾 誠示・氏家 盛通 谷口 貴久・原 昌代 吉川 達生	短放 2 必	実験 II (II A～II E) 7

講義のねらい

X線装置等を用い、実際に人体ファントムを撮影する。実際の検査手順と体表解剖学を踏まえた撮影手技を学び、撮影法と得られた画像の関係について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①頭部 X 線撮影法  
頭部ファントムを用い、頭部の撮影法を学ぶと共に、頭部の画像解剖を理解する。
- ②耳鼻科領域の撮影法  
頭部ファントムを用いて副鼻腔及び聴器の撮影法を学び、画像解剖を理解する。
- ③椎骨、骨盤の X 線撮影法  
頸椎、腰椎骨盤ファントムを用い、頸椎、腰椎の撮影技術を習得する。
- ④側頭骨 X 線撮影法  
頭部ファントムを用いて聴器の撮影法と画像解剖を理解する。
- ⑤四肢骨の撮影法  
手関節、肘関節、膝関節、足関節のファントムを用い、撮影技術を習得する。
- ⑥胸部の撮影技術と感光材料  
胸部ファントムを用い、胸部の撮影手技を学び最適な撮影条件と検出系を選択する。
- ⑦乳腺の X 線撮影 (Mammography)  
乳房用 X 線装置、乳房ファントムを用いて照射条件毎の画像の変化を評価する。撮影に用いる機器類、感光材料から軟線撮影の特殊性を理解する。
- ⑧胃造影検査法  
X 線 TV 装置の操作法を習得するとともに、造影剤とファントムを用い透視・撮影法を学ぶ。特に体位と画像評価について学ぶ。
- ⑨X 線 CT 検査法  
X 線 CT 装置の原理と構造を理解し、ファントムを用いた検査手技、撮像法を習得する。
- ⑩超音波検査法  
超音波診断装置を使用し、ファントムと生体にて超音波の原理と撮像技術を学ぶ。
- ⑪CR の取扱法と画像処理  
上記の実験と平行して CR (コンピュータッド・ラジオグラフィ) 装置の原理・構造と基礎的な画像処理について学ぶ。

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。

成績評価の方法

定期試験、学習意欲、レポート・試問について総合的に判定する。

教 科 書

実験マニュアルを配布する。参考：稲本一夫編『放射線画像技術学』(医歯薬出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験ⅡB	<small>こやま</small> 小山 <small>まさき</small> 正希・ <small>さとう</small> 佐藤 <small>まさのり</small> 昌憲 <small>なかにし</small> 中北 <small>つねお</small> 倫男	短放2必	実験Ⅱ (ⅡA～ⅡE) 7

#### 講義のねらい

実際に放射線を測定することで、検出器を含む計測系の放射線応答から放射線についての知識の確認をすることを主眼とする。その題材として、ここでは診断用 X 線発生装置からの制動 X 線の実効エネルギー、エネルギー分析のためのパルス波高選別の基礎的手法、診療に用いられる放射線場測定の主たる検出器である電離箱の基本特性、計数管型検出器のパルス計数処理の基本である統計処理の基礎的手順などを取り上げて実験し、考察する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

実験項目は次の通りである。

- 1) 制動 X 線の実効エネルギーの測定。  
連続エネルギー分布である制動 X 線を実効的に代表する単一なエネルギー値に置き換える。
- 2) シングルチャンネル波高分析器によるエネルギー分布測定。  
シンチレーション型プローブを用いて  $\gamma$  線のエネルギー分布測定のためのパルス波高分析の基礎的手法を学ぶ。
- 3) X 線による物質の2次電子平衡厚の測定。  
2次電子平衡の概念を理解する為に、 $^{60}\text{Co}$  線源によって電離箱壁厚を変化させた時の出力応答を測定する方法により求める。同時に電離電流出力の飽和特性などの電離箱型放射線検出器の基本特性を求める。2次電子平衡の概念は、吸収線量率や照射線量率の概念形成にきわめて重要な係わりがあることを確認する。
- 4) GM 計数管の基本特性と計数の統計。  
最も普遍的な計数管である GM 計数管の基本的応答特性と得られる計数率の統計処理の基礎を学ぶ。GM 計数管の分解時間と電子回路系の弁別レベルとの関係、ダブルパルス分解能、プラトー特性の意味、印加電圧レベルの与える効果、実測された計数率から確からしい値を得る方法などの計数率の統計を学ぶ。

#### 成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況、定期試験によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 II C	杉田 徹・青木 清 川副 謙・木村 登 吉田 正廣	短放2必	実験Ⅱ (ⅡA～ⅡE) 7

講義のねらい

電気電子工学分野の実際を経験する。数人のグループ構成で行うものと、各自が行うものがある。

講義の内容・授業スケジュール

下記の項目について実験を行う。

1. 直列共振・並列共振
2. 電磁誘導回路
3. RC回路
4. 三相12ピーク整流回路
5. コンデンサの充放電
6. 整流回路
7. 半導体素子
8. 集積回路
9. パーソナルコンピュータⅠ
10. パーソナルコンピュータⅡ

放射線科

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと。  
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験、出席状況を加味して評価する。

教科書

『実験書』（授業の時に配布）

その他

パーソナルコンピュータの実験は総合情報センターで行う。  
前期、後期のはじめにガイダンスを行うので必ず出席のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 II D	杉田 徹・青木 清	短放2必	実験Ⅱ (ⅡA～ⅡE) 7

講義のねらい

電気工学分野の実際を経験する。数人のグループ構成で行う。下記の項目について実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

1. コンデンサの充放電特性
2. 直、並列共振（共振現象の基礎知識を得る）
3. 交流ブリッジ（インダクタンス、キャパシタンス）
4. R-C回路（インピーダンスとベクトル）
5. 整流回路（整流と平滑、定電圧回路）
6. 変圧器（電磁誘導、巻数比と電圧比）
7. 三相12ピーク整流回路（多相整流）
8. 高電圧発生回路（倍電圧、コッククロフト回路）

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと。  
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験、出席状況を加味して評価する。

教科書

『実験書（IIC・IID・IIIB）〔第五版〕』

その他

前期、後期の初めにガイダンスを行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験ⅡE	<small>かしお</small> 榎尾 <small>えいじ</small> 英次・ <small>いちもり</small> 一守 <small>としひろ</small> 俊寛 <small>はら</small> 原 <small>さきよ</small> 昌代・ <small>なかま</small> 中北 <small>つお</small> 倫男	短放2必	実験Ⅱ (ⅡA～ⅡE) 7

#### 講義のねらい

放射線機器工学で学修する理論を、実験を通じて理解させることに主眼を置き、併せて各種装置・機器の取扱法を習熟させることを目的としている。眼底カメラについては、眼底写真の撮影法を実習し、後日眼科医による臨床講義を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

実験を遂行する上で必要な説明を加えながら、以下のテーマについて実験を行う。

- 1) X線管焦点寸法の測定
- 2) X線管電圧、X線管電流の測定
- 3) 眼底カメラによる眼底写真撮影
- 4) 撮影時間の測定
- 5) インバータ式X線装置の特性
- 6) X線CT装置によるファントム測定

#### 履修上の留意点

実験は結果の修得のみを目的として行うものではなく、あくまでも関連する理論の学修を助け、より確実な知識の修得を図る目的で設置された科目である。実験中はすでに学修済みの内容の確認、理論との間に生じる問題点などの把握に心掛けてほしい。

報告書（レポート）の作成に当たっては、所定の書き方によるのは当然であるが、書かれている内容を理解することが最も重要であることを認識してほしい。報告書の提出時の試問は、記載内容の理解度を確認し、評価するために行っているもので、理解度が極めて低い場合には再提出を求めることがある。

#### 成績評価の方法

実験態度、報告書、試問、中間試験および定期試験などの結果によって総合評価する。

#### 教科書

配布プリントを使用する。

#### 参考書等

『JISハンドブック 39放射線（能）』最新版（日本規格協会）

#### その他

実験科目の単位取得には所定のテーマを全て終了することが必要で、やむをえない理由により欠席した場合は、追実験を受けなければならない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
病院実習 I	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	13以降入学生/短放2必	4

講義のねらい

病院実習は指定規則により、診療放射線技師国家試験受験資格所得のための必須科目です。2学年期末までの履修科目や実験で修得した基礎知識が、実習病院ではどのように応用されているかを知ると共に、実習指導者等による臨床の場での指導により研修し、将来の診療放射線技師としての資質を養う機会となる。特に学内では経験できない患者接遇のあり方など意義深いものがある。また学内での学習で不足していた点などに気づき、その後の学習意欲へつながることが多い。病院実習に先立って、実習ガイダンスを担当教員と、実習病院の実習指導者などによって学内で学習する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 病院実習の目的、実習手続上必要な書類と記入方法。
- (2) 各実習病院の施設説明。実習生の実習病院希望調査。実習要項の説明。
- (3) 実習病院の決定。実習報告書についての説明。
- (4) 病院実習のための知識。病院の組織と業務や病院の機能について。
- (5) 患者待遇と患者心理について。
- (6) 病院実習における実習上の心得。
- (7) 実習病院の実習指導者による実習項目別ガイダンス。
  - a. 一般撮影系
  - b. 透視撮影系
  - c. 血管造影検査系
  - d. X線CT検査系
  - e. 救急検査系
  - f. 超音波・MR検査系

放射線科

履修上の留意点

実習中は、医療人としての自覚をもち言葉使いや身だしなみには十分注意することが大切である。

成績評価の方法

実習病院からの実習成績評価報告書と実習生が提出する実習報告書・調査書等を参考として決定する。

教科書

病院実習要項・専門教育科目教科書参考書

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線医学概論(後期)	はち や じゅん いち 蜂 屋 順 一	13以降入学生/短放3必	1

講義のねらい

さまざまな放射線診断学の手法と役割を学ぶことを目的とするが、その前段階として解剖学的事項も詳述する。

講義の内容・授業スケジュール

中枢神経系、胸部、腹部、骨盤部、骨関節、その他

履修上の留意点

画像診断、解剖学、病理学、基礎的な臨床医学の知識を関連させながら学ぶ。

成績評価の方法

定期試験

教科書

教科書は使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
機器制御工学(前期)	青木 清	13以降入学生/短放3必	2
自動制御工学(前期)		12以前入学生/短放3必	

講義のねらい

近年の医用装置は自動化が進んでおり、これを使いこなすには自動制御の考え方を理解しておくことが大切である。ここでは自動制御の基礎的な理論を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. (1) 自動制御の概要 (自動制御の意味と種類、目標値、制御対象、制御量)
2. フィードバック制御
  - ① (2) ラプラス変換とラプラス逆変換
  - ② (3~5) 制御系の構成 (基本的構成と種類、サーボ機構、ブロック線図、伝達関数)
  - ③ (6, 7) 動作特性 (過渡特性、インディシャル応答、定常特性、定常偏差)
  - ④ (8) 周波数特性 (周波数伝達関数、ベクトル軌跡、ボード線図)
  - ⑤ (9) 安定判別 (ナイキストの安定判別法、ゲイン余有、位相余有)
3. シーケンス制御
  - ① (10) 基本素子 (命令スイッチ、検出スイッチ、電磁リレー)
  - ② (11, 12) リレー回路 (自己保持回路、AND 回路、OR 回路、NAND 回路、NOR 回路、論理図)
  - ③ (13) 基本回路 (優先回路、禁止回路)

履修上の留意点

講義の後は、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験により成績評価を行う。出席は重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

柳瀬著『自動制御の入門』(東京電機大出版局)、深海・藤巻監『制御工学』(東京電機大出版局)

その他

自動制御に関する実験を実験ⅢBにて行う。実験の内容も良く理解しておくこと。

放射線科



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医用機器工学(後期)	かし 櫃 尾 英 次	13以降入学生/短放3必	1
		12以前入学生/短放3必	2

講義のねらい

画像診断機器の中のMRイメージング装置を講義する。また、加速器については放射線治療に用いられる線形電子加速器を重点に講義し、その他の加速器、サイクロトロンやマイクロトロン等についてもその概要を講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半にMRイメージング装置、後半に加速器を学修する。

第1回核磁気共鳴の物理的原理

第2回スピネコー法

第3回MR画像形成の原理

第4回MRイメージングシステムの概要

第5回MRイメージングの諸特性

第6回加速器の概要

第7回線形電子加速器、進行波型加速管の加速方法

第8回パルス変調器、偏向マグネット、真空装置および水冷装置

第9回照射ヘッド、定期点検、線形陽子加速器

第10回サイクロトロン、シンクロトロン、マイクロトロン

第11回MRイメージング装置関連の演習

第12回加速器関連の演習

履修上の留意点

放射線物理学、原子核物理学などで、MRイメージングおよび加速器に関連のある項目について予め復習しておくこと。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。

参 考 書 等

実験物理学講座28『加速器』(共立出版(株))

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射性同位元素応用機器工学(前期)	こ やま まさ き 山 正 希	短放3必	2

講義のねらい

2年次における放射線計測学を基礎として、更に中性子計測・電子線計測・個人被曝線量計測について検出系の検出原理、応答特性、実測上の問題点などについてそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 中性子計測の全体像。  
中性子の計測は、それが間接電離粒子であるという理由と荷電粒子への変換過程が光子ほどの普遍性がないことなどによって、他の放射線の計測に比較して未発達であると言える。従って計測系は種々の方法に分散している状況にある。ここでは現状での考え方を整理して中性子計測理解の一助とする。
- 2) 中性子検出の原理  
中性子の検出には荷電粒子変換物質を選択利用するのが一般的である。ここでは変換物質の種類とその目的に応じた選択・利用法について学ぶ。
- 3) 電離箱によるもの。  
変換された荷電粒子を電離箱で測定する方法について見る。
- 4) 計数管によるもの  
計数管を用いて変換荷電粒子を測定する際の得失を見る。
- 5) 半導体検出器によるもの。  
半導体検出器を利用する意味を把握する。
- 6) 核反応を利用した箔物質による測定法
- 7) 中性子線量測定
- 8) 電子線の測定と検出器
- 9) 個人被曝管理用検出器の原理と実際。  
電離箱式・TLD・ガラス線量計・エキソ電子線量計・エレクトレット線量計など。  
計測学は計測器による計測値を如何に評価するかの問題を常に含んでいる。アンフォールディング処理などもその一環であるが最も基本となるのは計測値の確度であり、従ってトレーサビリティを常に念頭に置く必要がある。ここではこれらの点についても考える。

放射線科

成績評価の方法

定期試験の他、随時おこなう中間試験、出席状況などにより評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画 像 情 報 学 (前 期)	にし 西 尾 誠 示	13以降入学生/短放3必	1
		12以前入学生/短放3必	2

講義のねらい

X線像、CT像を用いて臨床画像を主体に講義を行う。学生は実際の臨床写真を観察し、その伝達理論と画像評価を習得すること、更に最低限正常像の画像の解説ができることが望ましい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①画像情報概論
- ②画像形成に影響を与える因子と画質の評価尺度
- ③胸部の画像について  
X線画像の最適化、CT画像を加えて立体的な画像解剖を学ぶ。
- ④腹部領域の画像  
診断目的に応じた画像技術と画像解剖。CT画像との対比。
- ⑤乳腺X線画像の評価  
軟線と画質、アナログとデジタル画像の比較
- ⑥頭部の画像評価  
頭部単純写真、CT像、MR像の画像評価の基礎
- ⑦消化管造影像の評価
- ⑧椎骨の画像評価
- ⑨四肢骨の画像評価

放射線科

履修上の留意点

講義はPower Pointを用いるが、必ずノートをとること。

成績評価の方法

定期試験を基準にするが、各自の学習意欲、授業態度も採点に加える。

教科書

稲本一夫編『放射線画像医学』（医歯薬出版）3,800円

参考書等

臨床画像入り講義用CD、及びプリント

その他

授業は講義形式であるが、内容により質問あるいは意見を求める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
核医学検査技術学 放射性同位元素検査技術学	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	13以降入学生/短放3必	2
		12以前入学生/短放3必	

#### 講義のねらい

検査技術学は、放射線医学のひとつである核医学部門の検査技術学である。核医学は医学・理工学・薬学の諸分野と緊密に結びつき、それぞれの進歩とともに発展してきた専門分野である。疾病の診断のために放射性医薬品を利用して、病態生理、生化学的な代謝と機能状態を核医学検査機器にて行う検査法である。

これらの検査法は測定の対象に従って、生体の測定（患者検査）および医学試料の測定（血液・糞尿など）に大別される。これらは放射性医薬品を生体内に投与するもの（インビボ法）と投与しないもの（インビトロ法）の2種類となる。核医学検査法に関する放射性医薬品、試薬キット類、検査機器、検査手技などについて講義する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 核医学検査概論、検査装置、機器、放射性医薬品概論、放射性医薬品の体内集積機序。
- (2) 医薬品ジェネレータ、薬剤管理、検査法概論、シンチグラフィ概論。
- (3) 検査法前処置、放射性医薬品投与法、画像処理の基本概念、RI動態検査法。
- (4) RI動態検査データ解析法、臓器摂取・代謝機能測定法・RI動態機能検査装置。
- (5) RI試料測定装置、ポジトロン断層装置・ヒューマンカウンタ。
- (6) インビボ検査各論、脳神経系シンチグラフィ。
- (7) 脳循環動態計測、甲状腺摂取率測定・シンチグラフィ。
- (8) 甲状腺癌・副甲状腺・副腎皮質・髄質シンチグラフィ。
- (9) 肺血流・肺換気・肺吸入シンチグラフィ、心筋シンチグラフィとデータ解析法。
- (10) 心プールシンチグラフィ、心機能データ解析法、末梢循環・血栓・脾シンチグラフィ。
- (11) 腫瘍・炎症・リンパ節シンチグラフィ。
- (12) ヘパトグラム、肝血流測定法、メッケル憩室、消化管出血、唾液腺シンチグラフィ。
- (13) VB12吸収試験、蛋白漏出試験、腎・腎動態シンチグラフィとレノグラム。
- (14) 循環血液量・血漿量・血球量測定・鉄代謝・赤血球寿命測定。
- (15) インビトロ検査概論。インビトロ放射性医薬品・検査法の原理・B/F分離法
- (16) 測定試薬、基準値、精度管理、インビトロ検査の臨床的意義。

放射線科

#### 履修上の留意点

病院実習Ⅱでは、核医学検査技術学の実習が50%を占めているので相互理解を深めるように努めること。

#### 成績評価の方法

中間試験・定期試験の結果および出席状況による。

#### 教科書

『最新核医学検査技術』（メディカルビューン）5,000円

#### 参考書等

『核医学検査技術学』（オーム出版局）5,500円  
『核医学』（医歯薬出版）3,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線治療技術学	たが やま まこと 高 山 誠	13以降入学生/短放3必	4
		12以前入学生/短放3必	2

#### 講義のねらい

前半では癌治療における放射線治療の役割や意義を中心とした放射線治療概論について講ずる。

放射線の人体に対する影響などの放射線生物学や実際の臨床に用いられる放射線治療機器について解説を行い、放射線治療の計画と実技、線量分布や照射方法（外部照射、密封小線源治療等）の総論的項目について考える。

また後半では各疾患別の放射線治療について各論的項目を検討していく。

#### 成績評価の方法

授業出席、受講態度などと定期試験による。

#### 教科書

村上晃一著『放射線治療技術』  
立入 弘監修『診療放射線技術』下巻 改訂第5版

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線管理学(前期)	いちもりとしひろ 一守俊寛	13以降入学生/短放3必	1
		12以前入学生/短放3必	2

講義のねらい

放射線防護の観点からは、人間の被曝を伴う諸活動に対して適切に安全な諸条件を作り上げ維持することが重要であり、そのための基本的な理念と指針を与えている「国際放射線防護委員会(ICRP)の勧告」の概要について理解し、放射線計測・線量測定技術に支えられた放射線・放射性物質の取扱・管理についての知識を修得することを目的としている。また、国内法令による管理基準との関係について注意を要する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 基本的な概念
- 2) 放射線生物学上の考察
- 3) 線量制限の体系と放射線防護体系
- 4) 放射線防護実施の一般原則
- 5) 職業上、医療上の被曝
- 6) 放射線モニタリング技術
- 7) 被曝計測評価
- 8) 個人被曝管理
- 9) 放射性同位元素の管理と取扱
- 10) 放射線遮蔽

放射線科

履修上の留意点

学術面よりも実務上で役立つことを重視する。《関係法規》の知識と関連させた視点で理解するよう心掛けて欲しい。

成績評価の方法

定期試験、出席状況により評価する。

教科書

医用放射線科学講座4『放射線安全管理学』(医歯薬出版 KK) 4,000円  
配布資料

参考書等

日本アイソトープ協会  
『国際放射線防護委員会勧告』ICRP Publication26  
『国際放射線防護委員会の1990年勧告』ICRP Publication60 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学演習(後期)	にしおせいし 西尾誠示	短放3必	2

講義のねらい

放射線科の課程全科目の理解を深めることを目的とし、総合的な評価が行われる。即ち学生が診療放射線技師として最低限必要な知識を習得し、日常業務を遂行するに耐える能力、学力を身につけることをこの授業の目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

専門科目に応じてそれぞれ担当教員が講義を行うが、学生が主体となって教員支援のもとに国家試験対策を強化してゆく。ゼミ形式の学習体制をつくり、学生の能力、到達度に応じた指導を行う。

履修上の留意点

到達点に達しない学生は特別講義の受講と学内自習を課す。

成績評価の方法

1月、2月に行う定期試験を基準にするが、9～12月の知勇監視県も参考にして評価する。

教科書

『診療放射線技師国家試験対策全科(第16年度版)』(金芳堂) 8,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験ⅢA	小山 正希・佐藤 昌憲 羽生 毅	短放3必	実験Ⅲ (ⅢA～ⅢD) 5

講義のねらい

放射能の測定手順・放射能測定計測系の機能・放射線治療を念頭に置いた吸収線量測定の概念と実測技術の基礎を把握する。

講義の内容・授業スケジュール

主として行なわれる実験題目とその概要は次の通りである。

- 1) 吸収線量の測定。  
高エネルギー放射線による治療では人体組織に対する吸収線量の附与レベル決定がきわめて重要な因子である。ここでは $^{60}\text{Co}$ 線源を用いて、指頭型電離箱と樹脂ファントムの組合わせによる吸収線量測定の基礎的手順を学ぶ。 $^{60}\text{Co}$ 線源に対する照射線量率定数・指頭型電離箱の特性と使用法・線源-ファントム-電離箱の幾何学的位置関係の効果・吸収線量率値とファントム厚さとの関係などに注意する必要がある。
- 2) フィルムによる放射線場の測定。  
計測器としてのフィルムは実時間(リアルタイム)応答の計測器では容易に得ることのできない特性を持っている。ここでは $^{60}\text{Co}$ 線源を使用して、照射線量分布・肺近以不均等物質での深部線量百分率補正などの実測手順を学ぶ。
- 3) 半導体検出器による $\alpha$ 線の測定。  
表面障壁型半導体検出器を使用して $\alpha$ 線による波高分布を測定する。逆方向電圧による電荷集収率・エネルギー分解能などへ与える効果、空乏層との関係を中心として学ぶ。
- 4) GM計数管による線源の $\beta$ 壊変率測定。  
GM計数管を検出器とする比較的簡単な測定装置を用いて線源の壊変率を求める手順と、その補正の考え方を学ぶ。  
実験で取上げる項目は少ないものであるが、各々の知識が実際にはどの様に係わり、結果に影響してくるかを実感して欲しい。

放射線科

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況、随時おこなう中間テストなどにより評価する。

参考書等

放射線学会編『吸収線量の標準測定法』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 Ⅲ B	あわぎ 青木 ながい 永井 きよし 清 よしのり 喜則 すぎた 杉田 とわら 徹 なまき 昌代	短放3必	実験Ⅲ (ⅢA～ⅢD) 5

講義のねらい

自動制御に関する基礎的実験を行うことにより、放射線機器で使用されている自動制御機構についての理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記の項目について実験する。

1. フィードバック制御Ⅰ (二次遅れ要素および基本的な自動制御回路について、過度特性、定常特性、安定性、周波数特性を測定し、理論との比較を行う。)
2. フィードバック制御Ⅱ (自動電圧調整器について実験し、電圧調整特性、定常偏差、整定時間、インディシャル応等と増幅部特性との関係について調べる。)
3. シーケンス制御Ⅰ (エックス線撮影用ホトタイマの模擬装置を使用し、装置構成要素である積分器、比較器、NOR回路、ソリッドステートリレー等の特性を測定する。)
4. シーケンス制御Ⅱ (各構成要素をつなぐことによりホトタイマを組み上げ、その制御特性を種々の条件の条件で測定する。)
5. コンピュータ制御Ⅰ (パソコンにAD変換器をつなぎ、その制御プログラムを作成する。)
6. コンピュータ制御Ⅱ (AD変換器とデジタル入出力ボードにより温度の制御を行う。)
7. コンピュータ制御Ⅲ (パーソナルコンピュータを組み立て、構造を調べる。)

履修上の留意点

実験の前に実験内容を予習し、必要となるグラフ用紙や電卓などを用意しておくこと。自動制御の理論については「自動制御工学」で講義する。実験の前に講義の復習もしておくこと。

成績評価の方法

実験の実施状況、実験レポート、定期試験により成績評価を行う。

教 科 書

『実験書 (ⅡC・ⅡD・ⅢB) 第五版』

そ の 他

一つのテーマについての実験を3～4人のグループで実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験ⅢC	<small>やまもと</small> 山本 <small>ゆうすけ</small> 裕右 <small>はらた</small> 原田 <small>かずまさ</small> 和正 <small>むらかみ</small> 村上 <small>まろひこ</small> 雅彦	短放3必	実験Ⅲ (ⅢA～ⅢD) 5

講義のねらい

主として放射化学領域における実験を行う。  
 本実験では、2年次に学んだ「放射化学」、「放射線計測学」での知識を基に、放射性核種の製造、放射平衡、放射化学的分離法について実験を通して学ぶ。また、マルチチャンネル波高分析器によるガンマ線スペクトルおよびその経時変化を測定し、半減期ならびに放射性核種純度を測定する。本実験は、3年次で並行して学ぶ「放射線管理学」の実践の場でもある。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の項目について実験を行う。
- 99m-Tcのミルキング
    - コールドラン
    - ホットラン：99-Moの製造、溶媒抽出法による99m-Tcのミルキング、ガンマ線スペクトルの測定、半減期の測定  
 ホットランは学外実習として行う。
  - マイクロピペットの検定（重量法、吸光度法）
  - フリッケ線量計による吸収線量の測定（線量計の調製、線量測定）

履修上の留意点

非密封放射性同位元素は医学、化学、生物などの研究においてきわめて有用な情報を我々に与えてくれるものであると同時に、放射能汚染や被曝の問題など、危険な側面ももっている。従って、実験に対する準備を十分におこない、事前に実験操作、手順を理解しておくと同時に取り扱う放射性同位元素の性質を熟知しておくことが必要である。

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教科書

実験プリント

参考書等

日本アイソトープ協会編 『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会） 1,600円＋税

放射線科



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 Ⅲ D	<small>かお</small> 榎尾 英次・ <small>うじい</small> 氏家 盛通 <small>こばやし</small> 小林 久夫・ <small>こんどう</small> 近藤 啓介 <small>たかの</small> 高野 正雄	短放3必	実験Ⅲ (ⅢA～ⅢD) 5

講義のねらい

核医学検査技術学、医用機器工学、画像処理および放射線計測学に関連するテーマについて実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

主な実験テーマは次の通り。

- 1) ガンマカメラの性能評価  
ガンマカメラの均一性・分解能・直線性などの基本性能試験を行う。
- 2) ポジトロン同時計数測定  
PETの基本的な実験として、ポジトロン核種を用いた同時計数の実験を行う。
- 3) 超音波の各種特性の測定  
超音波装置を使用して、超音波が水中を伝播中に生じる反射、散乱、減衰などの特性と装置の主要な性能を測定する。
- 4) マルチチャンネル計測法  
マルチチャンネル波高分析器を使用して、未知の核種を測定し、そのデータより核種を同定する。
- 5) X線CT装置による画像処置  
X線CT装置を使用して水ファントム、校正用ファントムを測定する。このデータを画像処理し、結果を表示させる。
- 6) ガンマカメラの各種撮像法  
ガンマカメラで静止画像・全身画像・SPECT画像の撮像実験を行う。
- 7) C言語による画像処理  
サンプルの画像データを使用して、濃度ヒストグラムの作成、階調表示および空間フィルタリング等について画像処理を行う。
- 8) FCRによる画像処理と画質  
前期は撮影管電圧、撮影X線線量の変化と階調処理、後期は“ボケマスク処理法”による空間周波数処理を行い画質との関係を調べる。

履修上の留意点

あらかじめ実験ガイダンスを行うので、実験の前に予習しておくこと。

成績評価の方法

報告書と中間試験および定期試験により評価する。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。

そ の 他

実験科目の単位取得には所定のテーマを全て終了することが必要で、やむをえない理由により欠席した場合は、追実験を受けなければならない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
病院実習Ⅱ	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	13以降入学生/短放3必	4

講義のねらい

3学期の病院実習も2学期と同じ、指定規則による必須科目となっている。実習科目は、核医学検査技術学と放射線治療技術学および放射線管理技術学に関する実習である。実習病院では、診療業務を実施しながら指導してくれる。実習生は限られた期間内で確実な成果を得るよう積極的、意欲的に知識と技術を習得し、医療技術者としての修練と、自覚を高め目的意識を把握することによってこの貴重な体験を将来に活かして欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 病院実習の内容、実習に必要な手続上の書類の説明と記入方法。
- (2) 病院実習施設の説明と実習先希望調査。
- (3) 病院実習先の決定と学割定期の申請
- (4) 実習要項（核医学系）の説明
- (5) 実習要項（放射線治療系）の説明
- (6) 非密封放射性元素管理。
- (7) 実習報告書の説明。
- (8) 患者接遇（3学期実習関係）について。
- (9) 病院実習における実習生の心得。
- (10) 実習病院の実習指導者による実習項目と内容の説明。
  - a. 核医学検査法
  - b. 放射線治療法
  - c. 核医学診療・放射線治療の放射線管理。

放射線科

履修上の留意点

実習中は、医療人としての自覚をもち言葉使いや身だしなみには十分注意することが大切である。将来のことを考え、医療そのものについても実習中に色々吸収するように心がけたい。

成績評価の方法

実習病院からの実習成績評価報告書と実習生が提出する実習報告書・調査書等を参考として決定する。

教科書

病院実習要項と3学期で使用している教科書等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
臨床放射線特論(後期)	はち や じゅん いち 蜂 屋 順 一	短放3選	1

講義のねらい

既に学んだ放射線物理学、写真学や解剖学の基礎の上に実際の画像を見ながら、医師、看護師、放射線技師等で形成される医療チームにおける臨床放射線技師の役割を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

単純写真、造影検査、CT、MRI、血管造影等のモダリティー別、又は頭部、頸部、胸部、腹部、四肢等の臓器別に実際の症例を見ながら臨床に則した形の内容とする。

履修上の留意点

一方的な受け身ではなく、積極的な発言等の授業への参加を求める。

成績評価の方法

基本的には期末試験の結果で評価するが、授業への出席やその態度についても参考にする。

その他

授業の方法は実際のレントゲン写真、スライド、ビデオ、PCを使用し、学生の参加を主体として進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像処理論(後期)	かし 檀 尾 英 次	短放3選	1

講義のねらい

コンピュータによる画像の処理は、その処理の柔軟性からさまざまな応用が考えられ、その重要性が高まるであろう。  
最近の画像診断機器は、ほとんどがコンピュータを内蔵し、画像処理した結果を出力としている。講義では画像診断機器の画像処理の例として、核医学画像処理システム、X線CT装置の画像再構成および3次元画像表示法を紹介する。また、後半で医療用や工業用に共通する画像処理について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前半で医用画像処理を学修し、後半で画像処理を学ぶ。  
 第1回 核医学データ処理システムおよび臨床プログラム  
 第2回 X線CT装置の画像再構成および3次元医用画像表示法  
 第3回 画像のデータの表現 第4回 画像処理システム  
 第5回 画像情報処理 第6回 濃淡画像処理  
 第7回 2値画像処理 第8回 コンピュータグラフィックス  
 第9回 画像認識 第10回 3次元画像処理  
 第11回 動画画像処理 第12回 画像処理の応用

履修上の留意点

画像処理工学の教科書を使用するので予習と復習をすること。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

メカトロニクス教科書シリーズ 9『画像処理工学』(コロナ社) 3,000円  
必要に応じて教材用プリントを使用する。

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射化学特論(後期)	はら 原 田 和 正	13以降入学生/短放3選	1
化学特論(後期)		12以前入学生/短放3選	

講義のねらい

核医学で用いられる放射性同位元素および標識化合物についての各論を学ぶ。現在、放射性医薬品として使われている放射性核種は99m-テクネチウムを中心として、133-キセノン、67、68-ガリウム、123、125、131-ヨウ素など多種にわたる。これらの核種を利用しての核医学検査技術学的な面については、3年次の「核医学検査技術学」で学ぶが、本講義においてはin vivo放射性医薬品の体内での挙動を理解するうえで基礎となる事項を中心に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

上記の観点から、in vivo放射性医薬品として使用されている放射性同位元素を同族元素別にまとめ、以下の内容について講義する。

1. テクネチウム(発見の歴史、核的性質、化学的性質、製造法、ジェネレータ、標識化合物の性質と標識法)
2. キセノン、クリプトン(希ガス発見の歴史とその存在、化学的性質、核的性質、製造法、81Rb-81mKrジェネレータ)
3. ガリウム、インジウム、タリウム(発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法)
4. ヨウ素(発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法)

成績評価の方法

学年末試験と平常点により評価する。

教科書

使用しない

参考書等

データブックとして日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』(日本アイソトープ協会) 1,680円を使用する。講義には必ず持参すること。  
その他、参考書として厚生省薬務局審査課編『放射性医薬品基準ハンドブック』(日本アイソトープ協会) 2,310円をもつとよい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用計測学(前期)	かし 檀 尾 英 次	短放3選	1

講義のねらい

画像診断機器の中の核医学診断機器を重点に講義するが、超音波診断機器、X線CT装置および医用画像管理システムについても概要を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

核医学診断機器について学修し、後半に医用画像診断に用いられる重要な機器について学修する。

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 第1回 放射線計測の基礎         | 第2回 ガンマカメラ      |
| 第3回 SPECT            | 第4回 PET         |
| 第5回 核医学データ処理装置システム   | 第6回 超音波診断機器     |
| 第7回 X線CT装置           | 第8回 DSA, CR     |
| 第9回 医用画像管理システム(PASC) | 第10回 DICOM, IHE |
| 第11回 核医学関係演習1        | 第12回 核医学関係演習2   |

履修上の留意点

放射線計測学および放射線機器工学について関連のある項目を復習すること。ガンマ線放出核種やポジロン核種については、原子核物理学を復習すること。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

参考書等

医用放射線科学講座 13『放射線機器工学 2版』(医歯薬出版株式会社)

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学基礎演習(前期)	うじ 氏 家 盛 通	短放1選	1

講義のねらい

将来診療放射線技師として医療に従事する者にとって、これから放射線関連の多くの専門科目を履修しなければならない。そこで放射線や放射能に関連する文献を選び、具体的な事例をもとに講述する。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)生活環境と放射線
- (2)奥の細道と放射線
- (3)植物と放射線
- (4)食品中の放射性物質
- (5)核実験と放射能
- (6)食生活と人工放射能
- (7)実効線量当量
- (8)線量限度の考え方
- (9)海洋の放射能
- (10)病院での放射線

生活の中の放射線を話題として取り上げて、放射線に関する人・団体・施設・機器・種類や単位などを身近なものにする。

履修上の留意点

講義の内容などで分からないことがあれば気楽に質問をして、診療放射線技術学に親しみを持てるようになること。

成績評価の方法

小論文・学習状況・出席などにより評価する。

教科書

授業に使用する資料は、毎回配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学基礎演習(前期)	熊坂 さつき	短放1選	1

講義のねらい

放射線技術者になるために、第1歩をふみ出した人達に、これからの指針の1つの手がかりになるような学習を行う。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

- ・スライドやビデオを用いて医療現場と医者、スタッフの役割について学ぶ。
- ・スライドやビデオを用いて、研究者とは何かについて学ぶ。
- ・X線写真を用いて、それをトレースし、X線解剖学について学ぶ。

成績評価の方法

レポート

教科書

使用しない  
プリントを配布する

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学基礎演習(前期)	杉田 徹	短放1選	1

講義のねらい

放射線科の学生諸君には、将来、医療界における正確な生体情報提供者としての役目が課せられている。その問題意識にたつて情報についての基礎を学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

半期のゼミ形式で進める授業である。基礎情報学を中心に、視聴覚教材を利用して授業を進める。キーワードは情報の定義、発生、伝達、情報の価値、創造的情報活動。

履修上の留意点

問題意識とやる気のある学生の受講を望む。

成績評価の方法

試験は行わない。レポートと平常点によって評価、単位認定を行う。

教科書

教科書は使用しない。資料は毎回配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学基礎演習(前期)	高野 正雄	短放1選	1

講義のねらい

新入生諸君はこれまで、受身で知識を勉強し蓄積してきた。これからも、さらに高度な知識を学び、放射線技師の道へと進んで行くことになるが、できうることならば、身につけた知識を生かして創造力を発揮できる放射線技師に育ってもらいたい。本講では、身近な課題についてその解決策を討論し、「創造性とは何か？」について学習をする。

講義の内容・授業スケジュール

事前にテーマを出し、それに関する自分の考えをまとめ、発表/討論を行う。

履修上の留意点

正しいか、正しくないかは気にせずに、自分なりの考え方を主張し討論すること。

成績評価の方法

毎時のアクティビティー。

教科書

プリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学基礎演習(前期)	やまもと ゆうすけ 山本裕右	短放1選	1

講義のねらい

自然科学においては物事をどのように捉え、解釈し、理解するのか。また未知の事柄に対してどのように取り組むのか。これらの一端を覗くことをしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

原子および放射線、放射能、原子力についての基礎的事項をいくつか限定して取り上げ、少し深くまで探ることをする。具体的には以下のようなテーマを取り上げ、ゼミ形式で進める。また、パソコンを使つての数値計算も随所で行う。

- ・原子とは
- ・原子の中の電子
- ・安定同位体と放射性同位体
- ・放射能とは
- ・放射線とは
- ・エネルギー問題と原子力

履修上の留意点

ただ座っていたのでは何も与えられません。自ら積極的に調べ、発表し、疑問な点は遠慮なく質問してください。そして、自分にとって未知の物事がはっきり見え出したときの喜びを味わってください。

成績評価の方法

平常点

教科書

その都度プリントを配布する

参考書等

授業時間中に指示する

放射線科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学基礎演習(前期)	よし かわ こうき 吉川宏起	短放1選	1

講義のねらい

1. 科学的思考の基礎を身につける。2. 生活習慣病を中心としたヒトの疾病(疾患)の原因とその治療法を通じてエビデンスに基づいた医療の成り立ちを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. 科学論文の引用の仕方、読み方、書き方の基礎的事項について概説する。2. 糖尿病や虚血性心疾患、脳血管障害などの生活習慣病の成り立ちとその予防法や治療法を通じて、医療におけるエビデンスの重要性について概説する。

履修上の留意点

科学論文の重要性と医療におけるエビデンスを導く臨床研究法を理解する。

成績評価の方法

定期の筆記試験。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学特別演習	あおき きよし 青木 清	短放3選	2

講義のねらい

診断用エックス線およびその散乱線の線量と線質に関する実験を行い、研究発表ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

エックス線の測定は線量計や半導体検出器を用いて行う。測定結果はパソコンにより処理し、実効線量や実効エネルギーを求める。テーマによってはパソコンによるシミュレーションも行う。これらの結果から、診断時の患者・術者の被曝線量を求めると共に、被曝低減の可能性を考える。

活動は下記のような順序で行う。

1. 論文や報告書の講読
2. 実験テーマの設定
3. 実験の実施
4. 報告書の作成
5. 研究発表

履修上の留意点

通常の学生実験と異なり、テーマや方法が最初から決まっているものではない。それらは学生同士がお互い議論の中から決めていくものであり、自主的な取り組みが最も大切である。

成績評価の方法

普段の活動状況、報告書、研究発表の内容から成績を評価する。試験は行わない。

教科書

使用しない。

参考書等

テーマに即した内容の論文や報告書を使用する。

その他

ゼミ形式で論文講読や討論を行うと共に、個人またはグループ単位で実験を行う。

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学特別演習	かしお えいじ 榎尾 英次	短放3選	2

講義のねらい

ニューラルネットワーク、遺伝的アルゴリズムによる最適化問題の解析や画像処理などについて学習し、まず研究するテーマを選ぶ。パソコンを利用して、その研究テーマについての必要な実験を行い、結果をレポートとしてまとめる。

講義の内容・授業スケジュール

各自がパソコンを利用した画像処理やデータ処理について学習し、その中から興味のある研究テーマを選ぶ。研究目的、実験方法、実験結果の検討、考察などを行い、研究レポートとしてまとめる。

- 1) 参考文献の講読
- 2) 研究テーマの選定
- 3) 実験
- 4) 研究レポートの作成
- 5) 研究発表

履修上の留意点

あらかじめ演習について、2、3のガイドラインを示すので、メンバー全員で討議して希望する研究テーマを決める。メンバーは2～3名ごとのグループ単位で、グループごとにそれぞれ研究テーマを決め、実験を進める。

成績評価の方法

ゼミの活動状況、研究レポートおよび研究発表を総合して評価する。

教科書

使用しない。

その他

ゼミ形式で講読を行い、メンバー全員が参加して実験を進める。メンバーの自主的な活動を期待する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	こん どう けい すけ 近 藤 啓 介	短放3選	2

講義のねらい

読影／診断に有用な画質の画像を作り出す知識と技法を身につけることが大切である。本演習では、そのための文献、総説の講読と実験を行い、レポートとしてまとめる。

講義の内容・授業スケジュール

履修者と相談のうえ各自1年間のテーマを決める。1年間で実験、まとめをおこない、レポートとして提出する。

履修上の留意点

本演習では、研究とは何か？を理解することに重点をおく。そのため、履修者の工夫や創作が強く要求されます。

成績評価の方法

学習への姿勢及びレポート。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	さ とう まさ のり 佐 藤 昌 憲	短放3選	2

講義のねらい

この特別演習では、放射線線量計測に関するテーマを選び、実験を行い、論文としてまとめ、発表できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- テーマ
- 自由空気外挿電離箱の開発
  - 電離箱によるX線線量の評価
  - 電離箱によるγ線線量の評価
  - パソコンによるシミュレーション

成績評価の方法

研究論文にて評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	にし お せい じ 西 尾 誠 示	短放3選	2

講義のねらい

画質を維持・改善するためには、画像評価を含めた基礎的な画像工学的知識が必要不可欠である。最初に画像形成過程における事象について知識を持つこと、更に良質な画像を得るための諸条件を研究すること、得られた画像について理論的な評価ができることが望ましい。将来、学会発表ができる基礎的能力を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ①画質を左右する諸因子について実験を行う。
- ②画質の物理的・視覚的評価法の研究を行う。
- ③胸部および乳腺X線撮影の技術について研究を行う。
- ④専門・関連領域内のテーマを選び、討論会を行う。

履修上の留意点

学生個人で研究テーマを定め、学内発表会で結果を報告できるようにする。そのためには種々の学会、研究会に参加することが求められる。

成績評価の方法

研究に対する意欲、報告書の内容について評価する。

そ の 他

関連学会、研究会および講習会に参加する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学特別演習	はら だ かず まさ 原 田 和 正	短放3選	2

講義のねらい

各種の発光体材料など、放射線技術学に関連が深い物質について実験を行い、その特性やメカニズムを理解するとともに、実験結果について考察する力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

各自一つの研究テーマを設定し、そのテーマに沿って行った実験の結果をレポートとしてまとめ、発表する。また、関連分野の文献について輪読を行う。

履修上の留意点

学生実験とは異なり、研究実験において「模範解答」は存在しない。各自が得た実験結果から、未知の解答を各自が導き出すものである。1年間、研究テーマに対して自発的・積極的に取り組む姿勢が必要である。

成績評価の方法

レポートの内容と平常点で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学特別演習	やま もと ゆう すけ 山 本 裕 右	短放3選	2

放射線科

講義のねらい

放射線技術学の分野では、放射線検出のために熱ルミネセンス、輝尽発光、ラジオルミネセンス（シンチレーション）など種々の発光現象が利用されている。本演習においては、これらの発光を示す発光体材料を実際に取り扱い、新しい発光体の開発、あるいは既存の発光体について種々の特性を測定することにより、発光現象をより深く理解すると共に、得られたデータを解析、考察し、一つのレポートとしてまとめる作業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

学年当初に履修者と相談のうえ各自の1年間のテーマを決定する。それぞれの学生は各自のテーマについて実験を行い、学年末までにレポートをまとめる。また、得られた成果についての発表会を行う。

さらに、各自のテーマとは別に、発光体関係の基礎的な文献または専門書を選び輪講を行う。

履修上の留意点

本演習を履修するにあたっては、学生各自の独自の工夫や創造性が要求される。すなわち、指示されたことを受け身で行うのではなく、各自が積極的に自分のテーマに取り組み、文献調査を行い、独自の観点からまとめる必要がある。

成績評価の方法

平常点。

# Ⅲ 他学部履修科目

他学部  
履修科目

フレックスBで開講される他学部履修科目は、短大  
仏教科の頁を参照してください。(→P.507)

履修科目  
他学部

### Ⅲ. 他学部履修科目

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

禅学概論	〈石井修道〉	325
中国禅宗史	〈石井修道〉	325
日本禅宗史	〈佐藤秀孝〉	326
禅籍講読Ⅰ	〈石井修道〉	326
禅籍講読Ⅲ	〈岩永正晴〉	327
仏教概論	〈池田練太郎〉	327
インド仏教文化史	〈金沢篤〉	328
中国仏教文化史	〈永井政之〉	328
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	329
中国古典語初級	〈吉村誠〉	329
中国哲学史	〈前川亨〉	330
上代文学研究Ⅰ	〈中嶋真也〉	330
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	331
中世文学研究Ⅰ	〈櫻井陽子〉	331
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	332
近代文学研究Ⅰ	〈榎本正樹〉	332
比較文学	〈満谷マーガレット〉	333
西洋思想史	〈柴野博子〉	333
演劇概論	〈阿部由香子〉	334
日本民俗学	〈谷口貢〉	335
イギリス文学特講Ⅰ	〈石原孝哉〉	335
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	336
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	336
イギリス文学特講Ⅳ	〈荒井良雄〉	337
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	337
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	338
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	338
アメリカ文学特講Ⅲ	〈足田和人〉	339
演劇特講(イギリス・アメリカ)	〈落合和昭〉	339
時事英語	〈サンダース, L. P.〉	340
地理思想史	〈吉田敏弘〉	340
地形学	〈小池一之〉	341
日本仏教史	〈松本信道〉	341
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈熊本史雄〉	342
哲学史	〈山口祐弘〉	342
東洋史特講Ⅲ〔近世史〕	〈趙軍〉	343
西洋文化史	〈石田恵子〉	343
考古学特講Ⅲ〔日本石器時代〕	〈設楽博己〉	344
産業・職業社会学	〈山田信行〉	344
マス・コミュニケーション論	〈休講〉	
社会福祉発達史	〈林千代〉	345
国民所得論	〈吉野紀〉	346
日本経済史	〈橋野知子〉	347
農業政策	〈溝手芳計〉	348
日本経済論	〈小林正人〉	349

他学部履修科目

履修科目  
他学部

中	国	経	济	論	〈小 林 修 二〉	350							
ア	メ	力	経	論	〈瀬戸岡 紘〉	350							
E	リ	統	合	論	〈休 講〉								
現	U	経	経	論	〈休 講〉								
口	西	欧	欧	論	〈山 縣 弘 志〉	351							
財	ア	東	計	論	〈小 栗 崇 資〉	352							
会	務	会	査	論	〈森 田 佳 宏〉	353							
管	計	監	計	論	〈石 川 祐 二〉	354							
貿	理	会	各	論	〈古 沢 紘 造〉	355							
行	政	易	憲	論	〈金 子 昇 平〉	356							
比	較	法	憲	法	〈西 修〉	356							
相		統	制	法	〈竹 中 智 香〉	357							
西	洋	法		史	〈北 野 かほる〉	358							
英		米		法	〈北 野 かほる〉	359							
経		済		法	〈若 林 重 里 砂〉	360							
ヨ	一	パ	治	論	(1) 〈若 松 邦 弘〉	360							
ヨ	一	バ	治	論	(2) 〈若 松 邦 弘〉	361							
国	際	政	治	学	〈小 堀 訓 男〉	361							
地	方	自	治	法	〈富 井 幸 雄〉	362							
比	較	政	治	学	〈木 暮 健 太 郎〉	363							
現	代	国	家	論	〈大 塚 桂〉	364							
比	較	憲	憲	法	〈休 講〉								
経	営	労	務	論	〈鹿 嶋 秀 晃〉	365							
国	際	経	営	論	〈茂 垣 広 志〉	366							
商		業		史	〈山 田 勝〉	366							
保	険	経	営	論	〈石 名 坂 邦 昭〉	367							
財	務	会	計	論	〈渡 邊 惠 一 郎〉	368							
経	営	分	析	論	〈片 桐 伸 夫〉	369							
税	務	会	計	論	〈休 講〉								
経	営	情	報	論	〈高 井 徹 雄〉	370							
情	報		理	論	〈西 村 和 夫〉	371							
経	営		統	計	〈長 国 強〉	372							
医	療	宗	教	学	〈休 講〉								
医	療	経	済	学	〈休 講〉								
異	文	コ	ニ	ユ	ミ	ケ	ー	シ	ョ	ン	〈奥 原 淳 子〉	372	
国	語										学	〈片 山 晴 賢〉	372
国	語										史	〈服 部 龍 太 郎〉	372
女	性										史	〈高 嶋 め ぐ み〉	373
文	化	概									論	〈藪 部 幹 生 ・ 井 上 優 ・ 佐 藤 憲 昭 ・ 内 藤 寿 子 ・ 藤 田 和 美〉	373
国	文	特	殊	研	究	〈小 林 治 ・ 鈴 木 裕 子 ・ 藪 部 幹 生 ・ 松 田 直 行〉	373						
古	典	戯	曲	演	劇	〈岡 田 万 里 子〉	373						
メ	デ	イ	ア	と	表	現	〈松 田 直 行〉	373					
時	事	英	特	語	論	〈岡 本 誠〉	373						
臨	床	放	射	線	特	論	〈休 講〉						

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	石井修道	短国・短英	4

講義のねらい

この禅学概論の講義は禅とは何かを概観するものである。その場合、禅とは「学」の対象として成立しうるか。成立しうるとすれば、いかなる性格なのかを常に問題意識として持ち続けたい。禅学に取り組む勉強の仕方折りにも触れたい。具体的には、まず、「禅」の語の意味、インドの禅と中国で成立した禅宗について述べ、中国語のもつ性格と禅思想の関係を問題にしたい。つづいて、禅の研究の工具書の紹介や禅籍概論を踏まえて、圭峰宗密の『禅源諸詮集都序』の禅の分類の分析、禅と「心・身」、禅と「人」、禅と言葉、禅と教育、禅と生活に及び、禅と文化について幅広く言及したい。禅と禅宗の歴史は、講義の中で織り交ぜながら進めるが、講義内容としては、この講義では省略し、その専門の履修科目があるのでそれに譲る。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。禅学概論の講義は、当然のこととして、禅宗の歴史を含むものであるが、この講義は教科書を読んで既に中国禅宗史の基礎知識を身につけたものと見なして講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート（400字詰め5枚程度）の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,369円  
『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円  
『禅学大辞典』（大修館書店）  
入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）

他学部  
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	石井修道	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方折りにも触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諤⑭邨山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された教科書の感想文（400字詰め5枚程度）のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

『禅学大辞典』（大修館書店）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	佐藤秀孝	短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、荣西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨濟宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円  
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円  
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円  
 その他、日本禅宗に関する諸文献

履修科目  
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅰ	石井修道	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗典籍を原典テキストで味読するものである。今年度は圭峰宗密が裴休に答えた『裴休拾遺問』を読む。この禅籍は、唐代の北宗・牛頭宗・洪州宗・荷沢宗の宗風の特徴を分類したものである。この分類は、唐代の初期の禅の分類を考えるのに貴重なものであり、その後の禅宗の展開を知るには、是非とも読まねばならないものである。幸いに名古屋の真福寺文庫本を私が紹介することができたので、それを講読したい。

講義の内容・授業スケジュール

原典にいきなり真っ正面からぶつかる。テキストはプリント配布。

履修上の留意点

必ず手持ちの漢和辞典を持参すること。無ければ『全訳 漢辞海』（三省堂）等を購入して欲しい。また、『中国禅宗史話』（禅文化研究所）を読み、中国禅宗史の予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された圭峰宗密と裴休の伝記（400字詰め5枚以上）のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

プリント配布

参考書等

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円  
 入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 Ⅲ	いわ なが しろう せい 岩 永 正 晴	短国・短英	4

講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度は道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められているほどで、曹洞宗旨を学ぶためには必須の基本的な典籍であり、この科目の目的に添うものと思う。

講義の内容・授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に臨んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

成績評価の方法

学年末の試験の他に、出席点とレポート（数回）によって成績評価を行う。

教科書

コピーし製本したものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第7巻（春秋社）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、大本山永平寺編『学道用心集の参究』（国書刊行会）、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』（大東出版）等。その他は講義で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	いげ た れん たろう 池 田 練太郎	短国・短英	4

講義のねらい

本講義は「概論」という性格上、仏教に関する細かい問題を掘り下げるのではなく、常に「仏教とは何か」という基本的な問題を意識しながら、大きな視点で仏教の輪郭を捉えることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第に準じて、おおむね以下のように講義を進める。a, 仏教とは何か b, ブッダの生涯 c, 仏について d, 法について e, 輪廻と業・煩惱 f, 心について g, 修行について h, 戒律と教団 i, 仏教の歴史

履修上の留意点

講義を一つの材料として、自分自身で「仏教」について考える姿勢を持ってほしい。

成績評価の方法

基本的には年度末におこなう筆記試験によって評価する。

教科書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目



科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	かな ざわ あつし 金 沢 篤	短国・短英	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	なが い まさし 永 井 政 之	短国・短英	4

講義のねらい

仏教をさまざまな人間の営みの一環として捉えようとするのが本授業の中心となる。いささか具体的に述べるなら次のようになる。

すなわち今から約2500年前、インドに起った仏教は、紀元前後に中国へ伝来する。中国人にとっては異文化であった仏教は、少なからぬ変容を遂げつつ、中国に定着する。言うまでもなく定着した仏教は、中国人の理解した仏教ということとなる。

今年は、「仏教の葬送儀礼」にテーマを設定して論ずるものとした。

履修上の留意点

適宜プリントを配布し、参考文献を指示する。

成績評価の方法

レポート及び出席点によって成績を評価する。

参考書等

曹洞宗総合研究センター編『葬祭—現代的意義と課題—』1,300円

他履修  
学部  
科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 文 化 史	はかま や のり おき 袴 谷 憲 昭	短国・短英	4

講義のねらい

下記の教科書により、仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における仏教文化の実態を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 仏教東漸—半跏思惟像
- II 「玉虫厨子」と捨身供養
- III 『往生要集』と地獄極楽
- IV 『一言芳談』と後世物語
- V 『日本史』における仏教
- VI 『新論』の国体論と仏教
- VII 仏教西来—靖国問題考

履修上の留意点

参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。なお、必要に応じて資料を配布するが、資料の再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変更もありうる。

教 科 書

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

参 考 書 等

渡辺照宏『日本の仏教』

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 古 典 語 初 級	よし むら まこと 吉 村 誠	短国・短英	4

講義のねらい

著名な仏典を読みながら、漢文訓読の基本をマスターします。漢文の句法について学ぶとともに、仏教漢文特有の読み方に慣れ親しみ、仏典を正確かつ批判的に読む力を養います。前期は『維摩経』と『法華経』（『観音経』）の一部を読み、後期はその訳者である鳩摩羅什の伝記（『高僧伝』）を通読します。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 漢文の読み方 (2) 仏典とは何か (3~7) 『維摩経』を読む (8~13) 『法華経』を読む (13) まとめ
- (後期) (1) 『高僧伝』の世界 (2) 鳩摩羅什の事跡 (3~12) 鳩摩羅什伝を読む (13) まとめ

履修上の留意点

初歩から丁寧に指導しますので、漢文や中国語を学習したことがない者、仏教関連の授業を受けていない者でも心配はいりません。ただし、語学の習得には継続した学習が不可欠ですので、毎回出席する覚悟のある者のみ履修してください。歴史・思想・文学・美術などの分野で仏教漢文を資料として読みたい者、東アジアの仏教を原典で学びたい者の受講を期待しています。

成績評価の方法

予習や出席の状況、およびレポートを総合して評価します。

教 科 書

プリントを使用します。

参 考 書 等

漢和辞典は必携。『新字源』（角川書店）、『漢語林』（大修館書店）、『漢辞海』（三省堂）を推奨します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 哲 学 史	まえ かわ とおる 前 川 亨	短国・短英	4

講義のねらい

東アジア世界の文化・社会に多大な影響を与えた中国の思想を学ぶ。儒教・道教・仏教それぞれの思想と相互の関連、それらが朝鮮・日本にどのようなかたちで影響を及ぼしたのか、などの課題をとりあげることになる。それを通して、中国人の思考様式を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は孔子の時代から唐代までを扱う。まず中国の思想史の全般的な問題を概括し、その後、孔子・孟子・荀子から始めて、儒家・道家・神仙思想、更に道教の成立や仏教伝来などに及ぶ。断代史的ではなく、問題史的に検討するように心掛け、思想史研究の面白さと困難さを伝えたいと思う。

履修上の留意点

当該テーマに関心をもち、継続して出席し、積極的に授業に参加する意志と意欲を有する学生諸君の履修のみを、心から歓迎する。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちの者の履修は認めない。中国の文献を扱う関係上、中国語についての初歩的な知識を有することが望ましいが、授業そのものは中国語を履修していなくても理解することが可能である。東アジアの思想・宗教・社会・文化……など様々な分野に関心のある諸君の積極的参加を期待したい。

成績評価の方法

前期・後期それぞれにレポートを書いてもらう。テーマは授業で取りあげた内容に基づくものとする。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの話題を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を聞く機会もつくる。積極的な問題提起を歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 代 文 学 研 究 I	なか じま しん や 中 嶋 真 也	短国・短英2年	4

講義のねらい

現存最古の歌集『万葉集』に収められた歌には、用いられた表現に基づき、類歌・類想と処理されるものが少なくない。しかし、同様な表現でありながら、すべてが同じなのではない。多様な表現性が見届けられ、また『万葉集』の中での歌の享受をも想定させるのである。表現を共有する歌を取り上げ、古代の歌のありようの一端を把握することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

『万葉集』の概説から始め、類歌・類想と説明される歌々を取り上げ、丁寧に読み解く。原文・訓みの確定と内容面の把握の関わりを提示していく。

履修上の留意点

出席を重視し、集中して講義内容を理解しようと努めること。

成績評価の方法

出席、授業態度、前期末のレポートと年度末の試験によって総合的に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究 I	まつ おか とも ゆき 松 岡 智 之	短国・短英	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究 I	さくら い よう こ 櫻 井 陽 子	短国・短英2年	4

講義のねらい

軍記物語において、人物、特に英雄的な人物がどのように描きだされているのかを考える。人物の造型を鑑賞し、その面白さを味わうことも目的であるが、それ以上に、軍記物語にとって、登場人物に何が必要とされているのか、ひいては、軍記物語が何を描こうとしているのかを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的に多くの作品に触れながら進める。  
 1～3 軍記物語にどのような特徴があるか。  
 4～6 為朝を読む(『保元物語』)  
 7～9 義平と義朝(『平治物語』)  
 10～13 清盛・義仲・義経(『平家物語』)  
 14・15 『承久記』  
 16～18 楠正成・足利尊氏(『太平記』)  
 19～21 義経・弁慶(『義経記』)  
 22～24 曾我兄弟(『曾我物語』)  
 25～30 まとめ

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に適宜プリントを用意する。

参考書等

授業時に指示する。

他学部  
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究 I	このえのりこの 近衛典子	短国・短英2年	4

講義のねらい	上田秋成の読本『雨月物語』を読む。
講義の内容・授業スケジュール	単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説、日本の古典作品の精読、本文との比較検討を通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。
履修上の留意点	出席重視。
成績評価の方法	出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。
教科書	鷲山樹心編『講読雨月物語』(和泉書院)
その他	講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学研究 I	えのもとまさき 榎本正樹	短国・短英2年	4

講義のねらい	村上龍と村上春樹、いわゆる W 村上の登場以後、八〇年代にデビューした作家たち(笹野頼子、島田雅彦、高橋源一郎、辻仁成、松浦理英子、山田詠美、吉本ばなな)の後を受けて、九〇年代以降にデビューした新しい作家・作品について網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマやモチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探っていきます。
講義の内容・授業スケジュール	講義では、現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの方法、人物の関係性、周辺メディアとの連関性などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、SF&ファンタジー、ミステリ、少女小説など、現代文学のあらゆるジャンルを対象とします。 参考までに授業で取りあげる可能性の高い作家を以下にあげておきます。阿部和重、赤坂真理、江國香織、角田光代、川上弘美、重松清、平野啓一郎、藤沢周、町田康、柳美里、長野まゆみ、多和田葉子、保坂和志、いしいしんじ、金城一紀、佐藤哲也、大道珠貴、嶽本野ばら、長嶋有、吉田修一、綿矢りさ、舞城王太郎、D[di:]など。また2004年にデビューした新人作品や文学界のトピックスについても、スポット的に言及していく予定です。 榎本は研究活動の一環として作家へのインタビューを積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報なども盛り込んでいきたいと思っています。
履修上の留意点	現代日本文学、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。
成績評価の方法	出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらったレポートの内容を加味し、総合的に評価します。
教科書	特に使用しません。
参考書等	必要な資料はプリントで配付します。参考文献等は、教室で指示します。
その他	履修に際しては、榎本のサイト(www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/)も参考にしてください。

他履修科目  
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	<small>みつたに</small> 満谷マーガレット	短英	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教科書

プリント

参考書等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995年  
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991年  
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994年など

他学部  
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	<small>しばのひろこ</small> 柴野博子	短国・短英	4

講義のねらい

西洋思想の流れをたどりながら、より良く生きるための話題を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず、古代（ギリシア、ローマ）と中世（キリスト教）の思想を概観し（4・5月）、その後、カントとショーペンハウアーをとりあげる（6・7月）。  
後期は、現代哲学の一つである生（レーベン）の哲学を中心に、ニーチェ（9・10月）、ベルクソン、デイルタイ（11・12月）の思想を見てゆきたい。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教科書

久保陽一・河谷淳『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇概論	あべゆかこ 阿部由香子	短国・短英	4

講義のねらい

近代以降の日本演劇はいくつもの屈折を重ねて現代に至っている。「演劇」に対するイメージが多種多様であるのはなぜか？演劇と文学はどのような関係にあったのか？日本演劇をとりまく状況の変遷をたどりつつ、作品を読み、鑑賞していくこととする。受講者には実際に劇場へ足を運んでもらい、観劇してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

- [前期] (1, 2) 演劇の近代化  
(3, 4) 堤春恵「仮名手本ハムレット」  
(5, 6) 文学と演劇  
(7, 8) 菊池寛「父帰る」  
(9, 10) 女優の登場  
(11, 12) 政治と演劇  
(13) まとめ
- [後期] (1, 2) 青年と演劇  
(3, 4) 演劇の中の「夢」  
(5, 6) 演劇を描いた演劇  
(7, 8) 三谷幸喜「ショーマストゴーオン」  
(9～12) 現代演劇の上演状況について  
(13) まとめ

履修上の留意点

授業で扱う作品をあらかじめ読んできてもらったり、実際に劇場へ行って観劇してもらうので、演劇に対して積極的な興味関心がある者の受講が望ましい。

成績評価の方法

前期末の試験、観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

教科書

特定のものなし。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義が中心ですが、レポートを発表してもらうこともあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口貢	短国・短英2年	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

履他  
修学  
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 I	石原孝哉	短国・短英2年	4

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton なども取り上げます。

成績評価の方法

この時代に関心がある意欲的な学生の受講を望みます。  
成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教科書

『シェイクスピア喜劇の世界』（三修社）2,800円、配布プリント

その他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	たかのまさお夫 高野正夫	短国・短英2年	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版された*Lyrical Ballads*という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていた。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

履修科目  
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	おかざきとしちろう 岡崎寿一郎	短国・短英2年	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオズカー・ワイルドの詩と批評を出发点として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD.H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜普及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	あら い よし お 荒 井 良 雄	短国・短英2年	4

講義のねらい

オースティンからモームまで、イギリス小説の代表的作家と作品に内在する「ブライス禪」を講義する。イギリス小説の映画化作品に関しても「ブライス禪」を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

R. H. Blyth の *Zen in English Literature* や *Twenty-Five*、*ZEN Essays* などを参照しながら、作品の言葉（名句）を引用しつつ講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇中に作成するレポートと、12月の最終講義の時間におこなうテストで評価する。

教科書

教科書は使用せず、プリントを用意する。

参考書等

北星堂書店から出版されているブライスの全著作と、岩波書店発行の『鈴木大拙全集』40巻ほか。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	ふ じ かわ よし ゆき 富 士 川 義 之	短国・短英2年	4

講義のねらい

英国文化史についての講義。イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランドの特質と歴史、王室と宗教、カントリー・ハウスと風景式庭園、鉄道と旅、ジャーナリズムの誕生、子供の文化史などの話題について述べる予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 4つの文化圏
- 2 王室と宗教
- 3 貴族の城館とカントリー・ハウス
- 4 シェイクスピアと劇場
- 5 産業革命の影響
- 6 ジャーナリズムと出版の進展
- 7 子供の文化史
- 8 騎士道からジェントルマン教育へ
- 9 女性と文学
- 10 大英帝国の光と影
- 11 パラダイム・シフト

履修上の留意点

授業に積極的に取り組んでもらいたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

『概説イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指定する。

その他

教材コピーを随時配布する予定。

他学部  
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅵ	丸小哲雄	短国・短英2年	4

講義のねらい

文学はそもそも主観性が強いゆえに、その分だけ読み込みと思考が要求されます。批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や態度に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを見出すことです。

だが、外国文学を研究するにあたっては以下の4つの前提があります。一つ目の前提は英米文学を学ぶ受講生にとっては生得でない英語に依存しなければならない宿命的なハンディキャップがあること、二つ目の前提は近代においては日本・日本人・日本語・日本文化（文学）はあたかも一体であると考えることには錯覚があること、三つ目の前提は世界に共通する美的で倫理的な文学の一致はありえないこと、そして最後の前提は文学テキストの読みについての論議のためにはテキストの読み・解釈・批評のについてのさまざまな方法論があることを講義します。従って、本講義は、文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、文学テキストの演習を行い、テキストの印象や感想に価値を見出せる方法について講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 自然言語と虚構言語の相違について
2. 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
3. 文学テキストの機能と力について
4. さまざまな批評方法について

・伝統批評・伝記批評、ロシア・フォルマリズム・ニュー・クリティシズム、受容理論、精神分析批評、構造主義・記号論批評、ポスト構造主義批評、ニュー・ヒストリシズム批評、ポストコロニアル批評などを講義し、批評方法を修得するためにテキスト演習も行います。

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

Elements of fiction by R. Scholes（英宝社）  
プリント使用：プリントのファイルを用意すること；読書リストのプリント配布

参考書等

『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）  
『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

履修科目  
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅰ	東雄一郎	短国・短英2年	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を採り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

成績評価の方法

欠席率が3分の1を超えた場合は評価対象外とし、授業内の小テスト、小レポート、前期・後期のレポートによって総合的に評価する。

教科書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参考書等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あし だ かず ひと 足 田 和 人	短国・短英2年	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

必要に応じて配布・紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 特 講 (イギリス・アメリカ)	おち あい かず あき 落 合 和 昭	短国・短英2年	4

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。

アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell(1882-1948)、Alice Gerstenberg(1885-1972)、Eugene O'Neill(1888-1953)、Thornton Wilder(1897-1975)、Tennessee Williams(1911-83)、Arthur Miller(1915-), Shirley Jackson(1919-65)、Edward Albee(1928-), Sam Shepard(1943-), David Mamet(1947-), アイランドでは、John Millington Synge(1871-1909)、Samuel Beckett(1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley(1894-1984)、Peter Shaffer(1926-), Harold Pinter(1930-), 等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』 ミネルヴァ書房
- 2) プリント

履修科目  
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	サンダース, L.P.	短国2年	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。  
media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理思想史	よしだとしひろ 吉田敏弘	短国・短英2年	4

講義のねらい

担当者は、地理思想史という分野を、場所や地域、景観、世界（宇宙）などの生活空間に関する知識や認識をめぐる社会思想史と捉えている。したがって地理思想史研究の実践においては、古今東西のさまざまな社会における地理思想の特質を明らかにするとともに、それらの時代的・地域的な比較を通じて、普遍性や類型的把握を試みることも重要な課題となる。

本講義における主たる着眼点は、「生活空間、生活世界の図的表現」である。人類は太古以来、世界や地域、場所に関する知識をグラフィックに表現してきた。いわゆる「地図」はそのひとつのジャンルであるが、それ以外にもさまざまな絵画的表現や抽象化された模式図的表現があり、これらもまた地理思想史の対象となる。これらの図は、それぞれの社会における地理思想の一端を示す重要な資料であるが、従来の地図史や風景画史の知見に依存するのみでなく、新たな問題設定と分析方法の導入によって、地理思想史独自の知見を構築したい。また、もう一つの着眼点を「日本と西洋の出会い」におき、戦国時代以来の東西の地理思想の衝突と融和、そして近代以後における西洋の地理思想・アカデミズム地理学の導入に関する諸問題にも論及したい。

講義の内容・授業スケジュール

配布資料・Powerpointを用いて、講述方式で講義をすすめる。まず、地理思想史研究の全体的な枠組みに関して講述したのち、前期では、絵画における「遠近法」をキーワードとして、古今東西の景観表現を比較検討し、絵画と地図との関係を考察する。後期では、「地図の記号学」をキーワードとして、さまざまな古地図を事例に、そこに表現されたメッセージの読解を試み、宇宙や世界、国家や地域などの多様なイメージの形成と普及、革新について考察する。

履修上の留意点

講義時にさまざまな問いかけを行うので、つねに自ら考え、これに積極的に応えてゆくことが望まれる。

成績評価の方法

年度末レポートにより採点する。

教科書

特に指定しないが、随時指示する文献を読んでゆくことが望ましい。

参考書等

京都大学文学部地理学教室編『地理の思想』（地人書房）  
織田武雄『地図の歴史』（講談社）  
織田武雄『古地図の世界』（講談社）  
葛川絵図研究会『絵図のコスモロジー』上・下（地人書房）  
小山・下坂・吉田編『中世荘園絵図大成』（河出書房新社）  
水津一朗『近代地理学の開拓者たち』（地人書房）  
野沢秀樹『フランス地理学の群像』（地人書房）

他履修科目  
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池一之	短国・短英2年	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

前期

地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、  
地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形）

後期

種々の河成地形、組織地形、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しないが、時に応じて簡単なテストや課題を課す。

教科書

貝塚爽平著（1998）『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編（1985）『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税  
小池一之ほか訳（1984）『一般地質学2』（東京大学出版会）3,400円＋税

その他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	まつもと のぶみち 松本信道	短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

教科書

随時、プリントにて配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 VII (近代)	くまもと ふみお 熊 本 史 雄	短国・短英 2年	4

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争  
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講義を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期 2 回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

基本的に講義形式で進め、必要に応じてレジュメと史料を適宜配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 史	やまぐち まさひろ 山 口 祐 弘	短国・短英 2年	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

成績評価の方法

定期試験は行なわない。小論文を課し、評価する。平常点も加味する。

参 考 書 等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

他学部  
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅲ (近世史)	趙軍	短国・短英2年	4

講義のねらい

〈近・現代日中関係史〉と題して講義する。その目的は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概要的に解説し、日本とアジア諸国とりわけ中国との関係を正しく理解できる知識や教養を高めることである。

講義の内容・授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概要的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第一次世界大戦以後の日中関係史を具体的に解説する。

- 近代以前の日中交通史
- 「日清提携」と「征亜論」の創生
- 「アジア連帯」と国権主義の台頭
- 宮崎滔天と中国
- 頭山満と中国
- 辛亥革命・孫文と日本
- 内田良平と中国
- 中国の国民革命と日本の対応
- 「満州事変」から日中戦争へ
- 日本の敗戦と台湾との「国交」
- 政経分離と政経不可分
- 国交正常化と日中平和友好条約
- フィーバーと摩擦
- 改革開放と「新アジア主義」
- 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教科書

趙軍著『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年  
竹内実著『日中国交基本文献集』上・下巻（蒼々社）1993年

参考書等

田中明彦著『日中関係 1945-1990』（東京大学出版会）1991年  
ホームページ「日中関係資料館」<http://www.est.hi-ho.ne.jp/~zhaojun/> など。

他学部  
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋文化史	石田恵子	短国・短英2年	4

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート

教科書

特になし



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学特講Ⅲ 〔日本石器時代〕	したらひるみ 設 楽 博 己	短国・短英2年	4

講義のねらい

考古学の年代論 弥生時代が500年さかのほるのではないか、という新聞記事は記憶に新しい。でもなぜなのか、知っている人は少ないだろう。日本に前期・中期旧石器時代があったという詐欺に、日本考古学がまんまとだまされてしまったのはなぜか。年代には相対年代と絶対年代がある。考古学独自の年代決定方法は相対年代の決定にたくに有効であるが、歴史学の基礎になる実年代を求めていくには自然科学的手法の助けを借りなくてはならない。考古学により実年代がどのように決められてきたのか、現在の年代論の到達点と問題点をさぐるとともに、AMS法という高精度な炭素14年代測定法によって純粹考古学の年代観が大きく揺さぶられている状況を紹介し、これからの考古年代論のあるべき姿をとともに考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期 ①AMS法による高精度編年とはなにか ②考古学的手法による年代決定法  
③自然科学的方法による各種の年代測定 ④前期・旧石器捏造問題と年代論  
後期 ①縄文時代の土器編年と実年代 ②弥生時代の実年代を論じる ③古墳時代の始まりと  
邪馬台国問題 ④考古学と年代論

履修上の留意点

考古学の基礎は年代論にあるので、しっかりと講義を聞いてほしい。講義中の私語厳禁。真剣に聞いている者の迷惑になる者は退席を願うので要注意。

成績評価の方法

年度末の試験による評価。

他履修科目  
学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産業・職業社会学	やまだのぶゆき 山 田 信 行	短国・短英2年	4

講義のねらい

“労使関係”をキイ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は2部から構成される。第1部（前期）では、産業（・職業）社会学の主要な分野について日本での事例について紹介しながら概説する。

第2部（後期）では、“グローバル化”をポイントにして労使関係の歴史比較分析を行う。具体的な講義プランは、以下のとおり。

第1部 現代日本の産業・労働・職業

1. 産業（・職業）社会学の対象・方法・課題
2. 労使関係とはどんな関係なのか
3. 賃金・雇用・労働者
4. 労働者の統制と参加
5. 労働組合と労働運動
6. 技術革新と技能の変化
7. 国家と労使関係

8. 変容する産業・労働・職業の世界

第2部 労使関係の国際比較

1. グローバリゼーションと労使関係
2. インダストリアリズムと多元的資本主義発展
3. アメリカ合州国と不自由労働
4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
5. 周辺社会マレーシアの労使関係と資本主義発展
6. 労使関係と社会変動・再論

履修上の留意点

必修科目ではないので、自覚的な参加を希望する。

成績評価の方法

主として、学年末試験による。

教科書

山田信行『労使関係の歴史社会学』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜、指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	短国・短英2年	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの 吉野 紀	短仏	4

講義のねらい

為替レートや株価はなぜ減価したり、高騰するのか。失業率はなぜ上昇するのか。物価の変動はどのような影響を我々の生活に及ぼすのか。これらはいずれもマクロ経済学の主要な課題である。

失業率5.4%といえは実数にして300万人余の労働力人口が失業していることを意味する。特定の個人が終業しているか失業しているかは、その個人のスキル（能力）などによるところが大きく、国民経済全体の失業率とは直接の関係はない。しかし、後者は国民経済全体の景況状態の良い指標ともなる。

この授業では相対的な国民経済の動きを説明することが主題となる。個々人の日常的な経済活動の意志決定は受動的に大きな影響を受けるが、能動的に影響を及ぼすことを直感的にも経験的にも把握することは難しい。したがって、マクロ経済の仕組みを理解するには豊かな想像力と鋭い推理力が求められる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回

GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解すること、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。

《参考》経済企画庁「平成13年日本経済の循環図」（配布資料）

2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回

いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。

《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章

3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回

この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。

《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章

4. 「金融政策、財政政策」……………4回

前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果が取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。

《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章

5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回

ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

履修科目  
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	はし 橋 の とも こ 野 知 子	短国・短仏	4

講義のねらい

本講義では、19-20世紀の日本における経済社会の変化を国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論における研究蓄積を紹介しつつ、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。知ること、そして変化の原因を考えることこそが重要なのです。

講義の内容・授業スケジュール

19-20世紀の日本経済を、歴史的な流れをとらえつつ、重要なトピックスを中心に講義します。講義形式で進めますが、映像の利用による説明も随時取り入れる予定です。講義は、以下の項目順に進める予定です。

1. ガイダンス日本経済史をみる眼
2. 近代経済成長への胎動  
幕藩制政治経済システムの特徴／国内市場の変質／開国と幕藩体制の解体
3. 資本主義経済の成立  
諸改革から地租改正へ／地租改正の歴史的意義／殖産興業政策の展開／資本家・労働者の出現／貿易構造と諸産業
4. 産業革命の展開  
企業勃興期／産業基盤や制度の整備／諸産業・貿易の発展からの接近／欧米・アジア・日本の貿易からみた世界経済の再編過程／資本主義の確立と諸問題
5. 両大戦期の日本経済  
「大正新時代ノ天佑」としての第一次大戦／国際経済環境の変化と日本／大戦後の経済と社会／恐慌の時代／高橋財政
6. 戦時から戦後へ  
戦時経済／戦後改革と経済復興
7. 現代経済の形成過程  
高度経済成長／高度成長の終焉／バブルの時代／平成不況／ここからどこへ

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

履修上の留意点

他の受講生の迷惑となる行為は慎んで下さい。

成績評価の方法

前期末・学年末試験により評価します。再試験はございませんのでご注意を。

教科書

特に指定しません。毎回資料（レジュメ）を配付します。

参考書等

講義の中で毎回紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	みづ 手 よし かず 溝 手 芳 計	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 「農業政策」とは (1～2回)
2. 食料問題と食料政策 (3～7回)
3. 農家所得問題と農産物価格政策・直接支払い (8～12回)
4. 農業構造問題と構造政策 (13～18回)
5. 戦後における日本と世界の農業政策 (19～25回)

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。再試験は行いません。

教 科 書

田代洋一『新版農業問題入門』(大月書店)

参 考 書 等

F. マグドフ他編 (中野一新監訳)『利潤への渴望』第5章 (大月書店)  
梶井功『新基本法と日本農業』(家の光協会)

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正人	短国・短英2年 短仏	4

#### 講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本の経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程  
景気の現状と雇用情勢  
戦後改革  
日本の高度経済成長：歴史とその原因  
産業政策の役割  
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- イノベーションと産業発展  
産業構造の理論と歴史  
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械  
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較  
製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望  
平成不況の意義  
情報通信革命（インターネット）

#### 履修上の留意点

講義資料は一度しか配布しないので確実に収集し、保管する。講義資料なしで定期試験を受けることはむずかしい。講義ではOHPなどをひんばんに使うので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。講義の節目に小テストを実施することもある。

#### 成績評価の方法

学期末テストと小テストの総合評価による。試験は論述式である。再試験は実施しない。

#### 教科書

なし

#### 参考書等

適時指定する。

#### その他

成績質疑応答では講義資料を持参しなければならない。

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 経 済 論	小 <sup>すぎ</sup> 杉 <sup>しゅう</sup> 修 <sup>じ</sup> 二	短 仏	4

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大國志向としての「ソ連モデル」(1949-57)、独自の超大國を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」(1958-78)について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上國の特徴=機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。

毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体勢づくりのため経済効率は低下し行きづまった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」(1978-)を学ぶ。独自の超大國志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策による外資の呼びこみ、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産請負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかげていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』(龍溪書舎) 4,000円

参考書等

平田幹郎『中国データブック2000-2001』(古今書院) 3,800円

その他

授業方法 講義+ビデオ映像の活用

履修科目  
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	瀬 <sup>せ</sup> 戸 <sup>と</sup> 岡 <sup>おが</sup> 紘 <sup>ひろし</sup>	短 仏	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。  
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』(瀬戸岡訳 青木書店) 1994年  
 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店) 2003年  
 をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア・東欧経済論	山 <sup>やま</sup> 縣 <sup>がた</sup> 弘 <sup>ひろ</sup> 志 <sup>し</sup>	短仏	4

#### 講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることができないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
  - (1) 社会主義論とマルクス
  - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
  - (1) 1920年代から30年代への転換
  - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
  - (1) 「計画経済」の成立と実態
  - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
  - (1) 経済構造の特質と軍事生産
  - (2) 工業生産力と工業技術
  - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
  - (1) 経済改革の時代
  - (2) プレジネフと停滞の時代
  - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
  - (1) ロシア・東欧の文化と社会
  - (2) 資本主義化の諸問題
  - (3) ロシアと日本——比較経済史——

他学部  
履修科目

#### 履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験実施。

#### 教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

#### その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。



科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	小栗崇資	短国・短英2年 短仏	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

他履修  
学部科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	短仏	4

#### 講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

#### 履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

#### 成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

#### 教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

#### 参考書等

財財務会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

他学部  
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	いし かわ ゆう し 石 川 祐 二	短 仏	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会计学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教 科 書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参 考 書 等

講義において適宜配布する。

そ の 他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふるさわこうぞう 古 沢 紘 造	短 仏	4

#### 講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

#### I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

#### II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

#### 成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

#### 教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

#### 参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	かね こ しょう へい 金 子 昇 平	短 仏	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立（行政不服審査法）
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教 科 書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

そ の 他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 憲 法	にし おさむ 西 修	短 国・短 英・短 仏	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといって非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。①比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）②主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、③アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、④項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

- ①開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと
- ②日本国憲法との関連で問題意識をもつこと ③私語は絶対に慎むこと ④途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

- ①出席・レポート 30点 ②前期試験 30点 ③後期試験 40点。

教 科 書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参 考 書 等

- ①西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」
- ②アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年
- ③西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

そ の 他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

履修科目  
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	短国・短仏	4

#### 講義のねらい

民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と大きくリンクしていることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的変化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### [前期]

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

##### [後期]

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

#### 履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

#### 成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

#### 教科書

有斐閣双書『民法(8)親族[第4版増補版]』(有斐閣)1,600円  
有斐閣双書『民法(9)相続[第4版増補版]』(有斐閣)1,600円

#### 参考書等

六法  
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選[第5版]』(有斐閣)2,200円  
『法律学小辞典』(有斐閣)4,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	<sup>また</sup> の 北 野 かほる	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 封建制
    - 第3節 統治構造 封建制の解体
    - 第4節 法構造
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

他学部  
履修科目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きたの 北野 かほる	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1章 法系
  - 第1節 近代法の法系
    - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
    - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
  - 第2節 イギリス法の特徴
    - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
  - 第3節 英米法の分類
    - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
  - 第1節 法内容の歴史性
    - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
  - 第2節 法観念の社会性
    - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
  - 第3節 法思考の実務性
    - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
  - 第1節 判例法
    - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
  - 第2節 判例法の理論
    - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
  - 第3節 制定法の解釈
    - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な分離解釈の理論

他学部  
履修科目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円  
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	わか ぼやし ありき 若 林 亜理紗	短仏	4

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をなうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教 科 書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参 考 書 等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

そ の 他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

履修科目  
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論(1) (前期)	わか まつ くに ひろ 若 松 邦 弘	短国・短英	2

講義のねらい

市場と国家の対立、民主主義の保証と統治の改善、国際統合の進展など、西ヨーロッパの諸国が今日抱える政治上の課題を理解するために重要な枠組みについて概説的な講義を行います。各国の相違というより地域の共通性、個別の事象というより基底の構造を明らかにすることに重点を置きます。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のトピックを順に各1～2回の講義で扱います。

- ①ヨーロッパ政治をみる視点、②歴史的背景、③イデオロギーと政党グループ、④対外関係、⑤西欧における国際統合、⑥西欧の民主主義

履修上の留意点

現代政治は現実の問題であるため、新聞、国際ニュース、インターネットのニュースサイト等により、最新の国際ニュースに触れておくことが望まれます。参考書を随時紹介しますので、それらを含めた関係分野の文献を自発的に検索し、授業外での学習を進めることを期待します。また、高校の「世界史」の知識を前提に授業を進めますので、自信のない人は復習しておいてください。

成績評価の方法

学期末試験の結果を成績とします。

教 科 書

とくに指定しません。

参 考 書 等

授業内で各トピックごとに参考書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(2) (後期)	わか まつ くに ひろ 若 松 邦 弘	短国・短英	2

講義のねらい

議会政治の祖国であり、日本の政治制度にも大きな影響を与えてきたイギリスの政治をとりあげ、そのしくみを理解するために基礎となる見方を概説します。幅広く関心をもってもらうため、現代のイギリスを中心に講義を進めていきますが、表面的な知識の寄せ集めではなく、その裏にあるイギリス政治・社会の構造を理解してもらえるよう期待しています。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックを順に各1～2回の講義で扱います。  
①「連合王国」の構成、②自由主義の歴史、③立憲体制、④議会、⑤行政機構、⑥政党制と選挙制度、⑦第二次大戦後の政治史

履修上の留意点

新聞、国際ニュース、インターネットのニュースサイト等により、最新のニュースに触れておくことが望まれます。また、参考書を随時紹介しますので、それらを含めた関係分野の文献を自発的に検索し、授業外での学習を進めることを期待します。

成績評価の方法

学期末試験の結果を成績とします。

教科書

とくに指定しません。

参考書等

授業内で各トピックごとに参考書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	こ ぼり のり お 小 堀 訓 男	短国・短英	4

他学部  
履修科目

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	<small>とみ い ゆき お</small> 富 井 幸 雄	短国	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。

教 科 書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

参 考 書 等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。  
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較政治学	木暮 健太郎	短国・短英	4

#### 講義のねらい

本講義の目的は、20世紀に発展をとげた比較政治学の諸理論を中心に考察を行い、各国の政治の類似点や相違点を明らかにするための視座を提供することである。それぞれの理論の解説を通じて、比較政治学のさまざまな理論が、現実政治を考察する上でいかに適応可能なのかという点についても言及する。政党システムや政治システムに関する代表的な理論から、討論型民主主義や電子民主主義といった近年の新しい理論まで、幅広くとり上げる。

前期（4～7月）は、比較政治学の基本的な前提について考察した後、政党システムをめぐる理論を中心に講義を進める。後期（9月～1月）は、現代世界の民主主義理論を中心に講義を進める。後期後半では、比較政治学と国際関係との関連性についても言及する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1～2）イントロダクション。（3～9）政党システムと政党システムの規定要因。（10～12）政党システムの変化といくつかの事例。（13）前期まとめ。  
（後期）（14～17）現代民主主義の基礎理論。（18～19）現代民主主義のタイプ。（20～22）新しい民主主義理論。（23～25）民主化と国際関係。（26）後期まとめ。

#### 履修上の留意点

関連する他の科目と併せて履修することが望ましい。また、この科目に関連する情報を新聞やニュース、インターネットなどを通じて日常的に収集し、理解を深める努力を求めたい。

#### 成績評価の方法

定期試験およびレポートの評価を総合して判断する。前期もしくは後期のいずれかを筆記試験とし、もう一方の学期をレポートとするような形態を考えている。

#### 教科書

岩崎正洋『政党システムの理論』（東海大学出版会）2,800円

#### 参考書等

河野勝・岩崎正洋編『アクセス比較政治』（日本経済評論社）2,500円

#### その他

講義形式を中心とする。

他学部  
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おお つか かつら 大 塚 桂	短国・短英	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒厳（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。  
 A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。  
 レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。  
 B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。  
 ※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教 科 書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参 考 書 等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営労務論	鹿嶋秀晃	短仏	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。

教科書

テキストは特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』ミネルヴァ書房、1993(定価3000円程度)、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』中央経済社、1995(定価2600円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』東洋経済新報社、1992(定価3500円程度)をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

この科目は、再試験を実施しません。

他学部  
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 営 論	も が き ひろ し 茂 垣 広 志	短 仏	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	やま だ まさる 山 田 勝	短国・短仏	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点      | (6) 継続性       |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量       |
| (3) 利潤          | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商品          | (9) 価格革命      |
| (5) 市場          | (10) 情報社会と商業  |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
保険経営論	石名坂 邦昭 <small>いしなざが くに あき</small>	短仏	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)  
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

その他

この科目は、再試験を実施しません。

他学部  
履修科目



科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	短仏	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- ② 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- ③ 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- ④ 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

(1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析論	かたぎり のぶお 片桐伸夫	短仏	4

#### 講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
  - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

#### 履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

- \*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」  
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

#### 教科書

開講時、指示します。

#### 参考書等

随時、紹介します。

#### その他

この科目は、再試験を実施しません。

他学部  
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 情 報 論	たか い てつ お 高 井 徹 雄	短国・短仏	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法と体系的なものの方の見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

他学部履修科目

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむらかずお夫 西村和夫	短国・短仏	4

#### 講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C. E. Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

#### 履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

#### 成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

#### 教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

#### 参考書等

そのつど紹介します。

#### その他

[関連科目] → 経営情報論

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	ながこ 長国強	短仏	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。この科目は、再試験を実施しません。

他履修科目  
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
異文化コミュニケーション	おくはら 奥原 淳子	短英	4

(P.181) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学	かたやま 片山 晴賢	短英	4

(P.174) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語史	はっとり 服部 龍太郎	短英	4

(P.174) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 史	たか しま 高 嶋 めぐみ	短英	4

(P.200) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 概 論	<small>そのべ</small> 菌部 幹生・井上 優 <small>さとう</small> 佐藤 憲昭・内藤 寿子 <small>ふじた</small> 藤田 和美	短英	4

(P.199) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 殊 研 究	<small>こばやし</small> 小林 治・鈴木 裕子 <small>そのべ</small> 菌部 幹生・松田 直行	短英	4

(P.183) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
古 典 戯 曲 演 劇	おか だ まり こ 岡 田 万里子	短英	4

他学部  
履修科目

(P.206) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
メディアと表現	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短英	4

(P.202) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 (前 期)	おか もと まこと 岡 本 誠	短国	4

(P.249) 参照

履修科目  
他学部

## Ⅳ 「日本語」・「日本事情」科目



日本事情  
日本語

## IV. 日本語・日本事情科目

### 《日本語科目》

日	本	語	I	〈佐野典子〉	379
日	本	語	I	〈多田羅哲子〉	379
日	本	語	II	〈佐野典子〉	379
日	本	語	II	〈多田羅哲子〉	380
日	本	語	III	〈多田羅哲子〉	380
日	本	語	III	〈湯村礼子〉	381
日	本	語	IV	〈石川守〉	381
日	本	語	IV	〈湯村礼子〉	381
日	本	語	V	〈石川守〉	382
日	本	語	V	〈多田羅哲子〉	382
日	本	語	VI	〈石川守〉	383
日	本	語	VI	〈多田羅哲子〉	383

### 《日本事情科目》

日本事情 I	〔地理〕	〔前期〕	〈高橋健太郎〉	384
日本事情 II	〔自然〕	〔前期〕	〈清水善和〉	384
日本事情 III	〔歴史〕	〔後期〕	〈浅倉直美〉	385
日本事情 IV	〔思想〕	〔前期〕	〈赤羽由規子〉	385
日本事情 V	〔社会〕	〔後期〕	〈川本勝〉	386
日本事情 VI	〔政治・法律〕	〔後期〕	〈三竹直哉〉	386
日本事情 VII	〔文学〕	〔後期〕	〈近衛典子〉	387
日本事情 VIII	〔文化・芸術〕	〔後期〕	〈赤羽由規子〉	387
日本事情 IX	〔経済〕	〔前期〕	〈吉田敬一〉	388
日本事情 X	〔経営〕	〔前期〕	〈永田智則〉	388



「日本事情」  
「日本語」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	佐野典子	短国・短英	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	多田羅哲子	短国・短英	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。  
漢字の正確な読み、語彙の様々な意味・使い方、表現等を知ることで、日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- ・まず常用漢字を基本とした語句の読み方を覚え、様々な使い方を知る。
- ・それらを使った例文を通してかたい文章を読むことにも慣れる。
- ・また用例から助詞・機能語・慣用表現・文法等の復習もする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、小テスト）および期末テスト等で総合的に評価する。

教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文科系教科の概論・入門書・新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

日本語  
日本事情

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II	佐野典子	短国・短英	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、前期は、日本の映画を中心に、日本語を勉強する。後期は、同じテーマを持った、外国の映画との、比較を通して、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ	たたらあきこ 多田羅 哲子	短国・短英	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- ・教室活動を通して正しく適切な表現を用いて言いたいことが自由に話せるようになることを目指す。
  - ・発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
  - ・短時間で文章が書けるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・説明、意見・提案などのスピーチ、その内容について質疑応答・意見交換・討論、ディベートなどを行う。
- ・テープで自分が話した日本語を聞く。
- ・話の内容、感想、意見などを限られた時間内で文章にまとめる。

履修上の留意点

授業活動が大切なので毎時間出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	たたらあきこ 多田羅 哲子	短国・短英	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて日本語で聞き取り、その内容や自分の考えを口頭および文章での確に表現できるようになることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・今話題になっているテーマについてビデオを使って内容を把握し、必要に応じて細部まで理解する。
- ・その内容を口頭で説明したり自分の考えを述べたり討論したりする。
- ・また、書き言葉でも表現する。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加し毎時間提出物を出すこと。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	湯村礼子	短国・短英	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、意見を持ち、発表・説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読む。読んだ後に、意見を出し合い、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。後期は、各自分担を決めて、調べたり資料を収集したりして発表を行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

テスト（漢字・語彙テストなど）、小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の話の聴き方、授業態度など）を総合的に評価する。

教科書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	石川守	短国・短英	2

講義のねらい

日本の多くのことわざのもとになっている「いろはかるた」を使って日本語の中上級の文法・表現・文法・アクセントなどを勉強していく。

講義の内容・授業スケジュール

- 本年度は、「ぬ」から行っていくことにする。
1. 「盗人の昼寝」
  2. 「糠に釘」
  3. 「瑠璃も玻璃も照らせば光る」
  4. 「頬をもって集まる」
  5. 「老いては子に従う」

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみ（出席と授業への参加態度）と期末試験等で総合的に評価する。評価の比率は、50：50ほど。

教科書

授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし。

日本語  
日本事情

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	湯村礼子	短国・短英	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。大学生生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義、そして実践し、原稿用紙に書く。書いたものを再度見なおす。

履修上の留意点

講義・授業中の活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（5回程度）  
授業活動（発言、授業態度、提出物など）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 V	いし かわ まもる 石 川 守	短国・短英	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、自作プリントを使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、呼称からはじめ、指示詞、場所関係の表現、形容詞・形容動詞、テンスとアスペクト、依頼、などの順で進んでいく。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は、基礎的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度・態度など＝質問への答え）の二つで評価する。比率は50：50ぐらいである。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 V	たたら あき こ 多田羅 哲 子	短国・短英	2

講義のねらい

来日後間もない人を対象に、日本で生活する上で必要な基本的な日本語を中心に、総合的に学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

初中級レベルからスタートし、話すことを中心に進める。また、聞く、必要に応じて読み・書き（漢字）も練習する。

履修上の留意点

出席して、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を中心に判断する。

教 科 書

後日、授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	いし かわ まもる 石川 守	短国・短英	2

講義のねらい

日本語 V で学習した基礎文法の残りを学習していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本語 V で学習した内容は引き続き、更にその残りの文法と中上級全般とのかかわりを中心に講義を進めていく。

主たる項目は以下の通りである。

- ・目的の表現
- ・試みの表現
- ・条件の表現 「と」「たら」「なら」
- ・原因・理由の表現
- ・逆接の表現
- ・依頼の表現
- ・使役の表現と用法
- ・受身の表現
- ・自動詞と他動詞
- ・使役の受身
- ・～てしまうの用法
- その他

順番は必ずしも上の通りとはならない。

履修上の留意点

授業は学生への質問という形をとって進めていくので、積極的に発言すること。

成績評価の方法

期末試験の成績と平常点（出席、授業態度＝授業への参加度）、比率は50：50ほど。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

随時、教室で指示する。

その他

特になし。

「日本語」  
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	たたら あき こ 多田羅 哲子	短国・短英	2

講義のねらい

- ・読解能力を向上させる。
- ・文章を読むことを通して、文法や適切な表現・語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・さまざまな種類の文章を、自分で調べながら読んでいく。
- ・そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、必要なものについてはより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

出席するだけでなく、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教科書

プリント配布



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 I〔地理〕 (前期)	たか はし けん たろう 高 橋 健太郎	短国・短英	2

講義のねらい

空間的側面と関連づけて、人々の生活や地域社会の仕組みと変化について考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に以下の項目について検討する予定である。◇日本の地域性、◇農山村の生活と地域振興、◇都市の構造、◇観光開発、◇地図と地名。

また、日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。

成績評価の方法

頻繁に教場で作成してもらう小レポートと学期末の筆記試験で評価。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 II〔自然〕 (前期)	し みず よし かず 清 水 善 和	短国・短英	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

第I章 位置

1. 国土の範囲 2. 行政区分 3. 位置の特徴

第II章 気候

1. 気候帯 2. 日本近海の流れ 3. 気候の特徴 4. 気団と季節 5. 気象観測  
6. 気候と文化

第III章 地質・地形

1. 弧状列島 2. 変動の歴史 3. 多様な地形 4. 火山 5. 地震

第IV章 生物

1. 気候帯と植生帯 2. 生物多様性 3. 生物地理区 4. 里山の生物 5. 帰化生物

第V章 自然保護の諸制度

1. レッドデータブック 2. 国内の法律 3. 国際条約

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義のアウトラインを記したweb版教科書(清水執筆)を紹介する。

参考書等

web版教科書で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅲ〔歴史〕 (後期)	あさ くら なお み 浅 倉 直 美	短国・短英	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の大店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅳ〔思想〕 (前期)	あか ぼ ゆきこ 赤 羽 由規子	短国・短英	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。  
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅴ〔社会〕 (後期)	かわもと まさる 川本 勝	短国・短英	2

講義のねらい

日本社会にはどのような特質があるかを考えてみたい。情報化が進展し日本社会は変貌している。それにともない、日本人の人間関係、社会的行動、社会生活も変化してきている。それらの様相と問題点を検討してみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 変貌する日本の社会－都市化社会、高度情報社会の出現－
2. 生活環境の変容と生活行動－情報環境の変容と情報行動を中心として－
3. 新しい時代の人間関係と社会生活
4. まとめ－日本社会の特徴とは何か－

履修上の留意点

講義内容に関連する社会事象を見つけて発表してもらいます。さまざまな社会問題等に関心を持つよう心がけ、積極的に参加、発言することが望まれる。

成績評価の方法

授業時間内での発表等の平常点とレポートのよって評価する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕 (後期)	み たけ なお や 三 竹 直 哉	短国・短英	2

講義のねらい

この授業は、留学生のみなさんとともに、日本の政治について、楽しく考える授業です。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の内容は、最初の回に、履修するみなさんにアンケートをとり、みなさんが、日本政治のどういう点に興味や疑問をもって、どういうことを授業でディスカッションしたいかを把握してから決めます。

人数にもよりますが、みなさん自身で、日本の政治について、調べてきてもらったり、発表してもらったりすることもあり得ます。

履修上の留意点

辞書を使いながらよいので、日本語で新聞を読めること、また、日本語で政治についてディスカッションできることを前提条件とします。

また、日頃から、日本の新聞やテレビで、日本の政治についての情報に接していることも条件とします。

成績評価の方法

平常点（発言点など）と期末試験を総合して素点を出します。

教科書

今のところ使う予定はありません。

参考書等

適宜、授業中に紹介します。

その他

たくさん発言してください。  
最新情報は、下記のホームページで確認してください。  
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅶ〔文学〕 (後期)	この え のり こ 近 衛 典 子	短国・短英	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、日本文学・日本語に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文学作品を読み進めながら、年中行事、日本の美意識の変遷、文学と絵画の関係など、幅広く日本文化のあり方を考える。各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進める。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。第1回目にオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度

教 科 書

その都度指示する。

参 考 書 等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅷ〔文化・芸術〕 (後期)	あか ぼ ゆき こ 赤 羽 由 規 子	短国・短英	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ〔経済〕 (前期)	よしだ けい いち 吉 田 敬 一	短国・短英	2

講義のねらい

第2次世界大戦に破れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No.1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本
- V 21世紀の日本経済の課題

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

定期試験とレポートで評価します。再・追試験は実施しません。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。必要に応じてプリント資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ〔経営〕 (前期)	なが た とも のり 永 田 智 則	短国・短英	2

講義のねらい

いかなる国も海外との交易を遮断して経済を発展させることはできません。この視点から本講義では、日本の貿易に焦点をあて、東アジア経済の変貌と日本経済について概説します。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1. 日本経済と国際貿易、
- 2. 為替変動と日本経済、
- 3. 東アジア経済の発展と日本の貿易構造、

履修上の留意点

授業では講義に関連する世界の出来事を取り上げ、ディスカッションの場を設けます。活発に発言し積極的に授業に参加することを期待しています。

成績評価の方法

課題レポートを参考に、授業への出席を重視して平常点で評価します。

教科書

教材は、プリントを配布します。

参考書等

適宜紹介します。

「日本事情」  
「日本語」

# V 教職課程・資格講座

教職課程  
資格講座

※大学（学部）に開講されている下記の科目を履修することができます。

ただし、できるかぎり短大の開講科目を履修することが望ましいです。やむを得ず履修しなければならない場合は教職窓口（教務部②番）に相談して下さい。

科目名

「教職入門」「教育とメディア」「道德教育の研究」「特別活動」「生徒指導論（進路指導を含む）」

「教育臨床」「総合演習」「学校経営と学校図書館」「読書と豊かな人間性」

「学校図書館メディアの活用」「情報メディアの活用」「学習指導と学校図書館」

## V. 教職課程・資格講座科目

### I 教 職 課 程

#### (1)教職に関する専門科目（必修）

教 職 入 門	〈磯 山 進〉	393
教 育 の 思 想	〈北 村 三 子〉	393
教 育 と 社 会	〈北 村 三 子〉	394
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈大 浜 幾 久 子〉	394
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈大 浜 幾 久 子〉	394
教 育 と メ デ ィ ア	〈石 橋 達 也〉	395
国 語 科 教 育 法	〈小 林 治〉	396
英 語 科 教 育 法	〈高 野 秀 夫〉	396
特 別 活 導	〈山 田 忠 行〉	397
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈遠 藤 司〉	397
道 徳 教 育 の 研 究	〈山 田 忠 行〉	398
教 育 臨 床	〈遠 藤 司〉	398
総 合 演 習 [現 代 生 活 を 見 直 す]	〈北 村 三 子〉	399
教 育 実 習 II	〈坂 本 信 昭〉	399
教 育 実 習 II	〈萩 原 建 次 郎〉	400

#### (2)教科又は教職に関する科目

教 育 関 係 法 規	〈広 沢 明〉	401
学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	〈山 田 節 子〉	401
読 書 と 豊 かな 人 間 性	〈山 田 節 子〉	401
学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	〈源 昌 久〉	401
情 報 メ デ ィ ア の 活 用	〈源 昌 久〉	401
学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	〈山 田 節 子〉	402

教 職 課 程  
資 格 講 座

### II 学 校 図 書 館 司 書 教 諭 講 座

学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	〈山 田 節 子〉	403
読 書 と 豊 かな 人 間 性	〈山 田 節 子〉	403
学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	〈源 昌 久〉	404
情 報 メ デ ィ ア の 活 用	〈源 昌 久〉	404
学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	〈山 田 節 子〉	405



資格講座  
教職課程

# I 教職課程

## (1)教職に関する科目 (必修)

科目名	担当者名	配当学科	単位
教職入門 (後期)	いそ やま すずむ 磯山 進	教職1必(短国・短英)	2

### 講義のねらい

近年は、メディアはもとより地域・住民の学校教育に対する関心が一層高まり、教員の在り方についても厳しい目が向けられているが、それは他面では学校教育に対する期待のあらわれでもある。かかる動向を踏まえて、本講義では、地域・住民の信託と生徒の期待に応える学校教育を如何に展開していくかについて、教育の理念と教育法規の視点から考察してゆく。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 学校教育の目的について
2. 教育課程の編成について
3. 学習指導と評価について
4. 生徒指導と教育相談について
5. 進路指導について
6. 特別活動の意義について
7. 学級経営について
8. 学校の管理・運営について
9. 校務分掌について
10. 教育活動の評価について
11. 教員の資質・能力と研修について
12. 教育実習について
13. 教員の採用、地位と身分について
14. 教育改革について
15. 総合的な学習の時間について

### 履修上の留意点

教職を志望しているか、教育に関心を持っている人の履修を期待します。

### 成績評価の方法

レポート、出席状況等で総合的に評価する。

### 教科書

教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。

### 参考書等

参考文献は授業の中で示す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	きた むら みつ こ 北村三子	短国・短英1必	2

### 講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていきたいと思います。

### 講義の内容・授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したもののうち、代表的なものを取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、近代では周辺的だった教育思想や実践を検討します。

### 履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

### 成績評価の方法

出席状況とレポートによって評価します。

### 教科書

教場で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	きたむらみつこ 北村三子	短国・短英1必	2

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代学校システムの特質……近代学校システムの成立とその特徴について論じます。
- ②近代学校システムを越えて……教育に関する具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価します。

参考書等

教場で指示

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはまきくこ 大浜幾久子	短国・短英1必	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはまきくこ 大浜幾久子	短国・短英1必	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省)  
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育とメディア (前期)	いし ぼし たつ や 石 橋 達 也	教職1・2必(短国・短英)	2

#### 講義のねらい

本授業では、情報化が著しく進展していく今日の社会的状況における、新たな教育の在り方について学んでいきます。毎回の授業の前半では、学校教育における情報メディアの利用形態について、その現状を眺めて今後の課題を探っていきます。続いて後半では、インターネットを含めたコンピュータ操作の実習を行ない、コンピュータの利用の優れた特徴と問題点を理解します。その上で、情報メディア活用の教育実践に必要な操作能力の習得を目指すとともに、教師としての役割や姿勢についても検討していく予定です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業の講義内容としては、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。

- ・教育の情報化の現状と課題
- ・新たな授業と学習の形態
- ・小中高の学校現場での取り組みの現状
- ・外国における教育の情報化の現状
- ・インターネット利用の影響
- ・情報メディアリテラシーの意義、など。

#### 履修上の留意点

履修する学生には、この授業が教職を目指す上で必要な科目であることを自覚した上で、毎回まじめに出席して授業に意欲的に取り組むことを期待します。

#### 成績評価の方法

成績の評価は期末試験の得点を中心にして、毎回の授業への出席状況や参加態度などの平常点を加味して行ないます。

#### 教科書

使用する教科書については、初回の授業の中で伝える予定です。

#### 参考書等

授業の中で必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していく予定です。

#### その他

授業の中で、毎回コンピュータを使用する実習の時間があります。初歩的なレベルから始めていきますが、受講学生は「学ぶ意欲」をもって積極的に取り組んでいくことが求められます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 科 教 育 法	こ ばやし 小 林 治	教職1必(短国)	4

講義のねらい

本講座の受講生は、その大半が一年後には教育実習生として、教室で生徒を前に授業という形で国語の教科指導を行なうことになる。あるいは、将来、教師として教壇に立つこともあるだろう。そのような時に、国語という科目をどのように教えることができるか、その方法と実際に学ぶための講座である。

国語という科目は大きく分けて、理解と表現という二領域があると考えられる。理解とは、論説文、文学作品などの読解、鑑賞であり、表現とは、文章表現(書く)、口頭表現(話す・聞く)に関わることである。そして、この二領域を横断する要素として、考えること(思考)がある。これらの領域、要素にまたがって、様々な教材を使って生徒の総合的な国語力修得をはかることが、教科指導の目的である。しかし、教育現場において生徒一人一人は、その能力、適性、学習の進度に大きな差があり、一律には指導できない。その多様さに応じた学習指導上の工夫も必須であると言えよう。よって、本講座では従来の一斉授業の枠の中でその長所を把握し、そこにおける効率的学習のあり方を考えることを経て、個人差に応じた学習指導の工夫を試みる授業形態を考えていくことになろう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 2002年実施の新学習指導要領について。
2. 国語科教育の基本的な知識と方法。
3. 中学校教科書を用いた授業展開例の紹介と、その問題点の把握。
4. 実際に教育現場で行なわれている新しい指導法の紹介。
5. 指導案の作成。
6. 中学校教科書を用いての受講者一人一人の模擬授業。

履修上の留意点

受講生が教育現場で教壇に立った時に遭遇する様々な困難を想定し、それに対処できるような実践力の養成を行ないたいので、漠然とした教師への憧れや、安易な資格取得目的による受講がないよう希望する。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容(教科指導案を含む)、模擬授業の内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

『実践的国語科教育法』(新典社)2,000円 中学校教科書『現代の国語1』(三省堂)690円(5月以降に購入可能)

参 考 書 等

その都度指示する。なお、適宜、プリントを配布する。

そ の 他

ビデオ等を使って各校の授業展開例を紹介する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 科 教 育 法	たか の ひで お 高 野 秀 夫	教職1必(短英)	4

講義のねらい

教壇で英語を教えるための基礎的知識、技能等を学び、英語教師として生徒指導のできる教授法を身に付ける。

講義の内容・授業スケジュール

年間の全授業の前半は英語教師であるために必要な基本的な英語の特徴(文法、音体系)及び教授法を学ぶ。後半は教授法の作成、テストと評価、学生による模擬授業を行ない具体的な指導を行なう。

履修上の留意点

英語によるコミュニケーションに努めること。  
教えるに足る十分な英語力を身に付けること。

成績評価の方法

平常点(出席、レポート)、筆記試験、模擬授業の総合評価。

教 科 書

塩沢利雄他著『新英語科教育の展開』(英潮社)

参 考 書 等

教場にて指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
特別活動(後期)	やま だ だ けい 山 田 忠 行	教職1・2必(短国・短英)	2

講義のねらい

「特別活動」は、望ましい集団活動を通して、好ましい人間関係を形成し、社会の一員としての自覚と責任ある態度を身につけるとともに、自己を生かす能力などを養うものである。人間形成に果たす特別活動の役割について研究を深めるとともに、この特別活動の活動内容の取り扱い方及び指導計画の作成、指導方法などについての実践的な指導力を身につけていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 特別活動の教育的な意義、特別活動の歴史の変遷
2. 特別活動の目標、個と集団の関係
3. 学級活動の特質と生徒指導、ガイダンスの機能の充実
4. 生徒会活動の特質と活動内容、ボランティア活動と地域との連携
5. 学校行事の特質と活動内容、特別活動の課題

履修上の留意点

グループ討議での積極的な発言、創意工夫を生かした指導計画や指導資料作成など意欲的な取り組みを望みます。

成績評価の方法

出席状況、学習指導案の立案、レポート試験等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部科学省『中学校学習指導要領解説―特別活動編―』(ぎょうせい) 70円

参考書等

森嶋昭伸・鹿嶋研之助編著『中学校新教育課程の解説―特別活動―』(第一法規) 1,300円

その他

指導案の立案、講義内容に則した小レポートの作成等

科目名	担当者名	配当学科	単位
生徒指導論 (進路指導を含む)(前期)	えん とう つかさ 遠 藤 司	教職1・2必(短国・短英)	2

講義のねらい

生徒指導、ならびに進路指導の名のもとに、現在の学校で様々な教育的営みが行われている。将来、教職に就くことを目指している人間として、生徒(他者)の生活面を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちに既にもっている自らの生徒指導観、ならびに進路指導観をとらえなおした上で、より豊かに深めていくことがこの授業の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマを予定している。 1. 「問題行動とは何か」という問いに関わる諸問題 2. 不登校、いじめ等の実際の事例を通しての実践的考察 3. 教師―生徒関係の中での生徒指導・進路指導の在り方、特に「指導」という概念のとらえ直し 4. 個の尊重と組織・集団活動との相克の中での生徒指導・進路指導

履修上の留意点

授業時に授業者によって発せられる様々な問いに対して、安易に他者に正解を求めるのではなく、自分の言葉で考えようとすることを望む。特に、ほぼ毎回の授業で授業者の問いについて考えたことを書いてもらう機会を作るが、それに対しては誠実に真剣に考え、自分の文章にすることを要求する。

成績評価の方法

学期末のレポートにより成績評価を行う。なお、授業への参加の仕方の積極度、授業時の提出物の内容等も成績評価に加味する場合もある。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
道徳教育の研究(前期)	やま だ なた ゆき 山 田 忠 行	教職2必(短国・短英)	2

講義のねらい

「道徳教育」の充実、我が国の大きな課題であり、学校教育全体において充実した取り組みが必要である。この「道徳教育」の教育的意義や目標及び指導内容、指導方法等について理論と実践の両面から研究を行い、教師としての指導力を身につけていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 道徳教育の歩み、今求められる心の教育
2. 道徳教育の基本的な在り方、道徳教育の目標、道徳の指導内容
3. 道徳の学習指導案、道徳の資料の開発と活用
4. 全教育活動における道徳教育、内面に根差した道徳性の育成
5. 家庭や地域社会との連携、道徳教育の充実のための課題

履修上の留意点

道徳教育の意義をよく理解し、積極的に授業に臨み、具体的な指導計画の作成や指導方法を身に付けてほしい。

成績評価の方法

出席状況、学習指導案の立案、レポート試験等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部科学省『中学校学習指導要領解説—道徳編—』（財務省印刷局）260円

参考書等

七條正典・押谷慶昭編著『中学校新教育課程の解説—道徳—』（第一法規）1,300円

その他

講義、指導資料の作成、講義内容に則した、小レポートを提出する等

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育臨床(後期)	えん どう つかさ 遠 藤 司	教職1・2必(短国・短英)	2

講義のねらい

心の教育が重視されている現在の教育現場において、カウンセリングに代表される、臨床心理学的視点をもつ教師の育成が求められている。この授業では、将来、教職に就くことを目指している人間がカウンセリングについて学ぶことの意味を考え、双方向の対話を基に教師—生徒関係を築こうとしつつ、なおかつ指導する人間としての教師をも生きようとするこの意味を考えることを通して、自らの教師観をより豊かに深めていくことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマを予定している。 1. カウンセリングについて学ぶ 2. 教師としてカウンセリングを学ぶことの意味を考える 3. 教師—生徒関係をとらえ直し、特に指導することと理解することとの関係 4. 他者との対話的關係を生きることについて考える

履修上の留意点

授業時に授業者によって発せられる様々な問いに対して、安易に他者に正解を求めるのではなく、自分の言葉で考えようとすることを望む。特に、ほぼ毎回の授業で授業者の問いについて考えたことを書いてもらう機会を作るが、それに対しては誠実に真剣に考え、自分の文章にすることを要求する。

成績評価の方法

学期末のレポートにより成績評価を行う。なお、授業への参加の仕方の積極度、授業時の提出物の内容等も成績評価に加味する場合もある。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合演習 〔現代生活を見直す〕(後期)	きたむらみつこ 北村三子	教職2必(短国・短英)	2

講義のねらい

環境汚染は日々深刻さを増してきており、私たちの子供や孫の世代が健康に暮らしていけるかどうかさえ怪しくなっている。人類の未だ経験したことのないこの危機に、私たちはどう対処していったらよいのだろうか。この授業では、現代人の生活を見直すことを通じて、私たちに何ができるかを考えていきたい。また、「総合的な学習」の指導にもこの演習が役立つようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

「総合的な学習」について解説したあと、エネルギーや食品など生活に深く関わる問題を中心に検討したい。文献を読み議論することが中心となるが、必要に応じて自分達で調査することも試みたい。

成績評価の方法

出席状況とレポートによって評価する。

参考書等

教場で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅱ	さかむとのぶあき 坂本信昭	教職2必(短国)	5

講義のねらい

教育実習での失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくするというよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導(教育)も大事にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容(領域)等に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。(前期)

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。(前期・後期)

教育実習後は、各自の教育実習報告、レポート作成(提出)、教育問題にかかわるビデオの視聴、ディスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か―どうあるべきか―について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像等についても一緒に考えたいと思う。(後期)

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

(1) 実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、(2) 教育実習報告(口頭報告)及び報告レポート、(3) ビデオ視聴のコメント(感想)、(4) 年度末試験(または、課題レポート)によって、総合的に評価します。

教科書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』(宣協社) 1,500円

参考書等

寺崎昌男他編『教育実習57の質問』(学文社) 1,000円

資格講座  
教職課程



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 実 習 II	はぎ わら けんじろう 萩 原 建次郎	教職2必(短英)	5

講義のねらい

教育実習をはさんで、教育実践体験を受講者同士で深め合い、教育実現を深くつかんでいくまなごしや、教師としての身体技法を養っていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

実習前には実習に関するビデオを見たり、模擬授業をおこないながら、指導案作成の方法を学び、実習することの意義や心がまえなどを考えたい。実習後は各自体験レポートを持ち寄り、実習のふりかえりと分かち合いをおこなう。そこから共通して考えるべきテーマ、話題があれば適宜とりあげて受講者同士と共に考えていきたいと思っている。

履修上の留意点

教育実習を中心とした体験学習、参加型の学習なので、受講者の主体的な参加が求められる。

成績評価の方法

実習校からの評価、口頭発表、レポート、出席等により総合的に評価する。

教 科 書

教科書・参考書等はそのつど指示する。

参 考 書 等

教科書・参考書等はそのつど指示する。

## (2)教科又は教職に関する科目（選択）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育関係法規	ひろさわあきら 広 沢 明	教職1・2選(短国・短英)	4

### 講義のねらい

教育基本法、学校教育法をはじめとする教育関連法規につき、判例・行政実例などの具体的事例に触れながら講義を行う。教育基本法改正、小中学校設置基準、体験活動・総合学習、出席停止、中等教育学校、学校評議員、児童虐待防止法、少年法改正など最近の動向についても、法的観点から検討を行いたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1～4) 学校の種類・設置・監督庁・組織編制  
 (5～7) 教育の機会均等  
 (8～10) 義務教育（就学義務・無償）  
 (11～13) 教育の中立性（政治・宗教）  
 (後期) (14～16) 教育の目的・内容（学習指導要領・教科書）  
 (17～19) 児童生徒の懲戒と体罰  
 (20～22) 教職員法制（採用・服務・懲戒・勤務条件）  
 (23・24) 教育行政（文科省・教育委員会）  
 (25・26) 学校保健、障害児、福祉法制

### 履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きな姿勢を求める。

### 成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

### 教科書

『解説教育六法』（三省堂）を必携。

### 参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校経営と学校図書館 (前期)	やまだせつこ 山 田 節 子	教職1・2選(短国・短英)	2

(P.403) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
読書と豊かな人間性 (後期)	やまだせつこ 山 田 節 子	教職1・2選(短国・短英)	2

(P.403) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもとしょうきゅう 源 昌 久	教職1・2選(短国・短英)	2

(P.404) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報メディアの活用 (後期)	みなもとしょうきゅう 源 昌 久	教職1・2選(短国・短英)	2

(P.404) 参照

教職講座  
資格講座

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)	山田節子	教職1・2選(短国・短英)	2

(P.405) 参照

資格講座  
教職課程

## Ⅱ 学校図書館司書教諭講座

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ 子 山 田 節 子	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

### 講義のねらい

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題・教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 学校図書館の理念と教育的意義
- 2 学校図書館の発展と課題
- 3 教育行政と学校図書館
- 4 学校図書館の経営
- 5 司書教諭の役割と校内の協力体制、研修
- 6 学校図書館メディアの選択と管理、提供
- 7 学校図書館活動
- 8 図書館の相互協力とネットワーク

### 成績評価の方法

レポートと小テストによる平常点

### 参考書等

- 全国 SLA 図書館学編集委員会編『学校図書館学1 学校図書館の原理と運営』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』
- 福永義臣編著『学校経営と学校図書館』(樹村房)

### その他

講義・討論・ビデオ

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ 子 山 田 節 子	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

### 講義のねらい

現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本を結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するため、司書教諭の役割と自らの責務を中心に、活動の原理と方法、技能についても、具体的に体得してもらう。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 読書の意義と目的
- 2 子どもの読書実態と指導
- 3 読書資料の種類と活用
- 4 発達段階に応じた読書指導
- 5 子どもと本を結ぶための方法
- 6 読書指導推進活動と教員の責務
- 7 地域社会の関連施設等との連携

### 成績評価の方法

レポートと小テストによる平常点

### 参考書等

- 全国 SLA 編『学校図書館白書2 学校図書館と子どもの読書の現状と課題』
- 赤星隆子編著『読書と豊かな人間性』(樹村房)

### その他

この科目の受講は下記の1、2を終了してからが望ましい。

1. 学校経営と学校図書館 (前期)
  2. 学習指導と学校図書館 (前期)
- 講義・ビデオ・読みきかせ等の演習

教職課程  
資格講座

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと 源 しょう きゅう 昌久	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

1) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク 2) 分類法(表)の解説・演習 3) 目録の解説・演習 4) 資料組織の機械化 5) 多様な学習環と学校図書館メディアの配置

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教科書

『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会)セット定価 6,000円  
『日本目録規則 1987年版 改訂版2版』(日本図書館協会)3,500円

参考書等

講義中に指示する。

その他

必要に応じて、ビデオを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと 源 しょう きゅう 昌久	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

1) 情報化社会と人間 2) 情報メディアの特性と選択 3) 視聴覚メディアの活用 4) 学校図書館におけるコンピュータの活用 5) 情報検索

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教科書

(社)情報科学技術協会編『CD-ROM版情報検索の演習』(日外アソシエーツ)

参考書等

講義中に指示する。

その他

必要に応じて、ビデオを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ 子 山 田 節 子	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

#### 講義のねらい

学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学習図書館は、児童生徒が、「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動のさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。

この科目は、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関し、理解を深めることを目的とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 教育課程の展開と学校図書館
- 2 発達段階に応じた学校図書館メディアの選択
- 3 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成
- 4 学習課程における学校図書館メディア活用の実際
- 5 学習指導における学校図書館の利用
- 6 学校図書館における情報サービス
- 7 教師への支援と働きかけ

#### 成績評価の方法

レポートと小テストによる平常点

#### 参 考 書 等

- 「新学校図書館学」編集委員会編『学習指導と学校図書館』（全国SLA刊行）
- 朝比奈大作編著『学習指導と学校図書館』（樹村房）

#### そ の 他

講義・討論・ビデオ・演習

資格講座  
教職課程

# 専攻科

(放射線技術科学専攻)



科学専攻  
放射線技術

## 専攻科（放射線技術科学専攻）

応用医療生物学	〈日下部 正 宏〉	411
放射線の生物影響	〈日下部 正 宏〉	411
放射線生物学研究	〈休 講〉	
放射線生物学特別実験	〈休 講〉	
疾病と画像	〈蜂屋 順 一〉	412
放射線治療効果	〈吉川 宏 起〉	412
画像医学研究	〈蜂屋順一・氏家盛通・西尾誠示・吉川宏起〉	412
画像医学特別実験	〈蜂屋順一・吉川宏起〉	413
線量計測工学	〈小山 正 希〉	413
放射線検出器工学	〈北 沢 日 出 男〉	413
放射線計測工学研究	〈小山正希・青木 清・佐藤昌憲・杉田 徹〉	414
放射線計測工学特別実験	〈小 山 正 希〉	414
放射線感光化学	〈山 本 裕 右〉	414
放射線化学特論	〈山 本 裕 右〉	415
応用放射線化学研究	〈山本裕右・原田和正〉	415
応用放射線化学特別実験	〈山 本 裕 右〉	416
放射線リスク評価学	〈一 守 俊 寛〉	416
最新放射線治療技術	〈久保田 進〉	417
診療機器工学研究	〈檀尾英次・中北倫男〉	417
診療機器工学特別実験	〈中 北 倫 男〉	418
診療機器システム基礎工学	〈中 北 倫 男〉	418
診療機器材料・デバイス工学	〈中 北 倫 男〉	419
放射線画像工学研究	〈高野正雄・熊坂さつき・近藤啓介〉	419
放射線画像工学特別実験	〈高 野 正 雄〉	419
放射線画像解析工学	〈高 野 正 雄〉	420
放射線画像処理工学	〈近 藤 啓 介〉	420

科学專攻  
放射線技術

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用医療生物工学(前期)	くさかべ まさひろ 日下部 正 宏	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

ヒトの体の構造と機能を理解する。また、生物に共通する現象や法則性についても理解する。

講義の内容・授業スケジュール

医療人として必要となる、解剖学、生理学、分子生物学の知識を、最近のトピクスを含めて講義する。

- 1) 神経系の構造と機能
- 2) 循環系の構造と機能
- 3) 呼吸系の機能と構造
- 4) 消化器系の機能と構造
- 5) 泌尿器系の機能と構造
- 6) 生命と遺伝情報

履修上の留意点

授業に出席すること。

成績評価の方法

定期試験とレポートにより評価する。

教科書

特に指定しない。配布プリント。

参考書等

中野昭一著『学生のための生理学I』（医学書院）  
松田幸次郎ら共訳『医科生理学の展望』（丸善）

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線の生物影響(後期)	くさかべ まさひろ 日下部 正 宏	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線が生物に与える影響について理解する。また放射線治療学の基礎となる学習としても理解する。

講義の内容・授業スケジュール

放射線作用の特徴、放射線の分子・細胞レベルにおける作用機構、放射線が臓器および個体に与える影響について講義する。

- 1) 放射線と分子生物学
- 2) 放射線と臓器および個体
- 3) 放射線と温熱作用
- 4) 放射線治療の基礎
- 5) 放射線ホルミシス効果

履修上の留意点

授業に出席すること。英語の辞書を持参すること

成績評価の方法

定期試験とレポートにより評価する。

教科書

特に指定しない。配布プリント。

参考書等

菅原努 監修『放射線基礎医学』（金芳堂）  
ERIC J. HALL, *Radiobiology for the Radiologist* (Lippincott Company)

科目名	担当者名	配当学科	単位
疾病と画像(前期)	はちやじゅんいち 蜂屋 順一	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線診断の対象となる疾患のうち比較的頻度の高いものにつき検査法、画像解剖、異常所見、鑑別診断などにつき学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

中枢神経系、循環器系、消化器系、泌尿生殖器系、骨関節系などの主要疾患。(IVRを含む。)

履修上の留意点

より精度の高い検査を行う技術者となるべく、各種の放射線診断の目的と内容をよく理解するように努める。

成績評価の方法

中間試験、出席などによる。

教科書

大澤忠編集『臨床放射線医学』(系統看護学講座別巻7) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線治療効果(後期)	よしかわこうき 吉川 宏起	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線治療は、放射線診断とともに医学における電離放射線利用の柱であり、現在も大きく進歩しつつある領域である。本講義では各臓器における悪性腫瘍の病期決定に必要な画像情報とその検査法、放射線治療法について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

中枢神経系、頭頸部、肺・縦隔、腹部、男性生殖器、女性生殖器、乳腺、骨軟部、血液・骨髄の各領域における悪性腫瘍の特徴、画像検査法と特徴的所見および放射線治療法について概説する。

履修上の留意点

放射線治療計画を行う上で必要な画像情報とそれを得るための撮影技術を理解する。

成績評価の方法

定期の筆記試験

放射線技術  
科学専攻

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像医学研究	はちやじゅんいち うじいさ じりみち 蜂屋 順一・氏家 盛通 にしお せいじ よしかわ こうき 西尾 誠示・吉川 宏起	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

各種の画像診断の技術は日々発展し続けている。各画像診断法の基礎的研究と臨床への応用と発展に対応できる知識を身につけるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本語による文献による討論、さらに欧米の文献による知識を得ることも心がける。自分が選んだ論文を発表すること、また指定した論文のこともあり得る。

成績評価の方法

授業時間内テストの成績によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像医学特別実験(前期)	はちや じゅんいち よしかわ こうき 蜂屋 順一・吉川 宏起	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

現在すでに利用されている診断法でもさらに新しい撮像法が実行されている。例えばヘリカルCTは一般的なものとなり、3Dイメージ、マルチスライスCTは日常の検査法である。したがって適切な診断を行うための適切な撮影法と条件の設定は診療放射線技師の判断に負うところが多い。そのために十分な医学的知識と実戦力を養うための実験を行う。

成績評価の方法

出席率・授業時間内テストにより評価。

科目名	担当者名	配当学科	単位
線量計測工学(前期)	こやま まさき 小山 正希	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

照射線量、吸収線量、等価線量を定めるための測定ではまず各線量概念を明確にすることが必要である。次にこれらの線量概念を実測するための測定装置について、現時点での対応とその問題点について明らかにし、これら問題点を解決するための方針について考える。国際勧告で提示される線量概念とその同定法に関する指針に準拠し、かつ在来の測定法に必ずしもとらわれずに計測系を構成することを考えてゆく。又、同一条件下で異なる検出系、例えば電離箱型と半導体検出器との測定結果を比較することで測定対象をより明らかにするなどの手法を考えてみる。

成績評価の方法

中間テストによる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線検出器工学(後期)	きた さわ ひでお 北 沢 日出男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

X線、ガンマ線、中性子線、荷電粒子線および重粒子線などの放射線を用いた病理学的診断や治療が幅広く行なわれている。このような医療の現場では、放射線検出器を用いて照射線量を評価することが重要になる。本講義では、各種放射線と物質の相互作用および放射線の統計的振舞いを講述する。さらに、医療用放射線検出器の放射線に対する応答および照射線量との関連を理解させる。医療用放射線検出器の将来についても概観する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)放射線と物質の相互作用
- (2)放射線の統計的振舞い
- (3)医療用放射線に対する検出器の応答関数と照射線量との関係
- (4)医療用放射線検出器の将来

成績評価の方法

中間試験およびレポートの成績、受講態度。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線計測工学研究	小山 正希・青木 清 佐藤 昌憲・杉田 徹	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

- ・ Radiation Research
- ・ Physics in Medicine & Biology
- ・ Medical Physics
- ・ Nuclear Instruments and Methods
- ・ British Journal of Radiology

等の関連外国雑誌から主として医療に係わる、或は関連のある論文を主題にして放射線計測についての新しい知見と在来技術との関係などについて議論する。

成績評価の方法

授業時間内テストによる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線計測工学特別実験(前期)	小山 正希	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

半導体放射線検出器による制動 X 線のエネルギー分布測定など、放射線線束、被放射場の特性及び線量計測システムに関する実験を行う。

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況などにより評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線感光化学(後期)	山本 裕 右	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線の感光材料としてはフィルムが最も一般的であり広く使用されているが、本講義においては、医療分野でフィルムと組み合わせて使用される増感紙、および放射線に対する新しい感光材料として近年使用されている輝尽発光体について、放射線と物質の相互作用に注目して解説する。増感紙については、まずラジオルミネセンスについて触れ、発光機構を説明すると共に、種々の増感紙材料の化学および発光特性について解説する。また、輝尽発光体については、輝尽発光の発光機構について説明し、種々の輝尽発光体材料の化学および発光特性について解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 放射線による発光現象の医療への応用
2. 増感紙に用いられる発光体とその特性
3. 輝尽発光とは
4. 輝尽発光体の歴史
5. BaFX:Eu 発光体の特性と発光機構
6. その他の輝尽発光体の特性
7. ISP の自然科学への応用
8. 輝尽発光現象の線量測定への応用

成績評価の方法

試験およびレポート。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

S. Shionoya and W. M. Yen ed. *Phosphor Handbook*, 1999 (CRC Press)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線化学特論(前期)	やまもと ゆうすけ 山本 裕 右	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

本講義においては、固体の放射線化学のうち、特に、放射線と固体との相互作用を利用した放射線線量測定に関係する領域について解説する。まず、イオン結晶、共有結晶、ガラスについて放射線の固体への効果を概観し、固体に残される放射線効果と格子欠陥の関係、空孔と捕獲中心などに触れながら、放射線のエネルギーがいかんして固体中に蓄積されるか、また、蓄積されたエネルギーをいかんして開放するかを解説する。さらに、以上の事を基礎として、熱ルミネセンス、エキソ電子放出現象について言及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 固体の化学
2. 結晶の不完全さ、格子欠陥
3. 放射線と固体の相互作用
4. 放射線による発光現象
5. 熱ルミネセンスとは
6. グロー曲線の解析
7. 熱ルミネセンスの放射線計測への応用
8. 各種TLDの特性

成績評価の方法

試験およびレポート。

教科書

使用しない。

参考書等

S. Shionoya and W. M. Yen ed. *Phosphor Handbook*, 1999 (CRC Press)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用放射線化学研究	やまもと ゆうすけ はらだ かずまさ 山本 裕右・原田 和正	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

Journal of Luminescence, Journal of Physics, physica status solidi, Journal of Applied Physicsなどの洋雑誌および専門書から、固体線量計、特にTLDおよび輝尽発光体に関する最近の研究論文、総説などを講読し、この分野における最新の研究状況に触れると共に、種々の研究法の詳細、および得られたデータの解釈についての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

予め論文のプリントを配布し、前期は一語一句を正確に訳すことから初める。後期は各自与えられた論文を予め精読、要約し、まとめた内容を30分程度で発表し、論文の内容についての質疑応答を行う。

履修上の留意点

予めの予習が大切である。

成績評価の方法

平常点およびレポート。

教科書

その都度、論文のプリントを配布する。

放射線技術  
科学専攻



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用放射線化学特別実験(前期)	やま ちと ゆう すけ 山 本 裕 右	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

熱ルミセンス発光体 (TLD)、輝尽発光体 (画像蓄積プレート ISP) および増感紙についてその基本原理、基本特性および使用上の注意点等を理解するための実験を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. TLD のグロー曲線
  2. TLD の熱ルミネッセンススペクトル
  3. ISP の輝尽発光スペクトル
  4. ISP の輝尽励起スペクトル
  5. 増感紙の X 線励起発光スペクトル
  6. 増感紙、ISP の X 線回折
- 以上から各自 2、3 テーマを選択して実験を行う。

成績評価の方法

平常点およびレポート。

教 科 書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線リスク評価学(後期)	いち もり とし ひろ 一 守 俊 寛	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

人の感覚器官である目、耳、鼻、舌、皮膚は生物組織で構成された融通性の高い代表的なセンサであるといえる。センサを必要とする分野は広範囲にわたっており、特に医療分野においては益々重要度を増してくると考えられる。本講義では各種センサ素子の物理機構・特性に焦点をあて、それを利用したセンシング技術について理解を深めることを主目的としている。特に、対象に対する理解から新しい発想への展開を考えることを大切にする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 観測とは (感覚する・測定する)
- 2) センサの分類・物理・基礎特性
- 3) センサ素子としての半導体
  - 3.1 センサ用半導体材料
  - 3.2 センサの変換機能
- 4) 磁気センサ
- 5) 光ファイバセンサ
- 6) 超音波・マイクロ波センサ
- 7) 温度センサ
- 8) 化学センサ
- 9) バイオセンサ
- 10) 直接測定とリモートセンシング
- 11) センサの未来像
- 12) クオーツで測る、光でものを測る

成績評価の方法

出席率、課題レポートで評価する。

教 科 書

配布資料

参 考 書 等

S. M. Sze *Semiconductor Devices Physics and Technology* (Willy1985)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
最新放射線治療技術(前期)	くぼた すすむ 久保田 進	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線による癌治療の歴史、現状、将来について学び、癌治療と放射線を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

4月から7月まで週一回、講義を行います。講義の内容はHPにも書かれており、前日までに変更しています。

履修上の留意点

講義中に直接、また電子メールで、質問してください。sk1950@katakuri.sakura.ne.jp

成績評価の方法

7月に試験を行います。

教 科 書

久保田進著『放射線治療ハンドブック』（ERC出版）私のHPも見てください、リンクもたくさんあり、人間の幅が広がります。  
gooなどのサーチエンジンでURLを探してください。

参 考 書 等

館野之男編『原典で読む放射線治療史』（エムイー振興協会）

そ の 他

講義中に質問できなかったこと、後で疑問に思ったことは電子メールで質問してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
診療機器工学研究	かしお えいじ なかきた つねお 榎尾 英次・中北 倫男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

内外の学会誌、専門誌、技術誌所載の論文、総説などを講読し、診断、治療機器の現状と課題について展望をもつ。

講義の内容・  
授業スケジュール

・ American Journal of Roentgenology ・ Radiology  
・ British Journal of Radiology  
・ Medical Physics  
・ INNERVISION  
・ 新医療  
・ 医用機器メーカー技術誌  
などに所載の論文等の中から数編を選び講読することによって、論文の読み方に慣れるとともに、診療機器およびそれらを用いた診断技術について最新の動向と課題の一端を知る。

履修上の留意点

辞書を引くことを億劫がらずに取り組むこと。

成績評価の方法

論文の講読状況による。

教 科 書

必要な論文等は予めコピーを配布する。

放射線技術  
科学専攻

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
診療機器工学特別実験(前期)	なか きた つね お 中 北 倫 男	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

診療機器に用いられるサブシステム、デバイスや要素を取り上げ、それらの機能や特性を実験あるいはソフトウェア・シミュレーションにより調べることによって、診療機器について理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

事例として、今年度は方形波インバータおよび直列共振形インバータの模擬回路を用いて、インバータ式 X 線発生装置における、管電圧、管電流および撮影時間の代表的な調整方法が、どのようになされているか調べる。模擬回路各部の電圧や電流波形を観測すると共に、電圧、電流、周波数、パルス幅などを計測し、調整パラメータとの関係を求める。若干の解析と合せて理解を確かなものとする。

履修上の留意点

予め実験教材等をよく読み、実験内容を理解しておく。

成績評価の方法

実験への取り組み状況とレポートによる。

教 科 書

実験に関係する理論、実験装置の概要、実験の手順、実験結果についての検討・考察課題を記載した教材プリントを配布する。

参 考 書 等

青柳泰司ほか著「改訂 放射線機器工学 (I) X 線診断機器」(コロナ社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
診療機器システム基礎工学(後期)	なか きた つね お 中 北 倫 男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

診療機器のシステムの取扱いの基礎と、診療機器そのもの、その構成要素などの動向、さらに画像診断機器を用いた診断コストの評価および医療技術評価などについて解説し、診療機器への理解を深めるとともに視野を広げることで幅広く活躍できる素地を与える。

講義の内容・  
授業スケジュール

診療機器は病院情報システム、放射線部門システムや医用画像保管通信システムなどのサブシステムであると同時に、それ自体多くの構成要素またはサブシステムからなるシステムとみなすことができる。そこで、これらの信頼性や保全性をどうとらえるか、理論の基礎を解説する。次に、サブシステムとしての二三の例として超伝導磁石システムや X 線平面検出器などを取り上げる。また、最近進歩の著しい CT や MRI の動向を述べる。さらに、MRI 診断や CT 診断のコスト評価例を示し、最後に医療技術評価の問題に触れる。

履修上の留意点

専門分野の深耕と周辺知識の拡大に意欲的であること。

成績評価の方法

筆記試験、レポート、受講態度などによる。

教 科 書

必要に応じ教材プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
診療機器材料・デバイス工学(前期)	なか また つね お 中 北 倫 男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

診療機器を構成する材料やデバイスについて、基本的理解を深めるために、固体物性論の基礎的なところを解説し、次いで診療機器で使用される材料について概観する。さらに、最近なお進歩を続けている二三のデバイスについて述べ、幅広く活躍できるよう素地を与える。

講義の内容・授業スケジュール

固体物性論の序論として、簡単な量子力学の解説に始まり、結晶、格子振動、固体のエネルギー帯理論、磁性および誘電特性などの説明を行う。これらを踏まえ、金属材料、セラミックス、磁性材料およびプラスチックなどが、どのような物性を前提にして、診療機器のどのような部分に使用され効果を発揮しているか概観する。さらに、ステントなどのデバイスについて述べる。

履修上の留意点

専門分野の深耕と周辺知識の拡大に貪欲になること

成績評価の方法

筆記試験、レポート、受講態度などによる。

教科書

必要に応じて教材プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線画像工学研究	たかの まさお くまがさ 高野 正雄・熊坂さつき こんどう けいすけ 近藤 啓介	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

前半は、画像工学特別実験で必要となる技術について、雑誌や論文の講読をする。後半は一つのテーマを深く掘り下げることをねらいとした文献の講読を行い、「研究における創造性とは何か」の一端を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

月1回、選定した文献を講読し、発表する。

履修上の留意点

関連する文献の調査をしっかりとこなうこと。

成績評価の方法

講読発表した文献の理解度を評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線画像工学特別実験(前期)	たかの まさお 高野 正雄	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

X線画像形成システムを使用して、画質の評価法や解析法、画像処理と読影画質の関係の解明等をテーマにして実験を行い、レポートをまとめる。自分の知識をフルに使い、工夫と努力により一つのをまとめ上げる貴重な体験学習をする。

講義の内容・授業スケジュール

各人のテーマは協議して決定。

履修上の留意点

自分が選んだテーマなので、自らの努力と行動力が大切です。

成績評価の方法

学習姿勢とレポート。

その他

積極的に人と討論をし、レポートの内容を高めて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線画像解析工学(後期)	たかのまさお 高野正雄	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

よりよいX線画像の診断を行うためには、優れた画質の像を作る必要がある。そのためには、対象となる画像形成システムの画質の解析を行い、最良の状態にしなければならない。本講では、そのための基礎理論と具体的な手法について学習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. フーリエ解析Ⅰ。(アナログ)
2. フーリエ解析Ⅱ。(デジタル)
3. ウェブレット解析の基礎

履修上の留意点

理解を深めるため、授業の半分は演習です。自習を必ずやって下さい。

成績評価の方法

演習とレポートの総合点。

教科書

内田勝監修『デジタル放射線画像』(オーム社) 3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線画像処理工学(前期)	こんどうけいすけ 近藤啓介	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

今日、病院で取り扱われている医用画像の多くは、デジタル信号化され画像処理されて出力している。また、これらの信号は、保管や検索さらに伝送のための圧縮/伸長などの画像処理がおこなわれ、画像診断分野の合理化、スピードアップ等に活用されている。大変重要な技術で、IT時代の医療人としては不可欠なものである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 画像処理の基礎
  1. 画像のデジタル化
  2. 入力画像の単純変換処理
  3. 空間フィルター処理
  4. 直行変換フィルター処理
  5. 画像の表示
  6. 2値化画像
  7. 可逆符号化
  8. 非可逆符号化
  9. ウェブレット変換
- II. イメージングシステム

履修上の留意点

毎週演習をおこないます。自習をしっかりとする事。

成績評価の方法

試験とレポートの総合点

教科書

英保茂『医用画像処理』(朝倉書店) 3,200円

# 仏教科—夜間開講—



# I 全学共通科目





# 1. 宗教教育科目

宗教教育

# 1. 宗教教育科目

仏教と人間〈角田泰隆〉 .....	429
仏教と人間〔再クラス〕	

宗教教育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	つの だ たい りゅう 角 田 泰 隆	短仏1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		短仏2年	

#### 講義のねらい

宗教とは何か、そして仏教とは何かについて、その基本的事柄について、できるだけわかりやすく講義する。特に、葬式仏教と批判され誤解されている仏教を、正しく認識してもらいたいと思う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教とは何かについて概説し、世界宗教（キリスト教・イスラム教）と民族宗教（ユダヤ教・ジャイナ教・ヒンドゥー教・儒教・道教・神道ほか）についてそれぞれ講義する。後期は、仏教の歴史及び思想を解説する。

#### 成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、年間授業数の3分の2以上授業に出席することが必要である。

宗教教育

## 2. 教 養 教 育 科 目



教養教育

## 2. 教養教育科目

### (1) 人文分野

宗教学〔聖と俗〕	〈菅原壽清〉	435
宗教学〔比較宗教文化〕	〈田中かの子〉	436
文学〔日本文学「古典」〕	〈田中伸作〉	436
文学〔日本文学「近代」〕	〈保明陽子〉	437
歴史学(1)〔日本近代史〕	〈林彰〉	437
歴史学(2)〔中国史概観〕	〈小林惣八〉	438
歴史学(3)〔アジア史概観〕	〈小林惣八〉	438
哲学〔西洋思想の源流〕	〈河谷淳〉	438
哲学〔近代の人間観と世界観〕	〈伊古田理〉	439
哲学〔現代文明と人間〕	〈鈴木聡〉	439
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈伊古田理〉	440
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈麻生享志〉	440
倫理学〔現代と倫理〕	〈古田知章〉	441
倫理学〔人生と倫理〕	〈末木恭彦〉	442

### (2) 社会分野

法学・憲法〔法と権利〕	〈鶏徳啓登〉	442
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈長谷川日出世〉	443
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈枝松正行〉	443
経済学〔現代経済と人間〕	〈明瀬政治〉	444
社会学〔現代社会を考える〕	〈呉炳三〉	445
社会学〔現代文化を考える〕	〈橋爪敏〉	445
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内康慈〉	446
文化人類学〔文化と人間〕	〈川上新二〉	447
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈杉井純一〉	448
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈清滝仁志〉	449
政治学〔国際社会と日本〕	〈山村恒雄〉	450

### (3) 自然分野

心理学 (1)〔ヒューマン・ウォッチング〕	〈鈴木順一〉	451
心理学 (2)〔人間関係を考える〕	〈鈴木順一〉	452
生物学〔生態と進化〕	〈清水善和〉	453
生物学〔生物と環境〕	〈中村敏枝〉	454
コンピュータ基礎(1)(3)〔コンピュータと情報〕	〈澤口隆〉	455
コンピュータ基礎(2)(4)〔コンピュータと情報〕	〈上原隆平〉	456
地球科学〔地球環境の現在・過去・未来〕	〈山縣毅〉	457
地球科学〔変動帯としての日本列島〕	〈藤井享〉	458
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	〈篠原正雄〉	459
自然環境論〔環境と保全〕	〈山縣毅〉	460
情報数論学〔情報と論理〕	〈小沢誠〉	460



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 〔聖と俗〕	すが わら とし きよ 菅 原 壽 清	短仏選	4

#### 講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、前半は宗教学・宗教人類学についての基礎的な講義を、後半はこれまで私が調査してきた東南アジアや中国雲南などにおける人々の暮らしや宗教（スライド使用）を事例としながら聖と俗の問題、さらには日本人の生死観、宗教と現代社会との関わりなどについても考えてみたいと思います。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

〈宗教人類学入門〉

- 1、宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
- 2、宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）  
〈宗教の多様性〉
- 3、さまざまな宗教形態（その多様な形態）
- 4、宗教の分類方法（現代の分類方法）  
〈聖なるコスモロジー〉
- 5、聖と俗
- 6、東南アジア・中国雲南の人びとの暮らしと宗教
- 7、シャーマニズム
- 8、日本人の生死観

#### 成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

#### 教 科 書

指定なし。

#### 参 考 書 等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

#### そ の 他

ビデオ・スライドなども使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔比較宗教文化〕	田 中 かの子 <small>た なか こ</small>	短仏選	4

講義のねらい

「～教」という名称に慣れていると、あたかもそれが根えない壁をなして他宗教との境界をつくっているかのように思えてくる。けれども諸宗教のおこなわれている現地に行ってみると、そこには「～教徒」である以前の、「人間」として限りある生命（いのち）をまっとうするための様々な生き方がみられ、宗教の多様性よりもはるかに個性豊かで、意外性に富んでいる。宗教文化は、そのような「人間」の諸相を信仰生活によりまとめあげるものであるが、共に生きる信仰の異なる人々との交流をとおして伝播する思想の影響力は測りがたく、実際の「～教」というのは、世界地図では表示できない範囲と次元において展開してゆくものである。本講は、このように融通性のある宗教観にもとづき、世界の主要な宗教文化を誤解や偏見を廃した正しい観点から理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから、講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をともなうゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教を選び、それぞれの歴史・思想・文化、および、相互の歴史的連関について解説する。その予備知識として、前期の初めには、比較宗教学の基本的立場、宗教多元主義の問題点、諸宗教を比較する方法などを講ずる。

履修上の留意点

生きた諸宗教の実相を垣間見るため、祈りの声や聖歌（録音テープ）を聴き、スライドを鑑賞することを重視する。

成績評価の方法

出席状況、夏休みのレポート（B5版に収まる短文のなかで自己表現できるような課題）、各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験（たんなる答案であるにとどまらず、在学中の貴重な時間を費やした一つの作品となるような問いをたてる予定）。

教科書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探求』（北樹出版）2004年

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「古典」〕	田 中 伸 作 <small>た なか しん さく</small>	短仏選	4

講義のねらい

『平家物語』は軍記物語の代表として知られるが、そこには平家一門をとりまく人々のドラマが実に生き生きと描かれている。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学の一つと言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。

また、史実が文学に取り込まれたとき、どのような世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的な問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教科書

『平家物語抄』（おうふう）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 〔日本文学「近代」〕	ほあきようこ 保明陽子	短仏選	4

講義のねらい

明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。これまで日本という国は、西欧の「近代化」に多大な影響を受けてきた。しかし昨今の風潮は、その流れを端に押しやる勢いがある。そこで、これまでの過去の歴史的経緯を考慮しつつも、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ日本独自の「近代化」を、文学的視座から改めてとらえ直す。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会の背景をかいま見る。

講義の内容・  
授業スケジュール

文学作品に現れた「英雄」「恋愛」「家」「武士道」「宗教」「癒し」「救い」といった様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。このような日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組をとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何かを探求するが、具体的な作品についてはそのテーマごとに適宜講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品について本格的に考えることになる。授業に出席することで新しい考え方を探求し、そして実際に本を読み、そこで獲得した考察の成果を表現することが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して話題になるテーマについて、その都度みなさんが考察してきたことが、不定期に課されるレポート提出という形で問われ、その提出状況と内容が成績に反映される。

教科書

畑有三・山田有策・長野隆『作品で綴る近代文学史』双文社出版 2000円  
随時プリントも配布する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔日本近代史〕	はやし 林	あきら 彰	短仏選 4

講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定である。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、人物・メディアを中心に具体的に近代の思想の流れをおっていく。とくに、体制側の思想と運動、反体制側の思想と運動に留意しながらみていく。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

参考書等

講義中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (2) 〔中国史概観〕	小林 惣八	短仏選	4

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。  
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (3) 〔アジア史概観〕	小林 惣八	短仏選	4

講義のねらい

ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。  
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	河谷 淳	短仏選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主要なテーマとして取り上げることで「考える」ということがどのような営みなのかを一緒に考えることにしたい。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。  
前期：（１）ギリシア哲学（ソクラテス以前の哲学・ソクラテスにおける「無知の自覚」・プラトンのイデア論・アリストテレスによるイデア論批判）  
後期：（２）キリスト教哲学（信仰と合理性・神の存在証明・普遍論争）  
（３）近代哲学（大陸合理論とイギリス経験論、カント哲学）

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 <small>いこた</small> 理 <small>まさる</small>	短仏選	4

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点をさぐる。今年度は、特に「真理（ホントであること）」について検討する。近代において、「真理」の概念がどのように形成され、現代文明を考えるうえでどのような意義と問題点をもっているかを解説する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要なところをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	鈴木 <small>すずき</small> 聡 <small>さとる</small>	短仏選	4

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を生徒諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

以下の素材のうちのいくつかを叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果論
2. 演繹
3. 帰納
4. 仮説形成
5. グルーのパラドクス
6. 懐疑的パラドクス
7. ニューカムのパラドクス
8. 囚人のディレンマ
9. 言語哲学

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

その他

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→…という形式で行う。



科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	いこた まさる 伊古田 理	短仏選	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにした。

講義の内容・授業スケジュール

①古典的三段論法 ②公理系Ⅰ～命題論理 ③公理系Ⅱ～述語論理 ④コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	あさ おたかし 麻生 享志	短仏選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1)論理とは何かを考え、(2)変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3)日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、パラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなす、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔現代と倫理〕	ふるたともあき 古田知章	短仏選	4

#### 講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上でこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

##### 〔前期〕倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 — 倫理的であること —
2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
3. 中世における宗教的倫理観
4. ルネサンスと宗教改革 — 個としての人間 —

##### 〔後期〕

- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）  
近・現代における倫理思想 — 主体性と自由の問題 —
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
  1. 生命の尊厳
  2. 人間の環境との関係
  3. 情報と倫理

#### 成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

#### 教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

#### 参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔人生と倫理〕	末木恭彦 <small>すえ き やす ひこ</small>	短仏選	4

講義のねらい

人は一人では生きることができない。生きることは、必然的に人と人の関わりの場に身を置かねばならない。人倫の中に生きるのである。人は、また、「よく」生きることを求める。ここに、どう生きるのが「よく」生きることか、また、それがどうして「よく」生きることになるのかという問題が生じる。これらは、「倫理学」の主要な内容をなす。本講義は、我々が生きることの「倫理」性に自覚を深めることを目的として、その参考となるように先人の「倫理」をめぐる諸説を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、特に環境との関わりに問題をしぼる。又、参考とする先人は、東洋（特に中国・日本）に限り、東洋の伝説的な思想が現代に於ていかに役立つかを課題としたい。教科書は、国際シンポジウム「東洋の伝統的環境思想の現代的意義」の報告論文集である。講義は、教科書に収める論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進みながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとる（板書を書き写すだけでなく口頭説明も的確に要をとらえ記録すること）

成績評価の方法

中間試験と学年末試験、レポートに出席態度を加味して判断する。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	鷄徳啓登 <small>けい とく ひろ とう</small>	短仏選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
  - 法の意義
  - 法発生の背景
  - 法とその近辺の社会規範
  - 法の種別と解釈
  - 法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
  - 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
  - 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
  - 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	短仏選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	えだ まつ まさ ゆき 枝 松 正 行	短仏選	4

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の間中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

その他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 〔現代経済と人間〕	みょう せ まさ はる 明 瀬 政 治	短仏選	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講生にあつては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- ① 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
  - ② きょうは「経済学」か、と言わせたい
- そして、
- ③ 結構おもしろい（じゃん）、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りで業間チェック（クイズ）を行い、平常点として考慮します。

教 科 書

『クミコの経済学ノート』

参 考 書 等

基本事項を整理しておきたい受講生、もっと本格的に学びたい受講生には、下記の図書を推薦します。

- 幸村千佳良 著『経済学事始』（多賀出版）  
 伊藤 元重 著『入門経済学』（日本評論社）  
 林 俊彦 著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 呉 びとん さん 三	短仏選	4

講義のねらい

社会学は個人、集団、社会などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何かだろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- (2) 経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- (3) 社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- (4) 若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

前・後期末に筆記試験を行う。詳細は開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	はし 橋 づめ さとし 爪 敏	短仏選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）  
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）  
その他授業中に適宜指示したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
統 計 学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	短仏選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (前期) (1)統計学の概要 (2)度数分布表とヒストグラム (3)基本統計量  
(4)確率の定義 (5)場合の数 (6)和事象・積事象の確率  
(7)演習 (8)確率変数と確率分布 (9)平均・分散と期待値  
(10)確率変数の標準化 (11)正規分布表問題 (12)演習 (13)まとめ
- (後期) (14)母集団と標本 (15)点推定と区間推定  
(16・17)正規母集団の区間推定 (18)仮説検定  
(19・20)正規母集団の検定 (21)推定・検定の応用 (22)演習  
(23)散布図と相関係数 (24)回帰分析 (25)回帰分析の応用 (26)まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教 科 書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参 考 書 等

適時指定します。

そ の 他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔文化と人間〕	かわ 川 かみ 上 しん 新 じ 二	短 仏 選	4

#### 講義のねらい

文化人類学とは「文化」を通じて人間を研究する学問です。ここでいう「文化」とは、私たちの誰もが身につけている生活様式や慣習をいいます。地球上のさまざまな地域にはさまざまな生活様式をもった人々が暮らしています。それら数多くの生活様式の中には、私たちから見ると「変だな」と感じるものや、私たちと「似ているな」と見えるものがあるかもしれません。ところで「変だな」とか「似ている」と感じるのは私たちの規準から見てのことであり、相手から見れば私たちの生活様式の方が「変だ」と思われるかもしれません。自分の文化を規準にして相手の文化を見てしまうと、もうそのときから相手を誤解してしまうことが始まります。私たちから見れば「変だ」と見える文化も、それが存在しているのには相応の理由があるかもしれません。文化人類学では、さまざまな文化の客観的理解を通じて相手すなわち人間を理解しようと努めます。文化の異なる相手を正しく理解しようとするための学問ともいえるでしょう。この講義では、前期では文化人類学の特色や方法について紹介し、後期では特に韓国の文化を中心にその他の地域の文化と比較しながら異文化理解の視点を養うことを目的とします。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期(1)文化人類学とは、(2～3)人類学の範囲・形質人類学、考古学、(4～5)言語学、(6～7)人間と動物の違い、(8～9)「文化」とは、(10～11)異文化理解について、(12～13)文化人類学の歴史・方法について。  
後期(1)韓国の婚姻規定(誰と結婚できるか)、(2～3)韓国の親族組織(どこまでが近いシンセキか)、(4～6)死後結婚(なぜ死んだ人を結婚させるのか)、(7～9)巫女になる(なぜ霊は憑依するのか)、(10～12)祖先を祀る(なぜ祖先を祀るのか)、(13)まとめ。

#### 成績評価の方法

試験の結果と提出物の内容、授業出席の姿勢などを総合して成績評価を行ないます。

#### 教 科 書

教科書は特に指定しません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔諸民族とコスモロジー〕	すま い じゅん いち 杉 井 純 一	短仏選	4

#### 講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものと共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
  1. 文化人類学とは何か
  2. 文化人類学の歩み (1)
  3. 文化人類学の歩み (2)
  4. 文化とコミュニケーション
  5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
  6. 環境と人間 (2) 牧畜民
  7. 環境と人間 (3) 農耕民
  8. ジェンダー
  9. セクシュアリティ
  10. 婚姻の形態
  11. 家族の多様性
  12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
  1. 呪術と宗教
  2. アニミズム
  3. シャーマニズム
  4. シンクレティズム
  5. 儀礼の構造
  6. コスモロジー
  7. 神話
  8. 政治組織
  9. 民族とエスニシティ
  10. 民族紛争と戦争
  11. 開発と文化
  12. 移動の民族誌

#### 履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

#### 成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

#### 教 科 書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

#### 参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円  
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円  
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

#### そ の 他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4~5回程度)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 〔政治システムと政治参加〕	きよ たま ひと し 清 滝 仁 志	短 仏 選	4

#### 講義のねらい

この講義では、グローバル化を中心課題において、社会の変化を政治学の観点から学んでいきます。皆さんの生きている時代は今までになく将来が見えない状況となっています。たとえば「定年まで同じ会社にいる」「土地は値上がりする」「銀行はつぶれない」など以前における社会常識の多くが通用せず、この状況は、ほとんど誰もが経験していません。

講義では、この社会変化を考察しながら、将来自分がどのような知的態度をもって対応すべきか、を解明する手がかりとなるような内容をめざします。授業を通じ、自分で未来を切り開くための知識と知的習慣を身につけ、どのように自分が能力を磨き、何をしたいのかを考えることを期待しています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

詳細は初回の授業で説明

- 1 グローバル社会における諸問題
  - (1) グローバル化の時代—市場と国家の新たな関係—
  - (2) 市場経済の展開—「大きな政府」から「小さな政府」へ—
- 2 日本における「構造改革」の推進
  - (1) グローバル化と日本—日本型経済システムとその限界—
  - (2) 日本の政治と「構造改革」
- 3 政治制度の比較考察
  - (1) 選挙制度と日本の政党政治
  - (2) アメリカ大統領制の考察
- 4 日本における政策課題
  - (1) 福祉国家の形成と動揺
  - (2) 地方分権と地方自治
  - (3) 日本農業の変革と国際化

#### 履修上の留意点

この講義では次のことをおこないます。

- 1 身近な時事問題を取り上げ、そのポイントの解説
- 2 授業の冒頭で皆さんの質問に答え、復習
- 3 授業中、文章の表現能力を身につけるための練習  
さらに公務員試験等に対応できるように配慮します。

#### 成績評価の方法

定期試験を中心としますが、レポート、出席状況を勘案。講義を通じて、いかに力をつけたか、を評価します。

#### 教科書

文献は講義・HPを通じて随時紹介します。

#### 参考書等

毎回、レジユメと資料を配布します。レジユメはHPを通じて入手可。

#### その他

講義を受け身に聴くのではなく、取り上げた話題を自発的・積極的に考えていくことを期待します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 〔国際社会と日本〕	やま 山 村 恒 雄 むら つね お	短仏選	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本をめぐる諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。

参 考 書 等

授業中、随時指定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	短 仏 選	4

#### 講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。ヒューマン・ウォッチング(人間観察)の対象は、他者の行動ばかりではない。自己の内面の動きや行動を観察することでも、深い人間理解が得られるのである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

[前期] (1)学習とは? 授業方針 (2)心とは何か (3)性格検査による自己理解 (4)パーソナリティ理論 (5)精神分析的人格理論 (6)グループ形成とエンカウンター (8)コミュニケーションの促進 (8)感覚・知覚・認知 (9)自己認知 (10~11)カウンセリングの理論と技法 (11~12)発達心理学

[後期] (13)心の病と心理療法 (14)交流分析による自己理解 (15)自己肯定の人間関係 (16~17)学習理論と行動療法 (18)relaxation法 (19~22)社会的行動

#### 履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

#### 成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

#### 教 科 書

中村昭之編著『心理学概説』(八千代出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (2) 〔人間関係を考える〕	すずき じゅん いち 鈴 木 順 一	短 仏 選	4

#### 講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

〔前期〕 (1)学習とは？ 授業方針 (2)心とは何か (3)性格検査による自己理解 (4)パーソナリティ理論 (5)精神分析的人格理論 (6)グループ形成とエンカウンター (8)コミュニケーションの促進 (8)対人関係の心理 (9~10)カウンセリングの理論と技法 (11)生涯発達の心理 (12)親子関係の心理

〔後期〕 (13)青年の心理 (14)交流分析による自己理解 (15)自己肯定の人間関係 (16~17)学習理論と行動療法 (18)relaxation法 (19)職場の人間関係 (20)恋愛と結婚の心理 (21)流行とマス・コミュニケーション (22)社会病理と犯罪

#### 履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

#### 成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

#### 教 科 書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	しみず よしかず 清水 善和	短仏選	4

### 講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
  - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
  - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発 (4) 大量絶滅
  - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
  - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
  - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
  - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
  - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生態学－産めよ殖えよ地に満てよ
  - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
  - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
  - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
  - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
  - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
  - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
  - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
  - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
  - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
  - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
  - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
  - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
  - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバルゼーション
  - (1) 里山の生物 (2) 都市と生物 (3) 帰化種の侵入

教養教育

### 成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

### 教科書

受講者には清水が執筆したweb版教科書(無料ダウンロード可)を紹介する。

### 参考書等

章ごとに適宜紹介する。

### その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中 村 敏 枝	短仏選	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ、ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題をとりあげる。地球温暖化についてその背後にある社会・経済問題も視野にいれながら考察したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

(前期) (1-5) 地球の歴史と生命の期限

(6-13) 生態系のしくみ

(後期) (14-21) 生物の生活-植物群落の遷移・動物の生殖行動

(22-26) 地球温暖化-生態系に与える影響・代替エネルギー

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学-地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円

参 考 書 等

授業時間内に随時紹介します。

そ の 他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(1)(3) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	さわ ぐち たかし 澤 口 隆	短仏選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (Hyper Text Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教 科 書

使用しない。適宜資料を配付する。

参 考 書 等

同上

そ の 他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(2)(4) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	うえ はら りゅう へい 上 原 隆 平	短仏選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやったらいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

村井純著『インターネット』(岩波新書416) 630円および村井純著『インターネットⅡ』(岩波新書571) 640円

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔地球環境の現在・過去・未来〕	やまがた 山 縣 毅	短 仏 選	4

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
  - ・ 関東平野の断層と地震
  - ・ 房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
  - ・ 伊豆大島、箱根の火山活動
  - ・ 関東山地の地質
  - ・ 関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

期末試験で評価します。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

『最新 図表地学』（浜島書店）ISBN 4 - 8343 - 4002 - 3 C7344

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔変動帯としての日本列島〕	ふじ い すずむ 藤 井 享	短仏選	4

#### 講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧―海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯といつて過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 島弧―海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 本州中部の地形とフォッサマグナ
- ⑤ 第四紀の地殻変動と変動地形
- ⑥ 関東平野の地形と造盆地運動
- ⑦ 中部地方の傾動運動
- ⑧ 西南日本弧の曲動地形
- ⑨ 日本列島の活断層
- ⑩ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑪ 火山活動と火山地形
- ⑫ 最終氷期と後氷期の日本列島

スケジュールは前期：①～⑤、後期：⑥～⑫を予定

#### 履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

#### 成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

貝塚爽平著『日本の地形―特質と由来』（岩波新書）1977年  
貝塚爽平著『発達史地形学』（東大出版）1998年

#### その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 環 境 論 〔宇宙から見た地球環境〕	しの ばら まさ お 篠 原 正 雄	短 仏 選	4

#### 講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境について講義します。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきました。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に取り上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でもかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ていると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 宇宙と地球  
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源
2. 宇宙と地球環境  
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
3. 地球環境の変動  
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
4. 地球環境問題  
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
5. 宇宙と地球の未来  
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

#### 成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

#### 教科書

石田恵一著『宇宙と地球環境』（成山堂書店）1,600円

#### 参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』（岩波新書）660円  
その他、講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕	やまがたけし 山 縣 毅	短仏選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化  
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害  
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

期末試験で評価します。

教科書

特に定めなし。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	おざわまこと 小 沢 誠	短仏選	4

講義のねらい

情報科学における離散数学の概要を知ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、離散集合と述語・対応と写像・帰納法とアルゴリズム・離散関係を学ぶ。  
後期は、離散グラフ・木グラフ・離散代数系・形式言語を学ぶ。  
時間があれば、有限順序集合と束・ブール関数・デジタル論理回路・ブール代数についても学びたい。

履修上の留意点

毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の期末試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

小倉久和『情報の基礎離散数学』（近代科学社）2,500円

参考書等

情報数学として扱われる数学は多岐にわたる為、上記の教科書に記載の参考図書を参照されたい。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

### 3. 外 国 語 科 目



### 3 . 外国語科目

英語 I	〈丹 治 弘 昌〉	465
英語 I [再クラス]		
ドイツ語 I	〈清 水 修〉	465
ドイツ語 I [再クラス]	〈百 濟 勇〉	466
フランス語 I	〈八 木 明 美〉	466
フランス語 I [再クラス]	〈前 田 祝 一〉	466
中国語 I	〈東 映 全〉	467
中国語 I [再クラス]		
中国語 I [再クラス]	〈大久保 明 男〉	467
中国語 I [再クラス]	〈曹 泰 和〉	467
スペイン語 I	〈大 岩 功〉	468
スペイン語 I [再クラス]	〈栗 林 ゆき絵〉	468
ロシア語 I	〈廣 田 英 靖〉	469
ロシア語 I [再クラス]	〈杉 山 秀 子〉	469
英語 II	〈大 淵 利 春〉	470
英会話 I	〈永 野 光 一〉	470



外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	丹 治 弘 昌 <small>たん し ひろ まさむ</small>	短仏1年	2
英語 I [再クラス]		短仏2年	

講義のねらい

教場にて説明いたします。

講義の内容・  
授業スケジュール

教場にて説明いたします。

履修上の留意点

教場にて説明いたします。

成績評価の方法

成績評価は、原則として3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教科書

プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I	清 水 修 <small>しみず おさむ</small>	短仏1年	2

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。

また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということ considering、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点

必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。

したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。

成績評価の方法

普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。

教科書

早川東三『完全ドイツ文法 (改訂版)』(朝日出版社)

参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』(三修社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I (再クラス)	もも すみ いさむ 百 済 勇	短仏2年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人の経済専攻院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

諸君が、ヨーロッパ経済を学習対象とする場合には、ドイツ語の履修が不可欠だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。経済学部、経営学部及び短期大学の学生を対象としている授業であるが、ドイツの新聞の文化・政治・経済記事なども、テキストとして使用する。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。熱心な学生の受講を希望する。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験は行わないが、毎時間、一人一人数回当てての徹底した口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I	や ぎ あけ み 八 木 明 美	短仏1年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

期末に行う試験ほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書

斉藤昌三著『新版ル・フランセ』(白水社) 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I [再クラス]	まえ た のり かず 前 田 祝 一	短仏2年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、御用心。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

教科書

斉藤昌三編『ル・フランセ・ファシル』(白水社) 1,750円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I	あずま 映 全	短 仏 1 年	2
中 国 語 I [再クラス]		短 仏 2 年	

講義のねらい

「中国語の発音が難しい」とよく生徒から聞きます。それは普段あまり中国語を聞いたり、話したりする機会がないからです。中国語の発音は声調（四声＋轻声）とローマ字拼音で成り立っていて、授業中に「自然なスピード、リズム、声調、拼音」の4つを揃えて「生きている中国語」を指導したいと思います。また中国人の習慣や祭日のこと、日常生活等についても紹介しながら授業を進めたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの新出単語の音読と意味を説明し、文章の口頭練習、文法の説明及び定着発音練習等を修得できることを重視する。

履修上の留意点

出席重視、時間厳守、また事前予習と復習することが大切である。

成績評価の方法

出席・授業態度そして試験等により評価する。

教科書

斎藤道彦等共著『中国を知ろう』（神保出版）2,500円（テープ付）

その他

1回日の授業に必ず出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I	おおくぼ あき お	短 仏 2 年	2
中 国 語 I [再クラス]	大久保 明 男		

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。

履修上の留意点

毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

塚本慶一監修・劉穎著『新版 一年生のコミュニケーション中国語』（白水社） 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I	そう たい わ	短 仏 2 年	2
中 国 語 I [再クラス]	曹 泰 和		

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原茂・陳淑梅・飯田敦子『恋する莎莎』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I	おお いわ いさお 大 岩 功	短仏1年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』（教材マルコ社）  
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書  
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円  
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円  
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円  
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円  
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I 〔再クラス〕	くり ばやし えい 栗 林 ゆき絵	短仏2年	2

講義のねらい

基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、課題、小テストを実施。

履修上の留意点

指示された課題は必ずやってくる。

成績評価の方法

平常点（出席、課題）6割以上、試験（小テストおよび前後期末）6割以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教科書

堀田英夫『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）1,900円

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）  
\*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	短 仏 1 年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）価格未定

参考書等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I (再クラス)	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	短 仏 2 年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円+税

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II	大 瀧 利 春 <small>おお ぶち とし はる</small>	短仏2選	2

講義のねらい

総合的な英語力（リスニング、スピーキング、ライティング、リーディング）の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト中心にすすめますが、適時プリントを使用します。

履修上の留意点

毎回予習を行い、辞書を携帯して下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前、後期試験50%で評価します。平常点は出席率、発表の内容などから総合的に評価します。

教科書

『Broadening Your Cultural Horizons』（成美堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	永 野 光 一 <small>なが の こう いち</small>	短仏選	2

講義のねらい

英会話の基礎的な力を養成。

講義の内容・授業スケジュール

Q&A やペア・ワーク、グループ・ワーク、ロール・プレイなどを通して英語を聞く・話すことに慣れていきます。会話表現の学習やスピーチ・ライティングと発表も行います。

履修上の留意点

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。

成績評価の方法

出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。スピーチ・ライティングと発表の成績を入れて総合的に評価。

教科書

初回授業時に指定。

## 4. 保 健 体 育 科 目



## 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 4 . 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	〈大石 武士〉	475
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋 俊介〉	475
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	〈秋田 浩一・三幣 晴三〉	476
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈村松 誠〉	477
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈山口 良博〉	477
健康・スポーツ論 (前期)	〈鈴木 淳平〉	478
健康・スポーツ論 (前期)	〈田中 佳孝〉	479



科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短仏1選	2

#### 講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8時限目：スポーツチャンバラ：                    ♪                    ♪
- 9時限目：スポーツチャンバラ：                    ♪                    ♪
- 10時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 11時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 12時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

#### 履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	短仏1選	2

#### 講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

#### 履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

#### 成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あまた 秋田 ころいち 浩一・みぬま 三幣 晴三	短仏1選	2

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習  
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術  
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術  
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明  
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目： 同 第2日目
- 7 時限目： 同 第3日目
- 8 時限目： 同 第4日目
- 9 時限目： 同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目： 同 第2日目
- 13 時限目： 同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

成績評価の方法

服装：一般的な運動服装  
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

教 科 書

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	むら まつ まこと 村 松 誠	短仏1選	2

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境、特にフレックスB学生に対して、例え少ない時間であっても、卓球を通じて体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時限目：ラケットの種類の特徴、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時限目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時限目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時限目：サービス、バックハンド
- 6 時限目：サービスレシーブ、バックハンド
- 7 時限目：総合練習
- 8 時限目：総合練習 シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：〃
- 14時限目：〃
- 15時限目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

教 科 書

服装は運動着、体育館用シューズ。  
用具は全て貸与する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やま ぐち よし ひろ 山 口 良 博	短仏1選	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボールを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7～9時限目：ゲーム (2次リーグ)  
(バレーボール)
- 10時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 11時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 12時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 13～15時限目：ゲーム (トーナメント)

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

そ の 他

種目の内容については、第1回目の授業時に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	短仏1選	2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件(13項目)の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：体育の発生と今日までの各々の時代の変遷と併せて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：綜合力力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時限目：　　〃
- 12 時限目：トレーニング理論全般
- 13 時限目：　　〃
- 14 時限目：　　〃
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	たなか よし たが 田 中 佳 孝	短仏1選	2

#### 講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて  
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について  
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5~7 主なビタミンの働きについて  
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8~10 健康な学生生活を送る為のビタミン  
○飲酒  
○喫煙  
○スポーツ  
○外食、甘党  
○ダイエット  
○妊娠
- 11~12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

#### 履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

#### 成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、優~不可の評価を行なう。出席回数不足した者は不合格とする。

#### 参 考 書 等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)  
『0歳からのビタミンバイブル』/『貝原益軒の養生訓』/『サーロインステーキ症候群』  
『食事療法』/『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)





## II 專門教育科目



## II. 専門教育科目

基	礎	仏	教	学	〈木	村	誠	司〉	485		
坐				禪	〈角	田	泰	隆〉	485		
宗	学	研	究	究	〈角	田	泰	隆〉	485		
禪	学	研	究	究	〈奥	野	光	賢〉	486		
仏	典	研	究	I	〈木	村	誠	司〉	486		
仏	典	研	究	II	〈石	井	公	成〉	487		
仏	典	研	究	III	〈袴	谷	憲	昭〉	487		
中	国	語	解	説	〈池	田	道	浩〉	488		
日	本	禪	宗	史	〈須	山	長	治〉	488		
イ	ン	ド	仏	史	〈石	井	公	成〉	489		
中	国	仏	教	史	〈池	田	道	浩〉	489		
日	本	仏	教	史	〈奥	野	光	賢〉	490		
禪	籍	講		史	〈袴	谷	憲	昭〉	491		
仏	典	講		説	〈角	田	泰	隆〉	491		
仏	教	伝		道	〈岡	本	一	平〉	492		
中	国	古	典	語	〈角	田	泰	隆〉	492		
書				道	〈須	山	長	治〉	493		
仏	教	と	文	化	〈木	村	誠	司〉	493		
仏	教	と	現	代	〈下	室	覚	道〉	494		
外	国	語	仏	書	〈袴	谷	憲	昭〉	494		
イ	ン	ド	チ	ベ	〈木	村	誠	司〉	495		
中	国	仏	教	演	〈奥	野	光	賢〉	495		
中	仏	教	思	想	〈袴	谷	憲	昭〉	496		
仏	教	文	学	演	〈石	井	公	成〉	496		
宗	学	学	演	習	〈角	田	泰	隆〉	497		
日	用	経	典	概	〈奥	野	光	賢〉	498		
宗	教	哲	学	説	〈紺	野	馨	馨〉	499		
キ	リ	ス	ト	教	概	説	〈紺	野	馨	馨〉	499
仏	教	特	講	I	〈荒	井	裕	明〉	499		
仏	教	特	講	II	〈鈴	木	一	馨〉	500		
宗	学	特	講	I	〈熊	本	英	人〉	500		
宗	学	特	講	II	〈晴	山	俊	英〉	501		



科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎仏教学	木村誠司	短仏1必	4

講義のねらい

文字通り、仏教の基礎を学習する。教理上の重要概念を修得するとともに、資料の使い方、原典の読み方、研究の方法などを学び、次のステップに進むための土台を作る。

成績評価の方法

平常点とペーパーテストによって行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐 禅	角田泰隆	短仏1必	4

講義のねらい

短大仏教科は仏教学の学習・研究の場であるとともに、曹洞宗宗侶の養成機関でもあり、曹洞宗の重要な修行である坐禅の実修を必修科目としている。将来僧侶となることを希望する学生にとっては、この坐禅の意義とその実践方法を学ぶ科目であり、一般学生にとっても坐禅という修行のほんとうの意義を知り、それを実際に体験できる科目として重要な意義もっている。

講義の内容・授業スケジュール

この科目は、専ら坐禅を実修する。よって、教場は坐禅堂（禅研究館4階）である。坐禅を実際に修行し、曹洞宗の両祖の坐禅に関する教えを学びながら、坐禅の意義や作法を習得していただきたい。

実修時間の前半は只管打坐、後半は坐禅に関する文献の提唱をする。提唱には指定の講本を用いるので、各自購入して持参すること。筆記用具は不要。

履修上の留意点

坐禅は修練ではない、仏行である。従って服装・態度・動作等の厳粛・整齊であることが望まれる。

成績評価の方法

科目の性格上、評価方法は出席状況に重きをおくが、それに加えて服装・態度・動作・坐相等総合的な評価をするので、充分自覚して授業に臨んでいただきたい。原則として所定の授業時間数の3分の2以上出席しなかった者には、単位を認定しない。

教科書

『坐禅－講本－』（更生社）2,200円

参考書等

なし

その他

身体上の不自由がある者は、予め申し出て指示を受けること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗学 研究	角田泰隆	短仏1・2選必	4

講義のねらい

本科目は、曹洞宗の基本的な教義について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストにより曹洞宗の両祖（道元禅師・瑩山禅師）の伝記をたどりながら、その基本的な教義にも触れてゆく。著作も断片的に講読してゆきたい。

履修上の留意点

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績と、夏季休業中の課題レポートによって評価する。ただし、原則として年間授業数の3分の2以上授業に出席することが必要である。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学研究	奥野光賢 <small>おくのみつよし</small>	短仏1・2選必	4

講義のねらい

研究は山登りに似ているように思われる。いきなり頂上を目指して、高度な専門分野に飛び込んでいったとしてもさしたる成果は得られないであろう。やはり、基礎からコツコツと学んでいかなければならないものと思われる。この授業は、これから本格的に「禅学」を学ぶために必要な基本的事項の授業を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「禅学」を学ぶ上で必要となる基礎知識（文献・歴史等）の解説を中心に授業を進める。

後期は、前期の授業を踏まえた上で、実際に文献講読を行なう。講読する文献は、追って指示する。

(前期)

(1～2) 禅学を学ぶために、参考文献・参考書の指示

(3～4) 禅と禅宗

(5～6) 禅宗の資料

(7～8) 修行・禪定思想

(9～10) 禅の語の意味、禅の分類

(10～11) 菩提達摩

(12～13) 禅宗の達磨像

(後期)

(14～15) 禅宗の燈史

(16～17) 六祖慧能について

(18～22) 禅文献講読

(23～24) 近年の禅学研究の学界動向

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。年間出席日数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

特に指定せず、プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

前期の「解説」は講義形式、後期の「講読」は演習形式で授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典研究 I	木村誠司 <small>きむらせいじ</small>	短仏1・2選必	4

講義のねらい

インドおよびチベットの仏教における重要な教理を学ぶ。あわせて、中国や日本の仏教との相違を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、近代の研究者の著作・論文を読みながら、インド・チベット仏教を概観する。後期は、テキストを読む。

履修上の留意点

本年度は、無着の『撰大乘論』を予定しているが、希望があれば協議の上、他のテキストに変更する場合もある。資料は、適宜、コピーして配布する。

成績評価の方法

レポートによって行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 典 研 究 Ⅱ	いし せい こう せい 石 井 公 成	短仏1・2選必	4

講義のねらい

漢訳の原始仏教経典を講読する。漢訳経典は、早い時期に翻訳されているため、現存するパーリ語などのテキストより古い内容を伝えていることも多く、資料として貴重である。パーリ語テキストやその日本語訳なども適宜参照しつつ、初期の素朴な仏教のあり方を検討してゆきたい。語法・用例を徹底的に調べつつ厳密に読むために、パーソナル・コンピュータ(PC)を用いた研究法を体得できるようにする。本年はPerlによる分析も試みる。

講義の内容・授業スケジュール

仏教漢文の訓練もかねるため、初めは漢文の基礎を説明しながら進めてゆき、平易な経典から読む。秋からは注釈の読み方なども指導する。授業は主にコンピュータ教場を利用して実際にPCを使いながら進めてゆき、インターネット上のデータの探し方や活用方法などについても紹介する。

履修上の留意点

仏教漢文が中心となる。漢文の力がつくよう基礎から指導するが、自分から取り組もうとする姿勢が必要とされる。日本語入力の仕事やインターネット入門などを指導する時間はないため、それらについては、各自で身につけておくこと。柔軟で複雑な検索方法などについては、わかりやすく説明するが、自宅で練習することが求められるため、進んでそうした練習に取り組む意欲のある学生でないと、授業についていけないだろう。1年間ががんばれば、必ずPCを活用した研究ができるようにするので、努力を期待したい。

成績評価の方法

平常点によって判定する。授業中に熱心に取り組んでいた者については、考慮する。

教科書

コピーを配布する。読む経典については、希望があれば考慮する。

参考書等

読む経典に応じて教場で一覧を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 典 研 究 Ⅲ	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	短仏1・2選必	4

講義のねらい

この演習は、日本の仏教文献の講読を通して、仏教思想を研究しようというものである。日本の仏教は、南都の六宗、平安の二宗、計八宗によって確立されたが、それらは、あたかも一日源信に流れ込み、それがまた再び仏教の諸思想となって展開したかのような観を呈している。その意味で、源信は、日本の仏教を学ぶ上での原点と言ってもよい存在である。しかるに、その源信(942-1017)は、『往生要集』があまりにも有名であるため、彼の思想的著ともいってよい『大乘対俱舍抄』や『一乗要決』の研究が却って遅れているといった状況を呈している。本演習では、この両者のうち、『大乘対俱舍抄』の方を取り上げて、丁寧に講読していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本テキストは、『俱舍論』本頌に、それに見合った大乘の教義を、大乘仏教の諸漢訳テキストよりの引用によって対応せしめたものである。本演習においては、それらの引用の原典にまで遡ることによって、アビダルマ教義と大乘教義との対応の意味を、順次に検討していくであろう。

履修上の留意点

初めは困難なようにみえても、扱われている内容は、仏教思想の基本的なものであるから、それを自ら講読してみたいと願うものが望ましい。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、状況次第により変更することもありうる。

教科書

源信『大乘対俱舍抄』(大日本仏教全書85)  
入手困難なものについてはコピーを用意する。

参考書等

大久保良順訳註『一乗要決』(大蔵出版)1990年 5,000円



科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教語解説	池田道浩	短仏1・2選	4

講義のねらい

本講義は多くの仏教語に触れ、その言葉によって表現される仏教教理を理解することを目的とする。基礎的な仏教の術語を理解した後、その言葉の背景に存在するさまざまな思想的問題を考察していく。一つの語句が多様に理解され、その意味が変容していったことにぜひ関心をもってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、教科書によって多くの仏教語の基本的な意味を理解し、その後、必要に応じて多くのテキストを参照し、仏教思想の基礎的な概念を考察する。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験あるいはレポートによって評価する。

教科書

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	須山長治	短仏1・2選	4

講義のねらい

『景德伝燈録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを、目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際には言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を、禅の語録を通して考察して行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度に引き続き、本年度も『碧巖録』を解読しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅は時代とともにどういう問題意識を展開していったか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とはなにかを考えて行きたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

『碧巖録』（岩波文庫）、『雪竇頌古』（禅の語録シリーズ）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	いし い こう せい 石 井 公 成	短仏1・2選	4

講義のねらい

禅宗以外の禅の日本への伝来、禅宗の伝来に始まり、道元禅師・瑩山禅師から、一休や良寛を経て、明治期から戦時中に至るまでの日本の禅宗の歴史を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

時代別に概観してゆくが、重要な問題については、時代別にこだわらずに検討する。

履修上の留意点

漢文・古文の訓練をかねる。最初はまったくできなくても良いが、わかりやすく指導してゆぐため、漢文・古文の力を少しでもつけようとする姿勢が望まれる。

成績評価の方法

平常点と秋のレポートによる。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）2001年 3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教史	いけ た みち ひろ 池 田 道 浩	短仏1・2選	4

講義のねらい

インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し論争を繰り返していたことが伝えられている。仏教における論争の歴史を学習することによって各学派の主張が明瞭となり、一見多様な仏教の思想が理解しやすくなると思われる。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。釈尊の教え、釈尊滅後の教団、大乘仏教の発生と展開等が主な項目である。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）  
平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 仏 教 史	おくの 奥 野 光 賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

中国における仏教の展開を、主として「教理史」に力点をおいて概説する。同時に中国仏教を学ぶ上で必要となる各種文献の解題も行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず最初に、中国仏教を学ぶ上で必要となる各種文献の解説を行なう。それを踏まえた上で、時代を追って中国における仏教の展開を見ていくこととする。各種文献に対する基礎的知識を習得しておけば、講義の中で興味をもった事柄について、各自が直接原資料にあたって調査・研究ができるようになるはずである。

(前期)

- (1～4) 中国仏教史緒解題 (経録・各種高僧伝)、参考書・参考文献解説、中国仏教の歴史的な性格
- (5～6) 仏教の中国伝播流伝
- (7～8) 格義仏教
- (9～10) 仏図澄と釈道安
- (11～13) 鳩摩羅什とその門下、慧遠教団の活躍

(後期)

- (14～15) 新大乘經典の訳出
- (15～16) 廢仏・破仏について
- (17～18) 諸学派の興起と展開 (涅槃・成実・地論・摂論学派)
- (19～25) 隋・唐の仏教諸宗 (三論宗・天台宗・三階教・法相宗・華嚴宗・律宗)
- (26) まとめ

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

成績評価は受講者の人数によって決める。

教 科 書

鎌田茂雄『新中国仏教史』(大東出版社) 定価2,500円(税別)を教科書とするので、受講者はかならず用意すること。その他、プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

そ の 他

授業は講義方式で進めるが、受講生には授業のたびに何らかの質問をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	ほかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	短仏1・2選	4

講義のねらい

下記の教科書により、日本仏教史を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ教科書の順序に従って進行する予定であるが、切れ目切れ目でプリントを配布して、文献の読解を促すかわら、講義内容の確認を行う。因みに、今念頭にある講義プランは、必ずしも全て実行するというわけではないが、ほぼ以下のとおりである。

- 序 仏教伝来以前の思想  
 1古代宗教の解釈 2日本古来の宗教
- 第1章 中国朝鮮の文化と仏教の受容  
 1大陸仏教の意味 2仏教伝来と影響 3聖徳太子と仏教 4作善主義と仏教
- 第2章 仏教の確立と南都六宗の教義  
 1仏教思想と学問 2三論宗と成実宗 3法相宗と俱舎宗 4華嚴宗と律宗と
- 第3章 平安二宗の教義と仏教の展開  
 1国家体制と仏教 2天台宗教義概観 3真言宗教義概観 4浄土教と諸思想
- 第4章 中世社会の展開と仏教の変様  
 1権門体制と仏教 2法然と浄土思想 3親鸞道元日蓮と 4本迹思想と神道
- 第5章 近世と近代の体制的仏教思想  
 1キリスト教伝来 2寺檀制度の確立 3排仏毀積と仏教 4近代科学と仏教
- 結 現代社会と仏教  
 1現代思想と仏教 2現代と批判仏教

履修上の留意点

単に講義を聞くだけではなく、配布されたプリントを中心とした文献の読解を自らに課さんとする事が望まれる。

成績評価の方法

学年末にレポートを課して評価したいと考えているが、状況しだい変更もありうる。

教科書

末木文美士『日本仏教史——思想史としてのアプローチ——』（新潮文庫）560円

参考書等

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読	つの だ たい りゅう 角 田 泰 隆	短仏1・2選	4

講義のねらい

禅の典籍を講読して、禅の基本的な教義を学ぶ。本年度は道元禅師の『学道用心集』を講読する。

講義の内容・授業スケジュール

『学道用心集』のテキストを配布し、これを読み進めてゆく。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として年間授業数の3分の2以上授業に出席することが必要である。

教科書

講義用テキストを配布する。

参考書等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 典 講 読	おが ちと いっ べい 岡 本 一 平	短仏1・2選	4

講義のねらい

インドで成立した仏教は、長い歴史をもち、思想的にも多様に展開しました。本講義では、仏教の経典を講読することにより、仏教思想史上の論点を学び、考えることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、『大般涅槃経』を中心に講読したいと思います。本経典は、「仏性」「涅槃」等の仏教思想上の重要なテーマを説示し、中国・日本において特に多大な影響を与えました。中国人の学僧たちが、この『涅槃経』の諸思想をどのように理解したのか、ということに留意しながら、講義します。また、後期には、『涅槃経』と異なる傾向の経典にも触れてみたいと考えています。

履修上の留意点

疑問があれば、何でも質問していただきたい。漢文資料を講読することもあるが、講義に参加する上で、語学能力の有無は問わない。

成績評価の方法

平常点と学年末のレポートにより評価します。

教科書

随時配布します。

参考書等

授業にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 伝 道	つの だ たい りゅう 角 田 泰 隆	短仏1・2選	4

講義のねらい

道元禪師は「弘法救生」（仏法を広め、衆生を救う）の思いを常に深く心に願われていたというが、曹洞宗宗侶もやはり同様の誓願を持たなければならないであろう。そこで必要なのが伝道・教化ということである。この科目では、伝道・教化の理念と実践について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の伝道において、一般の人々にわかりやすく説き広めるということは容易なことではない。この科目では、まず釈尊の生涯をたどりながら、仏教伝道の基本的あり方について考え、さらに現代の宗門寺院における中心的活動である葬儀と法事（年回忌法要）の意義について考察する。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として年間授業数の3分の2以上授業に出席することが必要である。

教科書

随時、資料を配付する。

参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国古典語	須山長治	短仏1・2選	4

講義のねらい

昨年度に引き続き、『論語』を読む。中国の古典で最も有名なものは、何と言っても孔子とその弟子の言行録『論語』である。中国思想史としても、この書を中心として儒家の思想は展開する。本年度も『論語』を精読することによって、孔子を中心とした当時の人々の考え・思いそしてあり方を読み取っていききたい。

講義の内容・授業スケジュール

『論語』二十卷は、それぞれ断片的な短文の集りである。まずはその一文一文をきちんと訓読できるようにする。その上で口語訳を試み、そこで語られる内容を細かに分析し、2500年前の“現在”を浮き彫りにする。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述と訓読・口語訳。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

金谷治訳注『論語』（岩波文庫）等。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書 道	那須隆吉	短仏1・2選	4

講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたところを理解し、更に応用力を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- ・書の基本的知識（書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、写経、書論等）について理解を深める。
- ・中国日本の書道史（文字の歴史）を概観する。

履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。（墨汁は使用不可。硯、筆は常に洗っておく。）

成績評価の方法

出席点、平常点（遅刻等）、清書、レポート等による。

教科書

『書の世界』（中教出版）約1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と文化	木村誠司	短仏1・2選	4

講義のねらい

『チベットの死者の書』は、チベット仏教の書物の中で、おそらく、最も知名度の高いものであろう。同書は、1927年、エヴァンス・ヴェンツというアメリカ人によって出版され、以来、たくさんの人々に多大な影響を与えてきた。本講義では、『チベットの死者の書』に対する様々な評価を詳しく見ていきたい。資料はコピーして、適宜配布する。

成績評価の方法

レポートによって行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 現 代	しも むろ かく どう 下 室 覚 道	短仏1・2選	4

講義のねらい

インドにおいて釈尊によって説かれた仏教は、東アジアを中心に伝播したが、その過程でその地域の民間信仰なども融合しながら、人々の宗教的要請に応えたのである。僧侶は出家し、(経済的)労働にたずさわらない存在が本来的であった。しかし、現在の日本で「お坊さんは何をする人」と問われれば、真っ先に「お葬式をする人」という答えが帰ってくるように、現在は僧侶と葬式との関係は深く、お寺の経営にも関わってくる。このような葬儀の問題に関して考えていきたい。さらに、臓器移植問題や人権問題という現代的課題に対しても、仏教との関わりを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

葬祭、臓器移植、人権問題の順に講義する。

履修上の留意点

仏教の基礎的知識を習得した上で、さらに現代の諸問題に対する問題意識を持ってもらいたい。

成績評価の方法

授業の出欠状況、レポート、年度末試験により評価する。

教 科 書

プリントを随時配布する。

参 考 書 等

曹洞宗総合研究センター編『葬祭—現代的意義と課題—』 その他、適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 国 語 仏 書 演 習	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	短仏1・2選	4

講義のねらい

英語を通して仏教思想のなんたるかを学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを冒頭より講読する。

履修上の留意点

下記のテキストは、予めタネを明かしておけば、高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）の英訳本である。予習のため、テキストとこの原日本語とを付き合わせて下調べしていただくことは大いに歓迎したい。

成績評価の方法

平常点とする。しかし、場合によっては変更もありうる。

教 科 書

Jikido Takasaki, *An Introduction to Buddhism*, tr. by Rolf W. Giebel, The Tōhō Gakkai, Tokyo, 1987

参 考 書 等

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

そ の 他

なお、上記テキストを購入できない人のためにはコピーを用意するので、その人数確認を兼ねた第一回目は必ず出席されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド・チベット仏教演習	木 村 誠 司	短仏1・2選	4

講義のねらい

ツォンカバ（1357-1419）は、ダライ・ラマの属する宗派ゲルク派を開いた人物で、チベット仏教を代表する学僧である。本講義では、ツォンカバの顕教教理を扱う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、近代の研究に基づいて、ツォンカバの思想を整理する。後期は、ツォンカバの顕教に関する著作をできるかぎり多く講読する。その際、必要な関係資料も参照する。資料は、コピーして適宜配布する。

成績評価の方法

レポートによって行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国仏教演習	奥 野 光 賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

「演習」を通じて、中国仏教の歴史と教理の把握、および仏教文献の読解力養成をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

わが国、鎌倉時代の碩学、凝然（1240-1321）の『八宗綱要』を講読する。本書は、仏教各宗の歴史と教理を要領よくまとめた名著として古来より知られているものである。部分的な誤りは指摘されているにせよ、その価値は今日においてもいささかも減ずるものではない。本演習では、本書の講読を通じて、中国仏教各宗の歴史と教理を把握することを目標としたい。本年度は「三論宗」の項から読み始める。

講義スケジュールは以下のような予定とする。

（前・後期）

（1）授業を進めるにあたっての諸注意と心構え、参考書の指示

（3～4）『八宗綱要』解題

（5回目以降）講読開始

履修上の留意点

演習なので事前の下調べが必要となる。指導にしたがって、一年間継続すれば、相当な力がつくはずである。指導は懇切丁寧に行なうので安心して欲しい。何よりも大切なのは意欲である。

成績評価の方法

純然たる演習科目なので、成績評価は通常点のみで行なう。

教科書

鎌田茂雄『八宗綱要』（講談社学術文庫）

参考書等

授業において適宜指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教思想演習	ほかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	短仏1・2選	4

講義のねらい

この演習は、仏教文献、特に、日本のそれを通して、仏教思想を解明せんと設けられたものである。その目的のために、当面は、源信（942-1017）に先立つことほぼ一世紀前に活躍した我が国の安然（841-?）の著わした『真言宗教時義』を講読する。本書の四一教判によって、仏教の「全一思想」ともいうべき「本覚思想」が我が国においても確立されたと見做しうるのであるが、その「本覚思想」とはなにかを、この思想のその後の日本仏教へ与えた影響の大きさに鑑み、考察せんとするのが、本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

原漢文を最初より順次講読していく。

履修上の留意点

漢文の読解が苦手なものであっても、「本覚思想」のなんたるかを自ら吟味してみようと思うものであれば歓迎したい。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、状況次第により変更することもありうる。

教科書

安然『真言宗教時義』、大正新修大藏経、第75巻、374頁上-450頁上所収のものをテキストとする。入手困難なものにはコピーを用意したい。

参考書等

国訳一切経、和漢撰述部、諸宗部18。末木文美士訳『安然・源信』（大乘仏典、中国・日本篇19、中央公論社、1991年）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教文学演習	いし い こう せい 石 井 公 成	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であって文学・音楽・美術・医学・建築その他の領域にまたがっており、それぞれの国の文化に大きな影響を与えている。本講義では、仏教文学と呼ばれる作品だけでなく、経典・論書・戒律などであっても文学的に価値の高い仏教文献をとりあげ、そこに現れた思想と表現の関係について検討すると同時に、それぞれの国の文化の特徴について考察を加える。漢文・古文の文献を主とするが、現代日本語訳や英訳を用いる場合もある。本年は漢詩を木版本で読む楽しさを味わうことができるようにすることを目標の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール

男女の愛情・無常・自然観・夢・ケガレと罪、その他のテーマを選び、そうしたテーマにかかわる散文や韻文の文献をいくつか比較しながら読んでゆく。テーマについては希望のものがあれば考慮する。

履修上の留意点

学生諸君への問いかけと応答を通じて検討を進めてゆくため、積極的に参加しようとする意欲が必要である。希望する文献を選んで発表してもらおう機会を持つようにしたい。

成績評価の方法

発表と日頃の応答による。討議などに積極的に参加していた者については評価する。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

テーマが決まった段階で、参考書や参考文献を指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 学 演 習	つのだたいりゅう 角 田 泰 隆	短 仏 1 ・ 2 選	4

講義のねらい

本科目は、曹洞宗の宗旨に関わる学問研究を演習形式で行うものである。本年は、道元禅師の主著『正法眼蔵』を読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

予めテキストを分担して担当箇所を決め、学生による予習の成果を発表してもらいながら、問答形式で授業をすすめ、テキストを読解してゆく。

履修上の留意点

事前の予習が必要である。予習においては、自ら辞書等にあたり、一々の文字言句を正確に解釈し、現代語訳を行ってもらおう。出版されている種々の現代語訳はなるべく用いず、自ら解釈することを目指してほしい。

成績評価の方法

授業への出席状況、および分担箇所の学習成果の発表によって評価する。

教 科 書

テキストを配布する。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 用 経 典 概 説	おくのみつよし 奥野光賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

この講義は、曹洞宗で日頃、読誦されている経典（教典）、回向文に対する解説を主たる内容とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は当然のことながら、曹洞宗で日頃、読誦されている経典（教典）を主として扱うことになるが、内容は必然的に経典一般に及ぶ。したがって、前期は経典の成立史から講義をはじめめる。その上で、個々の経典に対して、曹洞宗の関わりから解説を試みる。後期は、曹洞宗で読誦される聖典のうち、主として『修証義』に的を絞り、種々の問題を考察することとする。

(前期)

- (1) ～ (2) お経とは何か
- (3) ～ (4) 大蔵経の系譜
- (5) ～ (6) 曹洞宗で唱える代表的回向文
- (7) ～ (8) 般若経典（般若心経と金剛般若経）
- (9) ～ (11) 法華経—如来寿量品・観世音菩薩普門品を中心に
- (12) ～ (13) 曹洞宗と法華経、前期のまとめ

(後期)

- (14) ～ (16) 涅槃経典、曹洞宗と遺教経、仏祖三経
- (17) ～ (18) 陀羅尼経典
- (19) ～ (20) 『修証義』の編纂
- (21) ～ (22) 『修証義』の構成と問題点
- (23) ～ (25) 『修証義』第四章「発願利生」の講読
- (26) まとめ

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。年間出席日数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としないので注意されたい。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教 科 書

特に指定せず、プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

そ の 他

授業は基本的には講義方式とするが、受講生の人数によっては演習形式とする場合もある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 哲 学	紺 野 馨 <sup>の</sup>	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

現代世界における宗教の意味を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は前提として「理性と信仰」の関係を、主にヨーロッパ近代思想史の文脈のなかで考える。これには哲学だけではなく、科学思想史、宗教史、宗教学などの成果をも視野に入れる。後期は「現代社会と宗教」と題して、宗教の歴史的展開、近代化と宗教、さらには現代日本における宗教の様相などをフィロゾフィーレンする（哲学する）。

履修上の留意点

なるべく受講生諸君にも身近な事柄を糸口として講義するが、古典的著作を読む課題もあるので、受講生諸君にも積極的な「参加」の意欲をもって出席してほしい。

成績評価の方法

レポートによって評価する。出席も重視する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

参考書等は教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
キ リ ス ト 教 概 説	紺 野 馨 <sup>の</sup>	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

キリスト教の教義等のみならず、キリスト教ヨーロッパの精神史を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は聖書を中心に、キリスト教の成立を主題とする。後期は、キリスト教史を中心に、歴史的形成物としてのキリスト教を考える。

成績評価の方法

前期・後期それぞれ学期内に試験を行なう。出席も重視する。

教科書

教室で指示する。

参考書等

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 I	荒 井 裕 明 <sup>の</sup>	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

『成実論』を中心として、仏教の様々な教理について勉強します。基本的な仏教用語の理解を深めながら、仏教内外の諸派の学説の相違に関しても言及したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

『成実論』は漢訳（『大正新脩大蔵経』32巻所収）のみが現存するので、これを基本的なテキストにするが、その国訳を必要に応じて利用する。

履修上の留意点

積極的に発言して講義に参加して欲しい。

成績評価の方法

講義の出席状況と定期試験によって評価する。

教科書

テキストはコピーして配布する。

参考書等

『新国訳大蔵経、成実論I・II』、大蔵出版等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 II	鈴 木 一 馨 <small>すずき いっけい</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

本講義では、日本の諸宗教と仏教との関係について考える。6世紀に日本に伝来した仏教は、日本の宗教信仰の大きな柱となっていくが、そこには在来の宗教信仰との葛藤や、また新たな宗教信仰の形成などが見られる。一体、日本の宗教信仰を支えるものは何なのか、そして、仏教が日本の宗教信仰に与えた影響は何なのか、などという問題の解決につながるよう、神祇信仰（神道）・陰陽道・修験道・キリシタニズムなどと仏教との関係を見ていくことにする。

以上に従い、前期にまず日本の宗教風土と神祇信仰、そして神仏習合・神道の形成について学ぶ。後期には、陰陽道や修験道・キリシタニズムの形成と仏教との関係を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 第1部、神祇信仰と仏教  
 (1～4) 日本の宗教風土と神祇信仰 (5～12) 神仏習合と神道の形成  
 (後期) 第2部、仏教と諸信仰  
 (13～16) 仏教と陰陽道 (17～19) 仏教と修験道 (20～24) 仏教とキリシタニズム

履修上の留意点

学生諸君が授業中の質問に答えたり、レポート提出などで見せる積極的な姿勢、そして社会人（予備軍）としての常識性を重視する。なお、復習をきちんとしないといけない。

成績評価の方法

出欠状況・期末試験・小テスト・受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

教科書

基本的にプリントによって行なう。

参考書等

阿部慈園編著『比較宗教思想論 II』（北樹出版）2,700円  
 鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界一』（溝談社選書メチエ244）1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 学 特 講 I	熊 本 英 人 <small>くまもと えい にん</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

主に曹洞宗の寺院徒弟を対象として、曹洞宗寺院の諸行事法要の意味と意義の理解のための講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

曹洞宗寺院の主な法要の回向文の解説を中心に講義を進める。あわせて、1988（昭和63）年の曹洞宗行持軌範の改訂の意味についても触れたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教科書

櫻井秀雄著『修訂曹洞宗回向文講義』（曹洞宗宗務庁刊）1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 学 特 講 II	はれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	短 仏 1 ・ 2 選	4

講義のねらい

禅家における種々の儀軌と集団生活の規範の根本は、いわゆる清規に求められる。現代においては他宗と比較してその独自性が強調され勝ちであるが、宗門の清規が禅家古来の正統を色濃く継承している点を明らかにしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

戒律史上における清規と禅戒の特色を講じた後、『永平清規』を講読し、宗門における僧堂生活の基礎を知るとともにその有効性について考えてみたい。講義はノートをとる方法を中心に進める。

履修上の留意点

自らの日常生活と照らし合わせ、出家と在家との現実的な境界線を模索してみたい。また、寺院徒弟ならば、今後予想される僧侶としての人生に、自分なりの意義付けを試みられたい。

成績評価の方法

レポートの提出に出席の状況を加味して評価したい。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。



## Ⅲ 他学部履修科目

フレックスAで開講される他学部履修科目は、短大  
国文科・英文科の頁を参照してください。(→P.325)





### Ⅲ. 他学部履修科目

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

商学総論	〈大吹勝男〉	507
社会思想史	〈阿部弘〉	508
国際経済論	〈休講〉	
商業政策	〈岩下弘〉	509
アジア経済論	〈鄭章淵〉	510
社会政策	〈光岡博美〉	511
価格理論	〈荒木勝啓〉	512
銀行論	〈斉藤正〉	513
マーケティング	〈休講〉	
経営管理論	〈休講〉	
中小企業論	〈休講〉	
人口論	〈休講〉	
労務管理論	〈休講〉	
法思想史	〈高橋洋城〉	514
日本法制史	〈茂野隆晴〉	515
西洋法制史	〈休講〉	
経済法	〈荒井登志夫〉	516
国際関係論	〈南山淳〉	516
地方自治法	〈富井幸雄〉	517
国際紛争解決法	〈王志安〉	518
倒産処理法	〈雨宮眞也〉	518
アメリカ経営学	〈宮城徹〉	519
経営財務論	〈高田光明〉	520
経営組織論	〈日野健太〉	521
公益企業論	〈園田哲男〉	522
管理会計論	〈猿山義広〉	522
会計監査論	〈阿部一人〉	523
日本経済論	〈羽鳥茂〉	524



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	短国・短英・短仏	4

#### 講義のねらい

近年ますます大学において、学問が軽視される風潮にあります。そして生残りをかけ、学生集めのために実学主義・実用主義を売りものにする大学が増加しています。大学は学生および社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背を向け、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役立たないもの、これらを学ぶのが大学です。何年かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、過労死か過労自殺をすることなく、そして使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会人として現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。母さん、学者の良心はどこまで転落してゆくのでしょうか。本講義では現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れるとともに、同時にロジステックスについても考え、さらに、サプライチェーンとそのマネジメント（管理）について検討します。また、マーケティングおよびブランドの問題についても検討する予定です。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程 商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論・自立化論・卸売排除論・電子商取引（eコマース）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）

#### 成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。

期末試験は論述形式でおこなう。再試験は実施する。

#### 教科書

大吹勝男『流通費用の基礎理論』（4月刊行予定）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 思 想 史	あ べ 部 弘 あ べ 部 弘	短国・短英・短仏	4

#### 講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係をはっきりとすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策技術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパ的帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

－マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

#### 成績評価の方法

1 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。

レポートは5月・7月・10～11月・12月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。

年4回のレポートを行うのは、講義形式のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、とかく受講生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。

レポートの形式は、5月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからのテーマをも設定します。

2 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。

3 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」および「追試験」とか「再試験」は行いません。

#### 教 科 書

阿部弘『労働と所有』（八千代出版）3,200円＋税

#### そ の 他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようになるために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204/TEL03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No. 2538/TEL03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	いわ した ひろし 岩 下 弘	短 仏	4

講義の内容・  
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
  - 1 90年代の小売商業構造
  - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
  - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
  - 1 中小小売商保護政策論
  - 2 流通近代化政策論
  - 3 流通システム化計画論
  - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
  - 1 70年代の流通
  - 2 80年代流通産業ビジョン
  - 3 90年代流通ビジョン
  - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
  - 1 百貨店法
    - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
  - 2 中小小売商業振興法
  - 3 小売商業調整特別措置法
  - 4 大店法
    - 1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法
  - 5 凍結宣言、要綱及び条例
  - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
  - 7 規制緩和
    - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
  - 8 特定商業集積法
  - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
  - 1 大店立地法
  - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
  - 1 イギリス
    - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法 2) 日曜営業問題－商店法
  - 2 フランス－ロワイエ法
  - 3 ドイツ－土地利用計画
  - 4 アメリカ－ゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教科書

指定しない。

参考書等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 経 済 論	ちよん 鄭 ちやん よん 章 淵	短 仏	4

#### 講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 〔前期〕

1. 経済発展の前史
  - (1) 植民地経済の概要
  - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジア NIEs の経済発展
  - (1) アジア NIEs の範疇と経済発展の特徴  
※NIEs の用語説明、経済開発戦略の特徴、産業の特徴
  - (2) 開発独裁体制の成立  
※韓国の事例、その他の開発独裁
  - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN 諸国の経済発展
  - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
  - (2) ASEAN の歴史
  - (3) 日本企業の進出状況

##### 〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
  - (1) 中国の開放政策
  - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
  - (1) アジア NIEs 論
  - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
  - (1) APEC の発展過程
  - (2) ASEAN の自由化過程
  - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
  - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
  - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
  - (3) 日本とアジアとの関係の展望

#### 成績評価の方法

前期および夏期の2回のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。再試験を実施する。

#### 教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。  
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

#### 参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ 光 おか 岡 はく 博 み 美	短国・短英・短仏	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

#### 教 科 書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価 格 理 論	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することにある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されるかもしれない。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつきまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのである。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始め、水に価値が生まれはじめる。

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかなりの部分がそのために準備と練習にあてられると思っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- |                         |                             |
|-------------------------|-----------------------------|
| (1) 価格理論で学ぶこと           | (14) MR 曲線                  |
| (2) 多変数関数と曲面            | (15) 独占均衡                   |
| (3) 微分、偏微分、全微分          | (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失 |
| (4) 対数関数の微分と成長理論        | (17) 消費曲線と供給曲線              |
| (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数    | (18) 生産関数から短期費用関数の導出        |
| (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル      | (19) 生産関数から長期費用関数の導出        |
| (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解 | (20) クールノ・ナッシュ均衡            |
| (8) ラグランジュ乗数法           | (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題      |
| (9) 加重限界効用均等の法則         | (22) 等利潤曲線                  |
| (10) 練習問題               | (23) シュタッケルベルク均衡解           |
| (11) 代替効果と所得効果の計算       | (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題      |
| (12) 需要曲線と需要の価格弾力性      | (25) ゼロサムゲームの解法             |
| (13) パレート最適、ボックスダイアグラム  |                             |

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 論	さいとう 藤 正 齋 藤 正	短国・短英・短仏	4

#### 講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。その影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、パイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、現代の銀行が直面している諸問題を銀行の基礎理論に関連づけながら検討し、あるべき銀行の姿を考えてみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面している諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
- (2) 前期は銀行の基礎理論の理解を中心に据える。
  - 1) 銀行経営の不振とは対照的に大手消費者金融会社や商工ローン会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。  
銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
  - 2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
- (3) 後期では戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。
  - 1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
  - 2) 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1985年まで）、バブル経済期（1990年まで）、グローバル期（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
  - 3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革目指すビッグバン及び小泉「構造改革」を様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

#### 履修上の留意点

- 理解をさらに深めるために
- 1) 前期科目の「現代産業事情 III（野村證券提供講座）」
  - 2) 通年科目の「金融論」、併せて履修されることが望ましい。

#### 成績評価の方法

成績は、定期試験（またはレポート）による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

#### 教科書

齋藤正『戦後日本の中小企業金融』（ミネルヴァ書房）2003年  
なお、授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

#### 参考書等

大橋・小西・齋藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融業』（大月書店）  
日本銀行『新版 わが国の金融制度』  
建部正義『はじめて学ぶ金融論』（大月書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	たか はし ひろ き 高 橋 洋 城	短国・短英・短仏	4

#### 講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということに自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホブズスの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホブズスの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホブズズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

#### 履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

#### 成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

#### 教 科 書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

#### 参 考 書 等

法思想史に関する概説書の例として  
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。  
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。  
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本法制史	しげのたかはる 茂野隆晴	短国・短英・短仏	4

#### 講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の通史の授業は時代区分に基づいて行うのがふつうである。近年では、近現代史のもつ重要性も強調されるようになってきているので、講義ではそうしたことに配慮しつつも、本年は国初から近世までの4期の法制の特色を主に講述し、終りに『家』制度を行いたい。

年間の講義を受講することによって、日本の法文化への愛着が深まったといわれるようになればと思う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

序 日本法制史を学ぶにあたって

- I 日本法制史とは
- II 基礎法学のなかの法制史
- III 日本法制史の時代区分
- IV 日本法制史教育の沿革

第1章 上古（氏族法時代）

- (1) 総説 (2) 氏族制度 (3) 法の始源 (4) 法の分化

第2章 中古（律令法時代）

- (1) 総説 (2) 律令法

第3章 中世（武家法時代前期）

- (1) 法の系統 (2) 分国法〔国法〕 (3) 起請文

第4章 近世（武家法時代後期）

- (1) 織豊二氏の法令 (2) 徳川幕府の法令

終りに 『家』制度と現代の法意識

#### 履修上の留意点

史資料に則して行う授業ですのでテキストは必ず揃えて欲しい。また、授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになろう。

#### 成績評価の方法

年間1度の定期試験と出席点によって評価する。

#### 教科書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

#### 参考書等

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円。このほかにも、場合によりプリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	あらいとしお 荒井 登志夫	短仏	4

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で独占禁止法を中心とする経済法の分野はいよいよ重要性を増し、近年、相次いで法改正等が行われています。本講では、独占禁止法、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①実体経済の動きや歴史的視点をバックに、②規定の意味内容を平易に解説するとともに、③抽象的な規定の適用実態を理解できるよう具体的な適用事例を挙げて説明する計画です。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕(1~3)前史、全体像・基本的概念 (4~5)私的独占 (6~10)不当な取引制限等(価格カルテル・入札談合、事業者団体カルテル、官製談合防止法、課徴金) (11~13)不公正な取引方法・前半  
〔後期〕(14~16)不公正な取引方法・後半(景品表示法・下請法) (17~18)第四章規定(株式所有・合併・持株会社) (19)寡占問題(独占的状态・価格の同調的引上げ) (20~23)公正取引委員会、手続規定・措置体系 (24~25)国際的環境(海外独禁法、国際的協定) (26)まとめ

成績評価の方法

学期末試験の結果と前期末の受講者の提出物の内容に基づいて行います。問題作成及び成績評価に当たっては、講義に出席し実態的な理解を深めた方が有利になるよう配慮します。

教科書

舟田正之・根岸哲『独占禁止法概説』(有斐閣)3,600円  
なお、適宜プリントを配付し、法改正情報、事例研究の参考となるようにします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	みなみやま あつし 南山 淳	短仏	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国際社会は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバル化の拡大、米国における同時多発テロ、イラク戦争等に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。  
本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。現実の国際構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナーキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題、ジェンダーなど、現代国際関係の諸問題を近年の(特に理論的な)研究動向と併せてとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

学期末試験およびレポートにより評価する。

教科書

南山淳著『国際安全保障の系譜学—現代国際関係理論と権力／知—』(国際書院)  
進藤榮一著『現代国際関係学—歴史・思想・理論—』(有斐閣)

参考書等

国際関係論を体系的に学習するうえで必要な文献リストを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	短 仏	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教 科 書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房） 2,000円

参 考 書 等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。  
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際紛争解決法	おう し あん 王 志 安	短仏	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。powerpointで講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	あめ みや まさ や 雨 宮 眞 也	短仏	4

講義のねらい

主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。

法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえつつ、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の構成に従って、順次講義を進める。

履修上の留意点

破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するかの学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績により評価する。

教科書

山本和彦著『倒産処理法入門』（有斐閣）

参考書等

霜島甲一著『倒産法体系』（勁草書房）

その他

授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式をとり入れることもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 営 学	みやぎ 城 徹	短国・短英・短仏	4

#### 講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2004年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル－エージェント理論 (2)

#### 成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

#### 参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer - Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

#### そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。



科目名	担当者名	配当学科	単位
経営財務論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 経営財務の領域      | 9. キャッシュ・フロー      |
| 2. 資本と資産        | 10. リスクとリターン      |
| 3. 資本の分類        | 11. 資本のコスト        |
| 4. 資本の運用形態      | 12. 内部資金          |
| 5. 資金調達の基本原則    | 13. 株式資本と他人資本との相違 |
| 6. 流動・固定分類法の重要性 | 14. レバレッジ         |
| 7. 資金概念         | 15. 資金調達の手順       |
| 8. 企業利益の概念      |                   |

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）  
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 組 織 論	ひのけんた 日 野 健 太	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。ここでは、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数は対応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある。）。

- |                    |             |
|--------------------|-------------|
| (1) 組織論における組織観と人間観 | (6) 戦略と組織構造 |
| (2) モチベーション        | (7) 情報処理の理論 |
| (3) 組織文化           | (8) 知識創造理論  |
| (4) リーダーシップ        | (9) 資源依存モデル |
| (5) 組織の環境適応        | (10) まとめ    |

履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

成績評価の方法

前期授業の最終回にテストを行う。このテストのウエイトが30%程度、学年末の定期テストのウエイトが70%程度。大まかには、この二つが成績を決める。前期のテストを欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

授業中に小テストを行ったり、講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、必要に応じて成績評価に加味する。

教 科 書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

参 考 書 等

桑田・田尾『組織論』（有斐閣）  
大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』（創成社）  
田尾『モチベーション入門』（日経文庫）  
経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』（中央経済社）などもなにかと重宝である。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 益 企 業 論	その 園 だ て つ お 男 園 田 哲 男	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別された意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行なう。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、單元ごとに小テストやレポートを課し、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しい評価を行なうつもりである。

教 科 書

園田哲男著『企業論』（八千代出版）2,800円  
適宜プリントの配布を行う。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

この講義では、すでに受講者が「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本的な理論と手法について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価します。ただし、中心になるのは期末試験の結果です。

教 科 書

開講時に指定します。なお、適宜、プリントを配布します。

参 考 書 等

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）  
櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）  
岡本清・廣本敏郎・尾畑裕・挽文子著『管理会計』（中央経済社）

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	あ べ かず ひと 阿 部 一 人	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”  
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 会計監査の意義と目的 (総論) | 10. 監査人            |
| ①監査の必要 ②監査の意義      | 11. 監査証拠           |
| ③監査の対象             | 12. 監査計画           |
| 2. 会計監査の意義と目的 (2)  | 13. 内部統制           |
| ①監査の目的 ②監査思想の変遷    | 14. 試査             |
| ③監査の効用             | 15. 監査技術と監査手続      |
| 3. 監査の機能           | 16. 監査調書           |
| 4. 会計上の誤謬と不正       | 17. 監査報告書          |
| 5. 監査の種類           | 18. 連結財務諸表の監査      |
| 6. 会計監査と財務諸表監査     | 19. 中間財務諸表の監査      |
| 7. 我国の監査制度         | 20. システム監査         |
| ①証券取引法監査 ②商法監査     | 21. 国際監査基準         |
| ③その他の監査制度          | 22. 現代監査論の動向       |
| 8. 監査基準 (1)        | ①監査概念の拡大化          |
| ①必要性 ②生成と展開        | ②監査保証に程度の差を認める監査概念 |
| 9. 監査基準 (2)        |                    |
| ①意義 ②体系 ③一般基準      |                    |
| ④実施基準 ⑤報告基準        |                    |

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート(夏季)および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー』(東京経済情報出版) 3,200円

参考書等

- 大矢知浩司『監査論概説』(白桃書房) 3,300円  
 田島四郎『最新監査論』(税務経理協会) 2,900円  
 高田正淳『最新監査論』(中央経済社) 2,800円  
 鳥羽至英『監査基準の基礎』(白桃書房) 3,900円  
 三澤 一『会計監査の理論』(中央経済社) 2,800円  
 山榊忠恕・桧田信男『監査基準精鋭精説』(税務経理協会) 3,500円  
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』(中央経済社) 3,800円

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	はとり 羽鳥 しのぶ 茂	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

日本経済の現状と課題について以下の12のテーマを中心に、データと経済理論にもとづいて講義します。経済理論の最近の発展は著しく、それらについても現実経済への応用を重視しながら解説します。

講義の内容・授業スケジュール

前期：

- (1・2) 日本経済の全体像と国民経済計算
- (3・4) 成長と変動の理論と実際
- (5・6) 資産価格の決定とバブル
- (7・8) 雇用・賃金と労働経済
- (9・10) 企業とコーポレート・ガバナンス
- (11・12) デフレ・スパイラルとインフレーション・ターゲティング
- (13) まとめ

後期：

- (14・15) 為替レートの変動とデリバティブ
- (16・17) 日本経済空洞化論と直接投資
- (18・19) 財政赤字とサステナビリティ
- (20・21) 金融と不良債権および金融政策
- (22・23) 人口構造の変化とマクロ経済
- (24・25) 社会保障と年金
- (26) まとめ

履修上の留意点

経済は誰にとっても生活の1つの重要な要素であるからテレビや新聞で報道される経済ニュースに日頃から接するように心がけて、問題意識を養うようにしてください。

成績評価の方法

原則として年度末の定期試験によって評価します。

教科書

小峰隆夫『最新日本経済入門』第2版（日本評論社）2003年 2,500円

参考書等

必要に応じてプリントを配布します。また参考文献の紹介も講義のなかで行います。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

# IV 仏教学部開設科目



## IV. 仏教学部開設科目

パ ー リ 語 初 級	〈片 山 一 良〉	.....	529
サンスクリット語初級	〈金 沢 篤〉	.....	529
チベット語初級	〈松 本 史 朗〉	.....	530
仏 教 美 術	〈村 松 哲 文〉	.....	530
詩 偈	〈 休 講 〉		
原 始 仏 教	〈片 山 一 良〉	.....	531
宗 教 史	〈長 谷 部 八 朗〉	.....	531
インド仏教文化史	〈金 沢 篤〉	.....	532
真 宗 学 概 論	〈 休 講 〉		
浄 土 学 概 論	〈小 澤 憲 珠〉	.....	532
真 言 学 概 論	〈遠 藤 祐 純〉	.....	533
日 蓮 教 学 概 論	〈 休 講 〉		





科目名	担当者名	配当学科	単位
パーリ語初級	かた やま いち ろう 片山一良	短仏	4

講義のねらい

パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は文法全体について講義し、後期は『歓喜経』(Sampasādanīya-sutta)を講読する。

履修上の留意点

習得に丁寧であることが望まれる。

成績評価の方法

年度末テスト、および平常点による。

教科書

コピーにて配布する。

参考書等

水野弘元『パーリ語辞典』(春秋社)

その他

随時、テープ等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
サンスクリット語初級	かな さわ あつし 金沢篤	短仏	4

講義のねらい

仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある以下の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際の・基礎的な力を養う。

履修上の留意点

予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

平常点と期末・年度末の筆記試験。

教科書

J・ゴンダ著『サンスクリット語初等文法』(春秋社)

参考書等

辻直四郎著『サンスクリット文法』(岩波書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
チベット語初級	まつもと しろう 松本史朗	短仏	4

講義のねらい

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの(チベット人の著作)を読んで、文法的知識を確実なものとする。

履修上の留意点

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

授業の中で指示する。(授業初回に必ず出席すること)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教美術	むらまつ てっふみ 村松哲文	短仏	4

講義のねらい

インド・中国・朝鮮・日本の仏教美術について、歴史的背景と照らし合わせながら概観する。仏像は、地域や時代によって、その作風などに相違が生ずることを理解してもらいたい。そして、その相違を自分で発見できるようになることが本講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

- [前期] 仏教美術の世界 (1)  
 インド・無仏時代 (2・3)  
 インド・ガンダーラ仏とマトゥラー仏 (4・5)  
 中国・初期の仏像 (6)  
 中国・敦煌石窟 (7～9)  
 中国・雲岡石窟 (10～12)  
 中国・龍門石窟 (13～15)
- [後期] 中国・地域的な様式差 (16～17)  
 朝鮮・三国の仏像 (18～20)  
 朝鮮・統一新羅の仏像 (21)  
 日本・飛鳥時代の仏像 (22～23)  
 日本・白鳳時代の仏像 (24～25)  
 日本・天平時代の仏像 (26～28)  
 日本・平安時代の仏像 (29～30)

履修上の留意点

博物館・美術館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。

成績評価の方法

定期試験と出席点、レポートなどで総合的に評価する。

教科書

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原始仏教	かた やま いち ろう 片山一良	短仏	4

講義のねらい

原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何か、を原始仏典の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は仏伝を紹介しつつ、縁起・四諦の教え、あるいは無常・苦・無我の三相による見方について講じる。後半は原始仏典を読み、とくに中道（八正道）、戒律などの実践について講じる。全体として、智慧と慈悲の教えを「法」と「律」の立場から考えるものである。

履修上の留意点

従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始経典を直接に読むことを勧めたい。

成績評価の方法

レポート（夏期）および年度末テストによる。

教科書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教史	はせべ はち ろう 長谷部八朗	短仏	4

講義のねらい

本講義では、仏教を中心に日本宗教史の概説を行う予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は古代、中世を、後期には近世、近代を扱う計画である。古代では、とくに天台宗、真言宗の展開に焦点を当てる。中世は、鎌倉仏教、神道流派の形成に着目する。次いで、修験道から本山派、当山派が興り、組織化を進めたことに触れる。近世では、徳川幕府の宗教政策との関連で、仏教、神道、儒教などの展開をたどる。また一向宗や日蓮宗不受不施派、隠れキリシタンなどの禁圧された宗教についても論ずる。さらに、修験系や法華系の講社が多数出現した社会的背景を探る。そして、近代においては、神仏分離、廃仏毀釈の打撃から仏教がどのように復興していったかをみる。新宗教の歴史にも言及したい。

成績評価の方法

未定である。なお、授業時に1、2回小論文を書いてもらい、評価に加算することも考えている。

教科書

用いない。板書を中心に進めるので、ノートの充実を望む。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	かなざわ あつし 金 沢 篤	短仏	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
浄土学概論	おざわ けんじゅ 小 澤 憲 珠	短仏	4

講義のねらい

日本の鎌倉時代には新しい仏教が次々に誕生する。その先駆をなしたのは法然(1133-1212)による浄土宗である。法然の浄土教(念仏思想)は当時の仏教界の常識をくつがえすものであったため、仏教を曲解しているとの批判もあった。しかし時代と人間とを透察した浄土教であったので、次第に民衆に受容されるようになる。また同時代の禪宗とは対極にある仏教といえる。法然は釈尊一代の仏教をどのようにとらえたのか、その念仏思想の特色は何であったのか、「浄土教の歴史と思想」というテーマの中で、法然の浄土教をうきほりにしてみたい。

前期では、法然の浄土教の概略を示しつつ、インドの浄土教を主に、後期では、法然に影響を与えた中国の浄土教、そして法然自身の思想について学習したい。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1・2)日本の浄土教と法然の浄土教 (3)インドにおける浄土教の起源 (4~8)浄土を説く経典 (9・10)竜樹(ナーガールジュナ)の浄土教 (11)世観(ヴァスバンドゥ)の浄土教 (12)小結
- (後期) (13)中国慧遠(334-416)の浄土教 (14)曇鸞(476-542?)の浄土教 (15)道綽(562-645)の浄土教 (16)善導(613-682)の浄土教 (17)日本の奈良朝期から平安期の浄土教 (18)法然の生涯 (19~21)法然の浄土教 (22)法然の門下 (23)法然浄土教への批判 (24)総括

成績評価の方法

講義に積極的に参加し、4分の3以上出席した受講生を対象に、期末試験の結果で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
真言学概論	えん どう ゆう じゅん 遠藤祐純	短仏	4

#### 講義のねらい

真言宗は、陀羅尼宗、瑜伽宗、曼荼羅宗、三密宗などの異称も持っている。初期仏教から大乘仏教に至る広汎な思想を内包する仏教である。従来の大乗仏教には見られなかった果分可説、法身説法、即身成仏などの新しい分野を拓いた密教の特質を顕密対弁思想、密教の相承系譜を通して明かし『大日経』『金剛頂経』を軸とする両部思想から而二不二、即事而真を導き出し、本不生際にある自己の真実を知ることがを究意とすることを空海の著作を通して学ぶ。同時にそれが釈尊の成道に直結することを併せ学ぶ。真言密教に捉われることなく広く密教全体の理解を目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、大乘仏教の一として印度に興った密教は Tantric Buddhism か Buddhist Tantra かを検ずることを緒に、南印度、中国、西藏、そして日本伝播された様相を探る。〔五・六月〕には、プトンの『総タントラ部解説』や『瑜伽タントラの海に入船』などで、タントラの分類などを講ずる。真言宗の根本聖典である『大日経』（行タントラ）『金剛頂経』（瑜伽タントラ）を概説し、密教の相承系譜を学習する。

後期（九・十月）は、空海の求道の軌跡を追い、入唐、密教受法、帰朝開宗について述べ、彼の著作、特に三部作とされる『即身成仏義』『声字実相義』『吽字義』を概説する。

十一・十二月以降は、真言宗の骨格をなす十住心思想について『弁顕密二教論』等と併せて論ずる。

#### 履修上の留意点

密教は印度の土着思想と深く関わっているので、仏教ばかりでなく多様な印度思想に目を配っておいて欲しい。

#### 成績評価の方法

評価は、筆答試験あるいはレポート、出席点、授業中の発言等による。

#### 教科書

テキストなし。高神覚昇『密教概論』、松長有慶『密教の相承者』、松長有慶編『密教を知るためのガイドブック』などを読んでおくこと。







